

CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection
ePub

X72n1435

無異元來禪師廣錄

(33卷)

(法孫)弘瀚彙編、弘裕同集

X1435 無異元來禪師廣錄 (33卷)

目錄

[編輯說明](#)

章節目錄

- [No. 1435-A 無異禪師語錄序](#)
- [No. 1435-B 錫類法檀序](#)
- [No. 1435-C 賸錄序](#)
- [No. 1435-D 禪警語序](#)
- [No. 1435-E 宗教答響序](#)
- [無異禪師廣錄總目](#)
- [住信州博山能仁禪寺語錄](#)

- 住建州董巖禪寺語錄
- 住建州大仰寶林禪寺語錄
- 住福州鼓山湧泉禪寺語錄
- 住金陵天界禪寺語錄
- 小參
- 因事晚參
- 茶話
- 普說
- 問答
- 拈古
- 頌古
 - 拈花微笑
 - 乾闥婆王獻樂迦葉起舞
 - 世尊因五通仙人問六通義
 - 普眼欲見普賢

- 女子出定
- 阿難尊者問金襴外別傳甚麼
- 二祖乞達磨大士安心
- 三祖懺罪
- 打牛打車
- 南嶽遣僧問馬祖祖云自從胡亂後
- 龐居士問馬祖不昧本來人
- 馬祖不安次
- 百丈再參馬祖
- 百丈野狐
- 南泉問僧夜來好風
- 僧問南泉百年後向甚麼處去
- 鹽官喚侍者
- 歸宗剗草次
- 趙州問大慈般若以何為體

- 臨濟訪平田遇嫂使牛
- 趙州勘婆子臺山路話
- 婆子送錢趙州轉藏經
- 僧問趙州如何是道州云墻外底
- 僧問趙州如何是祖師西來意州云庭前栢樹子
- 青州布衫重七斤
- 僧問趙州如何是出家州云不履高名不求苟得
- 三次喫茶話
- 婆子燒菴逐僧
- 丹霞參忠國師侍者被打逐出
- 僧問大隋投子劫火洞然時壞不壞義
- 臨濟兩堂首座齊下喝濟云賓主歷然
- 德山托鉢
- 三玄三要
- 五位君臣

- 僧參雪峯低頭歸菴至見巖頭指末後句
- 舉上座訪瑯琊
- 雪峯南山鼈鼻蛇
- 僧問雲門樹凋葉落時如何門云體露金風
- 僧問雲門殺父殺母佛前懺悔殺佛殺祖向甚麼處懺悔
門云露
- 玄沙三種病人
- 大顛趲首座
- 興化打維那
- 夾山答法身句見船子後亦如前答
- 六祖遷化云來時無口
- 鼓山聖箭
- 大通智勝佛十劫坐道場
- 南院上堂舉啐啄同時語
- 僧問雲門如何是諸佛出身處門云東山水上行

- 法眼問脩山主毫釐有差
- 趙州鬪劣不鬪勝
- 虔侍者不肯首座
- 興化獎在太覺為院主一日覺勘驗化連喝覺連打
- 雪峯古澗寒泉話
- 世尊陞座迦葉白椎
- 迦葉尊者因外道問如何是我我
- 蜀僧為六祖塑像
- 馬師令人送書上徑山山發緘於圓相中著一點
- 馬大師西堂百丈南泉翫月次
- 陸巨大夫向南泉道肇法師也甚奇怪
- 鷺湖義禪師麟德殿與眾法師論義
- 僧問興善如何是道師曰大好山
- 僧問楊岐叔禪師如何是祖師西來意師提起數珠
- 僧辭趙州乃豎拂子云有佛處不得住

- 雪峯問靈雲前三三後三三意旨如何雲云水中魚天上鳥
- 石梯見侍者托鉢赴堂乃喚侍者侍者應諾
- 僧問多福如何是多福一叢竹
- 青原問石頭遷禪師曰有人道嶺南有消息
- 丹霞訪龐居士見女子洗菜
- 丹霞問僧甚麼處宿
- 道吾智禪師指佛桑花問僧
- 香巖擊竹悟道
- 趙州庭前栢樹子
- 雲門餅
- 南泉斬猫
- 德山棒
- 洞山麻三斤
- 洞山五位頌

- 佛事

- 為鷺湖和尚封龕
- 奠鷺湖和尚茶
- 為壽昌和尚入壇
- 為壽昌和尚掩壇
- 拱臺上座火
- 光敷禪人火
- 遍慈禪人火
- 心恒禪人火
- 禪人祝髮

- 佛祖贊

- 阿彌陀佛贊
- 釋迦文佛贊
- 觀音大士贊
- 西方境贊

- 浮山舍利塏贊(有序)
- 達磨大師贊
- 老子贊
- 羅漢贊
- 十八羅漢圖贊
- 雲棲大師贊
- 又
- 題優曇華圖
- 壽昌和尚贊
- 圓相贊
- 峯頂和尚贊
- 洪濤山天安律師贊(有序)
- 雲陽耆宿贊
- 空印法師贊
- 杲禪座贊

- 一菴法主贊
- 古心法主贊
- 拙如贊
- 解深贊
- 龍峯八十一真贊
- 趙豫齋真贊
- 宛陵王玄石影贊
- 劉龍田居士影贊
- 查汝定居士影贊
- 自贊
- 參禪警語上中下
- 開示偈
 - 示無踰禪人參念佛是誰(有序)
 - 示水齋道遵參沒蹤跡
 - 示觀恒禪人看普字

- 示如是禪人參無字
- 示懷照禪人參沒蹤跡
- 示麓屏禪人省親并參無字
- 示參父母未生前
- 示清隱禪人九帶語
- 示林埜禪人參沒蹤跡
- 示可上禪座
- 示慈門禪人
- 示恒見禪人
- 示吳觀我宮論
- 示何芝岳尚書
- 示方廣野居士
- 示吳九濤居士
- 示吳石生居士
- 示趙元振居士

- 示盛子惠居士
- 示范以都居士
- 示吳蓮舟居士
- 示盛蓮生孝廉
- 示胡冰稜縣尹
- 示潘次魯貢元
- 示宋大山孝廉
- 示方肅之館元
- 示劉雁先居士
- 示胡鼎甫居士
- 示張欽之居士
- 示倪瓊圃侍講
- 示孫明都進士
- 示林卞石居士
- 示楊蘭似居士

- 示胡永胤居士
- 示謝中隱居士
- 示夏廣生元甫生生三居士
- 示余任甫居士
- 示玄照鎧禪人
- 示一如洞禪人
- 示淨休珍禪人
- 示岑伯巖禪人
- 示夢雲禪人
- 示慈菴禪人
- 示發光禪人
- 示念如禪人
- 示太初法師
- 示毒鼓上座
- 示子朴上座

- 示我空上座
- 送無擇禪座上羅浮山
- 示靜休禪人 堊母
- 示恒一禪人
- 示棲壑靜主 之浙
- 示擴安禪人
- 示汪省菴居士
- 示黃心鏡居士
- 送盛翀吾居士
- 示本宗禪人
- 示林野禪人
- 示白齋禪人
- 示碧輝禪人
- 示順涯禪人
- 示古航關主

- 示李希仁居士
- 示禪人
- 示方赤城侍御
- 示六義禪人
- 示陳□□居士
- 示李借假居士
- 示詹智安居士
- 示古輝維那
- 示殊常二禪人
- 示智和禪人
- 示玄機禪人
- 示徐六嶽宮保元勛
- 示方心實徹侯
- 示詹見五勛卿
- 示顧醒石鴻臚

- 示徐南高回卿
- 示何天玉回卿
- 示俞容自勛卿
- 示徐孟麟侍御
- 示任文升侍御
- 示吳黃嶽侍御
- 示朱羅青民部
- 示蔡聖龍祠部
- 示龐序皇司馬
- 示曹安祖司馬
- 示吳泊如繕部
- 示王季常繕部
- 示白雉衡虞部
- 示周敏山水部
- 示金蘿石田曹

- 示吳鬯膏田曹
- 示丁蓮侶國博
- 示林如冲奉常
- 示吳文孫中祕
- 示汪叔度進士
- 示沈得一孝廉
- 示陳賁生孝廉
- 示徐六虛孝廉
- 示曹清之奉常
- 示陳允嘉廣文
- 示張時華參軍
- 示周元執參軍
- 示劉斗樞司馬
- 示吳淳太光祿
- 示葉翼所典謁

- 示丘言思宮端
- 示李在璞孝廉
- 示葉白於中翰
- 示余集生罔卿
- 示余周生都闔
- 示方士雄太學
- 示汪吉所居士
- 示陳旻昭文學
- 示余得之居士
- 示剡水禪人
- 示劉自度居士
- 示智璘居士
- 示悟言禪座
- 示吳觀我宮諭
- 示蔣熙臺居士

- 示湛如禪人
- 示江憶州居士
- 示張興公居士
- 示蕭若拙郡伯
- 示黃玄石居士
- 贈契玄上座
- 示孤月禪人
- 示金燦宇居士
- 示魁杓居士二
- 示龔可濟居士
- 示李虛雲居士
- 示劉自度居士
- 示李何事居士
- 示王元淳居士
- 示卓無量居士

- 示陳旻昭居士
- 示張興公居士
- 示楊仲宜居士
- 示顧長卿居士
- 示馬文先居士
- 示何允量居士
- 示姚鄰卿居士
- 示陳非白居士
- 示范爾培居士
- 示鄧直卿居士
- 示余未也居士
- 示齊羣玉太守
- 示方時生貢元
- 示姚純甫貢元
- 示張述之貢元

- 示齊理侯居士
- 示齊季籲居士
- 示胡康生居士
- 示胡凝生居士
- 示方奕予居士
- 示戴式其居士
- 示盛集陶居士
- 示姚申甫居士
- 示劉胤平狀元
- 示劉君含居士
- 示劉六合居士
- 示劉爾敬居士
- 示劉爾靜居士
- 示洞如禪人
- 示微密禪人

- 示慧林禪人
- 示慈水禪人
- 示宗伯禪人
- 示水澄禪人
- 示玄燦禪人
- 示云知禪人
- 示荊山禪人
- 示中和禪人
- 示道菴禪人
- 示弘覬禪人
- 示□□禪人
- 示寂常禪人
- 示智華禪人
- 示慧生禪人
- 示湛之禪人

- 示小枝禪人
- 示小止禪人
- 示曹印禪人
- 示玄京禪人
- 示瑞雲禪人
- 示恒如禪人
- 示葛皖伯居士
- 示純素禪人
- 示江達所居士
- 示許圓脩居士
- 示程君鑒居士
- 示芮含實居士
- 示覺海菴主
- 示眾禪人
- 示五葉侍者

- 示融愚禪人
- 示李虎雲居士
- 示劉自度居士
- 示齊寶明居士
- 示鄧九如居士
- 示李何事居士
- 示傅遠度居士
- 示方士雄居士
- 示劉今度居士
- 示楊仲宜居士
- 示姚鄰卿居士
- 示鄧直卿居士
- 示劉文長居士
- 示王元淳居士
- 示茹無簡居士

- 示陳非白居士
- 示熊飛卿居士
- 示葉對育居士
- 示余得之居士
- 示余未也居士
- 示鞠巖長居士
- 示鄧魯生居士
- 示張訥所居士
- 示王夢蘭居士
- 示姚亶卿居士
- 示吳叔達居士
- 示王君翰居士
- 示王闕卿居士
- 示徐貞可居士
- 示鄭謙臣居士

- 示蔡玉源居士
- 示□白生居士
- 示羅元清居士
- 示任徵生居士
- 示碧輝禪人
- 示瑞崖禪人
- 示葉鳧生居士
- 示魁吾居士
- 示華宇居士
- 示洪宇居士
- 示振宇居士
- 示蓮溪居士
- 示冲玄禪人
- 示陳濠濮居士
- 示方季康居士

- 示卓無量居士
- 示熊□□居士
- 示徐□□居士
- 示郭玄朗居士
- 示余慎爾居士
- 示端宇上座
- 示應時上座
- 示三藏殿以監院
- 示棲霞一監院
- 為六雪禪人入關
- 為六雪禪人出關
- 四公案拈示六雪座元
- 示方士雄居士
- 示謝在之居士
- 示汪心鏡居士

- 示吳鼎甫居士
- 示玄京沙彌割股愈母
- 示何芝嶽宗伯
- 示阮澹宇郡伯
- 示雪航禪人
- 示常菴禪人
- 示智鐫禪人
- 示彬穎禪人
- 示超塵禪人
- 示照浮禪人行脚
- 示成涵禪人
- 示志西禪人
- 示恒一禪人省親
- 示九如監院
- 示知止禪人送師回浙

- 示剖密禪人
- 示觀一禪人
- 示寶巖禪人
- 示自繇禪人
- 示印文禪人
- 示石隱等琨侍者
- 示曉宇禪人
- 示石浪禪人
- 示穆禪人
- 示玄詮禪人
- 示道開禪人
- 示筵禪人落髮
- 示甫中禪人
- 示印宗禪人
- 示捷初禪人

- 示陳之望居士
- 示去非禪人
- 示僧
- 示印空禪人
- 示沈東華使君
- 示智璠居士
- 示古邦居士
- 示樵陽居士
- 劉和鶴居士赴試春官以草履送之兼示四偈
- 示周肯成居士
- 示胡法野居士
- 示平宰居士
- 示余毓蟾太守
- 送彭質先學博
- 示寫照寶林居士

- 示黃子義居士請經回
- 示素真居士請經回
- 示越山禪人
- 建安江岸示青林諸弟子
- 示眾禪人
- 示楊蘭似居士
- 示伏虎寺龍泉禪人
- 示剡水船居
- 示自空禪人
- 示蔣一个居士薦母
- 示連茂宇居士
- 示道開禪人
- 示放生者
- 示黃海岸司理
- 四咨

- 淨土偈(有序)
- 宗教答響
 - 參悟品第一
 - 淨土品第二
 - 止觀品第三
 - 戒律品第四
 - 布施品第五
 - 願力品第六
 - 懺悔品第七
 - 福報品第八
 - 釋疑品第九
 - 回向品第十
- 宗說等錫
 - 示金庭蔡坦如居士
 - 示壁如禪人

- 示證之禪人
- 示象先禪人
- 示超乘禪人
- 示寓中禪人
- 示道揆禪人
- 示同水禪人
- 示雪憨禪人
- 示弘傳禪人
- 示夢西禪人
- 示有文禪人
- 示無遷禪人
- 附或問 示壁如禪人
- 示蔣月船居士
- 示等健行者
- 示吶然上座

- 示袁夫人
- 示不畏禪人
- 示何惺谷居士
- 示惟岳禪人
- 示量如禪人

● 書

- 與鄭方水大宗伯
- 與詹定齋廉憲
- 與鄭雲梅司理
- 與趙□□司理
- 上憨山大師乞壽昌塏銘
- 與沈東華廉憲
- 與林季翀大宗伯
- 與余毓蟾郡丞
- 與沈□□孝子

- 與余文台居士
- 與吳觀我太史
- 與何芝岳相國
- 與蔣一个文學
- 復□□□侍御
- 與何惺谷居士
- 與徐止觀居士
- 上樊山王
- 與陳熙塘方伯
- 復余集生居士(附請書)
- 與余集生同卿
- 與陳若來使君
- 與徐澹初孝廉
- 與陳四游中丞
- 與葉童真居士

- 與泉州諸禪人
- 復邢梅陽孝廉
- 與劉胤平太史
- 與阮澹宇郡伯
- 與徐六岳元勳
- 與王維新郡伯
- 與俞容自勳卿
- 與余未也昆季
- 復方士雄太學
- 復居士
- 復沈得一居士
- 與頑石禪人
- 與善來禪人

● 啟

- 復何菲莪大司寇

- 復張中丞
- 復黃孝廉
- 復
- 復陳
- 復黃惺源諸居士
- 復魏國徐六岳居士(附請啟)
- 復南都見任眾居士(附請啟)
- 復南都眾鄉紳居士(附請啟)

● 序

- 重刻五燈會元序
- 重刻禪警語序
- 萬佛名經壇儀序
- 維摩經折衷疏序
- 地理統一全書序
- 重刻醍醐集序

- 重刻圓覺經序
- 重刻蓮宗寶鑑序
- 建州弘釋錄序
- 送老父還鄉序
- 八關戒序
- 生生社戒殺放生序
- 報恩品序
- 壽趙湛虛居士七袞序
- 壽黃心鏡居士五袞序
- 引
 - 題顧醒翁居士園菴齋亭引
- 跋
 - 正觀禪人刺血書華嚴諸經跋
- 記
 - 惟德禪人血書經記

- 文

- 念佛文為棲霞一門禪人說
- 放生文為報恩自觀以之二禪人說
- 奠壽昌和尚
- 奠鷺湖和尚
- 祭文
- 祭萬融上座
- 祭趙湛虛居士

- 疏

- 廣福菴化藏經疏
- 覺慧寺化藏經疏
- 峯頂和尚壽塋疏
- 護生社募緣疏
- 阿育王寺募脩舍利殿疏
- 天心寺募飯僧田疏

● 壽言

- 上壽昌和尚七十
- 上峯頂和尚七十
- 壽懷白禪人
- 壽清溪居士
- 壽東湖居士
- 壽舒城芝泉孔君
- 壽廬山印心法師
- 壽余文台居士
- 壽方時生居士
- 壽余夫人
- 壽熊母
- 贈天頤居士造壩壽母
- 壽芝泉翁
- 壽李元谷居士

- 壽知非元座六袞
- 壽圓然法弟
- 壽玄鏡成宗
- 壽萬融上座
- 壽黃心鏡居士
- 壽智諳禪人

- 輓辭

- 禮壽昌先和尚塏
- 吊憨大師
- 輓劉和鶴孝廉
- 輓齊羣玉郡伯

- 詩

- 登喝水巖有感
- 送老父歸
- 偶成

- 畚山
- 和程邑令韻
- 與詹定齋廉憲游白龍洞
- 答鄭松門太史
- 答粵東李山人
- 和曹能始大參韻
- 和陳□□居士韻
- 和安□□居士韻
- 和林□□居士韻
- 和李□□居士韻
- 和熊無用居士韻
- 和吳本如司馬韻
- 和謝中隱居士韻
- 釣魚臺度歲
- 雪夜哭父

- 到舒城
- 渡河
- 碧潭禪友
- 訪東源晦臺上人
- 別黃惺源居士
- 別林衡庭居士
- 別林優德居士
- 別盧□□居士
- 次曹能始大參韻示諸同行者
- 初入鼓山見梅花偶成
- 次韻答阮圓海回卿(七言絕有序)
- 次韻答劉胤真居士(有序)
- 次韻答齊員債居士
- 鄱湖鞋山
- 與吳公良居士

- 與蔣一个居士
- 與吳石生居士
- 與劉雁先居士
- 寓邵武西墘早粥
- 過紫霞關
- 白牯菴四景
 - 洗耳泉
 - 聽經石
 - 烏道門
 - 醉墨蕉
- 松下行
- 竹下飲
- 放生池
- 野吟
- 過水松方丈

- 舟次梅溪
- 屏石上人舟中水觀
- 歌
 - 如意菴歌贈智公
- 博山和尚傳
- 中興信州博山能仁禪寺無異大師塏銘并序
- No. 1435-F 募刻祖翁異和尚廣錄序

卷次目錄

- 第一
- 第二
- 第三
- 第四
- 第五

- 第六
- 第七
- 第八
- 第九
- 第十
- 第十一
- 第十二
- 第十三
- 第十六
- 第十七
- 第十八
- 第十九
- 第二十
- 第二十一
- 第二十二

- [第二十三](#)
- [第二十四](#)
- [第二十五](#)
- [第二十六](#)
- [第二十七](#)
- [第二十八](#)
- [第二十九](#)
- [第三十](#)
- [第三十一](#)
- [第三十二](#)
- [第三十三](#)
- [第三十四](#)
- [第三十五](#)

[贊助資訊](#)

編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2014」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 1.1 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示。（部份 ePub 閱讀器可能無法呈現指定的顏色）
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

No. 1435-A 無異禪師語錄序

大光明中。無物不有。無物不空。真俗二諦。於中影現。
一點靈明。溷入知見。一念瞥起。認為安身立命之處。或
遷轉不停。或堅凝不化。其升其沉。一任造物播弄。大丈
夫宇宙在手。造化生心。奈何聽氣命機甘心作役。夫導我
者而豈徒哉。不肖於童稚之年。潛思出要。耿耿在心。數
上公車。艱於一第。謬徼恩命。司理信州。聞博山自天
台韶國師開闢以來傳燈不絕。今者無異大師嗣祖。而橫出
一枝。建立宗風。隨機唱導。閱四載始造而請焉。覩其神
情超朗。如獨鶴摩空。而又熏然慈和。不自標異。叩其
中。淵乎其不可測也。夫既目擊而道存。已傾蓋無他語。
蒲團對坐。咨決心疑。弟子出函見示。乃師上堂語。是日

大暑。揮汗如雨。披閱間。忽似微風庭樹山嵐俱生。涼氣透體。爽然炎蒸如失。師於此際起而問曰。還會也未。余時無言。悵悵而別。嗚乎拈花相授。誰知微笑之風。鼻孔撩天。孰是拏雲之手。是為序。弟子 趙士禎 和南題

No. 1435-B 錫類法檀序

夫世間人。不能行出世間孝。而出世間人。乃能盡世間孝。以余觀于錫類法檀之篇。則博山大師無如矣。生致其養。沒致其思。世間孝也。師則行之。情致其劄。性致其徧。出世間孝也。師則盡之。幼痛悲母。及長宦學。而過聞慈父之喪。有懷二人。代衰以染。古人大事未明。如喪考妣。師當此際。是實非如記所稱。充充如有窮。皇皇如

有求。而弗得。將此深心。向船子藏身那畔。穿却阿爺法。
身鼻孔。六年夢破。曠劫冰消。邈得雲巖。高縣寶鏡。靈藐日。
衣不挂。孝滿曹山。驀地相逢。久遠如昨。敬田悲水。征。日。
矣三公。淨土禪波。勗哉九品。泊乎西往。遂矣東征。心。
照高山。雨滋小草。數株宰樹。垂妙蔭于桐。一瓣孤滯。
香。胃祥煙于浮渡。脫也長觀震旦。玉殿無過列鼎。重茵衣底。
空門。詎覩新豐。就養無方。釀悲海之醍醐。茂慈山乎肥。
惡。世出世孝。一雙舉。覺華散彩。我大師之為錫類主乎。蓋聞。
空谷傳聲。唱訓錫類。義而待浮木。精如盲龜。果欲瞪目。失法檀。
有種似種。是錫。如不為大。人痛。心疾首。暝後再甦。全歸父。
拜大。師之錫。而得。撒手。瞥遇親娘。絕後再甦。全歸父。
祇。永沉劫海。懸巖撒手。瞥遇親娘。絕後再甦。全歸父。
寤寐思服。懸巖撒手。瞥遇親娘。絕後再甦。全歸父。

國中按劍。殺盡安居。鵠卵宵啼。鶴毛曉墮。正恁麼時。
還有博山禮敬回向處也無。還有博山應緣垂化處也無。還
有博山著投子布衫。搥浮山法鼓處也無。直得。石火光
中。忙追鞭影。空花枝上。閒掇衣珠。一回鸞鳳冲霄。當
處羚羊挂角。但了白雲常倚。莫問青山不知。生死情剗。
心心不觸。涅槃性徧。步步還鄉。無始劬勞。剎那報足。
大孝不匱。猶曰海之一滴。何況其餘。如或未然。且從錫
類篇中。作箇蠹魚。隨分咬著一字半字。他生後世。返擲
有日在。弟子廣淪吳應賓和南謹序

No. 1435-C 賸錄序

先壽昌。於法門寂寥之際。言中有響。脚下無私。使洞上
一宗復振。厥功偉哉。玉山垂示。推倒博山。水到渠成。

通身是口。譬如空中樓閣。面面玲瓏。法音光明。徧照恒
河沙世界。天下翕然宗之。余再謁博山於壽昌。特蒙印
契。遂以事。先壽昌者事之。客冬道過懷玉。晤六雪間公
於瀛山。出示牘錄一編。重覩生面。如析梅檀樹片片皆
香。固佛法中標準也。向上玄機。離文字相。且道。博山
先師還有牘語也無。自從胡亂後三十年。未曾少鹽
醬。弟子黃端伯稽首和南撰

No. 1435-D 禪警語序

警乃醒覺之義。或云驚也。譬有賊瞰巨室。主人張燈夜坐
堂皇之上。警欬作聲。賊思不能便。稍爾昏睡。則乘間而
入。橐為之傾。故嚴城擊柝。刁斗鳴轅。卒有變而無虞。
以其警備於機先也。人有生死大患。乃萬劫不醒之長夢。

身尤。髓門。何向。死癡。者非。曾是。病過。
終。魘伽。禪是。體。不。向。是。病。非。正。大。病。
則。眼。一味。參。真。無。殺。或。便。我。業。相。應。安。量。中。
醒。開。一。把。緊。假。識。膺。得。是。名。理。箇。無。悟。
警。晝。用。當。喫。假。識。膺。得。是。名。理。箇。無。悟。
語。白。當。喫。假。識。膺。得。是。名。理。箇。無。悟。
痛。即。王。簡。為。也。心。死。不。都。此。身。只。箇。無。悟。
雄。主。醫。捷。最。禪。被。心。通。球。與。在。德。真。
之。主。大。直。夫。解。古。靈。然。不。可。自。身。人。
覺。不。來。作。語。也。人。利。通。球。與。在。德。真。
大。不。來。作。語。也。人。利。通。球。與。在。德。真。
有。不。來。作。語。也。人。利。通。球。與。在。德。真。
不。時。力。警。工。轉。情。或。不。滅。佛。做。輕。清。淨。古。
寶。但。悲。願。禪。示。做。九。執。或。不。滅。佛。做。輕。清。淨。古。
家。非。乘。有。其。金。多。中。甲。斷。著。心。下。籬。裏。是。誠。
劫。日。師。故。世。人。解。事。難。狂。種。在。飯。何。吐。
日。日。師。故。世。人。解。事。難。狂。種。在。飯。何。吐。
媒。無。大。病。透。過。亦。禪。向。在。無。根。成。種。坐。德。蓬。
賊。了。博。狷。說。亦。參。便。坐。故。甚。死。椀。問。栗。
為。了。博。狷。說。亦。參。便。坐。故。甚。死。椀。問。栗。
亦。夢。故。療。狂。都。新。乎。上。殺。不。得。假。饒。關。僧。如。
況。醉。甚。遍。中。切。有。機。裏。心。禪。病。躅。禪。源。

底可通。知精僚。即為病而主。執是云羣。
痛人融。不理見禪。以之無妄想。即受。
識調是。人義照說。者善身。特道偏不計。解。
息後極。使其鏡。識何者。在法外。不著。
氣然。道談。到。玉善。盡。身。破。及。外。若。
絕己。此之。用。宮。稱。不。救。汗。蓋。有。事。外。
要。調。究。著。到。行。握。秦。不。救。汗。蓋。有。事。外。
錐。去。病。參。玄。行。到。如。盪。亦。善。貼。事。不。魔。則。境。
下。能。自。高。到。如。盪。亦。善。貼。事。不。魔。則。境。
亂。大。師。為。說。病。踞。說。有。病。為。佛。時。五。蘊。計。善。
不。病。山。非。見。說。禪。今。難。寧。有。病。為。佛。時。五。蘊。計。善。
自。識。博。繁。見。說。禪。今。難。寧。有。病。為。佛。時。五。蘊。計。善。
處。以。歟。繁。見。說。禪。今。難。寧。有。病。為。佛。時。五。蘊。計。善。
手。是。歟。繁。見。說。禪。今。難。寧。有。病。為。佛。時。五。蘊。計。善。
垂。視。良。醫。中。履。所。以。快。得。禪。數。茶。飯。游。戲。看。楞。成。勝。
其。診。為。皆。實。礙。隱。儷。法。身。假。中。道。昔。然。不。
來。肯。肱。句。證。無。毫。罕。病。於。故。病。中。以。
一。方。折。言。日。親。才。一。妙。之。病。以。於。故。病。中。以。
番。漢。謂。凡。乃。明。肝。如。法。妙。已。自。故。今。為。

邪。法華云。有一導師。善知通塞險難道路。故能導彼眾人。前至寶所。然則大師此書。正末世舟航。初心徑路。豈但有益於今日。亦有補於將來。決欲參禪做工夫。求大悟門。肯細觀此書。大有相為作略。能使疑情發不起處發起。病根點不破處點破。如披沙露寶。要渠自取。如開霧見天。使人不迷。截路中有出身之路。死句裏有活人之句。如圓珠走盤。不滯一語。其妙用如此。人人知此用心。可以坐睡見道。不費許多草鞋錢。直到大安樂田地。與佛祖同一鼻孔通風。有能以此自警者而警眾。復以此自愈者而愈人。亦名現在醫王。使祖師命脈流通。國脈與慧脈竝固。庶不負大師垂示之方便願力云爾。是為序。

萬曆辛亥歲孟秋月弟子劉崇慶和南題

No. 1435-E 宗教答響序

善問者。如攻堅木。先其易者。後其節目。及其久也。相說以解。善待問者。如撞鐘。扣之以小則小鳴。扣之以大則大鳴。待其從容。然後盡其聲。不善答問者反是。學問之道。無不皆然。而況佛祖法門。生死大事。而可瞶[目*董]鶻突。若捉影捕風。揣摩測度。若鑽龜卜瓦者哉。夫所謂不善答問者。豈必誠不善也。蓋有自號為知識。而轉墮於不善者何也。有意為善。斯不善已。吾讀宗教答響。擘分肌理。兼總條貫。遂使箭括鋒尖的有正鵠。劍刃上事化為坦途。問者本分。答者當機。善之善者也。過此以往。或居士應更有相說之解。大師應更有從容之聲。思惟路絕。言語道斷者。余雖不敏。尚願與聞之。戊辰秋月弟子張瑞圖書於博山叢林。

無異禪師廣錄總目

- 卷首
 - 語錄序(趙士禎撰)
 - 錫類法檀序(吳應賓撰)
 - 賸錄序(黃端伯撰)
 - 禪警語序(劉崇慶撰)
 - 宗教答響序(張瑞圖撰)
- 卷一之三
 - 住信州博山禪寺語錄
- 卷四之五
 - 住建州董巖禪寺語錄
- 卷之六
 - 住建州仰山禪寺語錄

- 住福州鼓山禪寺語錄
- 卷之七
 - 住金陵天界禪寺語錄
 - 小參
 - 晚參
- 卷之八
 - 茶話
 - 普說
 - 問答
- 卷九之十
 - 拈古
- 卷十一
 - 頌古
- 卷十二
 - 佛事

- 佛祖讚
- 自讚
- 卷十三之十五
 - 禪警語
 - 開示偈
- 卷十六之十九
 - 開示偈
- 卷之二十
 - 淨土偈
- 卷二十一之二十五
 - 宗教答響
- 卷二十六之二十七
 - 宗說等錫
- 卷二十八之三十
 - 書

- 卷之三十一
 - 啟
 - 序
- 卷之三十二
 - 序
 - 引
 - 跋
 - 記
 - 文
- 卷之三十三
 - 文
 - 疏
 - 壽言
- 卷之三十四
 - 輓辭

- 詩(五言古 五言律 七言律 七言絕 六言絕 五言絕)
- 歌
- 卷之三十五
 - 博山和尚傳(劉日杲撰)
 - 塏銘(吳應賓撰)
 - 緣序(弘漸撰)

總目(終)

No. 1435

無異禪師廣錄卷第一

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

住信州博山能仁禪寺語錄

師住博山有年。禪衲輳集。未嘗開法。因壽昌五致書。相
趣出世。乃陞座拈香云。此一瓣香。金藏雲而巖枝榦。香
水海以潤根株。龍樓迎瑞。而紫氣飛騰。寶殿籠煙。而祥
雲遍布。爇向爐中。端為祝延

今上皇帝聖壽萬安。

皇后齊年。太子千秋。福基同華藏以莊嚴。壽筭共毗盧而
等量。更祈檀那衍慶。海眾安和。此一瓣香。淨明日月。
曠蕩乾坤。空覺性而無佛無生。熏萬彙而有因有果。爇向

爐中。專伸供養。

壽昌堂上本師無明大和尚。用訓法乳之恩。斂衣就座。白
椎竟。師乃云。佛不裹。山潤猿長嘯。會不得也。目前包裹。
金林疎鳥不驚。會不會總目前包裹。空宣無相偈。即此包
裹。也須包裹。水操沒弦琴。諸昆仲於此徹去。以須彌山
作四大海。白浪滔天。以四大海作須彌山。紅塵滿地。烹
虛空之髓。而滋味恒新。挑水底之燈。而光明巨大。者裏
無加芒索。箇中何用金針。所以道。指南一路。智者知
疎。向上一機。石人撫掌。開彌勒之樓閣。而行願重重。
躅毗盧之頂門。而毫光爍爍。到此則步步通玄。智不能
知。識不能識。諸昆仲。此是故鄉景象。若肯就路還家。
便得轉身歸父。還肯麼。自是不歸歸便得。五湖煙景有誰
爭。

上堂。揣虛空骨。吞栗棘蓬。剖開塵界。妙運寰中。白雲
七片八片。籬菊一叢兩叢。分明漏洩西來意。幾多眼耳尚
盲聾。諸昆仲仔細窮。更有泥牛吼月。木馬嘶風。分明向
伊說破。赤肉團上。有一焦尾大蟲。咦。莫把黃金當作
銅。

上堂。即心即佛。馬大師板齒生毛。非心非佛。馬大師眼
光落地。不是心。不是佛。不是物。王老師相隨來也。博
山總不恁麼。白蘋及翠羽。野老笑相親。博山總作恁麼。
寰中天子勅。塞外將軍令。還知博山意麼。若知博山意。
便會祖師意。若知祖師意。便會諸佛意。若知諸佛意。便
會自己意。諸昆仲。不可虛延歲月。蹭蹬過時。猛著精
神。發明斯道。始不被天下老和尚舌頭礙也。當知天下老
和尚。共一雙眼睛看人。共一箇口皮吐氣。諸昆仲還會

麼。雲來碧岫山裝面。月到澄潭水畫眉。

上堂。傾湫倒嶽。大地全收。簸土揚灰。纖毫不立。全收則該羅廣博。須知白晝雞鳴。不立則澹泊虛明。誰解紅塵犬吠。是佛亦打。是魔亦打。管甚船來陸來。饑也一餐。飽也一餐。且喜柴乾水便。沒蹤跡莫藏身。一雙赤手。逢人且乞一文。藏身處沒蹤跡。兩朵攢眉。遇佛堪消三拜。吾在藥山二十餘年。方明此事。親言出親口。莫使外人聞。諸人藏身處。博山總知。博山藏身處。諸人不知。諸昆仲。今日在此法筵。不免覲面相呈。若到諸方。逢人不得錯舉。珍重。

上堂。冬不寒臍後看。老儂不愛雪。稚子哭衣單。惟有東村一箇沒徧[仁-二+(天/韭)]漢。鬢頭垢面。赤手空拳。寒不怕寒。熱不怕熱。最冷唱箇雪詞兒。最饑做箇糶米漢。

無一文錢。要與天下人鬪富。無一分色。要與大地人爭
妍。有時在十字街頭。倒騎鐵馬。有時在西洋大海。逆上
須彌。有時在烈火燄中。嚼冰嚙雪。有時在紅塵堆裏。搯
草挑燈。有時指東話西。有時呼南為北。將三乘法塹。以
作門牆。指十地菩薩。而為眷屬。諸昆仲。斯人還合伴不
合伴。復笑云。已被博山收下了也。

上堂。鷺湖云。瞠却眼兮剔起眉。反覆看渠渠是誰。洞山
云。渠今正是我。我今不是渠。石霜云。渠無國土。何處
逢渠。或有云。渠無生死。或有云。渠儂得自繇。或有
云。渠不作箇解會。諸昆仲。渠者何物。為與眼對。不與
眼對。若與眼對。則成二物。不與眼對。因甚反覆看渠。
若直下看破。便會得渠正是我。我不是渠。若會得我。不
是渠。便能獨蹈大方。孤峯自立。正不立玄。偏不附物。便
會得渠無國土何處逢渠。既無國土。無量劫來。求生相了

不可得。求死相了不可得。便會得渠無生死。果無生死。
不千自繇百自在。便會得渠儂得自繇。若到恁麼田地。言語
道斷。心行處滅。便會得渠不作為箇解會。博山此語。如浪
擊銀山。花開碧岫。石女揚眉。玄猿捕影。三歲孩兒頭似
雪。礪底游魚忙不徹。展似眉毛作麼生。分明底事叮嚀
說。諸昆仲。且道叮嚀事作麼生。雙手拍開銀世界。縱橫
誰辯往來源。

上堂。至理不渝。至功不宰。至道不形。至了不辦。於此
四句相應。便做箇灑落衲僧。眼不染玄黃。脚不沾泥水。
意不緣諸法。舌不親玄旨。到此則圓機普應。玄度該通。
淨體無依。靈明絕待。所以玄沙大師云。羅籠不肯住。呼
喚不回頭。古聖不安排。至今無處所。諸昆仲。今時禪
者。不信自心是佛。向外求佛。不信自心具足諸法。向外
求法。既昧自心。縱有弘為。皆生死之業耳。又當知。求

佛求法。即有所依。既有所依。於自心不得自在。譬如窮
子。矜嵬辛苦。乞食自濟。昧却衣裏無價寶珠。豈智者
乎。夾山大師偈云。勞持生死法。惟向佛邊求。目前迷正
理。撥火覓浮漚。無事久立。珍重。

誕日上堂。本無今有。笑看鏡裏狂花。本有今無。攪動巖
前湛水。一片白雲瀾漫。幾多花鳥迷蹤。拶碎虛空。鑪鞴
烹煎佛祖。高揮寶劍。草鞋救取貓兒。還他一箇皮囊。羸
得五湖明月。所以大覺世尊。捨王宮入雪山。覩明星開道
眼。於三七日中。思惟是事。然後開權顯實。說三乘法。
及至末後。拈花示眾。便云。有教外別傳。簡點將來。如
夢境相似。博山生居黎庶。無王宮可捨。遊化東土。無雪
山可入。大地黑暗。無明星可覩。奴郎不辯。無道眼可
開。然則貴賤雖殊。要且頭腦相似。自幼便可以憐生。二十
以前。成家樂業。二十以後。花孽家財。三十以前。向北

鎗。位。你。博。山。一。師。餘。說。時。如。可。將。過。壽。然。霧。
五。鉤。你。博。一。國。十。得。境。生。不。又。以。壽。藏。前。雲。
碎。不。你。鉤。錐。韶。數。不。夢。無。得。減。海。覆。巖。前。
洲。却。錐。天。台。亦。破。生。可。增。竭。可。覆。巖。前。
部。博。錐。十。自。繼。面。看。其。不。可。娑。不。棲。
贍。你。有。四。基。紹。相。人。夢。中。本。凡。高。天。地。云。
南。我。當。基。紹。諸。說。箇。無。聖。妙。高。天。地。云。
在。兒。住。正。地。克。耶。不。得。無。以。壽。良。久。云。
後。鈎。要。今。日。古。耶。不。得。無。以。壽。良。久。云。
以。有。你。一。道。者。無。何。以。可。為。移。界。為。
十。我。後。眼。裏。有。信。有。面。何。不。身。遷。法。十。
三。去。以。螟。博。雲。是。諸。說。有。身。眾。不。空。遍。四。
胄。要。十。蟻。博。雲。是。諸。說。有。身。眾。不。空。遍。四。
玄。你。在。裏。載。法。耶。不。得。佛。日。盡。麼。喚。傳。
三。前。任。者。餘。說。有。不。可。以。壽。以。甚。今。古。
解。以。萬。里。不。千。在。無。面。滅。劫。損。今。日。下。
越。十。里。你。山。不。千。在。無。面。滅。劫。損。今。日。下。
單。四。千。錐。博。來。今。日。本。人。無。壽。來。可。是。伏。
鬱。旗。任。却。息。創。年。夢。何。得。何。去。燥。雖。捲。

大一段。正尾。不可。病根。日裏。偷逆。不放。土為。雖然。看說。妙。
下。正。病。為。時。暗。不。第。十。從。以。乎。心。談。玄。
衣。頭。種。何。計。不。第。七。骨。得。可。他。發。云。
衲。便。多。耳。不。第。四。封。風。不。僧。其。一。日。久。
週。真。禪。業。第。一。火。迷。傷。第。十。二。白。何。初。良。
云。心。其。魔。第。一。火。迷。傷。第。十。二。白。何。初。良。
候。得。其。魔。第。一。火。迷。傷。第。十。二。白。何。初。良。
旬。立。得。皆。魔。第。一。火。迷。傷。第。十。二。白。何。初。良。
盡。要。始。進。犯。圍。不。第。九。高。淨。你。正。合。
告。須。根。精。鋒。不。第。六。步。能。不。假。生。折。
月。禪。得。能。傷。不。第。六。步。能。不。假。生。折。
年。參。識。縱。使。第。三。夢。短。為。長。步。能。不。假。生。折。
仲。論。要。根。免。第。三。夢。短。為。長。步。能。不。假。生。折。
昆。未。倒。識。頭。告。報。第。三。夢。短。為。長。步。能。不。假。生。折。
諸。也。顛。不。識。頭。告。報。第。三。夢。短。為。長。步。能。不。假。生。折。
堂。會。不。顛。不。識。頭。告。報。第。三。夢。短。為。長。步。能。不。假。生。折。
上。還。亦。不。顛。不。識。頭。告。報。第。三。夢。短。為。長。步。能。不。假。生。折。
夕。間。亦。不。顛。不。識。頭。告。報。第。三。夢。短。為。長。步。能。不。假。生。折。
除。事。其。不。試。第。二。光。風。把。得。下。金。如。看。恒。

臘八日上堂。維那白槌云。法筵龍象眾。當觀第一義。師
云。第一義作麼生觀。覷著則眼瞎。嗅著則腦裂。舉步絕
行蹤。動念非生滅。眼色耳音聲。心忘思路絕。古今諸聖
賢。同途而異轍。中峯水底琴。馬師天上月。投子手中
油。趙州庭前栢。博山無可示。梅花枝上洩。吐翠與含
芳。凝寒傲霜雪。清香滿十方。觸著通身血。捶手哭蒼
天。浮杯老結舌。諸昆仲。當時釋迦文佛。於臘月八日。
抖碎虛空。七花八裂。盡大地。無一人會得。所以寶坊
云。不是凌行婆。怎解同心結。

徐惟明居士請。上堂。大道絕方隅。靈明豈待尋。從來只
恁麼。作麼有疎親。灰頭土面。何曾蓋覆將來。利齒獐
牙。畢竟聲和響順。所以瑞巖每於石上喚作主人公。復應
云。惺惺著。他朝後日莫受人瞞。瑞巖大似勾賊破家。要且

傍觀者醜。博山今日不免和盤托出。倒廩傾倉。說似大眾去也。復以手指云。門外白雲千萬朵。籬邊紅杏兩三枝。

上堂。在迷迷悟。在悟悟迷。從來迷悟似迷。今日悟迷非悟。迷悟兩頭拽斷。聖凡更復何言。剔起眉毛。惜取眼中瞳子。綻開衣線。露出鐵石心肝。燈籠與露柱相交。佛殿共三門鬪額。赤手團成泥彈子。紅鑪煉就鐵饅頭。一任東擲西拋。畢竟埋光鏟彩。縱教野狐精。巖中脫[穀-禾+卯]。轉轉不錯。笑殺赤鬚老胡。要知水牯牛。山下投胎。卓卓全該。須是瀉山大士。諸昆仲。瀉山大士作水牯牛。博山頭角生已久矣。還有人證盟也未。良久云。達磨大士來。也放過一著。

元旦上堂。春風纔動春花開。春雨相催春水來。惟有通玄峯頂石。依前白蘚與青苔。大眾。如何是新年頭佛法。復

云。東西林下鳥。添得好音聲。

解制上堂。誰云結制仍解制。縱有成規俱不是。當空拋下
雲門柴。雪浪銀花匝地開。簡得多年破木杓。鷄子飛過新
羅國。你既無心我也休。後代兒孫笑酒樓。香巖粥飯長行
者。擊竹有聲聾兩耳。翻思昔日老靈雲。一見桃花瞎眼
睛。誰是迷兮誰是悟。春風觸著珊瑚樹。誰是悟兮誰是
迷。具足從前自家底。心不心兮物不物。連書幾箇向空
咄。諸昆仲。因甚麼書幾箇向空咄。復合掌云。我不敢輕
於汝等。汝等皆當作佛。

壽日上堂。三世諸佛。與博山同生。無影樹頭懸日月。十
二類生。與博山同壽。不萌枝上辯春秋。世界乾城陽燄。
佛生夢幻漚華。乾城陽燄而世界色色皆空。夢幻漚華而聖
凡心心寂爾。色色皆空。突出娘生面目。心心寂爾。縱橫

衲子胸襟。有問春秋多少。祇云花謝花開。更詢劫運短
長。誰道空成空壞。于斯領略。則古今非代而延促同時。
一念萬年而萬年一念。豈思議筭數年月日時而論耶。縱能
觀滄溟之水。幾度清淺。猶是客作漢耳。只饒寶掌住世一
千七十二歲。亦何駛哉。諸昆仲。且道。博山即今春秋多
少。若會得。好從者裏說來。其或未然。直須逆數到四十
年前。博山與大眾。別峯相見。

上堂。諸昆仲。凡心入覺。須善用心。不善用心。魔得其
便。所以一箇計字。出九十六種外道。一箇著字。出五十
蘊魔。及魔王眷屬等。具在教乘。不可不知。經云。譬如
有孔隙處。風則能入。搖動於物。而不自在。菩薩亦爾。
若心有間隙。心即搖動。而不自在。乃至成就。皆魔業。
耳。何謂魔也。歡喜是魔也。煩惱是魔也。昏沉是魔也。
掉舉是魔也。懼動是魔也。厭靜是魔也。喜談論是魔也。

愛遊行是魔也。乃至斥像毀經。破律犯戒。拈頌機緣。擅
開異解。詩賦詞章。文藝雜學。併貪求說法。悉是魔也。
所以博山教諸昆仲。提一則無意味公案。蘊在八識田中。
當下不知有血肉身心。前境不知有山河大地。非內非外。
滾作一箇疑團。行不知行。坐不知坐。如一人與萬人敵。
又如心心常似過橋時。直須發明此事。到磕著撞著。打破
疑團。通身是眼。縱遇釋迦大師。摩頂授記。佛亦不做。
何況魔軍而能入耶。諸昆仲如斯會去。誰不丈夫。雖然如
是。事怕有心人。直須當下一念無生。超彼三乘權學等
見。若將心令無心却成有。直須覓心了。不可得。即證超
魔法門。

上堂。水流濕。火緣燥。是水有魚。是林有鳥。喫飯咬著
舌頭。解道青天不用掃。諸昆仲須自了。同箇夜兮同箇
曉。試將此語播諸方。謾道荒田不揀草。更看雲門拄杖子

化為龍。吞却山河大地了。諸昆仲且道。博山即今在甚麼處。良久云。深固幽遠。無人能到。下座。

開光解制上堂。九十日期今已解。百千三昧許誰知。畫龍未必乘雲去。可惜人間十二時。十二時辰彈指過。眨起眉毛還是錯。衲衣撩起伴雲眠。盤陀石上松花墮。聞見清兮清亦非。法身無病不求醫。頂門突出摩醯眼。夜半烏雞帶雪飛。帶雪飛兮貴回互。金鳳不棲無影樹。縱橫十字數將來。佛祖位中留不住。留不住兮劈面來。兔角龜毛眼裏栽。今朝拄杖橫挑出。那箇男兒肯活埋。諸昆仲。今乃解制之辰。遇無量壽如來。為汝諸人。普作佛事。放大光明。照十方國土。無所障礙。更以無礙神力。將極樂娑婆。融成一界。若說是淨土。却是娑婆。若說是娑婆。即是淨土。且道無量壽如來。畢竟居何國土。今日博山親指出。分明一點座中圓。

上堂。諸禪德。見聞覺知即是佛法。佛法即是見聞覺知。
根本無明即是諸佛不動智。諸佛不動智即是根本無明。姪
怒癡即是戒定慧。戒定慧即是姪怒癡。若向者裏覷破。始
知達磨大師航海而來。祇是指示人現成具足底道理。且如
何是現成具足底道理。木人起舞非奇特。石女梳頭越樣
新。

峯頂上堂。舉十善道竟。復舉圓通機大師。居山二十年。
見伐木倒。豁然大悟。後九江太守。請主圓通席。遂與杖
草履登臺。說偈云。圓通不開生藥舖。單單賣箇死貓頭。
不知那箇無思筭。喫著通身冷汗流。師云。慚愧古人居山
二十年。祇悟得箇死貓頭。若是博山則不然。博山欲開生
藥舖。隨緣賣箇活貓頭。不知那箇有思筭。喫著通身鮮血
流。諸昆仲且道。與古人是同是別。良久云。若將情識

解。埋沒祖師心。

上堂。釋迦如來降誕西域。開場四十九載。談經三百餘會。末後拈花示眾。復云有教外別傳。貽累古今諸哲。祇與世人說些世法。何謂世法。明心見性是世法。戒定慧品是世法。三身四智是世法。五眼六通是世法。三乘十地是世法。十八不共是世法。三十七品是世法。六度萬行是世法。乃至成佛極果是世法。博山則不然。今與大眾說些佛法。何謂佛法。山河大地是佛法。日月森羅是佛法。鵲噪鴉鳴是佛法。乃至與諸昆仲。要笑謳歌是佛法。大眾會麼。若會得。是法住法位。世間相常住。其或未然。化城美境從君欲。惜蔽衣珠對月追。下座。

祖印院上堂。人天易集。淨土罕逢。今日迎來。宛然佛國。大眾。佛國則已至。還聞彌陀說法麼。良久云。須知

佛遍三千界。淨土渾敷八字間。

鄉親到上堂。瑤天慧月。耀古輝今。性地覺花。香郊馥
闔。汝等久離鄉井。一向矜竄。此日同筵。幸逢故戚。諸
昆仲。逢親戚遇故友則且置。敢問。還得家中音信也無。
若有可呈似。博山與汝親手開拆。其或未然。分付白雲常
守戶。側聽賓鴻送信來。

端午上堂。時逢昊仲。節屆端陽。城戶泛雄黃之酒。江鄉
聞欸乃之歌。人道是塵境紛紜。博山說法輪大轉。艾葉征
旗。掃九十六種外道。菖蒲利劍。碎五十蘊魔軍。古人於
此却說聞聲悟道見色明心。博山冷眼觀來。猶成鈍置。諸
昆仲。終日鐘鼓鏗鏘。此便是聲。作麼生是道。見今榴紅
柳綠。此便是色。喚那箇作心。於此明得。正好買草鞋行
脚。於此未明。也須恐懼。汝看塵境游戲之中。舟漂綠

水。錦奪磯亭。如穿玉錦之梭。似佈勾芒之令。穿波舞
掉。划彩逞能。到恁麼時。豈容擬議。若有毫釐遲怠。則
喪身失命了也。何況衲僧門下。胡風一扇。陸地行舟。駕
鐵艇於太虛。翻玉波於峯頂。搏猛虎喉中。雀。解驪龍領
下之珠。直須不顧危亡。到手始得。正恁麼時。還有拋舟
罷柁。與博山同遊戲者麼。若有。可請出來。與吾相見。
若無。山僧自逞神通去也。拈坐具。作搖艖勢云。會麼。
道院迎仙客。書堂隱相儒。衲僧門下異。珍重赤鬚。

元旦上堂。拈香祝聖竟。次拈香云。此一瓣香。虛空包不
住。大地載不起。薰向諸人面前。諸人要且識。釋迦大
師得之。便云。普見一切眾生。具有如來智慧德相。祇因
妄想執著。而不能證得。迦葉得之。破顏微笑。便云。覓
我者。是汝我。阿難得之。結集聞持。副二傳化。商那和修
得之。便云。身十七。性非十七。乃至。達磨得之。與二

十七祖辯珠云。此是世寶。未足為上。為上。於諸寶中。法寶為世。上。此是世。明。未足為上。於諸明中。心明為上。二祖得之。便云。信心。當覓心道斷。非去來今之一物。何處惹塵埃。乃至。天童得之。便言生生不。五祖得之。便云。姓即有。不是常得之。便云。一口吸盡西江。一脚蹋殺天下人。今日博山還識得也。未揚眉鼓舌。拈來撒出。祇要諸人識去。人天眾前。便好識去。若識得。便證香光莊嚴。若未識。不生。豈不見。大緣與性合。當生生不生。

上堂。洞山大師云。地獄中苦未為苦。向衣線下。不明大事。是為最苦。此大事既在衣線下。因甚不明。祇因無始

以來。心境交加。幻出一切色相。塞諸人眼根。幻出一切
好惡音聲。塞諸人耳根。幻出一切香臭。塞諸人鼻根。幻
出一切甜酸苦淡。塞諸人舌根。幻出一切細滑麤澀等相。
塞諸人身根。幻出一切緣慮等心。塞諸人意根。諸昆仲。
要得一生取辦。須將從前所學所習底。世法中伶俐心機巧
心。佛法中語言相文字相知解相。盡情放下。做一箇淨白
底衲僧。然雖如是。也要知衲僧溪深杓柄長始得。若會
得。酌水獻花。隨宜得用。其或未然。喫飯也須防沙。喫
水也須防噎。

上堂。僧問。金鐘纔扣。雲堂已露真風。法鼓重鳴。海眾
更申敗缺。正當恁麼時。和尚如何結案。即卓拄杖云。山
水之間。得渠儂力。進云。某甲從此信入去也。師云。信
後如何。進云。向後與和尚更道。師云。分作兩橛作麼。
又僧問。昔九座大師云。我今日向孤峯絕頂。駕一隻鐵

網金鱗。因甚猶還滯水。師云。度盡無餘影。還他越涅槃。進云。恁麼則縱橫滄海濶。騰躍萬波隨。師云。作麼生說箇騰躍底道理。進云。分明頭角久。春江雨露微。師云。念文章可惜許。師復拈拄杖云。還有問話者麼。眾無對。自云。今日老僧失利。

上堂。天晴日頭出。雨灑偕前濕。分明舉似人。只恐信不及。諸昆仲。開眼見明。閉眼見暗。一等是見。因甚被不明暗遷移。若要頓明此事。除是不造生死業始得。如何是生死業。厭煩惱趨菩提。是生死業。求大涅槃是生死業。分科列目。敷文演義。是生死業。捨垢取淨。是生死業。窮玄究妙。是生死業。有得有證。是生死業。不脫對治門。是生死業。乃至陞堂入室。問來答去。盡是生死業。若要脫此生死業。直須兀兀騰騰。恁麼過時。夏則排窻。冬則附爐。饑則喫飯。寒則添衣。若以世法商量。便成滲漏。

更將佛法理會。正是眼中著屑。

誕日上堂。僧問。莊子八千椿。正眼觀來。猶存數量。大
通塵點劫。衲僧門下。尚在半途。壽等虛空。泯絕途量一
句。請和尚指示。師云。玄沙元是謝家郎。進云。和尚與
玄沙同生去也。師云。年年桃李樹。處處白紅花。進云。
者箇且置。祇如當時韓文公。問大顛和尚。尊壽多少。顛
提數珠云。晝夜一百八。今日座中。諸大檀越。或問和尚
法臘多少。和尚如何應對。師云。漩澗黃河水。一年幾度
清。進云。如是則和尚與大顛。人有今昔。壽無兩般去
也。師云。乾三長坤六短。進云。冰桃雪藕非為敬。直奮
空拳上法王時如何。師云。坤在上乾在下。僧禮拜云。謝
和尚答話。師乃云。天地旋。山河走。石女生兒。世間希
有。白向本爺娘。乾坤兩眉皺。今日無端舉似人。灼然笑
破虛空口。諸昆仲。若道博山有生。是不諳佛法。若道博

山無生。是不諳世法。生與無生。拈放一邊。且道。四大色身。從甚麼處得來。良久云。乾闥婆神無限樂。宮商不與世和同。首座問云。石女生兒得幾箇。師云。五男二女。進云。和尚生身父母。在什麼處。師喝一喝。下座。

無異禪師廣錄卷第一

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【中華電子佛典協會資料庫版權宣告】

無異禪師廣錄卷第二

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

住信州博山能仁禪寺語錄

佛成道日上堂。僧問。雪覆千山無點白。雲空萬里絕纖埃。未審甚麼人。到此境界。師云。無縫襖子足風涼。進云。向上更請和尚道。師云。秦望嶺頭雲。楚人那得見。進云。還許學人進語也無。師云。試說看。進云。恁麼則禮拜去也。師不顧。乃云。法本法無法。庭前瑞草和根

上堂。諸昆仲。靜則埋根千尺。動則當處生苗。直饒不動
不靜。未免飄飄颿颿。所以臨濟大師。三遭痛棒。如拂蒿
枝相似。洞山不解無情說法。百城重脍。未足為勞。雲門
夾斷脚脛。方知痛癢。瀉山見火星。始乃瞥然。法眼一切
處現成。千了百當。此是古人分上事。今人又作麼生。若
言古人有大根大行。此是自生下劣之想。性燥漢。當陽一
擊。大地百雜碎。毗盧遮那如來忍痛不禁。入一微細眾生
身中。作廣大佛事。諸人還聞見麼。若聞。便好觸瞎汝眼
根。若見。便好[祝/土]聾汝耳根。直饒聞見不生。正好喫
博山痛棒。何以故。不是與人難共住。大都緇素要分明。

上堂。異地生靈苗。面南看北斗。無陰陽地上。幻出萬狀
千形。正眼觀來。仍成過咎。諸昆仲。口生白醜。未必知
有異路玄提。東山水上行。又作麼生折合。卓拄杖云。千
古有餘力。縱橫驗正邪。

元旦上堂。洪鈞初轉篆煙斜。拄杖重開劫外花。賸有幾多
饒益事。春風偏向破袈裟。諸昆仲。即今是元正啟祚。且
道。老僧袈裟下。有幾多春色。首座云。抖擻不下。師
云。闍黎分上。又作麼生。進云。夜深彌勒穿廬過。手擺
金襴笑掣顛。師拈拂子云。拂子頭上顯現。闍黎還見麼。
進云。聖人端居大位。自然海晏河清。未審。佛日皇風如
何並化。師云。全憑一句無私語。掃盡煙塵報聖堯。眾禮
退。

上堂。撲落非他物。縱橫不是塵。山河并大地。全露法王
身。古人恁麼悟去。大似喫常住飯。作自己事。博山則不
然。行年四十九。皮骨若枯柳。四大體自如。面南看北
斗。博山恁麼道。大似喫自己飯。作常住事。徐六擔板。
各見一邊。更有一偈。為之解嘲。不免總說向大眾去也。

祖父田園。自家產業。匪守珍御。不生下劣。纔涉思惟。
平地遭跌。醉酒臥街。證龜成鱉。博山恁麼道。早作死馬
兒醫。汝等諸人。也不得鑽龜打瓦。珍重。首座云。某甲
不似和尚。師云。汝作麼生。進云。行年三十七。通身赤
骨律。不喫常住飯。砵盂兩度濕。師云。却是汝來得。要
且不會老僧意在。

上堂。僧問。蟄戶將開。海門雷震。敢問。和尚一池鱸
鮓。何時際會風雲。師云。拄杖時常頭點空。進云。興波
作浪時如何。師云。闍黎脚跟下。水深多少。僧嘆云。透
網金鱗雖振鬣。冲霄丹鳳不遺苞。師云。更須按下雲頭始
得。又僧問。乍入叢林蒙師命。往白下請有字經。敢問。
和尚無字經。命向甚麼處請。師云。磕破髑髏。僧禮拜。
師云。便祇如此耶。出去。又僧問。近闡宗猷。既非臨濟
為仰。不是法眼雲門。未審。香火因緣。從誰結得。師

慧。力無畏亦然。于彈指頃。成就無量無邊妙行。具足無
量無邊莊嚴。圓滿八萬四千諸波羅密門。其或未然。而言
凡聖齊同。如持燭火擬比太陽。又如初生鳥雛欲冲霄漢。
多不自諒也。首座問。和尚道。冰厚三尺非一日之寒。冰
解後如何。師云。七花八裂。進云。水漲千溪非一日之
雨。天晴後如何。師云。石頭露也。進云。朝聞夕死。非
一日之功。如何是無功之功。師云。闍黎向上覷著。進
云。立地成佛。非一日之行。如何是無行之行。師云。著
衣喫飯。未為分外。進云。和尚皮袋子。與釋迦大師皮袋
子重多少。師云。半斤八兩。

解制上堂。馬祖陞堂。百丈捲席。將謂鬚鬚赤。更有赤鬚
鬚。博山九十日以來。與諸昆仲陞堂入室。還有恁麼衲僧
麼。若有恁麼衲僧。又何勞在此座下。眉攢攢地。濟得甚
麼邊事。諸昆仲。當此時也。千山寒色。雨滴巖花。為諸

昆仲。敷宣第一義諦。於此會去。猶在半途。於此不會。
帶累博山。開眼說夢。

上堂。春日乍寒乍暖。春雲忽捲忽舒。若向者裏會去。佛
法天地懸殊。諸昆仲。口橫不如鼻直。眼大何似眉麤。倏
然放出新羅鷄。笑殺楊岐三脚驢。還知麼。眾無對。師卓
拄杖云。老僧今日失利。

上堂。僧問。今在人天眾前。作麼生相見。師云。是水東
流。進云。和尚安住。在甚麼處。師云。門前剎竿二丈
五。進云。花落月明時。又作麼生進步。師云。憑闍黎跳
躑。進云。石泉一線。水源從甚處來。師云。喉嚨下。進
云。流向甚處去。師云。頂門上。進云。高低物象。一顧
齊平。遠近音聲。眾響斯應。是何人境界。師云。沒來繇
漢。進云。幽閒鬼如何殺得。師云。借闍黎刀看。僧擬

議。師振聲一喝。師乃云。明暗交參。正偏綺互。言中有響。句下無私。揭開雲霧見青天。畢竟是誰遭點額。龍門萬丈。笑看足下風雲。金彈一丸。播弄手中戲具。古人道。一人所在亦到。拄杖子不會。諸人却會得。半人所在亦到。拄杖子會得。諸人不會。所以道。石人機似汝。也解唱巴歌。汝若似石人。雪曲也應和。恁麼商量。惟木上座。却較些子。珍重。

上堂。僧問。如何是法身理。師云。伸手不見掌。進云。法身向甚麼處安立。師云。暗地始驚人。進云。未審法身是何境界。師云。山河大地。進云。離了法身又且如何。師云。爍破四天下。僧禮拜。師云。是法非法。是心非心。非法即法。非心即心。打翻漆桶。大地平沉。雲門大師甚是奇恠。盞子落地。碟子成七片。又云。扇子[跳-兆+字]跳上三十三天。築著帝釋鼻孔。東海鯉魚打一棒。雨

似盆傾。諸昆仲。博山今日。亦如雲門大師氣宇如王。若
渠來相見時。又作麼生定奪。眾無對。師云。拄杖不在。
茗帚柄聊與三十。何以故。若不挫其來鋒。將來必成過
患。

上堂。道非明暗。法離有無。布袋頭邊得。看來猶是半
途。直饒坐斷毗盧。不通凡聖。旋風撲面。氣急殺人。直
下相逢不是渠。轉位旋機沉毒海。諸昆仲。若言即心即
佛。大似黃葉止啼。又云非佛非心。還如夢中說夢。不是
心不是佛不是物。是甚麼盃脫丘。江西老宿。恁麼說法。
尚喚作口裏阿漉漉底。諸人分上。又作麼生。諸昆仲。莫
祇論他非是好。門前更有鳳凰山。

上堂。甚麼物恁麼來。重門關鎖一時開。甚麼物恁麼去。
佛機不隔時流意。靈山會上有多端。立雪庭前無二致。甚

麼物幾多般。見未分明莫浪傳。嘗記寶方言道。好天非
高。大海非寬。說似一物即不中。多情不用眉毛動。修證
即不無。污染即不得。丫角女子髮如銀。病中勘破維摩
詰。即此不污染。是諸佛之所護念。粉碎虛空撲地來。百
匝千重成一片。諸昆仲。既不似一物。畢竟似箇甚麼。有
眼無耳朵。六月火邊坐。任是同胞生。也須更問過。更問
過是甚麼。良久。卓拄杖云。拄杖子却辯得。

佛誕日上堂。王宮未降。佛事已週。脚跟下好與三十棒。
未出母胎。度人已畢。脚跟下好與三十棒。四十九年說
夢。取笑旁觀。脚跟下好與三十棒。三百餘會週遮。模糊
正眼。脚跟下好與三十棒。忽遇惡水潑來。即周行七步。
目顧四方。自云。天上天下。唯吾獨尊。脚跟下好與三十
棒。獨有雲門大師云。我當時若見。一棒打死。與狗子喫
却。貴圖天下太平。雲門用此惡辣手段。始能豎立宗乘。

座切是母。出云。出世業道。戒輕審進得第二。信價是未師出口中人後。養僧礙。通金。未。尚償教與難。出來供老莫。與黃棒宮生和來。又難出時。止。略有三王降緣。祖云。重底別云。棒。自三降佛緣。佛進世無祖待師云。十黃金山已活因。佛進世無祖待師云。三。黃博。日事云。纏佛。出前殺留也。師。山云。率。八大進糾千云。佛。也。博。一離。四為。戒。惡。甚。進。典。手。博。久。一。離。四。為。戒。惡。甚。進。典。手。山。云。一。離。四。為。戒。惡。甚。進。典。手。博。久。一。離。四。為。戒。惡。甚。進。典。手。道。良。門。未。作。為。滿。惡。甚。進。典。手。道。良。門。未。作。為。滿。惡。甚。進。典。手。足。麼。雲。喚。世。花。云。因。南。提。來。此。訓。胡。者。問。進。麼。佛。看。天。師。東。之。闡。為。在。且。又。段。座。路。甚。諸。笑。業。無。原。遇。云。命。殷。漢。辣。手。首。是。因。云。何。非。羅。或。師。性。施。壁。惡。人。出。畢。進。師。是。身。云。受。戒。麼。和。尚。法。靠。此。與。已。進。師。是。身。云。受。戒。麼。和。尚。法。牆。具。賣。云。人。渠。事。審。束。師。堪。受。麼。進。倚。有。沙。師。度。得。何。未。但。師。方。他。恁。進。是。還。和。胎。爭。所。債。持。羯。遮。還。云。便。宜。問。若。中。莫。別。胎。爭。所。債。持。羯。遮。還。云。便。宜。問。

上堂。三身中。那身解說法。彈指一聲驚海嶽。幾片閒雲
稱野情。舉頭忽見遼天鶚。金烏玉兔急如箭。倒跨牛兮入
佛殿。將錢祇為買饅頭。放下手兮成塊麵。箇是男兒大丈夫。
一口吸盡西江無。古澗寒泉清似鏡。分明狀出山海
圖。諸昆仲。臨濟大師以一株大樹。覆蔭天下。博山以一
根拄杖子。攪渾世界。且道。與古人是同是別。良久云。
翻思初祖金雞識。要假兒孫脚下行。

上堂。從夏至今。未曾與諸人說話。今日因恒一本宗二上
人請。博山陞座。不免強說喻言。然盡大地撮來如粟米
大。將何譬喻得出。法眼大師云。理極忘情謂。如何有喻
齊。到頭霜夜月。任運落前溪。諸昆仲。此事不在哆哆啞
啞。說得道理通。便稱悟門。只饒講得三乘十二分教。祇
益多聞。尚喚作傳語人。亦名辯慧人。與自己總沒交涉。

若欲匡持大法。直須頓棄言詮。握太阿鋒。眉捷交流汗
血。拈如意寶。寰中賑濟饑虛。呈瀉仰圓機。施臨濟棒
喝。履法眼清素。用雲門顧盼。雖然如是。若到曹洞門
下。尚未有話會分。何故。水急魚難住。山深雲更多。

上堂。古德云。日月未足以為明。是甚麼物得恁麼明。乾
坤未足以為大。是甚麼物得恁麼大。博山今日不惜唇吻。
與你諸人註破。卓拄杖云。拄杖子眼光爍破恒河沙世界。
明耶非明耶。恒河沙世界。在拄杖子裏許。大耶非大耶。
諸昆仲。祇是根拄杖子。又何得論明論暗論大論小。大小
明暗。悉是對待之法。然雖如是。也不得草草。何以故。
要知幽徑趣。須辦半年糧。珍重。

上堂。師方陞座。二僧問。不稱理各賜棒。乃云。毛吞巨
海。海性無虧。芥納須彌。芥空宛爾。若道是神通妙用。

斯人未達其源。若道是法爾如然。猶是拍盲狂解。是以二
人各責三十棒。趕出三門外去。諸昆仲。只須析毫端而瀉
海水。碎芥子以露須彌。旋嵐偃嶽而絕纖塵。競注江河而
無濕性。諸昆仲。萬花叢裏去住。揣空出骨何難。清涼地
上謳歌。白日挑燈有據。到此則正偏旋復。雲樹絕依。古
木森然。靈禽不住。菩提涅槃。真如佛性。喚作破草鞋。
且拈放一邊。各人衲衣下。漿洗錢布施。些子還肯麼。毗
目仙人執手時。善財眼底微塵佛。珍重。

上堂。三界無法。何者是生。三界無法。何者無生。生與
無生。二俱增語。若謂是生。前村古路坦然平。若謂無
生。海門波浪萬千尋。若道生即無生。樓頭戍鼓正三更。
若道無生即生。彩筆將來畫不成。諸昆仲。幻化門頭高著
眼。莫將陽燄亂紛紜。生與無生。姑置勿論。且道。二六
時中。折旋俯仰。畢竟承誰恩力。良久云。六窓虛淨無

倚。將來用度恰好。珍重。

上堂。大道虛曠。無有程途。幾動之微。自當審細。若藕
絲而牽大象。匪假神通。如寶樹之宿蠶螟。難窺異色。活
中死句。笑容含冰鍊之姿。死處活來。寒谷動陽春之燄。
更須知當機劈面。毋待指陳。互換相資。那容湊泊。諸昆
仲。當此時也。寒灰發燄。雪覆紅爐。冰玉相銜。誰能料
揀。若有人料揀得出。博山將明窻下安排著。珍重。

在壽昌守無明和尚七眾請。上堂。一二三四五六。天地位
萬物育。箇中有箇無角泥牛。東觸西觸。至今無處藏蹤。
只得和塵混俗。更須知平處險直處曲。擊破重關謾輕忽。
太平宇宙斬癡頑。此是禪宗親付囑。親付囑。破驢脊上蒼
蠅出。達磨未識參禪。孫臏不解貨卜。惟有壽昌老人。一
生向鋤頭上。七縱八橫。至今也填坑塞窟。諸昆仲。還有

為堂頭和尚出氣者麼。今日幸有博山不肖兒孫。為伊雪屈。

壽昌和尚完七眾請。上堂。昨夜西風穿牖過。窗櫺紙幙都吹破。殿前賸得古香爐。裊裊祥煙騰復墮。者一箇那一箇又一箇。鐵髮銅鬚。庚金丙火。拋向太冶紅爐。煉成一團。抖擻看來。阿誰是我。者一箇那一箇又一箇。大家擡薦商量。哭殺西來達磨。諸昆仲。回觀說法。四十九載。看來何異先師七七。安心可笑雪庭人。惹得堦前神鬼泣。泣泣。好將斷臂完膚。一生參學事畢。

結制上堂。天地與我同根。萬物與我一體。時人見此一株花。如夢相似。諸昆仲。古人於黑漆桶底。鑑貌辯色。無影樹下。笑月吟風。掣開金鎖玄關。扯破漫天網子。博山則不然。有人問。天地與我同根。萬物與我一體。意旨如

何。祇向他道。昨日有人。從燕京來。寄得廣南信。豈不
見。溪山各異。而雲月是同。又云。時人見此一株花。如
夢境相似。意旨如何。祇向他道。老僧見此一株花。切於
肯綮。豈不見。人無遠慮。必有近憂。珍重。

鑄佛上堂。天雨四花。地搖六震。拈拄杖云。覲面相呈。
是何祥瑞。釋迦于迦維國土降生。累及諸大菩薩天龍八
部。趨侍成勞。唯十方諸佛。各住本國。合掌宣揚讚歎不
及。諸昆仲還見也未。若見。虛空落地成幾片。若不見。
爍爍紅光搖閃電。若見不見。長安盡處含元殿。若不見而
見。裂破饅頭成塊麵。所以法不孤起。緣聚則成。智邨禪
人。于徽州境上。苦行三年。正是擔佛傍家走。智碩禪
人。斂靈山之象跡。發異地之靈苗。真淑金居士。不忍坐
觀。拔劍相助。開五十三參之覺路。結百千萬種之良緣。
或亂峯頂上。卜吉導迷。或引進猶勤。針還玉線。或輸百

金而不倦。或伸隻手以相扶。仍有水齋聖慈本宗諸上人。
攢花擲錦。蘊造成功。淨眼諦觀。悉成鈍置。今有浦城道
美黃居士。設齋供眾。且道。直下相逢。不勞心力。是何
人作證。復拈拄杖云。釋迦昨夜又重生。笑看爐中飛片
雪。珍重。

開光上堂。佛身無為不墮諸有。慈德聲名垂不朽。今朝覲
面絕週遮。眼上眉毛誰不有。丹霞撥火而尋舍利。善現晏
坐而覩法身。雲門用棒以訓恩。洞山用蕨而報德。者一隊
老漢。雖則一期方便。怎柰千古顛預。何似博山將大冶紅
爐。一模傾出。使天上天下有情無情。覩端嚴之妙相。植
菩提之正因。度普耀之通津。趨妙嚴之果海。紫磨金聚。
咸轉根本法輪。白玉毫光。旋入普明三昧。使大地眾生。
各各相謂有佛出世。各各自見己身作佛。無造者。無受者。
眾生相者。如是則無施者。無化者。無造者。無受者。亦

無見者。何以故。施者乃至見者。如夢幻故。山河大地。
無草木叢林。情與無情。世出世間。如夢幻故。乃至諸佛出
世。諸佛涅槃。影現其中。如夢幻故。還有不在夢幻者
麼。卓拄杖云。今日為君親指出。普天匝地盡光明。

上堂。一二二三子。平目復仰視。兩口一無舌。此是吾宗
旨。仰山大師。生平家活。徹底為人。若以意識度量。正所
謂平地上死人無數也。然此偈無纖毫縫罅。博山今日。向
虛空裏釘橛子。太清中加彩繪。使諸人有所趨向。有所捫
摸也。一二二三子。抖擻不下。平目復仰視。北斗向南
看。兩口一無舌。空容傳聲。虛堂習聽。此是吾宗旨。披
拂有餘恨。諸昆仲。當知瓊枝竝茂。若向者裏。金鐘會去。平常心
鳴。正按全提。瑞草裏不缺一角。有業識人。若向者裏。金鐘會去。平常心
與道相宜。若向者裏。瑞草裏不缺一角。有業識人。若向者裏。金鐘會去。平常心
有一事在。佛殿東南缺了一角。有業識人。若向者裏。金鐘會去。平常心

履以謝之。珍重。

上堂。諸佛祕密藏。祖師遞相付。既同本來心。何迷復何
悟。言語悉虛妄。形色如朝露。了形色語言。究竟絕依
怙。譬如洞庭水。今古清如故。虛空非動搖。太清絕點
污。有物終敗壞。無形始清素。諸昆仲。迷鏡裏之頭。徒
勞狂怖。昧衣中之寶。枉受鈴屨。卓拄杖云。若向者裏會
去。猶較些子。更欲遲疑。向下文長。留待來日。擲拄
杖。下座。

上堂。心同虛空界。示等虛空法。證得虛空時。無是無非
法。大小祖師。雖則是和泥合水。要且弄巧成拙。將心與
虛空。分作兩橛。說同說等。論是論非。雖不涉是非。亦
將是非弄影耳。夫虛心獨運。妙湛何依。至體彌綸。空界
何立。大方莫比其量。慧目罔眺其蹤。日月未足喻其明。

冰雪難以方其潔。古澗之水湛湛。浸殺法身。不萌之草茸
茸。能藏香象。諸昆仲且道。徹底無依。向甚處安身立
命。良久云。眾既知時節。吾今不再三。卓拄杖。下座。

上堂。靈光不昧。萬古徽猷。入此門來。莫存知解。諸昆
仲。終日拈香擇火。待客迎賓。動轉施為。折旋俯仰。還
有知解也無。既無知解。得恁麼伶俐。得恁麼活潑。古德
云。樵子負薪歸。機婦連宵織。看他家事忙。且道承誰
力。若向者裏會去。飯是米做底。湯是水做底。師姑是女
人做底。切莫當面錯過。不錯過。鷄子過新羅。依然辜負
我。卓拄杖。下座。

解制上堂。世界乾城。眾生陽燄。諸佛鏡像。六道空花。
不躋圓覺大伽藍。終是痴狂門外走。若帶些些泥水。未免
紙裏麻纏。除是鐵膽銅心。始解步空捉影。百尺竿頭穩

坐。終落那邊。三家村裏安身。仍停此岸。只須藏身處沒
蹤跡。金針繡出玉麒麟。沒蹤跡處莫藏身。鐵掌挪成銀彈
子。諸昆仲。今日解制之辰。三年果滿。萬行週圓。且
道。百步穿楊一箭。作麼生透得過。良久卓拄杖云。好手
手中誇好手。紅心心裏射紅心。下座。

上堂。心如墻壁。乃可入道。集雲峯下四藤條。是聖足凡
都一掃。諸昆仲。不立聖凡則且置。古佛與露柱相交。是
第幾機。雲門大師云。南山起雲。北山下雨。若向者裏會
去。古佛向露柱頭上。轉大法輪。露柱在古佛腹中。照天
鑑地。復有微塵數菩薩摩訶薩。出現於交未交之處。行六
度萬行。彌布重重。所謂檀波羅密。布施海。尸波羅密。
戒德清淨海。羸提波羅密。忍辱海。毗黎耶波羅密。精進
海。禪波羅密。正思惟三昧海。般若波羅密。智慧海。此
諸大士。於實際理地。雲興霞舉。解作家方。於衲僧分

逐塵飛。珍重。

結制上堂。世尊拈花。芙蓉秋露冷。迦葉微笑。蘭蕙曉風藏。
清。又云。我有正法眼藏。涅槃妙心。付囑於汝。可謂囊藏。
長者券。腰沒半文錢。至今後代兒孫。望影分波。竟莫得。
其涯岸。當此時也。去聖時遙。人心狂悖。妄庸邪見。布。
滿寰宇。稱悟道者紛紛。求其真參實究者蓋少也。諸昆。
仲。若要會世尊拈花底道理。豎起拂子云。向者裏會取。
若要會迦葉微笑底道理。擲下拂子云。向者裏會取。然須。
從冰山雪洞裏。穿下過來。始堪共語。不然則就窩子裏打。
將去。盡是掠虛漢。與自己本分中。有何交涉。即今乃結。
制之辰。有吉安純初曾居士。敷演此事。一月而來。為彼乃郎廣。
修供養。復請博山。踵列祖之芳塵。續金剛之慧命。然雖如。
燃古佛之慧燈。踵列祖之芳塵。續金剛之慧命。然雖如。
是。諸人分上也。須向無陰陽地上。銜一莖草來始得。卓。

拄杖。下座。

上堂。單明向上。語絕週遮。洞鑑幾微。要在句外。若在
文言上理會。正所謂埋沒先宗。辜負自己。德山大師云。
毫釐繫念。三塗業因。諸昆仲。十二時中。折旋俯仰。是
繫念耶。非繫念耶。是正因耶。是業因耶。又云。瞥爾情
生萬劫羈鎖。開口動舌處。是情生耶。非情生耶。是解脫
耶。是羈鎖耶。汝等諸人。各向衲衣下緇素看。若以無念
為無念。無情為無情。即泥塑木雕。若以有念為有念。有
情為有情。正是業識茫茫。無本可據。衲僧家須另行一路
始得。祖師云。心隨萬境轉。轉處實能幽。隨流認得性。
無喜亦無憂。于諸境緣。未免隨流。且道。喚甚麼作性。
無若認得性。正好喫博山痛棒。若認不得性。正好喫博山痛
棒。何以故。龍門無宿客。雨打石頭。卓拄杖。下座。

無異禪師廣錄卷第二

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第三

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

住信州博山能仁禪寺語錄

壽日上堂。諸佛時常說法。博山特地重宣。是何言。丫角
女子鬢皓然。是何法。明察秋毫雙眼瞎。此情惟有木人
知。六月炎天生凍殺。若向者裏。揭山頭之宿霧。破水面
之印文。古佛向汝諸人面前。說壽量品報恩品已竟。所以
云。博山生。大地眾生與博山同生。博山壽。大地眾生與

博山同壽。然雖如是。更須知有出世事。始是報恩者。博
山嘗有偈云。欲報深恩出世奇。報恩深處少人知。而今洞
徹無違理。始信從前步不移。古德云。盡大地如粟米大。
拋向汝諸人面前。諸人要且不會。打鼓普請看。若會得恁
麼說話。始知不移步底道理。國恩。佛恩。親恩。檀越
恩。一時報足。若乃煖衾涼枕。菽水承歡。欲報深恩。無
有是處。所以釋迦大師。棄皇宮如脫敝屣。乃至忉利天。
為母說法。此釋迦之孝也。目犍連尊者。去鬚髮如除垢
膩。乃至餓鬼道中。救脫母難。此目連之孝也。現前大
眾。思地獄苦。發菩提心。長連牀上。瞠眉努目。究衲衣
下一件大事。此諸昆仲之孝也。作麼生是博山底孝。拈拄
杖云。一條拄杖活如龍。縱橫全得渠儂力。連卓拄杖。下
座。

上堂。凡心聖心。本無差別。即凡即聖。猶是強言。自是

眾生。瞥起情念。妄分我人。生天堂下地獄。趨餓鬼報旁。
生。無始以來至於今日。乃至盡未來際。無有了底日子。
若是箇伶俐漢。踢翻筋斗。掉轉乾坤。透徹自己關棧。若
透徹自己關棧。便透徹三千七百祖師關棧。若透徹祖師關
棧。便透徹釋迦老子關棧。若透徹釋迦老子關棧。便透徹
博山關棧。若透徹博山關棧。八萬四千關棧。一時洞開。
然雖如是。卓拄杖云。點鐵成金易。除却是非難。下座。

除日上堂。殘冬已去。春風到來。木雞報曉。石女懷胎。
庭前翠栢堪剪。溪邊嫩柳重栽。達磨不來東土。寒山元在
天台。惟有臨濟大師。赤肉團上。無位真人。分身無量。
散在汝諸人面門出入。未證據者看看。饑同餐渴同飲。寒
同火睡同衾。若向者裏。僮侗瞌睡。未免受無位真人當面
熱瞞。豎起拂子云。諸昆仲會麼。圓明了知。不因心念。
珍重。

元旦上堂。元正嘉運何先兆。遲日晴空光皎皎。悟迷邪正
謾商量。是聖是凡誰分曉。現前境界亦何賒。說向西方途
路杳。一微塵裏顯全機。大地山河一莖草。幻化場中著眼
看。萬法無過隨緣好。然雖如是。應時納祐。又作麼生。
卓拄杖云。莫謂袈裟元是舊。春風先到杖頭來。

都昌佛殿山長慶寺古愚。設齋薦父請。上堂。博山說法二
十餘年。即今何故不肯上堂。蓋為法門混濫。妄庸者多。
以上堂為戲具。故博山跛跛挈挈。且恁麼過時。今古愚上
座。為彼亡父。敦請不已。却又躲避不為。真是報恩者。輪迴大
三界中。恩愛不能捨。棄恩入無為。博山今日路見不平。不免拔劍相
助。輪迴三界中。隨羣逐隊不同同。恩愛不能捨。要笑謳
歌宣般若。棄恩入無為。菽水承歡我是誰。真是報恩者。

彌弒不世害內五恩未沙之雖上自悔
犯禪過去法來彼以於佛恩玄道宿愚責
過四見過深如必但會去深晚孝尊古自
雖得自甚逼吾人害處父母太哀諸似有
然比丘各於持吾人為害之助此何父
僧。五百。各。疑。劍。害。有。即。握。身。他。慳。漏。其
毀。通。懷。利。得。無。害。殊。碎。神。令。多。滲。業。
乃。五。各。各。疑。劍。害。有。即。握。身。他。慳。漏。其
亦。上。命。各。手。握。利。得。無。害。殊。碎。神。令。多。滲。業。
俗。會。宿。各。遂。逆。已。必。若。雖。救。興。之。不。以
逆。山。以。內。作。逆。已。必。若。雖。救。興。之。不。以
但。靈。心。力。應。從。我。仲。會。中。甘。福。來。導
非。者。忍。自。神。不。爾。時。昆。不。地。獄。何。將。僧
山。昔。法。於。佛。不。爾。時。昆。不。地。獄。何。將。僧
博。地。未。罪。殊。住。利。心。起。諸。此。于。之。禮。母。素。為
禮。有。重。文。殊。住。利。心。起。諸。此。于。之。禮。母。素。為
知。歸。通。諸。是。文。殊。住。利。心。起。諸。此。于。之。禮。母。素。為
可。恩。及。於。是。文。殊。住。利。心。起。諸。此。于。之。禮。母。素。為
遮。且。五。神。通。諸。是。文。殊。住。利。心。起。諸。此。于。之。禮。母。素。為
七。要。具。母。入。謂。被。害。有。一。時。直。認。州。屬。弟。
逆。天。定。父。能。尊。為。心。百。親。足。向。名。曰。座。
五。天。定。父。能。尊。為。心。百。親。足。向。名。曰。座。

之歌。不墻不真之偈。臨終預知時至。正念分明。其父大
安樂可知。古愚報恩訓德。亦可知也。諸昆仲。各各具有
生身父母。當人分上。又作麼生。卓拄杖云。粉骨碎身未
足訓。一句了然超百億。珍重。

新建法堂。本府蕭太尊請。陞座。浴龍池畔瑞雲開。丈室
懸知貴客來。頓省祖師門下事。舌頭口裏滑如苔。雲門大
師云。高低一顧。萬象齊彰。擬議之間。橫屍萬里。博山
則不然。高低一顧。眼見鼻梁。畱塞虛空。向者裏出氣。
諸昆仲。若商量得出。蕭使君大居士。為汝等證明。其或
未然。拄杖子為大眾註破。卓拄杖一下。首座問云。適聞
和尚。高低一顧。眼見鼻梁。祇如畱塞虛空。作麼生轉得
身吐得氣。師卓拄杖云。蹤跡不施功。千山添翠色。進
云。恁麼則撲破虛空。通身活眼。師云。門前一水收三
水。屋後千松蓋萬松。進云。祇如蕭使君道。山河大地渾

成夢。且道。是真夢是浮夢。師云。直下看取。進云。與麼則龜毛拂子春風動。拄杖縱橫法界收。師云。且放過一籌。座率眾禮拜。

古德法師請。上堂。諸昆仲。古人云。此事不與教乘合。亦是方便語。又豈知一大藏教。無一言一字。不與此事發機耶。楞伽經云。佛語心為宗。無門為法門。既云以心為宗。三乘十二分。皆心之切脚耳。華嚴經云。奇哉奇哉。一切眾生。皆具如來智慧德相。可謂開發性源矣。又云。若有見如來體性無所有。修習得明了。此人即作佛。若知得體性無有。佛之一字。猶是賸言。圓覺經云。如來大光明藏。是諸眾生清淨覺地。眾生清淨覺地。即如來大光明藏。可謂凡聖同源。毋勞指注。又云。如來因地修圓覺者。知是空花。即無輪轉。亦無身心受彼生死。果知妄身妄心如空花相。修行分中。甚是省力。楞嚴經云。一人發

真歸元。十方虛空悉皆消殞。果知得虛空消殞。華藏世界
畱塞塞地。無纖毫滲漏。法華經云。是法住法位。世間相
常住。果知得是法住法位。可謂無量寶聚。當知源。諸昆
仲。此是教家極則。若以思惟心測度。如將螢火燒須彌
山。終不能著。然雖如是。更須知有宗門中長處始得。卓
拄杖云。此拄杖子。在馬祖分上。牛行虎步。草偃風行。
一口吸盡西江水。一脚蹋殺天下人。在石頭分上。喚作竺
土大仙心。東西密相付。在龐居士分上。竿木隨身。逢場
作戲。在臨濟分上。驅耕夫牛。奪饑人食。敲骨取髓。痛
下鍼錐。在漚仰分上。暗機圓合。啐啄同時。在雲門分
上。函蓋乾坤。隨波逐浪。顧盼猶倍句。揚眉落二三。在
法眼分上。六根互用。六用齊施。在曹洞分上。正不立
玄。偏不附物。今日在博山手裏。喚作拄杖子。則觸。不喚
作拄杖子。則背。畢竟在作麼生。良久云。有。時破霧穿雲去。
撥轉乾坤振祖基。卓拄杖。下座。

遣。宛然赤子之心。一道齊平。突出摩醯之眼。珍重。

上堂。壽昌先師云。躡上雲頭第一峯。眼中廣博小虛空。當初欲見無繇見。今日相逢處處同。諸昆仲。此是曹洞宗旨。分明向汝諸人道。無纖毫蓋覆。若向者裏會去。洞山大師。在汝諸人脚跟下。放光動地。入寶鏡三昧也。其或未然。博山不免註解一遍。躡上雲頭第一峯。坑坎嶮巖。也須仔細。眼中廣博小虛空。眼在虛空裏。虛空在眼裏。試定當看。當初欲見無繇見。對面不相識。千里却同風。今日相逢處處同。是何面目。指東為西。喚南作北得麼。若向博山註解處會去。壽昌先師。在汝諸人脚跟下。放光動地。入寶鏡三昧也。然雖如是。博山不合將壽昌老人受用底家私。撒向諸人脚跟下。豈不見父為子隱。子為父隱。直在其中矣。珍重。

壽日上堂。僧問。今日壽誕上堂。敢問。和尚年多少。師
云。頻添花甲子。數到劫雲初。進云。只如和尚未出世時
一句。又作麼生。師云。且道。劫雲之前。是何景象。進云。今
謝師答話。師云。曾向湖南佛國來。師云。三十棒。自領出
朝不用重追究。從本無生。誰曰有生。無生緣生。緣生無生。
去。乃云。從本無生。誰曰有生。無生緣生。緣生無生。光
達此生理。不妨生生。所以云。生生謂之道。萬古碧潭云。
皎皎。四方八面絕遮攔。曰聖曰凡俱不了。慈明和尚云。
手鑱黃河乾。脚踏須彌倒。天堂并地獄。皆繇心所造。卓
拄杖云。若真獅子兒。不向那邊討。

知非首座請。上堂。博山久不上堂。諸人生出幾多妄想。
如渴鹿趨陽燄。有甚了期。何不向自己脚跟下薦取。諸昆
仲。若欲向自己脚跟下薦取。最先看破依正二報。四生六
道。悉從因緣生。還從因緣滅。釋迦老子四十九年。橫說

豎說。總是緣生法。豈不見報化非真佛。亦無說法者。汝
等莫見博山恁麼道。便向法身邊住著。殊不知。法身邊。
沾黏一絲毫不得。若黏著纖毫。便如獼猴。豈不俊哉。茲因知
繇。伶俐漢。如香象渡河。截流而過。仍請博山。為大眾說法。且
非首座六十。大誕。設齋供眾。耶。慰諸人妄想耶。良久云。靈
芝和雨秀。菡萏帶風香。卓拄杖。下座。

張二水相國請。上堂。首座問。壁上高僧。呼著即應。今
日相國臨筵。當機如何指的。師云。鳥啼菴後竹。進云。面
恁麼則撩天索價非思議。衣裏明珠覲面呈。師云。雲起面
前山。進云。經綸妙手元非借。推轉吾宗大法輪。師云。
如天普蓋。似地普擎。僧問。承聞和尚有言。虛而靈。師
寂而妙。纔思惟行不到。請和尚行到一句。佈施大眾。師
云。山濶猿長嘯。進云。謝和尚指示。師云。林踈鳥不

驚。僧禮拜。師乃云。若人欲知佛境界。當淨其意如虛
空。遠離妄想及諸取。令心所向皆無礙。諸昆仲。汝等即
今。本具底四大五蘊。六根六塵六識。及阿賴耶識。念念
生。念念住。念念異。念念滅。是礙耶。非礙耶。所以
道。會得。如大火聚。會不得。亦如大火聚。會得。如大
火聚。高山無宿鳥。會不得。如大火聚。深水有嘉魚。博
山。怎麼道。也是杓卜聽虛聲。汝等諸人。大須審細。茲因
相。國張居士。入山飯僧。此居士位極人臣。謙光導物。靈
苗。智種。天性帶來。不忘靈山付囑。殷勤懇請博山上堂。
當。知居士一片婆心。祇要諸人得箇入處。諸人還知入處
麼。卓拄杖云。山中光耀輝天地。佇看堂堂宰相行。

桐城宰官居士請。上堂。諸昆仲。參學須具參學眼。若具
參學眼。脚踏實地。步步登玄。若不具參學眼。與參學的
交涉。譬如善射者。立定脚跟。然後拈弓架箭。始能中的

也。黃蘗運禪師云。老僧行脚時。見草裏有人。攔頭一
錐。彼人若知痛癢。便布袋盛米供養他。雪峯大師。三登
投子。九上洞山。炊飯擲巾。成辦箇事。此宗門中參學樣
子也。不似而今口稱行脚。觀山玩水。較量是非。三三五
五。聚頭雜話。有一等。向冊子上研窮。枯骨上討汁。有
一等。長連牀上。睜眉努目。胡思亂想。想久成勞。不是
昏沉。便是散亂。如斯等類。皆非法器。諸昆仲。洞房春
暖。須知錦帳香銷。庭際光生。且喜寒灰發焰。事驚極
致。理喜從虛。所以道。只須揮劍。若滑。路憑高處險。獅
巢。閒時喜唱步虛詞。泥雨須防苔運結。燈花之彩。諸昆仲。
巖絕狐狸之蹤。走。影向暗中消。三十餘年。今日到舒州城。唱
博山還鄉曲子。徹見故鄉田地。徹見故鄉人物。徹見故鄉宰
色。世間之樂。百千萬億倍。不足為喻。茲因桐城眾宰官
居士。及諸山僧友。請博山陞座說法。博山果有何法可

說。不免將生平所行底。所見底。所到底。細詳一遍。然
雖如是。道曠無涯。逢人不盡。更須知有長處始得。卓拄
杖云。莫謂故鄉田地穩。門前更有萬重山。僧問。此土聖
凡同聚會。向上宗乘為舉揚。師答云。此去南舒一百餘。
又問。不問有言。不問無言。請和尚如何道。師云。巖前
生石虎。僧喝一聲。師笑云。聲響吼如雷。僧無語。師便
打。

生生社上堂。博山今日不說有法。不說無法。不說亦有亦
無法。不說非有非無法。離四句絕百非。石人點頭。青山
皺眉。深寒博得三春暖。破霧披雲入翠微。下座。

皖城宰官居士請。上堂。天地與我同根。萬物與我一體。
肇公祇知全身拶入。要且不會轉位旋機。殊不知說箇一
體。已成兩橛。不見道喚作如如。早是變易了也。諸昆

仲。須知古佛堂前。曾無異說。夜明簾外。別有家傳。分
明月照金沙。喜見庭生瑞草。家風笑展。從他野渡無人。
寶樹風清。須信白雲有主。向者裏別有生涯。可與古人把
手。其或未然。博山有箇方便。卓拄杖云。急著眼薦。

展墓歸山。上堂。離山九十日。誰是能離者。本無心外
境界。愚者妄分別。諸昆仲。會得此意。雖經歷恒河沙世
界。無彼此之分。無自他之想。良以。世人祇知有一生
身。及一生底父母。一生身底處所。殊不知。曠大劫來能
生所生底父母。及一一生身底處所。盡其智力。不得其數
量。諸昆仲。若以恩報恩。大恩莫能報。不見報恩者。始
乃得常住。是故諸菩薩。借此世間孝。運無緣之慈。興無
礙之悲耳。諸昆仲。金棺扶襯。認父骨於亂屍之中。義井
薦親。見天人於寶塢之頂。此等俱見超物表。理出常情。
若以世間情想。擬報深恩。雖肝膽塗地。不能報也。昔興

化令他人助哀。山河揮淚。迦葉藉琴聲起舞。草木含悲。
博山今日。以現前血肉身心。供養現前無面目底父母。汝
等諸人。向者裏。還見得徹麼。卓拄杖云。他家自有通人
愛。不以親疎較短長。便下座。

宮諭吳觀我居士請。上堂。真不掩偽。曲不藏直。大千沙
界黑如漆。揭開雲霧見青天。男兒肯向他尋覓。一語中具
三玄。新婦騎驢阿家牽。一玄中具三要。跛脚獼猴多擲
跳。有照有用。沙盆打著連底凍。立主立賓。相將攜手過
西秦。惟有東村王太乙。一番拈弄一番新。

上堂。諸昆仲。參禪要親到古人田地始得。不然盡是掠虛
漢。果能與此道相應。如人食蜜。滿口皆甜。如伽陀藥。
能療一切重病故。如水晶珠。能清一切濁水故。如摩尼
珠。能隨方映色故。如九轉丹。能點鐵成金故。諸昆仲。

明明秋色。山頭敗葉成堆。淡淡輕雲。籬下黃花鬪景。向者裏領會。喫博山痛棒。始有分在。

上堂。日日五更雞。朝朝三陣版。不用別求玄。分明正法眼。諸昆仲。因甚麼東勝神洲人行路。西牛賀洲人著跌。若向此會得。好對座前吐露。不然。空遊山水。虛延歲月。大事闍然。如何是了。博山今日饒舌。為汝旁通箇消息。將祖師陳爛偈言。註解一遍。五臺山頂雲蒸飯。佛殿街前狗尿天。剎竿頭上煎[飢-几+追]子。三箇猢猻夜簸錢。還會麼。其或未然。莫道為僧堪受供。只恐粒米也難消。

上堂。不是風動。是甚麼動。不是幡動。是甚麼動。仁者心動。大小祖師。龍頭蛇尾。諸昆仲。且道那箇是汝等動底心。是緣慮心耶。是本來心耶。若是緣慮心。緣慮無

體。動亦成虛。若是本來心。本來從古及今。未常變易。無諸動相。若識得無動而動者。迢遞嶺南。相去甚遠。若看不破此動底心相。且喜六祖大師。在汝等脚跟下。共汝商量。卓拄杖。下座。

上堂。有物先天地。無形本寂寥。能為萬象主。不逐四時凋。諸昆仲。要知有物先天地。向無形處會取。要知無形本寂寥。向有物處會取。要知能為萬象主。向眉毛上會取。要知不逐四時凋。向陰陽裏會取。於此四句中會去。一生參學事畢。其或未然。扇子[跳-兆+孛]跳。上三十三天。觸著帝釋鼻孔。東海鯉魚打一棒。雨似盆傾。此時雲門大師。在博山寺裏經行。博山老人。向雲門寺裏敷座。若不互換藏身。險些喪身失命。卓拄杖。下座。

寶方上堂。第一義作麼生觀。佛法二字。不可黏著。黏著

則埋沒慧命。入荒田不揀草。猶較些子。博山當日在佛法
中。頭出頭沒。蒙先師親垂隻手提挈。在淨白地上。仍被
淨白為礙。不免將脚跟下一片地。拋向他方不可說不可說
世界之外。然後向太虛空翻筋斗。孤標獨立。始得些子實
用。今日與諸昆仲相見。譬如白日攫金。諸人歷歷見博
山。博山總不見諸人。還信得及麼。諸昆仲。若見明此
事。須在高高山頂立。深深海底行。撞破虛空。始能捕空
捉影也。博山記得親先師。猶驪龍頷下探珠。猛虎喉中奪
雀。今日不免貴買賤賣去也。諸昆仲還有估價者無。良久
云。也不可當面錯過。

上元結制。上堂。諸方解制。博山結制。大似劃地為牢。
強生節目。諸昆仲。盡大地是箇蒲團。喚甚麼作界外。盡
大地是箇禪堂。喚甚麼作界內。內外既泯。一道齊平。廓
爾與雲水相依。機動則纖塵不立。雖然轉位不施功。也與

諸人應箇時節。且道。是甚麼時節。年年十五夜。燈光何處無。首座問云。請問和尚。把住時如何。師云。放開一線。座云。放開時如何。師云。把住不容行。座云。如何是放行中把住。師云。闍黎看脚下。座云。如何是把住中放行。師云。拂子在我手裏。座云。大善知識。也須讓人。出得羅籠。入得羅籠。師云。爭柰老僧何。座云。冲霄須彩鳳。透網是金鱗。師休去。

二月朔旦上堂。纔方結制。又是半月了也。諸昆仲分上。曾有箇入處也無。若無箇入處。須要尋箇入處。若得箇入處。須要尋箇出處。直須自看。諸昆仲當知。古路無塵。只須知有。門庭絕待。盡却今時。偏方與正位攸同。枝派共靈源皎潔。到此則觸髓識盡。烈火流金。始名出世。更須知野老家風始得。且道。野老家風是何景象。卓拄杖云。遲日穿芳逕。春鋤帶雨歸。下座。

瀉山河之影。博山恁麼道。猶是葛藤諸人。也須拌斷始得。且道。拌斷後作麼生行履。卓拄杖云。不因樵子逕。爭到葛洪家。

結制上堂。僧問。古人道。塵中能作主。化外自來賓。請問和尚。如何是塵中主。師云。江西原是豫章城。進云。如何是化外賓。師云。青山自青山。進云。賓主相見時如何。師云。綠水忻綠水。進云。恁麼則金繩界畔飄黃葉。般若堂前解垢衣一句。作麼生道。師云。順數一籌。進云。博山今日結制。人人鼻孔撩天。請問。更與諸人說箇甚麼。師云。空中施彩繪。論劫不成顏。僧禮拜。師乃云。便恁麼進堂去。猶較些子。更欲遲疑。劍去久矣。博山從來無佛法繫綴於人。豈但博山。乃至諸佛諸祖。亦復如是。但有言說。都無實義。所以道。釋迦不達南方禪。達磨不會西來意。博山與諸人。祇知二時逐隊。但恁麼過。

時。臨濟三玄三要。誑嚇小兒。曹洞兼帶叶通。顛預無
識。瀉仰暗機圓合。鬼面神頭。雲門函蓋乾坤。心麤膽
大。法眼雖云平易。機險殺人。博山總不恁麼。今日與諸
昆仲結制。將九十一日為一時。以一時為九十日。若向者裏
會去。萬年一念。一念萬年。生死情枯。真如體寂。二途
俱泯。觸處皆通。茲有嘉興沈居士。不辭數千里。來此供
養大眾。且道。作麼生說箇通底道理。卓拄杖云。根塵蘊
界原無性。誰道虛空礙眼睛。

上堂。法華經云。若人散亂心。入於堦廟中。一稱南無
佛。皆已成佛道。諸昆仲當知。散亂心者。從緣有故。緣
生無性。當體圓明。當體寂滅。縱有曠劫無明。猶輕風捲
於薄霧。廓爾冰清。所以道。心月孤明。光吞萬象。非能
所中道可用。且道。博山今日苦口告報。也祇要諸人得現前
真實受用。且道。作麼生是真受用處。卓拄杖云。一日三

餐隨分足。虛空無縫著閒身。珍重。

上堂。心如工伎兒。意如和伎者。山河鏡中像。色質虛幻
有。覺體本圓明。非存諸過咎。修與不修行。愚者妄分
別。不恁麼會則易。恁麼會則難。蓮花未出水。師子出窟
時。汝等諸人向甚麼處安身立命。諸昆仲。水底涵靈苗之
秀。空中具騰躍之威。吸盡涔蹄。掀翻大地。且道。是何
景象。咄。

上堂。秋分夜長一刻。冬至日增一線。明暗相形。寒暑相
侵。陰陽消而仍長。天地虧而復盈。惟有无位真人。在汝
等諸人面門出入。曠大劫來。未常變易。會得不妨飲啄同
時。其或未然。山挺挺而榮。水泠泠而清。眼明明而見。
耳歷歷而聞。乃至日應萬緣。無非者箇。因甚當面諱却。
響。祇為分明極。翻令所得遲。

上堂。搏聚四大緣生九竅。識蘊奔馳何日了。虛空無眼水
雲分。石女從緣步荒草。荒草披離四部洲。煙雲旋合鑊重
樓。彈指豁開彌勒閣。香水幡幢盡徹頭。諸昆仲。當此
時。洞庭無蓋。凍殺法身。廬阜悲酸。清淚如雨。欲償廬
陵米價。蹋翻東兗橋梁。從教雪潔冰清。管取兒孫滿地。
到恁麼田地。以何為驗。卓拄杖云。深山乘瑞運。處處紫
雲飛。

無異禪師廣錄卷第三

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣
錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第四

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

住建州董巖禪寺語錄

上堂。拈香祝聖竟。乃云。諸昆仲。若論佛法。列位未出禪堂門。博山未出方丈門。早已漏逗了也。又何待打鼓陞堂。拈槌豎拂。揚眉鼓舌。然後為佛法哉。然雖如是。不免向第二門頭。為大眾宣說。若欲決擇此事。須具大信根。信根若具。便起大疑心。疑心若起。便得大悟門。所

以云。大疑大悟。小疑小悟。不疑不悟。夫信者何。須信
有教外別傳之旨。拈一則無意味公案。蘊在八識田中。如
弊囊盛寶相似。將自己參悟一念。正剖與未剖之際。直須仗
此劒剖此囊。有毫釐第二念也。亦是第二念也。離此種種諸念。不可起第
二處。即是第二念也。如何是無義味公案。又僧問古德。如何是禪。德云。猛
且道。如何是無義味公案。又僧問古德。如何是禪。德云。杖籬山下竹筋
云。猢猻上樹尾連顛。又僧問古德。如何是禪。德云。[石*鹿]磚。此四轉
火著油煎。又僧問古德。如何是禪。德云。隨拈一則參究。若真發明。一
鞭。又僧問古德。如何是禪。德云。[石*鹿]磚。此四轉
語。如天普蓋。似地普擎。隨拈一則參究。若真發明。一
一皆吾家故物耳。且道。發明後又作麼生行履。復笑云。
海為龍世界。空是鶴家鄉。

上堂。昔黃龍大師。有三關語。六七百年。未曾有人拈
著。博山告報與諸禪德。已過關者。不須評論。未過關
者。博山今日。從頭下註脚去也。我手何似佛手。喚黃龍
是箇眾生得麼。我脚何似驢脚。稱黃龍是世尊得麼。人人
有箇生緣。獨有黃龍。博山沒有。何以故。曾經大海休誇
水。除了須彌不是山。

上堂。諸昆仲。博山未參禪時。便知即心即佛。及乎正參
禪時。却知非心非佛。得見寶方後。依然即心即佛。自出
寶方門。又是非心非佛。博山與古人。同途不同轍。古人
更有不是心不是佛不是物。博山却即是心即是佛即是物。
此於教中。喚作雙照雙遮。在吾衲僧門下。喚作鬼神茶
飯。且道。衲僧有甚長處。竿頭絲線從君弄。不犯清波意
自殊。

上堂。佛法知時節。秋風特地來。秋空秋色滿。秋葉砌秋
堦。當此時也。銀蟾吐彩。丹桂飄香。鴈傳北苑之書。人
問歸家之路。所以云。欲知佛法。當觀時節因緣。時節若
至。其理自彰。諸禪德。還有知此時節者麼。若未知。便
好知去。當知知之一字。眾妙之門。莫待臘月三十日。手忙
脚亂。便悔云。蹉過好時節了也。若知得。又何勞博山在
此座上。叨叨坦坦作麼。豈不見。南臺和尚云。善哉三下
板。知識盡來參。眾既知時節。吾今不再三。然雖如是。
南臺和尚。脚跟猶未點地在。眾中還有簡點得出者麼。若
簡點得出。便進前掀翻繩牀。喝散大眾。博山也恠伊不
得。

上堂。若論佛法。一切處現成。法眼繇斯領悟。地藏以此
傳心。看他師資授受之際。有甚麼奇特。所以云。釋迦未
出世。達磨不西來。佛法遍大地。相逢口不開。諸大德。

欲明佛法。須向釋迦未生時會取。欲明教外別傳正法眼
藏。須向世尊未拈花。迦葉未微笑時會取。欲明安心之
理。須向達磨未開口。二祖未斷臂時會取。於斯時節會
得。猶較些子。若待世尊生下時。一手指天。一手指地。
周行七步。目顧四方。自云。天上天下惟吾獨尊。便已納
敗闕了也。所以雲門大師云。我當時若見。一棒打死。與
狗子喫却。貴圖天下大平。可謂將此深心奉塵刹。是則名
為報佛恩。諸昆仲。其中還有知恩報恩者麼。若有。可請
出來。與吾相見。其或未然。可趁此手強脚健。快須努
力。決明此事。始不被天下老和尚舌頭瞞也。良久云。會
麼。相逢不飲空歸去。洞口桃花也笑人。

上堂。諸昆仲。欲參博山禪。於未開口時會得。猶是落二
落三了也。稍覺遲疑。便合喫痛棒。又何待開口以來。縱
能會得。堪作甚麼。豈不見。從門入者。不是家珍。又安

可為當家種草也。臨濟大師云。向第一句薦得。堪與佛祖
為師。向第二句薦得。堪與人天為師。向第三句薦得。自
救不了。博山則不然。向第一句薦得。便合喫痛棒。向第
二句薦得。添枷著杻。向第三句薦得。斬頭求活。何以
故。箇中半句。也容不得。誰與你論第二第三。鼓粥飯氣
去也。諸昆仲。欲明者箇說話。把萬緣放下。單單只究此
事。如一人被萬人趕來一趕。趕到萬丈坑邊。若不跳下。
便碎屍萬斷。當此之時。懸崖撒手。拌身一跳。直教到
底。使虛空粉碎。大地平沉。待氣息甦醒起來。便走上
岸。此岸即是大路。搖頭擺手到家始得。諸昆仲。莫說此
事是難。便生退屈。若生退屈。百劫千生無繇解脫。須發
勇猛信根。當知。乃佛乃祖。皆如斯成就。彼既丈夫。我
胡不爾。古所謂松花若也沾春力。根在深巖也著開。

上堂。至體無生。何拘緣境。理無修證。行絕堦差。所以

云。有相修行。多劫終成敗壞。無心體極。一念頓契佛
家。且如博山在此座上。列位承聽我法。是有心耶。是無
心耶。若說無心。聽法者誰。若說有心。將何頓契佛家。
非但不契佛家。猶恐墮有相修行。而多劫終成敗壞矣。諸
昆仲。若究本體無生。便合本妙。教中云。諸法不自生。
亦不從他生。不共不無因。是故說無生。此四句偈。徹底
為人。是教中極則。若是衲僧分上。一點也用不著。何以
故。在此淨白地上。誰管你自生耶。誰管你他生耶。誰管
你共生耶。誰管你無因生耶。若向衲衣下會去。說自生亦
得。說他生亦得。說共生亦得。說無因生亦得。何以故。
在此人分上。天不能拘。地不能束。陰陽不能管。五行不
能局。不作眾生。不成佛道。且道。畢竟向甚麼處去。良
久云。佛祖位中留不住。鑊湯爐炭孰輪迴。

上堂。面西行向東。北斗正離宮。道去何曾去。騎牛臥牧

童。慈明老人舌根拖地。列位知得也未。當知。此偈非妙
悟而莫能知。非情盡而莫能曉。皆一場笑具。說甚麼君
於此五位。接引初機。說甚麼。照用三玄。誘論後學。所以
臣云。靈苗瑞草。野父愁耘。玉鎖金匙。智人顧。若具超
方眼目。即道吾笏。向十字街頭。便好打禾山鼓。唱德山歌。擎秘
魔叉。舞風。其間還與博山同遊戲者麼。眾無對。復笑
嘯月吟風。有意氣時添意氣。不風流處也風流。

上堂。道非難亦非易。要在當人無師慧。一拳打破太虛
空。一脚踢翻滄海水。翻身直向新羅國。須彌倒挂毫毛
角。皓月團團出海門。清風匝地難描摸。難描摸知不知。
古今攸分類的。對面白雲千萬里。分明覷面更無真。語
聲低辯端的。對面白雲千萬里。分明覷面更無真。暗似日

兮明似漆。諸昆仲。須委悉。更有容易禪。重與通消息。
良久云。初三十一。中九下七。

中秋上堂。松風送韻。桂轂傳秋。涼徹煩熱胸襟。香遍閣
浮世界。諸昆仲。還知麼。還見麼。若知。掀翻大海。颺
却須彌。若見。除去爆耳迅雷。滅却搖空閃電。直得海嶽
齊平。石人起舞。呵呵大笑云。秋風涼秋夜長。未歸客思
故鄉。且道。那箇是未歸客。何人思故鄉。復笑云。三業
未能成佛智。十分秋色逼人寒。

上堂。一即一切。一切即一。明似黑月。暗如皎日。於此
四句之上會得。便見燦大師七縱八橫。釋迦尊九紫十赤。
其或未然。更有容易禪。與君須剖析。豈不見。水面挂燈
毬。東壁打西壁。生鐵鑄蒺藜。拶出黃金汁。阿呵呵。甚
奇特。明眼衲僧須辯別。參。

[言*奉]華嚴經。上堂。靈心皎潔。徹古該今。至理彌綸。
和真混俗。根境不實。元是華嚴微妙法門。大小相融。一
多自在。高低一顧。萬象齊彰。擬議之間。相隔霄壤。更
乃依文解義。却如掘地覓天。閉目藏睛。大似敲冰取火。
非為無獲。祇益自勞。何須抹轉上頭關。直下已是毗盧
藏。髑髏常干世界。鼻孔摩觸家風。如此信得。則頭頭彌
勒閣。處處毗藍園。既無淨穢之名。寧有佛生之異。其或
未然。推倒須彌山。即向汝道。

上堂。二月半。春風撼面時光換。百花郊外鬪芳妍。好鳥
枝頭爭噪亂。惟有禪家渾不改。塵毛括盡大千界。淨土分
明在目前。直下是名觀自在。誰更云玉閣瓊樓。誰更云幢
幡寶蓋。咦。夢幻空花。何勞賭賽。最喜杉山王老師。人
人只喫一莖菜。

歲旦上堂。和氣生枯卉。寒雲散野郊。木人占吉兆。夜半
露龜爻。大眾。此是博山寺。五百年前。無隱經禪師歲旦
上堂語。山僧今日。亦有四句。燭影搖紅處。香煙飛白
時。現成的佛法。也要大家知。如此會得。便見一年十二
月。月月如然。一日十二時。時時相似。如黃金之黃。白
玉之白。曠大劫來。未常變易。大眾且道。那裏是現成的
佛法。眾無對。師良久云。東君昨夜傳消息。報道新年喜
太平。

上堂。萬里不挂片雲。虛空突出眼睛。放開七片八片。收
來一丁兩丁。只饒通身是眼。筭來祇得八成。大眾。還有
十成的衲僧麼。咦。且莫道著。便下座。

上堂。無邊剎海。自他不隔於毫端。十世古今。始終不離

於當念。南陽忠國師。在天津橋上。看弄猢猻。汝等諸人
還見也未。三十年後。莫道博山不說好。

邵武新創寶安寺。上堂。指出古佛基。插草而成寶社。劈
破青山色。布金已建精藍。長者信手拈來。世尊破顏微笑。
笑。二大老向沒煙火處。鬪弄天工。於熱鬧場中。顛預道
者。博山遠承慈蔭。不免花擘家財。直教虛空逼塞。巖前
無湛水之波。大地平沉。法界絕藏身之跡。向沒蹤跡處。
建大法幢。擊大法鼓。震大法雷。演大法義。說一切智智
清淨。無二無二分。無別無斷故。諸昆仲。即今碧峯吳居
士。少峯何居士。建茲寶安禪寺。與長者同耶異耶。伶俐
衲僧。向者裏著眼始得。良久云。雲在嶺頭閒不徹。水流
澗下大忙生。

董巖講維摩經請。上堂。居塵出塵。即事離事。不轉位以

就功。即塵勞而出世。釋迦老人。土面灰頭。向者裏聊通
一線。指貪嗔癡愛。是箇大解脫法門。陰處界等。喚作放
光三昧。然此則不出三界。而證大涅槃。不剃髭鬚。而弘
第一義。箇中有箇明珠。解肘後靈符。笑雲居何必。碎趙州
斷紅塵。奪肉髻茫茫。便作諸佛不動智。將諸佛不動智。便
有無。將業識茫茫。諸昆仲且道。向甚麼處摸索。渠儂。可謂。沸
作湯急水。下足誠難。紫霧黃雲。開眼迷道。所以寶方云。
絲竹傳心。終成礙膺。博山到者裏。滿口道不出。還有向
未開口前。領略者麼。若有。可請出來。與博山相見。脫或
遲疑。少頃勞心空上人。代坐此座。向維摩經中。旁通箇
消息。珍重。

上堂。五五童子從妙喜國來。脚跟下多泥水。三萬菩薩往
毗耶城去。牙痕裏盡雌黃。不因示疾老毗耶。劔戟鎗林難

下口。諸昆仲當知。至體無法可繫。強名曰淨。求其淨相
不可得。但有其名。名亦不可立。或云無垢稱。木人看陽
燄翻波。石女聽乾城逸響。不留朕兆。法界齊觀。鼓吹將
來。一場露布。縱是通身無口。未免大笑毗盧。諸昆仲當
知。法假人弘。碑文刊白字。題因人立。當道種青松。猛
虎喉中活雀兒。救得是好。驚鼻蛇邊爛拄杖。拗折為奇。
且道。博山意在甚麼處。咩咩。以思惟心。測度如來圓覺
境界。如將螢火燒須彌山。終不能得。然則博山今日高登
華座。大展法筵。敢問。說何法耶。解脫法耶。不思議法
耶。不二門法耶。現神力法耶。咄。是何言歟。良久云。
維摩大士來也。稽首大士。雖則塵面蓬心。要且起居多福
(經題)。

上堂。如是之法。我從佛聞。如是之法。佛從我生。拶出
虛空之髓。倒拈[苜@良]蕩之鍼。觸著三世諸佛鼻孔。只得

吞聲忍氣。一任諸上座。抱大不平。諸昆仲當知。身外無
土。誰是佛國。土外無身。誰非佛國。湖南老人一麟角。
解道。聖人無己。靡所不己。又云。會萬物而為己。其惟
聖人乎。然此則佛即國。國即佛。佛外無國。求其國不可
得。松陰凝翠壁。國外無佛。求其佛不可得。香霧靄青
蘿。博山總不恁麼。是佛好與一擲。直教虛空粉碎。大地
平沉。是國好與一擲。直教大地平沉。虛空粉碎。諸昆
仲。直饒煉作一團。未是衲僧向上事。何以故。功德天黑
暗女。有智主人。二俱不受(佛國品)。

上堂。法身無去來之跡。應萬有故。不來而來。至體絕上
下之分。總羣機故。不合而合。寶蓋覆三千之界。微塵等
刹海之方。山河大地。川流泉源。日月星辰。天龍宮殿。
乃至十方諸佛說法。悉現於寶蓋之中。寶蓋覆世界。百千
萬億世界。入於寶蓋。而世界不小。寶蓋不大。世界覆寶

蓋。百千萬億寶蓋。入於世界。而寶蓋不小。世界不大。
於此五百寶蓋。而結成一蓋。莫是如來神力耶。大定莊嚴
耶。淨心變現耶。乃至無我無造無受者之成耶。若如此
會。則未夢見寶蓋在裏得麼。大千世界是沙門一隻眼。喚
喚寶蓋在諸上座靈光裏得麼。大千世界在沙門一點靈光裏。
寶蓋靈光蓋覆諸大菩薩亦不共。何漏耶。若非證道眼。五百童子眼。
喚共。乃至維摩大覺。童子眼。在甚麼處。作麼生是證道眼。門前修竹來儀
亦不共。且有道。五百童子眼。在甚麼處。諸昆仲。臥龍(獻寶蓋品)。
云。且道。五百童子眼。在甚麼處。諸昆仲。臥龍(獻寶蓋品)。
眼。五百童子眼。在甚麼處。諸昆仲。臥龍(獻寶蓋品)。
亦在甚麼處。諸昆仲。臥龍(獻寶蓋品)。
鳳。潤底清泉隱臥龍(獻寶蓋品)。

麼處去也。螺髻梵王。亦須具慚愧始得。諸昆仲。清淨寶
莊嚴土。悉皆圓現。諸上座還要見也無。若要見。便向者
裏見去。若不見。自是諸上座不見。怎恠得博山。良久
云。舌頭無骨眼無筋。對面白雲千萬里(淨土品)。

上堂。善權有則謂之方。物應斯順謂之便。大海全歸一
滴。太虛祇是一線。擲出駭雞之屎。入彼婬坊酒肆。放出
屠龍之手。何妨俗舍魔宮。現長者居士之身。雲藏無縫
襖。作帝釋天人之主。花綻不萌枝。諸昆仲。維摩大士。
以大悲入生死海。不捨眾生故。以大智入生死海。不迷眾
生故。逮乎開物導迷。應時通善。如一面寶鏡相似。汝將
一莖草來。鏡中便現一莖草。鏡安得成草也。汝將一錠金
來。鏡中便現一錠金。鏡安得成金也。汝將瓶盤釵釧來。
鏡中便現瓶盤釵釧。鏡安得成瓶盤釵釧也。諸昆仲當知。
終日度生。不見生之可度。金剛三昧經云。不生於化。其

化大焉。南嶽大師云。十方諸佛。被我一口吞盡。亦此意
也。又如烈火燄中。看華祖師在甚麼處。是草不留影。九維喚
海浪平道。吾祖師在甚麼處。是草不留影。九維喚
仲且道。吾祖師在甚麼處。是草不留影。九維喚
者。維摩大士在甚麼處。是草不留影。九維喚
佛。是金。還知淨。憑靈有背(方便品)。

上堂。諸仁者。是身無。常無強。無力無堅。速朽之法。
不可信也。若如不壞之身。當念具足。無處安著。四百病既
沒處安。四無量心。六波羅密。無不備舉。古所謂。若體直
全影。一切總麼。金剛等四大五陰是也。諸仁者。無
捷會。直捷之聚。即汝等密。即汝等密。即汝等密。即汝等密。
還要功德緣慮是也。六波羅密。即汝等密。即汝等密。即汝等密。
量功德緣慮是也。六波羅密。即汝等密。即汝等密。即汝等密。
起緣慮是也。六波羅密。即汝等密。即汝等密。即汝等密。

裏身不紫月心以成萬悉不右魔者。無
鏡以冰。萬林其能無物森莫之千乞淨。
伏不可。孟提別得。智乎。及辰。左二下清
降不津故。智智。及辰。左二下清
行者。嚼菩差可玄聽。及辰。左二下清
萬提人。是無不登其儀。日月明道之至一切
花菩冬心。三身步容其日月晝名功下
空夫三心。是其步以狀。日晝。淨無。下
成就。歟。得。心。提。求。則。無。以。物。非。運。來。云。
場。謂。心。以。菩。提。地。到。聰。者。無。人。駢。無。各。如。若
道。此。可。不。心。及。理。得。云。像。者。今。馬。足。薩。勝。難。故
月。非。不。可。不。心。及。理。得。云。像。者。今。馬。足。薩。勝。難。故
水。事。樹。提。色。於。不。肇。其。天。鄉。坊。足。萬。至。等
置。佛。影。菩。春。光。提。亦。以。措。今。市。舉。三。上。等
安。佛。影。菩。春。光。提。亦。以。措。今。市。舉。三。上。等
所謂。中。無。是。邊。秋。菩。提。所。以。措。今。市。舉。三。上。等
所。夢。燒。身。無。辯。其。識。者。無。謀。跡。當。住。之。燈。是
古。就。火。得。裏。誰。求。能。辯。無。鳥。力。光。無。不
夢。成。月。得。就。中。誰。求。能。辯。無。鳥。力。光。無。不
說。軍。六。身。得。就。中。誰。求。能。辯。無。鳥。力。光。無。不
中。魔。得。可。千。渚。不。知。運。務。象。承。之。女。果

二無二分。無別無斷故。諸昆仲。要會維摩意麼。都是菩提。無有不是之者。要會博山意麼。都不是菩提。無有是之者。箇中有伶俐衲子。將是非二字。拈向一邊。從者裏會去(彌勒品)。

無異禪師廣錄卷第四

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第五

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

住建州董巖禪寺語錄

上堂。不來相而來。不見相而見。城東母指皆佛面。來已更不來。見已更不見。萬別千差成一片。欲知萬法皆空。大似浮雲閃電。智者了無分別。愚徒強析名言。欲求正智。當於六十二見中求。幾片白雲橫谷口。欲求解脫。當於眾生心行中求。一輪明月印波心。野狐向金毛隊裏翻

諸生處正好。純海慧菩薩作二。是早且。及於起空。無此大。名若順。不生明。魔。見塞。縱。到。是。量。解。體。麼。天。揚。重。眾。不見。拈。牛。本。有。法。商。便。至。作。佛。瞬。珍。一切。惡。見。空。本。有。法。商。便。至。作。佛。瞬。則。不。還。拈。泥。其。身。等。共。慧。雖。槃。心。禮。佛。瞬。則。亦。是。跨。安。味。共。有。縛。涅。清。漢。去。死。見。雖。跨。安。味。共。有。縛。涅。清。漢。會。樂。生。倒。拔。上。禪。時。有。解。是。香。胡。斯。死。者。挈。安。不。山。貪。月。量。此。香。胡。如。生。道。跛。何。緣。泰。心。清。法。商。仲。鼓。燒。胡。地。者。外。太。界。攀。在。心。風。諸。汝。昆。五。待。喚。踞。魔。來。動。三。攀。在。心。風。諸。汝。昆。五。待。喚。中。眾。死。不。也。何。生。有。愛。待。等。共。諸。五。待。喚。窟。也。將。見。去。緣。成。以。生。禪。時。施。暗。至。也。狐。也。將。見。去。緣。成。以。生。禪。時。施。暗。至。也。野。侍。把。諸。及。則。鐵。夫。時。不。貪。電。用。畫。乃。應。向。吾。於。及。則。鐵。夫。時。不。貪。電。用。畫。乃。應。毛。皆。捨。楔。所。生。若。如。雷。轟。六。山。齋。法。相。金。道。不。菩。楔。所。生。若。如。雷。轟。六。山。齋。法。相。身。外。死。麼。以。縱。剛。底。方。無。麼。一。薩。粥。道。

品)。

上堂。諸昆仲。盡大地是黑漆漆地。汝向甚麼處開眼。盡大地如箇猛火聚。汝向甚麼處藏身。盡大地如一釜烱銅汁。汝向甚麼處開口。盡大地是箇鐵刺林。汝向甚麼處下足。古所謂。三界無法。何處求心。四大本空。佛依何住。經云。夫求法者。不著佛求。不著法求。不著眾求。乃至若求法者。於一切法。應無所求。然則盡大地。光皎皎地。無你開眼處。無你藏身處。無你開口處。無你下足處。四大五陰向甚麼處安著。山河大地從甚麼處得來。然此則孤迥迥。峭巍巍。淨鞞鞞。沒可把。盡大地無鍼鋒許空缺處。釋迦老人亦無開口處。神通妙用。總用不著。又何勞斷取妙喜世界。借座燈王如來。斂沙界於毫端。擲大千於方外。納須彌於芥子。藏劫火於腹中。延七日為永年。促長年為頃刻。大似聚沙作塔。等同兒戲。衲僧分上

總用不著。且道。衲僧有甚麼長處。自從劫外花敷後。直至如今笑未休(不思議品)。

上堂。諸佛是幻。眾生是幻。菩薩亦幻。幻出無根。幻復成幻。幻佛既知幻我。我幻何如佛幻。一切幻菩薩。於此幻世界。以斯幻法。覺悟幻生。於此幻化中。行真實慈也。於真實慈中。成就無邊幻善。向無緣體上。度脫無量幻生。撈碎玉琉璃。虛己實他是務。揭開真實藏。賑貧濟乏為佳。善不善若浮雲。碧海珊瑚孕秀。身受身如旅泊。瑤池蓮萼披芳。欲貪從虛妄而生。鐵牛舐犢三春雨。分明從顛倒而有。木馬嘶風一夜雲。諸昆仲當知。幻法無依。真心無住。無住無依。是大火聚。石火電光。急著眼覷。取之是迷。捨之非悟。關穿險危。鴉飛不度。如虎之缺。如馬之鼻。指花夢花。見柱非柱。輔之順之。五五廿五。於是文殊師利菩薩。以無住本。立一切法。大似無風起

浪。平地生波。檢點將來。好與痛棒。何以故。為渠祇會
遮惡。不知護善。復笑云。也是為他閒事長無明(觀眾生
品)。

上堂。虛而靈。寂而妙。纔思惟行不到。堪笑缺齒老趙
州。將丈六金身。拈來當莖草。一莖草是箇天女身形。維摩丈室。天
女從甚麼處得來。一莖草是箇天女面熱瞞。此花不如法。是
麼處。只饒天花不著。也被渠當著水不得。勿謂此花不如
以去之。眼裏著沙不得。耳裏著仁者自生分別想耳。淨白人
法。所以說夢。天止此室解脫。淨白人前。不得說夢。汝於
前壽。吾止此室。如耆前不遘村。後不迭店。如入蒼蔔林。惟
三乘。當何志求。前不遘村。後不迭店。如入蒼蔔林。惟
嗅蒼蔔。不嗅餘香。淨白人前。不得說夢。汝何不以不轉女
身。舍利弗莫是男子麼。我十二年來。求女人相。了不可

得。當何所轉。淨白人前。不得說夢。汝於此沒。當生何
所。鑊湯爐炭。劍樹刀山。佛化所生。吾於彼生。淨白人
前。不得說夢。汝其久如。得阿耨多羅三藐三菩提。七佛以
前。安名立字。淨白人前。不得說夢。我為凡夫時。無有是
處。舍利弗。即今豈是聖人耶。我得阿耨多羅三藐三菩提。
亦無是處。淨白人前。不得說夢。諸昆仲。寒則普天寒。
熱則普天熱。甜瓜徹蒂甜。苦瓠連根苦。雲從龍風從虎。
聖人作萬物覩。維摩會上。一箇箇聖智睿聰。何似博山座
前。聾者聾兮瞽者瞽(天女身品)。

上堂。如何是佛。七凹八凸。如何是道。冰霜雪雹。要知
佛道幽玄。者裏看來。恰好通達佛道。行於非道。擊水驚
魚。穿林驚鳥。行於非道。通達佛道。以緇混素。呼白為
皂。謾將惡水。驀頭澆。昨日嬰兒今已老。行五無間罪而徹

底冰清。入三惡道而澄潭落影。徹底冰清。骨格繇來故
舊。澄潭落影。風流不出當家。示行三毒。而成就慧心。
九轉金丹堪點鐵。示行六度。而豁開智眼。幾番落葉不知
秋。徹妙義於諸經。架橋梁於六趣。破魔外之計執。成權
小之智悲。可謂。寶守功德。取之不竭。用之不盡者也。
乃至投明珠於濁水。擲至寶於淤泥。興正路於邪途。現涅
槃於生死。譬夫一水成湯。鹹之淡之。酸之辣之。甜之苦
之。且道。喚甚麼作水也。喚甚麼作湯也。經云。如是行
於非道。是為通達佛道。有人於者裏簡點得出。博山將袈
裟覆之。珍重(佛道品)。

上堂。蜂房有蜜。粳米有粥。無明是慧。煩惱即佛。日月
月從東海昇。日日向西山沒。大丈夫兒。誰不知有。虛
空坐斷成窠臼。無為大浸任彌天。植種於空終不就。經
云。有身是如來種。真箇是蝦跳不出斗。無明有愛。是如

來種。好兒終不揚家醜。貪恚癡是如來種。一切佛法從斯有。四倒五蓋。六入七識處。是如來種。人人鼻孔向下垂。那箇眉毛不解皺。乃至十不善道。六十二見。一切煩惱。皆是佛種。榼[木*(天/韭)]堆頭無價珠。一顆圓明非淨垢。諸昆仲。若向者裏會去。正是借路還家。就身打劫。無量寶聚。當下知歸。若者裏不會。直饒坐斷虛空。清光照眼。不通凡聖。正是迷家。於衲僧分上。了無交涉。是以曼殊大士。善用返魂之藥。仍續斷途之橋。捩轉鼻頭。掀翻唇齒。布菡萏於淤泥。植菩提於糞壤。指生死海。內有無價寶珠。諸昆仲。我等即今在生死海內。頭出頭沒。且道無價寶珠。在甚麼處。膿血團中赤骨歷。精光直射斗牛虛(如來種品)。

上堂。大道之源。混沌之先。騰今耀古。徹地通天。斫却中心樹子。看來祇得一玄。諸昆仲。若論此事。要識得親

有化為人舍誘苑造水。淨華親生。毗此從悲心各房攝園解定。七若知法身主。更以師為妻。假含廣納。花清。以父母。要知法身。畢。方便導。以為不寂。是總持妙。三昧。布。生。座。要知。事。方。眾。喜。儻。當。己。也。是。總。持。妙。三。昧。經。云。親。上。座。傳。學。母。一。切。法。傀。當。己。也。是。總。持。妙。三。昧。經。云。親。上。座。傳。參。母。一。切。法。傀。當。己。也。是。總。持。妙。三。昧。經。云。親。上。座。傳。道。菩。薩。也。一。棚。又。成。音。適。池。也。不。辯。識。得。諸。上。座。傳。莫。度。又。盧。眷。屬。般。親。是。開。浴。不。可。不。辯。識。得。諸。上。座。傳。母。智。也。毗。眷。屬。般。親。是。開。浴。不。可。不。辯。識。得。諸。上。座。傳。生。云。也。非。摩。許。多。弟。子。法。言。也。除。垢。訛。無。垢。法。身。明。得。經。生。導。男。還。是。歌。誦。樹。林。熱。聲。得。無。師。指。出。得。主。親。生。導。男。還。是。歌。誦。樹。林。熱。聲。得。無。師。指。出。識。主。親。儀。實。看。盆。也。疏。也。有。一。事。識。得。無。師。指。出。若。有。非。化。誠。點。旋。女。也。扶。果。更。有。人。知。毗。兒。能。母。身。是。心。檢。勞。妓。固。慧。間。垢。便。手。父。母。此。善。下。塵。是。密。是。其。無。垢。便。手。生。師。儀。生。女。衲。也。引。也。實。也。浴。父。母。麼。

有一僧。向博山道。和尚莫錯。從古洎今。未嘗有人如是披判。博山祇向他道。博山錯。何似上座錯。豈不見。不因夜來鴈。爭見海門秋(不二門品)。

上堂。饑來喫飯。困來打眠。咬著牙齒。震動大千。俊鷹不打籬下雀。好兒終不用爺錢。舍利弗纔欲得食。早已被呵。我等一日三餐。如何理會。廬陵米價。要且不知。閻羅老子打筭飯錢。作麼生折合。到者裏。智慧辯才。神通沙世界上眾香世界。乞香積世尊所食之餘。復至娑婆世界。施作佛事。衲僧分上。簡點將來。正是鬼神活計。當得甚麼事。諸昆仲。若知十方國土。猶如虛空。眾香世界。不離跬步。一念清淨。釋迦佛即是香積佛。娑婆世界。香積世界。若一念非清淨。香積佛即是釋迦佛。眾香世界。即是娑婆世界。諸昆仲。若向者裏信。便信去。若不信。

從教立。在古屏畔。待使丹青入畫圖(香積品)。

上堂。寂然不動。感而遂通。釋迦老人。有耳如聾。胡地
冬抽香筍。楚天鴈入回峯。擊碎晴空一色。揭開雲霧千
重。此是衲僧分上具足底神通妙用。又何勞化寶座。將丈
室置右掌。然後為神異哉。亦是維摩大士佛事門頭。瞥爾
如是。非實事也。眾香世界以香飯入律行。娑婆世界以文
字語言而入律行。此悉是菩薩導機動善應權化物。亦非實
佛事。或有國土。以佛光明而作佛事。乃至有以佛威儀進止。諸所
佛施為。而作佛事。然古今非一。世變時遷。在博山分上。森
總用不著。博山但將現成底現前底。指示大眾。有時以森
羅萬象。而作佛事。有時以日月星辰。而作佛事。有時以
園林浴池。而作佛事。有時以水流風動。而作佛事。有時
以揚眉瞬目。而作佛事。有時以搬柴運水。而作佛事。乃

至與諸上座。耍笑謳歌。而作佛事。諸昆仲且道。與釋迦老人維摩大士。是同耶別耶。復笑云。日月有明晦。聖凡無二心(菩薩行品)。

上堂。道遠乎哉。觸事而真。聖遠乎哉。體之則靈。見聞覺知。是載道之器。道不即見聞覺知。亦不離見聞覺知。動靜起止。是聖所行處。聖不即動靜起止。亦不離動靜起止。若得大轉變。方有語話分。諸昆仲。若以見為見。有見有不見。以無見為無見。此即成斷見。若欲具正見。無見無不見。若以動為動。妄心彌更動。以無動為無動。此人非佛種。若欲知不動。動上有不動。會得此意。縱萬境紛紜之際。而恬然寂然。所以肇公云。江河競注而不流。野馬飄鼓而不動。日月麗天而不週。教中謂。東方妙喜世界有佛世尊。名曰不動。東方乃羣動之本。佛名不動。亦此意也。而以妙喜世界。入娑婆世界。事有往還之跡。理

無往還之功。如有一人從東方來。東方虛空。無有空缺
處。復至西方去。而西方虛空。無有逼塞處。如斷妙喜世
界。至娑婆世界。妙喜世界無空缺處。娑婆世界亦無逼塞
處。非神通力也。法如是故。若會得此意。是名真法供多羅
如來。諸供養中。法供養最。何以故。一切諸佛阿耨多羅
三藐三菩提。皆從此經出故。法華經云。假使有人。登須
彌頂。為人宣說十二部經。未足為難。暫讀此經。是則為大
難。諸昆仲黑的是字。白的是。紙縱是圓頓教乘。不出大
方廣十二部經典等。且道。喚甚麼作此經者。葛藤話不
了。喝一喝云。專為流通(見阿闍佛供養品)。

上堂。佛法付與國王大臣長者居士。世諦語言皆合道。誰
家絃管不是傳心。佛法付與沙門釋子菩薩大士。袈裟一段風
流事。不是飽參人不知。昔者雲陽老師初住此山。荷擔大
法。豫齋趙公扶助此道。師資相契。如水乳合。陽師化

佛。向也。一獨圓快。拘。成。一。註。共。除。中。
信。海。免。靈。本。甚。身。爛。圓。之。重。含。靈。大。斷。
地。德。不。靈。染。去。分。爛。自。佛。佛。聖。山。取。刮。
閩。功。博。師。無。會。耀。通。愛。如。道。凡。聖。現。裏。邪。
所。乃。大。性。句。獨。通。如。佛。尊。體。色。是。
善。非。眾。丈。心。第。靈。常。癡。如。獨。全。聲。亦。
弘。者。齋。百。第。靈。常。貪。嗔。即。秀。吾。生。向。如。
世。董。設。文。字。向。第。靈。常。貪。嗔。即。秀。吾。生。向。如。
四。董。士。也。拘。昆。註。體。染。作。將。下。一。念。遮。趣。
孫。謂。居。去。不。諸。箇。裏。無。麼。更。天。下。一。念。遮。趣。
及。所。尸。讚。不。諸。箇。裏。無。麼。更。天。下。一。念。遮。趣。
子。余。泊。慶。常。佛。為。耳。甚。會。天。上。實。被。雲。遮。趣。
二。出。李。因。露。如。重。裏。心。喚。不。天。上。實。被。雲。遮。趣。
公。流。吾。藤。體。即。山。眼。教。緣。裏。不。天。上。實。被。雲。遮。趣。
趙。中。勉。葛。塵。緣。然。根。塵。大。離。者。遍。虛。六。甚。
虛。巖。期。葛。塵。緣。然。根。塵。大。離。者。遍。虛。六。甚。
湛。此。之。爛。根。妄。未。脫。流。出。但。聞。照。傳。人。喚。
得。從。制。陳。脫。離。或。迥。流。出。但。聞。照。傳。人。喚。
仍。悉。解。陳。脫。離。或。迥。流。出。但。聞。照。傳。人。喚。
後。法。今。兩。耀。成。便。處。文。猶。字。解。我。地。煩。惱。

翳。隨順世緣無罣礙。飲水須防噎。涅槃生死等空花。何處得此名字。還會麼。更或遲疑。博山將維摩經。從頭復解一遍。良久云。雕沙無鏤玉之談。結草乖道人之意。便下座(囑累品)。

書坊仙亭。上堂。糙石秦王鏡。涓流古澗泉。微塵山海量。螢火樹頭煙。諸昆仲此四句偈。有一句殺。有一句活。有一句縱。有一句奪。若人檢點得出。博山與他結箇同參。其或未然。不免駕雲霧吸。山川弄神通顯妙用。又怎恁得博山。博山十年前。曾到此山。見雲霞縹緲。古木含煙。有泗泉余公。道愛殷殷。尚壯壯然也。博山十年後。到此山。復見縹緲雲霞。含煙古木。泗泉余公今已矣。也若以人比古木。人實同幻化。古木乃恒常也。若以古木比山川。古木有摧折。山川乃恒常也。若以山川比雲霞。山川有崩缺。雲霞乃恒常也。若以雲。霞比虛空。雲

霞有去來。虛空乃恒常也。若以虛空。比吾大圓覺體。虛
空有成壞。而吾大圓覺體乃恒常也。更有一恒常。不與諸
昆仲道。諸昆仲各人向衲衣下抖擻看。若抖擻得出。便好
與博山相見。有麼有麼。袈裟不是恒常事。臭爛骨頭。仔
細看。

戊辰。重至董巖。上堂。天不蓋地不載。是甚麼物。諸禪
者也。須審細。千人萬人中。不向一人。不背一人。是甚
麼物。諸禪者也。須審細。虛空包不住。大地載不起。是
甚麼物。諸禪者也。須審細。蚊蟲眉睫上安身。蟪蛄腹中
敷坐。是甚麼物。諸禪者也。須審細。於此四種上會去。
許諸人升。博山堂。未曾入。博山室更須知。博山室中。
受用始得。諸昆仲頓明佛心。毫無差互。世間心念。不見
纖毫。始名出世間人。逢世間逆順境界。賢愚好反。如以
手觸空。了無交涉。所以達磨大師云。亦不覩惡而生嫌。

亦不觀善而勤措。亦不捨愚而近賢。亦不拋迷而就悟。達
大道兮過量。通佛心兮出度。不與凡聖同塵。超然名之曰
祖。卓拄杖云。達磨大士來。也為汝等。敷宣第一義諦。
且道是何章句。層巖磊落從。教日炙風吹。行樹清涼好。
看花飛蝶舞。

上堂。佛不求佛。心不覓心。設有求覓者。皆昧心取境。
耳。若達境惟心。不生分別想。山河無影跡。大地絕形
蹤。青松與綠竹同科。白鷺共黃鸝一色。理無異狀。緣幻
千途。果然徹究根源。頓絕凡情聖解。古德云。若人識得
心。大地無寸土。當知此一字法門。豈但奪盡世間法。假
饒千佛出興於世。行苦行。坐道場。說法利生。般大涅槃。
祇是緣生法。以智眼觀之。如夢如幻。攝大乘論云。
即諸三摩地。大師說惟心。由心彩畫故。如所作事業。若
達本忘情。自然無惑。諸昆仲此是教家極則。更須知。祖

師門下長處。始得。且道。作麼生是祖師門下長處。拈拄杖云。昨日是重陽。今朝又過一日。也卓拄杖。下座。

上堂。如何是道。平常心是道。是聖是凡。都一掃。纔生擬議。隔天涯。大似尋空向壁討。諸昆仲能由境有。境逐能成。境由能境。能由境能。拄杖子。喚作能。三十棒趲出院。喚作境。三十棒趲出院。喚作非能非境。三十棒趲出院。喚作亦能亦境。三十棒趲出院。三祖大師無風起浪。平地生波。簡點將來。不無滲漏。雖然如是。下文幸有捋言。豈不見。六塵不惡。還同正覺。智者無為愚人自縛。據此亦有過犯。何以故。說箇同字。好與三十棒趲出院。卓拄杖云。不是與人難。共住大都。緇素要分明。

上堂。釋迦大師從本無生。緣起而有生者。鏡中之影像昭然。從本無滅。緣盡而有滅者。水上之漚華寂爾。四十九

年。夢語百千萬種真慈。掉盡老婆舌頭。償盡眾生口業。
無端被迦葉尊者覷破。只得無地藏身。博山雖是他脚下兒
孫。要且不沾著些兒痕跡。何以故。彼既緣生。我亦緣
生。當知。拄杖子。不在其類。彼既緣滅。我亦緣滅。當
知。拄杖子。不在其類。諸昆仲還識拄杖子麼。橫拈直
撞。無情識。生滅場中不涉伊。識得箇中何所似。牡丹花
下睡貓兒。卓拄杖。下座。

無異禪師廣錄卷第五

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣
錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依

卅新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第六

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

住建州大仰寶林禪寺語錄

結制上堂。諸佛出世。為一大事因緣。幾幅素縑描不出。
博山出世。亦為一大事因緣。一條白練驀頭穿。破顏老漢
曾相委。多少人天受熱瞞。諸昆仲此事不從功行得。不從
修證得。不從思維得。不從禪定得。饒你將自己身心煉
得。如枯木寒灰。百年在定。終如一箇死人。於本分事

中。全無交涉。所以道。直饒到澄潭月影。靜夜鐘聲。隨
扣擊以無虧。觸波瀾而不散。此猶是生死岸頭事。諸昆仲
直須向花柳街前。遶得九衢春色。芙蓉岸上。帶來八面秋
風。始能應用無虧。隨緣自在底日子。諸昆。仲還知博山
今日底行履處麼。良久云。祇有一雙窮相手。未曾輕揖等
閒人。

上堂。心不是佛。智不是道。知盡無知。無知知要。博山
晝起暗眠。算來恰恰。却好對談。無論是和非。三寸舌頭
胡亂掃。有問禪。夜深明月照窗前。有問道。無角泥牛臥
荒草。有問法。南嶽石頭苔路滑。有問僧。眼中瞳子面前
人。更有當陽向上句。分明說與君須記。從來孝子諱爺
名。等閒拈出同兒戲。諸昆仲博山。今日拈出。可謂。不
惜家珍也。祇要諸人領略。不然則辜負大眾去也。復笑
云。不辜負賸栽無影樹。留與後人看。

流沙絕域之外。捷見飛黃。直下舉向上機。徹頭示末後句。諸昆仲既是直下。喚甚麼作向上機。既是徹頭。因甚是末後句。復笑云。金背黃牛眠綠草。銀蹄黑犬吠青天。

上堂。心本是佛。智本是道。認奴作郎。終成不肖。東寺要索鎮海珠。仰山傾出一桡棹。釋迦彌勒為渠忙。帶累博山渾落草。不落草。萬里山河明杲杲。西湖水浸碧琉璃。南海波斯無處討。諸昆仲當此時也。秋日微微。秋菊離離。秋雁南飛。秋猿夜啼。古所謂。欲知佛法。當觀時節因緣。今時節至矣。作麼生是本成佛底心。以手約云。看看。傍觀者哂。當局者迷。參。

上堂。諸昆仲須善巧。彌勒布袋頭。祇要今時了。耍笑與謳歌愈聽聲愈好。且如博山上堂。大眾聽法。畢竟承誰恩力。稽首慈氏大師。神通不同小小。

上堂。昨日是重陽。今朝不見九。惟有破落僧。面南看北
斗。懶烹石女茶。酷愛曹山酒。棒打石人頭。不落瞿曇
後。諸昆仲通玄一脈。智者知疎。不動金鞭。白牛迥野。
擬向溪東牧。不免食他國王水草。渾家不著孝。撲碎玉琉
璃。擬向溪西牧。不免食他國王水草。罷拈金彈子。大地
沒閒人。不如隨分納些些。秋風多帶殺。秋露逼人寒。諸
昆仲更須知。人牛不見海湛空澄。涓滴非聲。千山不露。
恁麼時節。轉位就機一句。作麼生道。堪笑陶彭澤。無錢
對菊花。

上堂。雲居祐禪師云。月色和雲白。松聲帶露寒。好箇真
消息。憑君仔細看。諸昆仲此四句偈。如啞子作通事。分
明舉似於人。祇要披襟領荷。博山今年。到寶林寺。恰恰
應者箇時節。不免註解一遍與大眾。結箇出世大因緣也。

月色和雲白。人居翠蓋東。更求親切句。歎乃月明中。松
聲帶露寒。冷落絕躋攀。渾身赤骨歷。坐破蘚苔斑。好箇
真消息。全歸顧盼中。夜深人盡曉。清碧許誰同。憑君仔
細看。當下骨毛寒。携筇深嶂裏。跌坐聽緡蠻。諸昆仲且
道。博山註解還。徹古人意否。一聲鐵笛歸來晚。笑展家
風爛熳看。

上堂。說一箇禪字。好與三十棒。杖頭有眼明如日。說一
箇法字。好與三十棒。優鉢無根滿樹花。說一箇佛字。好
與三十棒。分付老盧高著眼。說一箇僧字。好與三十棒。
莫教流落在天涯。過得瀟湘渡口。便知清白人家。管甚煙
雲埋沒。從教黑豆生芽。翻思昔日雲門老。卸却鐵枷。真
箇好一棒打殺。貴太平免使兒孫落荒草。諸昆仲開眼說
夢。醒亦是迷。白酒青鹽。我乃是誰。寒冰烈火。痛下針
錐。今古幾多伶俐漢。分明辜負一雙眉。復笑云。博山罪

過。

上堂。我有一句子。當下絕羅籠。遇險收雙足。登山跨遠
峯。雲凝天欲曉。雷震鳥潛蹤。瑞草和根拔。曇華徹蒂
紅。三玄稱絕唱。九帶應奇逢。淡淡澄江漢。啾啾較蠛
蠓。不吐南山霧。何妨八面風。兔角情方瞥。龜毛意轉
濃。拈香添社火。擇菜挫來鋒。石女頻加額。木人幸斂
容。頗馱堆山富。還期徹骨窮。倒騎折足馬。蹋碎玉屏
風。諸昆仲此句。乃宗門以肯綮之談。博山今日盡情吐
露。若要會此偈意。從水晶宮裏。穿下過來。打破琉璃餅
子。然後向十字街頭。與博山相見。更有話在。

上堂。諸法不自生。高樓石女夜吹笙。亦不從他生。展似
眉毛作麼生。不共不無因。青山隱隱碧稜層。是故說無
生。漫江水浸石頭城。幾多獵犬尋羊跡。誰知一馬生三

寅。髻。鬣。喜。從。城。下。看。暮。年。不。見。白。頭。人。黃。菊。落。英。秋。又。
過。不。知。誰。會。凭。欄。情。識。盡。髑。髏。聽。犬。吠。銷。乾。枯。木。喜。龍。
吟。諸。昆。仲。更。有。三。玄。與。三。要。鐵。膽。銅。心。無。處。討。吸。乾。滄。
海。露。出。珊。瑚。枝。衝。開。碧。落。不。顧。無。根。草。諸。昆。仲。不。許。夜。
行。投。明。須。到。

上。堂。世。尊。拈。花。久。晴。雨。也。迦。葉。微。笑。久。雨。晴。也。航。海。
西。來。衣。線。綻。也。斷。臂。訓。心。骨。髓。露。也。瘋。顛。求。懺。罪。性。
空。也。倩。人。書。偈。本。無。物。也。南。嶽。磨。磚。牛。非。駕。也。馬。祖。
一。喝。雄。峯。震。也。三。日。耳。聾。聰。無。敵。也。踢。倒。淨。瓶。世。界。
傾。也。三。遭。痛。棒。杖。開。眼。也。卸。却。鐵。枷。脚。脛。斷。也。過。水。
撈。著。渠。是。我。也。覩。影。大。悟。我。非。渠。也。迤。邐。行。脚。知。親。
切。也。博。山。大。似。不。肖。兒。孫。簡。點。祖。宗。過。失。今。日。不。免。翻。
案。做。箇。克。家。子。將。七。珍。八。寶。收。拾。在。一。處。然。後。跨。白。牛。
而。坐。斷。十。虛。乘。清。風。而。遊。乎。八。極。斫。盡。青。松。驚。起。千。年。白。

鶴。高登碧嶂。蹋翻幾片閒雲。然雖如是。更須知。博山野牧樵情。始到大安樂處。不然。直饒聖處受生。未免竿頭險墮。

上堂。梅檀叢林。梅檀圍繞。既披龍樹影。不問鄧林材。荊棘叢林。荊棘圍繞。鴻鵠雖有志。安識海雲低。荊棘叢林。梅檀圍繞。客來雖不待。應物善知時。梅檀叢林。荊棘圍繞。高樓聲漸細。移月過滄洲。古人指出此四種叢林。敢問。諸上座畢竟在那一種叢林。安身立命。博山曾一一穿過。今與大眾。開幾重關鎖。要入之者。不可僮侗。善而擇之。若說梅檀叢林。穿過荊棘叢林。幾點翠封堦下石。數行鴈過楚天秋。若說荊棘叢林。穿過梅檀叢林。不因樵子徑。怎到葛洪家。若說梅檀叢林不是荊棘叢林。荊棘叢林不是梅檀叢林。竹風與蕙蘭分香。松影適雲煙異色。若說梅檀叢林即是荊棘叢林。荊棘叢林即是梅檀

叢林。水中擇乳。須是鷲王。敢問。諸昆仲。博山今日。
在那一種叢林。良久云。野老不知菴外事。慇懃只向佛前
燈。便下座。

上堂。達磨不虛傳。二祖不虛受。碧眼胡僧皺兩眉。看來
不著隨人後。密究深裁。全火祇候。龍隱長空。鷄鳴白
晝。諸昆仲當知。魚遊陸地。笑殺陝府鐵牛。虎踞衝衢。
驚倒嘉州大象。法界撮來一粒。泰山只重三斤。到此則罷
扳雲樹。懶聽風柯。飲啄隨緣。無循軌度。有時在太陽門
下。而玄唱玄提。有時在明月堂前。而分斤分兩。有時在
芳草波心澡浴。而手折青蓮。有時在紫羅帳裏謳歌。而鍼
環玉線。諸昆仲縱有歡客嘉賓。向甚麼處。與博山相見。
良久云。前村煙浪裏。犬吠有人家。

上堂。博山門庭寬曠。應接周流。寶鏡高懸。珠簾倒捲。

閒花野草。翻性地之靈苗。篆縷香雲。示緣生之實相。進
得博山門。則百千萬億門。一時透徹。妙叶該通。重重無
盡。諸昆仲且道。博山門如何進。以手彈指云。是處是彌
勒。無門無善財。

上堂。春雨淋不去。瓊花生碓嘴。夏日曬不乾。深陰淨如
洗。秋月頗相宜。澄潭不見底。冬雪凍法身。飄颻千萬
里。四季共一年。循環差可擬。寒暑不同時。彼此非相
似。恁麼也不得。黃河水倒流。不恁麼也不得。虛空生兩
耳。恁麼不恁麼總不得。燒火拾枯柴。遊山觀止水。恁麼
也得。買石得雲饒。不恁麼也得。移花兼蝶至。恁麼不恁
麼總得。碧沼間紅蕖。清風翻白羽。諸昆仲以字不成。八
字不是。是甚麼字。以手畫一圓相云。白牛放去無蹤跡。
空把山童贈鐵鞭。

上堂。古鏡[潤-日+活]一文。世界潤一文。世界潤一文。
火爐潤一文。火爐潤一文。法座潤一文。法座潤一文。髑
髏潤一文。髑髏潤一文。眼睛潤一文。如何是古鏡隱顯。
幾微無欠賸。如何是世界。拈來擲去椰子大。如何是火
爐。深撥寒灰有點無。如何是法座。坐談誰管天花墮。如
何是髑髏。趙州東壁挂葫蘆。如何是眼睛。團圞光瑩若銅
鈴。諸昆仲今朝初一。明日十五。雪峯拋毬。禾山打鼓。
大家齊賀太平年。聾者聾兮瞽者瞽。惟有窗前白兔兒。帶
角鑽歸三尺土。咄。下座。

上堂。天不蓋地不載。逢貴買遇賤賣。進前纔索商量。漆
桶依然不快。諸昆仲須是全身拶入。徹底翻開。大唐國裏
沒禪師。沸鐵烱銅難下口。今有一事。問汝諸人。水底石
頭顛倒走。雲中泥鴈往來飛。者箇若是即頭上安頭。如汝
文殊。更有文殊。是文殊者。者箇不是即斬頭求活。如一

月真。其中更無。是月非月。目前無法。意在目前見。見
之。時。見非是見。見猶離見。見不能及。不是目前法。非
耳。目。之。所。到。斫。却。月。中。桂。清。光。影。更。多。諸。昆。仲。諸。方。將。宗
註。教。博。山。將。教。註。宗。還。有。優。劣。也。無。註。則。註。矣。破。則。破
矣。且。道。夾。山。意。在。甚。麼。處。好。鳥。盡。從。林。下。過。鳳。凰。不。變
舊。時。巢。

上堂。一法若有。毗盧墮在凡夫。富嫌千口少。萬法若
無。普賢失其境界。貧恨一身多。泰山與華嶽爭衡。少室
共雄峯側耳。腹藏四大海。脚蹋須彌盧。於金輪際下。探
不。二。之。真。源。向。香。積。界。中。搏。無。殊。之。法。食。此。猶。是。門。庭。施
設。小。不。思。議。衲。僧。分。中。了。無。交。涉。諸。昆。仲。須。知。法。外。無
身。心。外。無。境。智。外。無。土。空。外。無。塵。纖。芥。方。投。千。門。洞
達。一。塵。纔。起。大。地。全。收。結。菴。摩。羅。菓。於。不。思。議。之。鄉。植
梅。檀。陀。林。於。無。陰。陽。之。地。且。道。古。今。阿。誰。得。恁。麼。受。用。

惟有傅大士較些子。君不見。山海坦然平。敲冰來煑茶。
惜乎此老早矣。未曾得見博山。若見博山。好與痛棒。還
是賞伊罰伊。要渠識痛癢始得。諸昆仲此事不要與列位公
子得知。若知時將謂佛法容易也。然雖如是。且道。那箇
皮下無血。珍重。

上堂。居一切時。不起妄念。月中丹桂和根拔。海底泥牛
驀鼻穿。於諸妄心。亦不息滅。紅塵堆裏排班立。白浪灘
頭撒手行。住妄想境。不加了知。臘月火燒無影樹。三春
人唱採樵歌。於無了知。不辯真實。須彌頂上花冠子。非
是人工蘊造來。諸昆仲。博山有不思議底爐鞴。將佛祖言
教。煉成一箇鐵橛子。鍼筍不入。水灑不濕。若喚作教。
却又是禪。若喚作禪。却又是教。直饒於禪教中分別不
生。更須知禪教向上有事在。且道。作麼生是向上事。玄
都觀裏桃千樹。盡是劉郎去後栽。

住福州鼓山湧泉禪寺語錄

開堂。拈香白椎竟。師曰。昔日世尊。在靈山會上。拈花示眾。尚餘一枝。在博山手裏。今日于湧泉堂上。供養大眾去也。古德云。昨日作嬰孩。今朝年已老。未明三八九。難躡古皇道。恁麼說話。披心瀝膽。徹底婆心。且道。作麼生說箇三八九底道理。卓拄杖云。黃河水溢黃河水。雲霧山連雲霧山。珍重。

結制上堂。三百年前。諸尊宿在此一片地上。東語西話。三百年後。博山在此一片地上。東語西話。雖則依模畫樣。大似捕空捉影劈水尋蹤。簡點將來。不無滲漏。雖然如是。彼一時也。此一時也。諸昆仲若知得。彼時即此時。不見有三百年前。此時即彼時。不見有三百年後。所

以道。一念普觀無量劫。無去無來亦無住。此猶是教家
事。更須知有宗門下長處始得。且道。如何是宗門下長
處。卓拄杖云。朔雲凜烈。吹開寒谷之花。石火輝煌。拍
破木人之掌。珍重。

上堂。春日乍寒乍暖。春風倏有倏無。若從者裏會去。佛
法天地懸殊。不從者裏會去。向甚麼處會。纔涉思惟成羣
作隊。不思惟處意如何。行人更在青山外。今日博山。親
歷其境。有一首偈。分明舉似大眾。偈曰。三脚驢子弄蹄
行。蹋破蒼苔知幾層。正恁麼時誰會意。白雲深處坐禪
僧。卓拄杖云。咦。誰是其人。珍重。

上堂。舉拂子云。有物先天地。無形本寂寥。能為萬象
主。不逐四時凋。古人恁麼道。獨步全提。至微至著。超
規越矩。方圓可成。先賢朱晦翁。嘗以此偈。示門人曰。

吾儒無此等語。晦翁可謂知言也。諸人還知麼。月渚風林。流出現成公案。鶯聲鳥語。宣揚不二法門。雲中之木馬長嘶。山外之泥牛倒走。毋居正位。不犯當頭。坐斷十方。不通凡聖。然雖如是。更須知有向上一縫子始得。且道如何是向上一縫子。良久云。口是禍門。

上堂。天地旋山河走。面南辰看北斗。家鄉田地謾商量。肉髻明珠誰不有。諸昆仲論肉髻之明珠。貴在親知。論家鄉之田地。貴在親到。親知則取之不竭。用之無窮。親到則春耕秋穫。布種以時。果得如是受用。譬如擲劍揮空。毋論及與不及。此等說話。大似嚼飯餵嬰兒。諸人分上。因甚麼不薦。卓拄杖云。只為分明極。翻令所得遲。

上堂。黑狗爛銀蹄。白日通霄吠。石女倒拈針。木人相對語。諸昆仲於此四句上透得過。四方八面來。虛空連架

打。所以道。一雙孤雁。貼地高飛。兩箇鴛鴦。池邊獨立。可謂。明珠在握。寶鏡當臺。胡漢俱來。隱諱不得。諸昆仲團大千於掌上。擲化土於他方。探香水於金輪。果能如是。也儘奇特。但切不得動著。動著則打折汝等驢腰。卓拄杖。下座。

上堂。卓拄杖云。轉山河。歸自己。月明當戶炤。轉自己歸山河。風冷馱山居。撞鐘撞著老僧心。祥雲從地起鐘聲。為甚麼披七條衣。寶蓋自天垂。總不恁麼道。又作麼生。不是家鄉客。徒勞話歲寒。此五種見地。雖則賞罰分明。也要諸人委悉。有一人。在蘊界屏處。說非法語。犯十三僧伽婆尸沙。有一人。在淨白地上涕唾。犯一百應當學。有一人。撥草瞻風。攬行奪市。有一人。露盤卓犖。解作家方。有一人。針筭不見血。火燒不知痛。病在膏肓。不堪療治。若有人。於此簡點得出。博山分付拄杖。

子。一任天下橫行。其或未然。卓拄杖云。柳[木*栗]橫擔不顧人。直入千峯萬峯去。

無異禪師廣錄卷第六

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第七

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

住金陵天界禪寺語錄

金剛殿拈香。三門高聳臨霄漢。廓爾方知祖道玄。今日脚跟親蹋著。優曇花影遍三千。

天王殿拈香。從來願力展慈威。爍破虛空毫相輝。依正報中誰辯得。山頭多見紫雲飛。

大雄殿拈香。黃金殿上三尊佛。白玉光中一箇僧。正恁麼
時何所據。香雲旋結萬千層。

振宗堂據坐。寶鏡當臺驗正邪。阿誰獨蹈大方家。博山手
段從來辣。客到蒿湯便當茶。

開堂。此一瓣香。彌天亘地。耀古輝今。太極鍾祥。乾元
衍慶。爇向爐中。端為供養我明

太祖高皇帝

成祖文皇帝。建立

三寶。弘通大乘。廣化眾生。同圓聖智。山僧某今日在此
法筵。一言一句。皆從

聖恩中流出。以海水為墨。書其贊辭。不能盡其萬一也伏
願

皇極御天遍。大千而廣被
聖靈奕世昭。萬古以常明
此一瓣香。靈苗含潤。寶樹敷榮。景星聚以沐清庥。祥雲
凝而乘嘉運。蕪向爐中。端為祝延。當今
皇帝聖壽萬安
皇后偕聖壽以無疆
太子懋元良而永泰。伏願
金輪永鎮日。新鷲嶺之風。寶位增輝時。邁唐虞之治。此
一瓣香。萬物毓以生成。陰陽協而秀發。為霖現瑞。裕國
祐民。蕪向爐中。用訓檀護。

滿朝合郡。宰官。護法大居士。福基祿位。咸增性種。靈
根並茂。

此一瓣香。龍宮湧出。鷲嶺拈來。輝寶鏡而利益羣生。徹

重玄而全該正命。爇向爐中。耑申供養。

先本師壽昌大和尚。用訓法乳之恩。斂衣就座。白椎竟。
師乃卓拄杖云諸昆仲。達磨大師航海而來。直指人心。見
性成佛。雖則門庭萬仞。壁立千層。祇演一心之法。更無
餘事。乃至六祖傳衣。五宗競出。運無礙輪化無緣眾。祇
演一心之法。更無餘事。滄山大師敲唱同時。暗機圓合。
傾瓶以辯超方。撼茶而彰妙用。祇演一心之法。更無餘
事。雲門大師箭鋒相拄。函蓋乾坤。揚眉落白。顧盼猶
遲。如流雲翔鶴。湛水晴空。祇演一心之法。更無餘事。
法眼大師。拈現前石。塞虛空口。一切處現成。六根互
用。六用齊施。祇演一心之法。更無餘事。臨濟大師一語
中具三玄。一玄中具三要。驅耕夫牛。奪饑人食。電光石
火。開眼猶迷。祇演一心之法。更無餘事。洞山大師混不
得。類不齊。立寶鏡三昧。炤學者肺肝。分五湖玉石。雪

盛銀盃。月炤金沙。祇演一心之法。更無餘事。乃至博
山。今日遠承諸祖慈蔭。循規蹈矩。借路還家。駕輕就
熟。祇演一心之法。更無餘事。諸昆仲含靈具此一心之
法。學人欲明此一心之法。三世諸佛。歷代祖師。示此一
心之法故。楞伽經云。佛語心為宗。無門為法門。諸昆仲
大地沒遮攔。要行行不去。要住住不得。且道。向甚麼處
出氣。還知麼。鳥鳴雲樹。聲聲喚遊子歸家。魚躍煙波。
色色翻誌公陳案。漩洩空中梵字。刮開眼底重朦。且道。
向甚麼處。認取自家心地。卓拄杖云。鼻根浮面上。更不
用躊躕。珍重。

當晚小參。南嶽大師云。一切萬法皆從心生。心無所生。
法無能住。若達心地。所作無礙。諸昆仲心無所生。山河
大地。從甚麼處得來。法無能住。終日著衣喫飯。因甚麼
只認定著箇自己。去此二途。作麼生折合。諸人分上。也

須自看。有人通得消息。博山將袈裟。以覆之。

魏國徐六翁居士誕日。請上堂。因緣所生法。莊嚴世間
相。了彼性空者。斯人具正眼。諸昆仲心本無生。從緣有
生。生緣勝故。佛種亦勝。法華經云。佛種從緣起。是故
說一乘。作麼生是說一乘底道理。諸昆仲毫端斂法界之
方。滴水含滄海之潤。無明全諸佛之智。藏識潛增上之
緣。理應箭鋒。事存函蓋。不可以思議而得之者也。諸昆
仲茲因魏國六翁老居士華筵大誕之辰。合郡眾居士。於濟
生菴中。設此無遮大會。為六翁居士祝壽。且道。將何為
祝耶。須彌高而有頂。若以滄海為壽。滄海深而有源。若
為壽。須彌為壽。大地厚而有輪。若以草木叢林為壽。草木叢
以大地為壽。惟以吾大圓覺中。華藏界內。香雲。花雲。
林多而音。樂雲。寶蓋雲。若舉一。若舉二。若舉百。若

田地。諸昆仲。龍眠靄靄。紫金足下。雲生浮渡。滔滔鍾
阜。山中水溢。析毫端而含刹土。懸慧鏡以辯方來。誌公
剪尺尚存。投子油瓶現在。然雖如是。也要眾居士見其面
孔。聽其法句始得。且道。是何法句。卓拄杖云。諦聽諦
聽。

余集生任文升二居士請。上堂。道不屬知。不屬不知。知
是妄覺。不知是無記。只饒坐斷兩頭。更須知有向上事始
得。諸昆仲若論向上事。諸人分上。一天真。一靈
明。一一具足。上至諸佛。下至含靈。各各不欠缺纖毫。
是以余集生任文升二居士。同合郡大居士。向者裏設無上
妙供。運同體大悲。救砧几眾生。解籠檻囚繫。飛者適霄
漢。走者縱山林。潛者躍深淵。以無功之功。無行之行。
於無眾生界中。解脫鏡像有情。諸昆仲青山挺秀。流鶯囀
樹裏之聲。綠水瀾漫。躍鯉現波中之色。昧真常於山水。

迷現量於飛潛。大似陽燄翻波。渾成戲論。諸昆仲還識得麼。若能返照。直下逢渠。舉措施為。無虧實相。卓拄杖。下座。

上堂。洞山大師悟道偈云。切忌從他覓。迢迢與我疎。我今獨自往。處處得逢渠。渠今正是我。我今不是渠。若能如是會。方得契如如。此是洞山宗旨。綿密回互。皆從此偈中流出。不可不理会。諸昆仲此偈中有二句最嚴。渠今正是我。我今不是渠。且道。是一箇是兩箇。若向者裏會去。始可有參學分。須知。此偈豈但曹洞宗旨。即五家應機接物。皆當向此句中印過。始得有甚麼話會處。所以曹洞有三種子解路。一者見滲漏。機不離位。墮在毒海。此不離即滲漏。二者情滲漏。情存向背。見處偏枯。此向背即偏枯。

也。三者語滲漏。體妙失宗。機昧終始。此體妙即機昧也。若據此三種滲漏。學者明晦。如見肺肝。所以博山舉眼無人。非敢以生滅。勘驗諸方。若見徹此偈。洞山大師未曾入滅。博山雖在今時。亦不諳今時事。祇與諸人。二時逐隊。諸昆仲古木叢中躑躅。漏逗法身。大洋海底翻騰。侵損漁父。徹見本來面目。野雲散而天青。掀開煩熱胸襟。衣線綻而體露。還有與洞山大師共出一隻手者麼。卓拄杖云。舉頭天外看。誰似我般人。僧問。如何是和尚底具眼處。師云。善世橋邊逢聖主。進云。未是和尚具眼處。師云。三十棒趂出。僧一喝。師云者一喝落在甚處。僧無語。師直打。出法堂。

上堂。如何是佛。十方世界最靈物。如何是法。古路迢迢苔蘚滑。仍將佛法問根源。雲散長空鶴唳天。纖塵不立清如洗。三箇猢猻夜簸錢。諸昆仲宗門中事。豈同容易一言

一句。一大藏教註不破。歷代祖師機深智廣。潛興密運須
彌倒。卓拄杖橫趨。繪彩色於空中。擲大千於方外。且道
向甚麼處捫摸。所以云。羅籠不肯住。呼喚不回頭。古聖
不安排。至今無處所。玄沙大師恁麼老婆心切。也只要諸
人知箇落處始得。諸昆仲青黯黯處。樵子不借路以還家。
綿密密時。機婦罷金針而夜織。香銷錦帳。露浥芙蓉。發
清嘯於深閨。吐微言於連枕。情濃意洽。試問。諸昆仲還
知得也無。良久云。分明一段風流事。不與諸人較短長。

上堂。南陽忠國師云。青蘿夤緣。直上寒松之頂。白雲淡
泞。出沒太虛之中。萬法本閒。而人自鬧。諸昆仲作麼生
說。箇本閒底法。若會得本閒法。則大千世界有情無情
等。無纖毫鬧相。若有纖毫鬧相者。則不得本閒法也。何
以故。鬧即法故。所以道。靜則埋根千尺。動則當處生
苗。只饒不動不靜。未免飄飄搖搖。博山則不然。動則寒

冰凝結。靜則白浪滔天。直下了無動靜。紅爐片雪如綿。
若於此二偈中會去。始明得本閒法也。諸昆仲動非動相。
雖動極以恒安。靜復靜元。總靜機而常運。秉常運之樞
機。履恒安之玄軌。寶鏡懸而無隱慝。珠簾捲以納方來。
不涉呼吸之離微。寧有去來之蹤跡。諸昆仲順則吉也。逆
則忤也。肯則自許也。若於靜鬧親疎。而較其優劣者。盡
其恒沙思量分別。莫能得其量也。卓拄杖。下座。

上堂。僧問。古德撥塵見佛時如何。直須揮劍。若不揮
劍。漁父棲巢。又僧問。古德撥塵見佛時如何。渠無國
土。何處逢渠。二大老各道得一邊。一箇則門庭施設。輝
煌掌上之珠。一箇則入理深談。擊碎秦時之鏡。若是博山
則不然。有問。撥塵見佛時如何。紺髮旋螺髻兜綿。印手
文學人不會。意旨如何。青蓮捧雙足。赤肉挂金欄。且
道。與古人是同是別。若說是同。作麼生說箇同底道理。

若說是別。作麼生說箇別底道理。若向者裏融會得去。博
山與汝結箇同參。諸昆仲。居正而不立正位。泥牛吼海岸
之風。垂偏而不住偏方。石女弄珊瑚之影。乞食於三家村
裏。謳歌於萬仞峯頭。借松鏡以瀉清光。拾苔錢而嚴富
態。有人向三種問答上徹去。洞上宗風。於斯有賴矣。僧
問。學人一口氣不來。向何處安身立命。師云毗盧閣後鳳
凰山。

真州海吉禪人。率眾道侶請。上堂。不與萬法為侶者。是
甚麼人。紅塵堆裏露全身。了知萬象空無物。那見山河礙
眼睛。三歲孩兒頭似雪。神光萬里一條鐵。底事分明說與
知。當戶連山也太奇。兼帶位中親迸出。巖前石虎夜生
兒。生兒則且置。且道。是甚麼時。子丑寅卯辰巳午未申
酉戌亥。乾三連。坤六斷。離中虛。坎中滿。屈指顛倒。
數來依舊。寸長尺短。珍重。

度。至六恒。動。壽命。余山居願願。如是。行。以生無不生集。博願行。量無居。博。量地迴經然眾。日壽。量賢無亦但。無。因輪亦湛。今士無普亦位。豈。廣尊。我等。空性。無量。為海壽現士量亦。劫。世。壞之。亦無。月脫士示居無命。無我等劫成虛壽命。年解居悲願亦壽。於。仲恒世。而佛壽世提。願大。願亦。佛。昆量。成。知虛。皆。無觀亦。三。佛。諸無數雲。則。量。人。善海壽智慧無。上。壽。已沙金。以無一切同生士智亦受。請。無成量恒。起。數。命。而一壽度居舟用親。日。名尊無風劫。壽。而士佛願般受。誕。是世經嵐沙世界。誕願。成。量殊。親。士。而亦毗恒。世大。但勒無文。量。居。眾。還。量。筵。彌亦同無現。生。量。日。往。數。無量。華然。同海壽亦即。集。無。今。往。劫。經。無。士。不。壽。嚴。士。屬。余。脫。於。道。沙。亦。亦。居。則。士。莊。居。眷。是。

真語者。實語者。不異語者。且更將何物為居士壽耶。良久云。珍重。

解制上堂。佛真法身。猶若虛空。應物現形。如水中月。博山從廣信登舟。過鄱陽。出湖口。跨長江。登石頭城江岸。從濟生菴。至天界寺。安置水月道場。修習空花萬行。降伏鏡裏魔軍。成就夢中佛事。豈但博山。遡自釋迦大師開場。四十九年。末後拈花示眾。正法眼藏涅槃妙心。付囑摩訶迦葉。亦是夢中佛事。達磨大師航海而來少林。面壁九載。雪庭深夜。斷臂訓心。亦是夢中佛事。乃至執役負春。傳衣半夜。亦是夢中佛事。至使五家競出。千燈列焰。吹簫打鼓。舞劍揮叉。棒喝交馳。語言遊戲。亦是夢中佛事。即今博山同。諸昆仲結制解制。陞堂入室。問答機緣。勞彼列眾監院及天界方丈十位首領道人并諸執事。不以身為身。不以命為命。喫盡艱辛。護揚大

法。亦是夢中佛事。諸昆仲博山恁麼舉似。正是好肉剜
瘡。夢中說夢。假如有一漢子大喝一聲。諸人睡夢醒時。
却又作麼生道。良久云。毫光直徧三千界。永祝皇圖億萬
年。僧問。上根人來如何接。師云。此去祖堂三十里。進
云。中根人來如何接。師云。獻花巖畔古今聞。進云。下
根人來如何接。師云。門外好與三十棒。進云。不落階級
人來如何接。師云。闍黎只今。在第幾位。僧禮拜。

小參

小參。臘盡逢春事事奇。海風吹動碧玻璃。昨宵偶得家鄉
信。破院荒村絕所依。諸昆仲博山家鄉。是破院耶。是荒
村耶。有人簡點得出。博山與彼携手同歸。其或未然。法
華且謾添塵點。數盡閻浮又一年。

小參。僧問竟。師乃云。時名五濁。世曰娑婆。地面丘墟。人心荊棘。青林掌中毒氣。破驢脊上來蠅。蹈水火以脩行。逐腥膻而喘息。胸中無半點禪氣。強作機鋒肚裏懷。一塊骯[骨*(廿/(歹*巳)/土)]。伸為問答。鬼見拍手而笑。人逢側目而嗔。埋沒己靈。辜負先聖。洗心改過。莫逐妄緣。不悛前愆。果從因墜。豈不見。靈山會上知音少。長者園中木耳多。卓拄杖。下座。

生生社小參。宗門中事。難以措詞。盡力道不得底句。作麼生開口。三乘十二分教。有人說去了也。即心即佛。有人說去了也。非心非佛。有人說去了也。不是心不是佛不是物。亦有人說去了也。且道。與諸昆仲分析箇甚麼即得。良久云。黃金自有黃金價。肯為和沙賣與人。珍重。

月上庵小參。忠國師云。青蘿夤緣。直上寒松之頂。白雲

淡泞。出沒太虛之中。萬法本閒。而人自鬧。諸昆仲即今
山河大地。萬象森羅。水鳥樹林。人叢馬蹄。喚作萬法。
作麼生說箇本閒底道理。捨萬法而求本閒。未之有也。即
萬法而求本閒。須要衣線下迸開。始得。所以博山。教人將
一句話頭。置在八識田中。眉毛與大地廝結。只教自悟自
肯。其或未然。聽取一偈。諸佛依何住。靈山問意新。心
宗為社主。金粟作檀人。一雨滋春國。千燈薄暮雲。須知
塵界裏。真俗未容分。珍重。

浮山華嚴寺立新住持請。小參。一大圓覺。為我伽藍。又
當知。以我伽藍。為一大圓覺。互攝互融。無二無別。然
後應事接物。始無障礙。夫善住持者。先得根本不動智。
然後得差別智。根本不動智中容不得絲毫動念處。差別智
者。應事接物。頭頭合轍。若有絲毫念慮可動。未免有生
滅去來之相。不名智也。得此智者。以理應事。事事全

時法濶放甚。是下甚可尊。下須。出僧。
念門。海。模糊。禦。祇。如何。箇。法。世。便。也。法。得。停。
一。雲。山。模。防。關。竟。如。悟。無。昔。尊。人。說。點。無。
起。山。攀。未。手。衝。畢。麼。法。是。耶。世。尊。簡。梵。
不。山。攀。未。手。衝。畢。麼。法。是。耶。見。世。還。清。
門。彌。可。在。角。子。箇。欲。辱。如。說。見。仲。清。
雲。須。不。我。匙。奪。迷。若。恐。法。可。處。諸。方。
問。一。念。尋。瞞。匙。是。著。迷。若。恐。法。可。處。諸。方。
僧。起。去。韻。客。固。一。道。參。說。法。無。甚。殊。中。
見。不。擬。聲。暴。手。者。且。小。可。說。法。無。甚。殊。中。
不。云。付。假。以。待。敵。前。且。小。可。說。法。無。甚。殊。中。
持。童。相。間。析。棋。分。多。人。方。有。法。可。說。法。無。甚。殊。中。
住。天。手。其。擊。公。未。幾。山。中。法。觀。有。恁。殊。一。偈。
名。山。兩。著。門。錄。黑。白。悟。龍。山。中。法。觀。有。恁。殊。一。偈。
不。彌。來。髮。重。遠。伊。迷。大。名。說。諦。尊。殊。殊。一。偈。
然。須。肯。毫。師。持。問。路。珍。始。云。世。文。文。殊。一。偈。
不。云。慳。莫。將。大。住。要。九。珍。者。白。槌。道。得。是。許。聽。
其。門。非。閒。天。茲。日。來。十。云。說。殊。仲。且。始。座。未。
如。何。亦。非。閒。天。茲。日。來。十。云。說。殊。仲。且。始。座。未。
理。如。施。白。過。嚴。博。手。麼。說。陞。座。向。世。麼。

自聞。只恐溪深流水急。賸分花雨落人間。

宮論吳觀我居士請。小參。若欲究宗門中事。須正信因
果。熟爛教乘。思地獄苦。發菩提心。古德云。禪律並
行。不相留礙。若論淨白心地。人人具足。只因妄興一念
起貪嗔癡。有貪嗔癡之因。便感三惡道之果。教中謂。縱
而為貪。地獄有不息之機。抑而為嗔。餓鬼有肢節火然之
苦。合而為癡。畜生道中。但念水草。餘無所知。若無貪
嗔癡。則三惡道何有。博山所以教列位。向淨白地上。發
起一念。肯心單提。一口氣不來。畢竟向甚麼處去。切不
得起思惟度量。思惟度量。謂之藥忌。雲棲大師云。獅子
之乳。非瑠璃瓶貯之則裂。無上妙道。非淨法之器。莫能
載也。壽昌和尚云。醍醐上味出乎乳。滴水攙中總不成。
謂滴水者。正思惟度量也。若無思惟度量。便能單刀直
入。力破重圍。如吳太史發大乘心。受大乘戒。正所謂淨

法之器。但未知有向上事。今日緣會。勉起信向。偈曰。
江北有居士。天人興仰止。傳聞金粟來。緣境頗相似。論
心秋月皎。談教春雲起。機感得相符。令予特來此。勉究
向上事。向上何深旨。踢破指頭時。舒州吳太史。

洪濤山毗尼菴。小參。諸昆仲生不知何來。不得不疑來
處。死不知何去。不得不疑去處。大丈夫兒。豈肯甘心隨
業受報。若欲究竟此事。貴在純真一念。不得草草。如香
林四十年。始打成一片。靈雲三十載。見桃花始悟。所以
博山教人看一句話頭。一口氣不來。畢竟向甚麼處去。行
裏坐裏。著衣喫飯裏。畢竟一口氣不來。向甚麼處去。慎
勿思量分別。思量分別。與究竟此事大不相應。若果能真
參實究。一朝洗面。摸著鼻孔。却也太近。

小參。百千法門。無量妙義。盡在諸人心意識中。悉皆具

足。汝若認著心意識。便昧却百千法門。汝若體會得百千法門。何處有心意識來者。些子關竅。亦能殺人。亦能活人。諸禪者各各在衣線下開眼。拌此一生。討箇著落。

小參。長慶道。萬象之中獨露身。惟人自肯乃相親。即今山河大地。樓臺池館。滿目青黃。是萬象。喚甚麼作獨露底身。拈拄杖云。莫祇圖他山色好。須知。別有故園春。卓拄杖一下。

為劉和鶴居士對靈。小參。公生耶。死耶。誰道。虛空有變遷。公死耶。生耶。誰道。滄溟有傾覆。公生死洞然。也雖劫風。而莫能吹。公慧光渾圓。也縱劫火。而莫能移。公之趣向。也肉眼罔窺。公之行業。也孰不苾奇。公之見地。也住向莫齊。公之受用。也惟聖乃知。霞坊山色空今古。靜聽玄猿徹夜啼。

因事晚參

今晚好月。大眾見麼。可謂。玉鑑光輝觸處週。幾多盲瞽黑漫頭。可憐不受金錍者。頭白終歸暗裏休。此月古今評論者不少。自世尊以來。迨於今日。千賢萬聖。莫不盡力提攜。老婆心切。簡點將來。祇說得月影邊事。要見真月麼。須是自己開眼始得。所謂靈山話曹溪。指南泉翫寒山。比說得彷彿彷彿。依稀依稀。縱然道得十成。博山未敢相許。何以故。肘後不具靈符。盡在是非窩裏。大眾直須努力跳出是非關。若不跳出是非關。三途黑暗將何抵。珍重。

無異禪師廣錄卷第七

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣
錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第八

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

茶話

天界三方丈請。茶話。若論參學分中事。當下教諸人領略去。當下無事去。早是埋沒諸人了也。其中有三種岐路。有一種學人。擔佛傍家走。乃至求佛求法。求禪求道。求玄求妙等。隨處擔一擔子。通身都是佛法。如龜負圖。自取喪身之兆。鳳縈金網。趨霄漢以何期。又有一種學人。

自得心。剝業。諸昆參。翻如何。是者。消或。
只業。在。謂之。須。如。上。若。露。其。
學。分。處。直。云。從。杵。中。不。難。
可。皆。是。學。潔。處。德。也。金。剛。筵。也。
道。處。有。將。諸。古。今。如。茶。透。
甚。潔。淨。許。若。者。樂。却。如。丈。中。
參。到。未。輕。等。安。不。盡。味。方。句。
可。未。輕。等。安。不。盡。味。方。句。
禪。實。處。猶。與。討。愁。莖。為。言。
甚。其。潔。重。有。處。不。如。此。
求。用。淨。雖。無。麼。不。如。此。好。
佛。已。受。饒。罪。世。間。甚。有。玄。分。若。
甚。自。只。癡。重。道。是。最。妙。話。會。歸。
有。是。見。貪。最。且。有。事。許。麼。茶。
謂。是。邪。世。間。業。且。有。事。許。麼。茶。
宰。依。此。起。此。邪。見。且。有。事。許。麼。茶。
主。無。此。起。此。邪。見。且。有。事。許。麼。茶。
作。潔。出。若。則。此。邪。見。且。有。事。許。麼。茶。
自。淨。生。仲。學。此。頭。祖。裏。息。未。

脫如何。士。
肯問。會麼。
古德云。抹殺。會麼。
一齊抹殺。會麼。
居士問。一齊抹殺。會麼。
何居士。肯與。士良久。
茶話。肯與。士良久。
請。且請。士良久。
居士。且請。士良久。
居士。且請。士良久。
岳。永。沉。且。請。士良久。
芝。不。肯。舉。杯。且。請。士良久。
何。不。肯。舉。杯。且。請。士良久。
伯。不。肯。舉。杯。且。請。士良久。
宗。不。肯。舉。杯。且。請。士良久。

云。略會。師云。切不可向者裏住脚。乃云。宗門底事少人知。大事因緣各有時。今日與君通一線。清風明月滿前溪。

潘次魯居士請。就大羅菴茶話。投子嶺頭雲。古今多變幻。跨過趙州橋。始得絕思算。絕思算止一半。更有一半。向下文長。留待明旦。珍重。

雪後。携諸禪人。南來閣茶話。大雪封山日。層樓邂逅歡。寒凝鴉不語。白結霧成團。皎潔禪心寂。清涼色界寬。明知都是水。切莫被他瞞。

無方諸禪人請。茶話。諸人要知得博山行履處麼。五鼓燒香。天明早粥。日中午齋。行則與諸人同行。坐則與諸人同坐。喫茶與諸人喫茶。講話與諸人講話。祇有些子不同。

處。不免說向大眾去也。諸人有思量。博山沒思量。諸人
求佛法。博山無佛法可求。諸人見博山。并見諸境。博山
不見諸人。亦不見心外之境。而今祇有幾根肋巴骨。鼓兩
片皮。與諸人相似。偈曰。迎賓待客平常事。說妙談玄自
不能。祇者阿師何用處。敢留名字上傳燈。

卓無量居士請。茶話。參禪要了生死。念佛亦要了生死。
今時遏捺淨土。播揚禪理。在古人分上。令人一門深入則
可。分優分劣。自是諸人底。識心依他作解。豈但不識禪
理。即淨土一門。亦未曾夢見。我雲棲師翁。將禪淨二
途。縛作一束。教人單提一句念佛是誰。即此誰字不明。
吹毛劍塗毒鼓。於斯可見。此誰字不明。不必瞻前顧後。
只須努力頓發疑情。管甚禪。管甚淨土。如一人與萬人
敵。不破疑團。誓不休。要是大力量丈夫。始可話會。
不然。落泥落水。帶有帶無。於生死門頭。了無交涉。有

力學人。將一箇誰字不明處。眉毛與大地交。結在一團。
站在千人萬人中。不見有一人。天地旋山河走。波翻浪
湧。不知不覺。全身在理窟裏。又如坐在銀山鐵壁之中。
祇要迸開一線。者一線便是向上一路。千聖不傳底事。若
知得此事。便好向毗盧頂[寧*頁]上打筋斗。亦未為分外。
離四句絕百非。皆為賸語。若不如是。認定箇念佛人。承
當箇事。豈但誦訛。即是認驢鞍橋。作阿爺下頷。可發一
笑。果是性燥漢。纔聞著箇誰字。如持金剛王寶劍。力破
重圍。直教大地百雜碎。將誰字拋向他方世界。不須提
起。做一箇孤迥迥峭巍巍底漢子。說禪亦得。說淨土亦
得。說底與如來摩肩擦掌亦得。不留箇佛字亦得。何以
故。若將佛字重詮佛。辜負當年古佛心。珍重。

茶話。百千法門。同居方寸。河沙妙德。總在心源。一切
戒門定門慧門。悉自具足。神通妙用。悉自具足。四果四

向。悉自具足。十二因緣。流轉還滅。悉自具足。五根五
力。乃至十力。八十不共法。悉自具足。三賢十聖。悉自具
具。乃至十成。佛極果。明星。開道眼。乃至說法。利生。悉自
足。三十。八極。明。自具足。佛殿東南。因甚麼缺了一
山。行。諸。昆。仲。既。悉。自具足。佛殿東南。因甚麼缺了一
足。山。行。諸。昆。仲。既。悉。自具足。佛殿東南。因甚麼缺了一
。參。

黎太冲居士請。茶話。染緣易就。道業難成。不了目前萬
緣差別。一切境緣。作麼生了。山河大地。作麼生了。草
木叢林。作麼生了。森羅萬象。作麼生了。人蹤鳥跡。作
麼生了。四大五陰。作麼生了。根塵識等。作麼生了。根
本無明。作麼生了。結使流注。作麼生了。諸昆仲。了得
也在目前。包裹。了不得也。在。目前。包裹。者。包裹。親。破。
親。破。誰是我。牆外榴花不是火。

普說

世尊拈花。迦葉微笑。博山嘗有頌云。瑞瓣靈枝劫外春。
拈來攪動海山雲。婆心況是如天遠。那肯拖泥帶水行。此
頌世尊蘊藉將來。有此一段真風。信手拈來。當此之際。
落草求人。惟迦葉尊者。一釣便上。遞代相傳。至二十八
祖。航海而來。不立文字。直指人心。見性成佛。得二祖
安心。斷臂血流而見髓。三祖懺罪。風顛病瘥作良模。盧
行者于杵臼之間。頓明大法。磨磚作鏡。南嶽廐裏。跳出
馬駒來。秉命尋思。青原山中。笑看鱗角露。巍巍堂堂。
從百丈印子上脫去。三遭痛棒。在黃檗拄杖下活來。踢倒
淨瓶。住大漚之山而直往。覩影大悟。著寶鏡三昧以無
疑。夾斷脚脛。直入祖師堂奧。現成片石。頓開法眼全
機。自唐宋元至我國朝。二百餘年。繩繩至我壽昌先和

提。而。擲。州。走。黃。菴。有。喚。將。向。大。不。客。地。
。不。墜。囑。見。如。請。人。至。臭。有。是。坐。心。
。知。方。僧。寶。紙。命。為。得。下。飛。笑。先。次。下。
。行。有。復。云。方。皮。侍。汝。已。問。是。去。云。至。後。即。
。不。菜。行。有。師。僅。者。說。而。問。君。在。此。園。即。
。知。摘。如。佛。問。答。骨。余。同。行。佛。事。余。一。不。磐。偈。
。行。茶。此。處。問。答。余。同。行。佛。事。余。一。不。磐。偈。
。坐。而。年。不。得。之。際。先。師。云。活。君。師。事。先。所。彼。上。先。
。坐。不。半。住。際。先。師。云。活。君。師。事。先。所。彼。上。先。
。坐。有。未。無。如。痛。云。活。君。師。事。先。所。彼。上。先。
。衣。挑。發。處。木。惜。天。放。位。蟻。云。者。一。切。經。玉。
。不。挑。發。處。木。惜。天。放。位。蟻。云。者。一。切。經。玉。
。知。擔。一。日。過。孔。一。去。是。尋。邊。是。不。一。食。誘。
。寒。站。站。因。便。在。先。先。中。多。走。先。裏。菴。聞。一。
。食。站。站。因。便。在。先。先。中。多。走。先。裏。菴。聞。一。
。知。定。閱。便。在。先。先。中。多。走。先。裏。菴。聞。一。
。味。兩。燈。打。彼。師。云。先。師。然。走。先。裏。菴。聞。一。
。擇。箇。見。布。袋。月。受。玉。山。上。呼。說。偏。云。甚。麼。與。倒。路。

心相續。正用盡法行持。報無報之慈恩。利有緣之正信。諸昆仲。所以云。此事誠難。豈是容易。今日因高麗國晦曇上座請普說。此上座。履凶蹈險。不憚萬里之程。博山鼓舌搖唇。漏逗一生之事。釋迦大師迦葉尊者。拈置之勿論。且道。壽昌先師遷化。即今向甚麼處去也。舉拂子云。白毫光照紫微宮。無限天人淚如雨。珍重。

問答

僧問。斷簡殘篇即不問。斬新條令一句。請和尚道。師云。裂破幾重清世界。倒騎玉象趨麒麟。進云。此猶是斷簡殘篇。師便打。進云。恁麼則天下大平。萬民樂業。師云。吸盡南山霧。長存北嶺松。僧禮拜。

僧問。夾山大師云。截斷天下人舌頭。即不無。爭教無舌

人解語。敢問和尚。如何是無舌人語。師舉拂子云。會
麼。進云。此猶是有舌人語。畢竟如何。師云。汝向甚處見老僧。進云。無
云。白雲彌世界。虛空無去留。進云。如是則語帶玄而無
路。舌頭談而不談也。師云。汝向甚處見老僧。進云。無
中興曹洞之宗。除是和尚始得。師云。也是閒言語。僧禮
拜。

僧問。古人有言。有物先天地。未審。是甚麼物。師云。
空中書梵字。進云。無形本寂寥。髑髏邊還有氣息也無。
師云。撲破不成文。進云。能為萬象主。未審是同是別。
師拈拄杖云。者箇不可喚作拄杖子。進云。不逐四時凋。
究竟將來。相去幾許。師云。者箇喚作拄杖子始得。進
云。正當恁麼時。普天之下。蘭膏繼晷。佳景呈祥。如何
是博山境。師云。堦下苔錢砌就。進云。如何是境中人。
師云。鼻梁向下垂。

僧問。釋迦老子。四十九年說法。正眼看來。猶是無風起浪。敢問。和尚說法。還有為人處也無。師云。此去江西半月程。進云。倘遇箇六根不具底漢。和尚又作麼生。師云。冰谿水底清如鏡。進云。向上還有事也無。師云。楊子江頭浪潑天。進云。恁麼則和尚恩大難酬。師云。禮拜了退。

卓居士問。諸佛國土。亦復皆空。畢竟向甚麼處莊嚴淨土。師云。青龍山上鹿兒肥。士無語。師云。會麼。士云。不會。師云。流鶯雖有語。天籟聽無人。

張興公居士問。和尚言。學人須全身入理。乃可問向上事。即今請問。如何是理。師云。橫身當宇宙。大地沒遮攔。進云。如何即得全身入。師云。盡力推爺向裏頭。進

云。未全身入者。過在甚處。師云。珍藏燕石。不辯金光。進云。全身入時以何為驗。師云。十方消殞。左右逢源。進云。全身入理後如何。師云。跳出千層浪。方誇稱意魚。

六雪首座問。學憑入室。知乃通方。入室且置。通方一句作麼生道。師云。斷貫索却用得。

問。入室事作麼生。師云。稚子敲針。

問。如何是坐斷毗盧底人受用境界。師云。敗葉成堆。

問。倒跨師子底人。向甚麼處行履。師云。羊腸鳥道。

問。橫行四海底人。未審。具甚麼手段。師云。小伎倆。

問。懸崖撒手底人。命根還斷也未。師云。待闍黎命根斷即道。

問。八卦正位。如何排得。師云。不得錯下點畫。

問。路逢猛虎時。如何迴避。師云。叉手當胸。

問。鐵樹珊瑚。因甚麼被泥牛衝破。師云。阿誰證據。

問。無蒂曇花。阿誰拈得。師云。無手者。

問。金剛際水。如何汲得。師云。何勞太攘。

問。和尚籌室中。有多少弟子。師云。心字不加點。

問。祖祖相傳衣鉢。未審。和尚傳箇甚麼。師云。案山石上。共汝商量。

問。千問萬問。不消咳嗽一聲。都已答竟。未審。和尚如何答話。師云。知時節即退。

僧問。昨夜見一鹵莽漢。殺却毗盧遮那如來。未審。識法者如何判斷。師云。盡情斷却。

問。如何是白椎下事。師云。瀑布有聲雲不掩。

問。如何是白椎前事。師云。深澗無魚水自清。

問。如何是白椎事。師云。無事度朝日。黃昏暗點頭。

問。古人教人及盡今時。只如及盡後。又作麼生。師云。
懶梳蓬亂髮。喜遇當來賓。

問。樓閣門中。還容打瞌睡漢也無。師云。待汝醒後。即
向你道。

問。善財五十三參。未審。如今還行脚也未。師云。洗脚
上牀眠。一夜三千里。

問。楞伽山既不可往。為甚麼被夜叉王所據。師云。手親
眼便。脚頭脚底。

問。驚鼻蛇撞著赤眼人。作何躲閃。師云。恰好恰好。

問。五家宗旨俱明。因甚麼輪迴不息。師云。[弱/火]火燒山。有光無燄。

問。維摩經云。除去諸有。併諸侍者。為甚麼連侍者不存。師云。久住令人賤。新來語自親。

問。世尊赤手空拳。開已又屈。屈已又開。未審。明那邊事。師云。祇明者箇事。

問。一切事究竟堅固。不知大佛頂。還在裏許否。師云。暗裏抽橫骨。明中坐舌頭。

問。棒喝如雷。還供養得閻鬚子也無。師云。閻鬚子若來。也須喫棒。

問。從前老和尚髑體。即今還有眼也無。師云。布袋裏老鴉。雖活如死。

問。釋迦彌勒還訓引滿二業也未。師云。二業是他果用。說甚麼訓與不訓。

問。金剛經云。應生無所住心。既無所住。又作麼生心。師云。巖花鋪地高秋興。松月銜山報曉晴。

問。佛之一字。吾不喜聞。某甲不求佛。日用事作麼生。師云。下咽勒把筋。燒火擇乾柴。

問。古德云。渠無生死。世人因何又被生死使。師云。青山元不動。白日鬼迷人。

米旦生孝廉問。是何面目。師云。天不蓋。地不載。進云。作何究竟。師云。地不載。天不蓋。進云。用何修證。師云。穿衣喫飯。待客迎賓。

問。如何是君。師云。澄潭水似冰。如何是臣。師云。楊柳拂飛塵。如何是君視臣。師云。古鏡慢白綾。如何是臣視君。師云。纖手按烏雲。如何是君臣道合。師云。一以貫之。進云。向上還有事也無。師云。有。進云。如何是向上事。師云。舌頭無骨。野馬無韁。

問。如何是君。師云。水有筋。山有骨。如何是臣。師云。鵲鴿鳥鳴似哭。如何是君視臣。師云。千年老樹挂枯藤。如何是臣視君。師云。樓頭畫鼓正三更。如何是君臣道合。師云。金闕鳳銜丹詔去。邊陲人唱凱歌歸。僧禮拜。師復問僧。君位中事作麼生。僧云。虛突兀。師便

打。

問。如何是博山境。師云。棲鳳崖前雲鬢鬢。浴龍池內浪滔滔。如何是境中人。師云。光剃頭。淨洗鉢。僧云。學人不會。師云。者箇阿師。還未曾剃頭。

問。如何是道。師云。紅綃。進云。紅綃莫是道否。師云。不是道。進云。既不是道。因甚答紅綃。師云。因你問道。我答你紅綃。

問。達磨未來此土。還有佛法也無。師云。有。進云。如何是未來底佛法。師云。天不能蓋。地不能載。進云。是何物得恁麼大。師云。喚作物即不得。進云。不喚一物時如何。師云。亦無你開口處。進云。恁麼則不柰何。師云。我亦不柰何。進云。和尚因甚不柰何。師云。為汝不

柰何。僧禮拜。師云。出去。捋得千箇萬箇。有甚用處。

問。如何是某甲安身立命處。師云。天無蓋。地無底。進云。壽昌老人遷化去。即今在甚麼處。師云。清談對面。祇是不知。僧復問。師云。問語且置。天無蓋。地無底。老僧意旨在甚麼處。僧擬議。師便打。勉云。拶出虛空髓有味。掀翻宇宙[穀-禾+卯]無依。箇中不見壽昌老。獨有狸奴笑展眉。

問。如何是北斗裏藏身。師云。掉轉身來。僧擬議。師便打。仍示偈云。掉轉身來訓北斗。藏身一句絕來由。要知大象嘉州路。雪覆深山盡白頭。

問。寒暑相催時如何。師云。鑊湯爐炭。進云。未與料作時如何。師云。淨地上一場慳[怡-台+羅]。進云。成後如

何。師云。莊嚴妙麗。一場懨[怡-台+羅]。進云。家裏事如何。師云。坐底坐。臥底臥。進云。門外事如何。師云。鄉村險阻。車馬為難。進云。和尚為人事如何。師云。從來不曾費鹽醬。進云。一歸何處時如何。師云。却值老僧坐臥。

師問六雪首座。堂中首座。人天眼目。如何是人天眼目。座云。頂門上。師云。還假鑒照也無。座云。君不見。師云。不虛參見作家來。座掩耳而出。

師問無擇上座。賢弟到羅浮。要與博山相見時如何。擇云。遍界不曾藏。師云。恁麼則不見我也。擇云。兩彩一賽。師云。更要親見一回始得。擇云。無兩箇舌頭。師云。待汝到羅浮。黑夜動不得步時。即有深入。師遂示一偈。遍界不曾藏。青松遮翠壁。黑夜步難移。深山神鬼

泣。擇得偈。次日入見問云。若是鳳凰兒。不向那邊討。
師云。若是鳳凰兒。即此堪為妙。擇云。此是鋸義。師
云。平出也罷。擇禮拜。

師垂四問。殿角風搖樹。行人盡解衣時如何。自云。瞥爾
沾嘗。清涼徹膽。

問。清風翻白羽。野老笑相親時如何。自云。春來花塢。
樵牧含情。

問。佛殿東南。因甚缺了一角。自云。一人傳虛。萬人傳
實。

問。僧堂中有幾人坐臥。自云。翻身峯頂。六不同謀。

陳雲怡文宗問。渴鹿趨燄。如何得歇。師云。知不是水則了。

頌云。從來大地黑漫漫。畢竟將何作指南。識得波澄原是水。現成公案不須參。

問。摩尼珠久埋沒塵土中。如何急切覓得。師云。用覓作麼。

頌云。剎剎塵塵無價珠。何須特地妄分疎。著衣喫飯恒常用。欠得其中一點無。

問。一斬一切斷。如何得此利劍。師云。咄。誰敢當鋒。

頌云。求覓多因自擬難。未曾出匣斗牛寒。寶光炯炯輝天

地。佩服何須覲面看。

問。等是水味。有品為第一泉。有品為第二泉。作何剖
分。師云。嘗過始得。

頌云。果到金山絕頂時。石頭城外自參差。脚跟拌斷紅絲
索。香水靈源爾合知。

問。黑夜中認賊為子。認子為賊。作何判斷。師云。呼名
即應。

頌云。不須分楚復分秦。直下誰為第二人。好把一刀都截
斷。金鑰玉石總家珍。

問。家親作崇。如何處置。師云。殺盡安居。

頌云。灰頭土面没人情。殺盡方纔見太平。就裏順情通一線。天明依舊可憐生。

問。的的主人翁。如何得覲面一見。師云。求見者。不的的。

頌云。獐似熊羆活似龍。何曾暫昧主人翁。更於覲面求相見。知隔青山路幾重。

問。堪輿家羅經。縱橫移動。針必南指。是誰作主。師云。真箇鐵心腸。

頌云。分明一副鐵心腸。撥亂乾坤總不妨。忠義藹然勤聖主。肯將名姓播諸方。

問。家宅是諸人生身活計。見得甚麼。便肯破家蕩產。師云。解作家方者。

頌云。破家蕩產迥無依。賸得眉間毫相輝。不向人前求活計。縱橫頭角顯全威。

問。電光中良驥。瞬息千里。如何得一往追上。攬轡入手。師云。轡在居士手裏。用追作麼。

頌云。良驥追風顧影鞭。忘緣人絆未行前。不須攬轡誇精進。脚下驪珠顆顆圓。

問。大慧云。將八識一刀。憑甚麼安身立命。師云。妥妥貼貼。

頌云。一刀果爾中渠魁。顛倒閻浮經幾迴。識得徑山親切處。木人無舌語如雷。

問。未開口以前。為甚麼便棒便喝。師云。做賊人心虛。

頌云。大人用處不尋常。捉賊應須驗正賊。不似而今盲瞎漢。亂拈拄杖作商量。

問。胡來胡現。漢來漢現。是鏡體是鏡光。師云。毋容湊泊。用在臨時。

頌云。誰論胡來與漢來。輝天鑑地實優哉。更知光體雙忘處。妙用縱橫帶活埋。

問。日昇月沉。雷轟電掣。山靜雲閒。水流花開。農歌牧唱。婦醉兒嘻。莫非是者箇迸現。如何得拈向脚跟下要用。師云。居士終日還飲啄也無。

頌云。識得頭頭是道場。高超返擲也尋常。冰山雪洞都遊遍。始信男兒當自強。

問。今脩行人。多怕去後黑漫漫地。不知現前黑漫漫地更苦。多口說無常生死事大。不知現前剎那死死生生更切。此際重關一擊。如何下手。師云。眼上眉毛重七斤。

頌云。眼上眉毛脚底鞋。黑漫漫地喜重開。鏌鋏寶劍無情謂。擊碎虛空笑滿腮。

問。高峯云。大徹之人。本脫生死。為甚命根不斷。命根

既未斷。叫做大徹底何事。師云。左搓芒繩縛鬼子。

頌云。生死忙忙不少留。命根不斷肯干休。一朝血脈通融處。暗對青山笑點頭。

問。一句當天八萬門。永絕生死者一句。如何得恁麼有力。師云。世界賴斯成。

頌云。一句當天作麼生。從來世界賴斯成。博山不費些兒力。覆雨翻雲好弟兄。

無異禪師廣錄卷第八

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第九

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

拈古上

舉。世尊一日陞座。文殊白椎云。諦觀法王法。法王法如是。世尊下座。

拈云。世尊拉抹金針。文殊橫抽玉線。彌縫海嶽。要是其人。且道。未陞座前。法王法在甚麼處。

舉。梁武帝問達磨大師。如何是聖諦第一義。磨云。廓然無聖。帝云。對朕者誰。磨云不識。

拈云。柳[木*栗]棒乾人骨髓。泥彈子換人眼睛。當機不遜。還容得第一義麼。雖然。即此不識二字。也是六月裏嚴霜。

舉。東印土國王。請二十七祖般若多羅齋。王問云。何不看經。祖云。貧道入息不居陰界。出息不涉眾緣。常轉如是經。百千萬億卷。

拈云。險處錐穩處筍。國主探端。灑不濕釘不入。尊者機辯。如是經還轉也未。待你脚跟下線斷。始知信受奉行。

舉。世尊於眾行。手指地云。此處宜建梵剎。時賢于長者。將一莖草。插於地上云。建梵剎已竟。世尊微笑。

拈云。插草建精藍。長者全身領荷。針芥相投。唧[口*留]固然唧[口*留]。要且未能免傍觀者哂。

舉。僧問青原。如何是佛法大意。原云。廬陵米作麼生價。

拈云。高低米價。環翠色於奇峯。吞吐廬陵。鍊蟾華於玉樹。須知大用無方。有感斯應。若論青原底佛法。三生六十劫。未夢見在。

舉。僧問馬祖。離四句。絕百非。請師直指西來意。祖云。我今日勞倦。不能為汝說。問取智藏去。僧問藏。藏

云。何不問和尚。僧云。和尚教來問。藏云。我今日頭痛。不能為汝說。問取海兄去。僧問海。海云。我到者裏。却不會。僧舉似馬祖。祖云。藏頭白。海頭黑。

拈云。藏頭白海頭黑。馬祖辯別大有來由。離四句絕百非。西來大意。直令侍者一時按著。毋謂博山皮裏陽秋。

舉。藥山久不陞座。院主白云。大眾久思示誨。請和尚為眾說法。山令打鐘。眾方集。山陞座。良久。便下座歸方丈。主隨後問云。和尚適來。許為眾說法。云何不垂一言。山云。經有經師。論有論師。爭恠得老僧。

拈云。接物情捐。澹泊為累。與奪相感。毋恠其然。又豈知希聽亂蛩音。素質煩飾彩。被院主撈著。直得百雜碎。

舉。百丈上堂。常有一老人聽法。大眾散去。一日不去。丈問。立者何人。老云。某甲。於過去迦葉佛時。曾住此山。有學人問。大脩行人還落因果也無。對他道。不落因果。墮野狐身五百生。今請和尚代一轉語。丈云。不昧因果。老人言下大悟。

拈云。不落因果墮野狐。須彌山恁麼高。不昧因果脫野狐。大洋海恁麼濶。試問。墮脫底。畢竟是箇甚麼。

舉。南泉一日。兩堂爭貓。泉提起貓云。道得即不斬。眾無對。泉斬貓為兩段。南泉舉問趙州。州脫草鞋戴出。泉云。子在救得貓兒。

拈云。生擒活捉。王老全機。起死回生。趙州手段。救得救不得。總不干他事。且道。節文在甚麼處。

舉。臺山路上。有一婆子。凡有僧問。臺山路向甚麼處去。婆云。驀直去。僧纔行。婆云。好箇阿師。又恁麼去。僧舉似趙州。州云。待與勘過。州云。臺山路向甚麼處去。婆云。驀直去。州便行。婆云。好箇阿師。又恁麼去。州回上堂云。我與汝勘破婆子了也。

拈云。飛騰不度。趙州關也。呼喚不回。臺山路也。者婆子。荊棘滿地。塵埃亘天。不遇魔王。安能捉敗。且道。勘破後是甚麼時節。依舊孟春猶寒。

舉。雲門大師云。光不透脫。有兩般病。一切處不明。面前有物。是一。透得一切法空。隱隱地似有箇物相似。亦是光不透脫。又法身亦有兩般病。得到法身。為法執不忘。已見猶存。墮在法身邊。是一。直饒透得。放過即不

可。仔細簡點將來。有甚氣息。亦是病。

拈云。精造之跡。研極之疵。非慧目莫能鑑。若夫知心體合。截流注之病根。達本忘情。鏡無己之景象。除非向威音那畔翻身。十字街前打睡底漢。方可診候。不然。莫將日瘡。誤作傷寒。

舉。地藏問脩山主。甚處來。脩云。南方來。藏云。南方近日佛法如何。脩云。商量浩浩地。藏云。爭如我者裏種田博飯喫。脩云。爭柰三界何。藏云。你喚甚麼做三界。

拈云。者僧羈縻三界。帶累他南州禪客。俗氣不除。如今還有與地藏相見者麼。更須拋却犁耙鋤頭始得。

舉。臨濟將示滅。囑三聖云。吾遷化後。不得滅却吾正法

眼藏。聖云。爭敢滅却和尚正法眼藏。濟云。忽有人問汝。作麼生對。聖便喝。濟云。誰知吾正法眼藏。向者瞎驢邊滅却。

拈云。驅耕奪食。須是滄沓。補網張風。還他三聖。然要傳持正法眼藏。且緩緩。

舉。廓侍者問德山。從上諸聖向甚麼處去。山云。作麼作麼。廓云。勅點飛龍馬。跛鱉出頭來。山便休去。來日山浴出。廓過茶。山撫廓背一下。廓云。者老漢今日方始瞥地。山又休去。

拈云。德山一條棒。尋常血滴滴地。到者裏因甚不用。暗裏抽橫骨。明中坐舌頭。

舉。瀉山問仰山。甚處來。仰云。田中來。山云。田中多少。人。仰插下鋤叉手而立。山云。南山大有人刈茅。仰拈鋤便行。

拈云。父慈子孝。夫唱婦隨。要是家裏人。始好說家裏話。不然。則索鹽奉馬矣。二大士暗機圓合。即不無。南山刈茅者。未許話會在。

舉。麻谷持錫。到章敬。遶床三匝。振錫一下。卓然而立。敬云。是是。雪竇著語云。錯。谷又到南泉。遶床三匝。振錫一下。卓然而立。泉云。不是不是。雪竇著語云。錯。谷云。章敬道是。和尚為甚道不是。泉云。章敬是是。汝不是。此是風力所轉。終成敗壞。

拈云。章敬道是。雪竇道錯。南泉道不是。有甚麼語話

分。惟麻谷錫杖頭。較些子。

舉。法眼問脩山主。毫釐有差。天地懸隔。汝作麼生會。脩云。毫釐有差。天地懸隔。眼云。怎麼又爭得。脩云。某甲只如此。和尚如何。眼云。毫釐有差。天地懸隔。脩便禮拜。

拈云。法眼勾人在不疑之地。且道。有多少法術。王言如絲。其出如綸。

舉。僧問趙州。狗子還有佛性也無。州云。有。僧云。既有。為甚撞入者皮袋。州云。為他知而故犯。又僧問趙州。狗子還有佛性也無。州云。無。僧云。一切眾生皆有佛性。狗子因甚却無。州云。為伊有業識在。

拈云。道有道無。靈鋒橫握。盡大地人。向趙州手裏。乞命有分。惟不跨石橋者。不在其限。為甚麼。剛刀雖快。不斬無罪之人。

舉。僧問雲門。不起一念。還有過也無。門云。須彌山。

拈云。不起念。橫拈三尺劍。須彌山。墜下一莖毛。博山二十年不著便。從者裏。識得雲門。

舉。地藏問法眼。上座何往。眼云。迤邐行脚。藏云。行脚事作麼生。眼云。不知。藏云。不知最親切。眼乃豁然大悟。

拈云。益公道箇不知。果然親切。後乃豁然大悟。真箇氣噎殺人。

舉。雲巖掃地次。道吾云。太區區生。巖云。須知有不區區者。吾云。恁麼則有第二月。巖提起掃帚云。者箇第幾月。吾便休去。玄沙云。正是第二月。雲門云。奴見婢殷勤。

拈云。糞草堆頭辯實。掃帚柄裏橫身。管他第二月第幾月。用得著便用。玄沙雲門語裏有刺。是賞伊罰伊。莫嫌霜露冷。添得好清香。

舉。巖頭到德山。跨門便問。是凡是聖。山便喝。頭禮拜。洞山聞云。若不是叢公。大難承當。頭云。洞山老漢不識好惡。我當時一手擡。一手搦。

拈云。問不在意裏。答預於機先。余所謂進得德山門。破

得巖頭句。灼然兩彩一賽。洞山雖是善因。而招惡果。又安知巖頭。子為父隱。直在其中耶。鼓吹將來。三人網作一束始得。

舉。魯祖凡見僧來便面壁。南泉聞云。我尋常向他道。空劫已前承當。佛未出世時會取。尚不得一箇半箇。他恁麼。驢年去。

拈云。魯祖見僧面壁。舌上有龍泉。要且不曾傷鋒犯手。王老師恁麼道。誠為善說法要。咦。

舉。雪峯示眾云。南山有條鱉鼻蛇。汝等諸人切須好看。長慶云。今日堂中。大有人喪身失命。僧舉似玄沙。沙云。須是稜兄始得。然雖如是。我即不與麼。僧云。和尚作麼生。沙云。用南山作麼。雲門以拄杖。攬向雪峯面

前。作怕勢。

拈云。南山驚鼻。毒氣薰人。當時若遇歸宗。免使雲門怕怖。然雖如是。還識今日遣呼者麼。

舉。鹽官一日喚侍者。與我過犀牛扇子來。者云。扇子破也。官云。扇子既破。還我犀牛兒來。者無對。資福畫一圓相。於中書一牛字。

拈云。鹽官一條犀牛。侍者欄圈甚密。雖得資福牽出。繩索總在別人手裏。

舉。仰山指雪獅子云。還有過此色者麼。雲門云。當時好便與推倒。雪竇云。雲門只解推倒。不解扶起。

拈云。五色令人眼盲。五音令人耳聾。既與眼對。便成滲漏。仰山指獅子示人。賣弄太甚。只饒推倒扶起。總在獅子上作活計。不受聲色者。知是阿誰。

舉。法眼一手指簾。二僧同去捲簾。眼云。一得一失。

拈云。明鏡當臺。明珠在握。照心徹膽。無有遺餘。法眼用在機先。者二僧一任指呼。且道。孰得孰失。當衡者鑑取。

舉。僧問護國。鶴立枯松時如何。國云。地下底一場懨[怡-台+羅]。僧云。滴水滴凍時如何。國云。日出時一場懨[怡-台+羅]。僧云。會昌沙汰。護法善神向甚麼處去。國云。三門頭兩箇一場懨[怡-台+羅]。

拈云。護國三懨[怡-台+羅]。囫圇無縫罅。便是具鐵眼銅睛底漢子。也分割不下。惟同道者方知。且道。誰是同道者。直饒你知得道得。總是一場懨[怡-台+羅]。

舉。風穴郢州衙內上堂云。祖師心印。狀似鐵牛之機。去即印住。住即印破。只如不去不住。印即是。不印即是。盧陂長老出問。某有鐵牛之機。請師不搭印。穴云。慣釣鯨鯢沉巨浸。却嗟蛙步[馬*展]泥沙。陂佇思。穴喝云。長老何不進語。陂擬議。穴打一拂云。還記得話頭麼。陂擬開口。穴又打。牧主云。佛法與王法一般。穴云。見箇甚麼。主云。當斷不斷。反招其亂。穴下座。

拈云。風穴泥印子在手。印住也得。印破也得。盧陂不搭印。正是鐵牛機。可惜乾爆爆地。若帶些水頭。管取他泥印子爛去。

舉。僧問大隋。劫火洞然。大千俱壞。未審。者箇壞不壞。隋云。壞。僧云。恁麼則隨他去。隋云。隨他去。僧問龍濟。劫火洞然。大千俱壞。未審。者箇壞不壞。濟云。不壞。僧云。為甚不壞。濟云。為同大千。

拈云。大隋龍濟。生死同條。接物導機。隨家豐儉。一句則穿花折柳。野渡冰消。一句則帶霧披雲。寒灰發燄。畢竟者箇壞不壞。參。

舉。雲門垂語云。古佛與露柱相交。是第幾機。自代云。南山起雲。北山下雨。

拈云。古佛在眾生肚裏結冬。眾生在古佛肚裏度夏。眾生不識古佛。古佛不識眾生。且道。南山起雲。北山下雨。

是甚麼節文。拈拄杖云。向下文長。

舉。仰山問僧。甚處人。僧云。幽州人。山云。汝還思彼中麼。僧云。常思。山云。能思是心。所思是境。彼中山河大地樓臺殿閣人畜等物。反思思底心。還有幾多般麼。僧云。某甲到者裏。總不見有。山云。信位即是。人位未是。僧云。莫別有指示否。山云。別有別無即不中。據汝見處。只得一玄。得坐披衣。向後自看。

拈云。信位即是。韶石灘前。舟橫野岸。人位未是。汾陽浪裏。棹入蘆花。坐斷兩頭。掣開金鎖。得坐披衣。向後自看。看箇甚麼。白日青天。切忌說夢。

舉。三聖問雪峯。透網金鱗。未審。以何為食。峯云。待汝出網來。即向汝道。聖云。一千五百人善知識。話頭也。

不識。峯云。老僧住持事繁。

拈云。捶打不開。屏折不下。各各具有隱身之術。大似埋兵索戰也。然雖如是。透網金鱗。畢竟以何為食。問取高郵定和尚。

舉。雪竇拈風穴語云。若立一塵。家國興盛。不立一塵。家國喪亡。遂拈拄杖云。還有同生同死底衲僧麼。

師拈拄杖云。寒時寒殺。熱時熱殺。風穴剝心剖膽。無有遺餘。雪竇更覓同生同死底。噫。是何言歟。

舉。洛浦參夾山。山云。雞棲鳳巢。非其同類。出去。浦云。自遠趨風。乞師一接。山云。目前無闍黎。此間無老僧。浦便喝。山云。住住。且莫草草匆匆。須知雲月是

同。溪山各異。截斷天下人舌頭。即不無。爭教無舌人解語。浦無對。山便打。浦於此服膺。

拈云。覺戶不掩。而對月還迷。寶殿無人。而澄潭散影。洛浦還知痛癢也未。不下霹靂手。難逢吸浪魚。

舉。馬祖不安。院主問。和尚近日尊候如何。祖云。日面佛。月面佛。

拈云。院主殷勤致問。馬師板齒生毛。要識者老漢情謂麼。養子方知父慈。

舉。瀉山問仰山。忽有人問。一切眾生但有業識茫茫。無本可據。子作麼生驗。仰云。若有僧來。即召云某甲。僧回首。乃云。是甚麼。待伊擬議。向他道。非惟業識茫

茫。亦乃無本可據。山云。善哉善哉。

拈云。為仰父子。勘人誠為獨醒。祇是博山要問伊。業識茫茫。與諸佛不動智。相去幾何。

學。臨濟示眾云。有一無位真人。常在面前出入。初心未證據者。看看。僧問。如何は無位真人。濟下禪床擒住。僧擬議。濟托開云。無位真人。是甚乾屎橛。

拈云。臨濟氣薄雲霄。固是卓犖丈夫。若向面前指示無位真人。余恐眾口鑠金也。

舉。僧問趙州。學人乍入叢林。乞師指示。州云。喫粥了也未。僧云。喫粥了。州云。洗鉢盂去。僧大悟。

拈云。趙州審的中拔出。者僧拔出中審的。可謂快便難逢。若說箇悟字。則坑陷殺人。

舉。雲門問乾峯。請師答話。峯云。到老僧也未。門云。怎麼則某甲在遲也。峯云。怎麼那。怎麼那。門云。將謂候白。更有候黑。

拈云。非常之問。非常之答。迅雷不及掩耳。良駟不及追風。宛轉偏圓。各負鉤深索隱底手段。然簡點將來。好與痛棒。何也。為他無事生事。放過即不可。

舉。洛浦臨終示眾云。今日一事。問你諸人。者箇若是。即頭上安頭。若道不是。斬頭求活。首座云。青山常舉足。白日不挑燈。浦云。是什麼時節。作者箇說話。彥從云。去此二途。請師不問。浦云。未在更道。從云。某甲

道不盡。浦云。我不管你道盡道不盡。從云。某甲無侍
者。祇對和尚。浦休去。至晚喚彥。上座今日祇對。大有
來由。合體得先師道。目前無法。意在目前。他不是目前
法。非耳目所到。且道。那句是賓。那句是主。若揀得
出。分付鉢袋子。從云。不會。浦喝云。苦哉苦哉。從
云。和尚尊意如何。浦云。慈舟不棹清波上。劔峽徒勞放
木鷲。

拈云。將遷化之際。託契券於兒孫。其妙思天造。情懷自
別。首座彥公。大有出身之路。柰娛老者。難以言句取
則。若迹解求之。未免按圖索馬也。

舉。僧問鹽官國師。如何是本身盧舍那。師云。與我過淨
餅來。僧將淨餅到。師云。却安舊處著。僧復問。如何是
本身盧舍那。師云。古佛過去久矣。

拈云。國師片片血心。不知圖箇甚麼。良久云。打草要使蛇驚。

舉。羅山問巖頭。起滅不停時如何。頭咄云。是誰起滅。

拈云。巖頭雖則善赴來機。未免遭人簡點。且道。過在甚麼處。獨守寒巖異草青。坐却白雲宗不妙。

舉。僧問興陽剖和尚。娑竭出海乾坤震。覲面相呈事若何。陽云。金翅鳥王當宇宙。箇中誰是出頭人。僧云。忽遇出頭時。又作麼生。陽云。似鶻提鳩。君不覺。髑髏前驗始知真。僧云。恁麼則叉手當胸。退身三步。陽云。須彌座下烏龜子。莫待重教點額回。

拈云。興陽明中坐舌頭。者僧暗裏抽橫骨。眾中還有識得者麼。打麵還他州土麥。唱歌須是帝鄉人。

舉。圓覺經云。居一切時。不起妄念。於諸妄心。亦不息滅。住妄想境。不加了知。於無了知。不辯真實。

拈云。四箇不字。是殺人刀。是活人劍。點鐵成金。天旋地轉。萬松門下。卓卓全該。若是絕學沙門。更須從頭刪過。吽。

舉。德山上堂云。及盡去也。直得三世諸佛。口挂壁上。猶有一人。呵呵大笑。若識此人。參學事畢。

拈云。孤危不立。更用相親。法外無身。猶欠哮孔。鼻孔與眉毛。從來不相識。相識去。舌頭元在口裏。

舉。僧問趙州。如何是祖師西來意。州云。庭前栢樹子。

拈云。龐婆百草頭。趙州栢樹子。二人向無煙火處鬪弄天工。冷眼看來。猶是剪彩耳。直饒西來大意。露布庭柯。更須吞却門前下馬臺始得。

舉。維摩詰。問文殊師利。何等是菩薩入不二法門。殊云。如我意者。於一切法。無言無說。無示無識。離諸問答。是為入不二法門。於是文殊問維摩。我等各自說已。仁者當說。何等是菩薩入不二法門。維摩默然。

拈云。明脩棧道。暗度陳倉。若語默商量。何異鉢盂安足。二大士。雖則傳脂付粉。水洩不通。以不二法門較之。尚晚在。

無異禪師廣錄卷第九

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第十

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

拈古下

舉。洞山供養雲巖真。僧問洞山。雲巖祇者是。意旨如何。山云。我當時幾錯會先師意。僧云。未審。雲巖還知有也無。山云。若不知有。爭解恁麼道。若知有。爭肯恁麼道。

拈云。語步安詳。紐機圓活。三玄五位。盡在其中。肯解
二字。披寶鏡之精光。彰兼到之赤幟。洞上宗風。於斯可
究矣。

舉。雪峯住菴。二僧來拜。峯見。兩手托門。放身出云。
是什麼。僧云。是什麼。峯低頭歸菴。僧到巖頭。頭問。
什麼處來。僧云。嶺南來。頭云。曾到雪峯麼。僧云。曾
到。頭云。有何言句。僧舉前話。頭云。他道甚麼。僧
云。他無語低頭歸菴。頭云。噫我當初悔不向他道末後
句。若向他道。天下人不柰雪老何。僧至夏末。再舉前話
請益。頭云。何不早問。僧云。未敢容易。頭云。雪峯與
我同條生。不與我同死。要識末後句。祇者是。

拈云。莫道無語。其聲如雷。佛事門中。商量不下。巖頭
寶燄吐華。雪峯金針露鼻。固是難兄難弟也。若論生死同

條。待別時來。抹過一著。

舉。法眼問覺上座。船來陸來。覺云。船來。眼云。船在甚麼處。覺云。船在河裏。眼後復問傍僧云。你道。適來者僧。具眼不具眼。

拈云。虛空無彩色。大海有波瀾。

舉。曹山問德上座。佛真法身。猶若虛空。應物現形。如水中月。作麼生說箇應底道理。德云。如驢覷井。山云。道則太煞道。只道得八成。德云。和尚又如何。山云。如井覷驢。

拈云。豪士之鋒。詩人之態。貫協精華。斯無餘蘊。曹山提挈過人。如萬仞巖頭打筋斗。下來扳仰不得。非但三玄

五位。直是佛祖。髑髏悉穿下過。咦。

舉。黃蘗示眾云。汝等諸人。盡是曠酒糟漢。與麼行脚。何處有今日。還知大唐國裏無禪師麼。僧云。只如諸方匡徒領眾。又作麼生。蘗云。不道無禪。只是無師。

拈云。大唐國裏。果無禪師麼。品暢清奇。不留朕兆。開眼作夢。淨地迷人。

舉。雲巖問道吾。大悲菩薩用許多手眼作麼吾云。如人夜中背手摸枕子。巖云。我會也。吾云。汝作麼生會。巖云。遍身是手眼。吾云。道即太煞道。只道得八成。巖云。師兄作麼生。吾云。通身是手眼。

拈云。遍身是手眼。汎寶舟而登彼岸。通身是手眼。搜要

徑而起重玄。大丈夫。橫身當宇宙。要用便用。只饒八萬四千。沒處安著。然雖如是。人出是非難。

舉。雪峯在德山作飯頭。一日飯遲。德山托鉢至法堂。峯云。者老漢。鐘未鳴。鼓未響。托鉢向甚麼處去。山便歸方丈。峯舉似巖頭。頭云。大小德山不會末後句。山聞。令侍者喚巖頭。問汝不肯老僧那。巖密啟其意。山乃休去。至明日陞堂。果與尋常不同。巖撫掌笑云。且喜老漢。會末後句。他後天下人。不柰伊何。

拈云。權衡在手。藻鑑凌空。別錙銖分妍醜。絲毫隱諱不得。德山呵佛罵祖為快意。被巖頭一拶。忍氣吞聲。密啟底意。作麼生道。電舌雷聲。宣揚不及。

舉。密師伯與洞山行。見白兔子面前走過。密云。俊哉。

山云。作麼生。密云。如白衣拜相。山云。老老大大。作者箇語話。密云。你作麼生。山云。積代簪纓。暫時落寞。

拈云。任緣而施。隨流得妙。雲蘿舒卷。峯嶽凝然。白衣拜相。雖則異地生苗。猶是功勳邊事。簪纓落寞之談。不無補於密師也。

舉。嚴陽尊者問趙州。一物不將來如何。州云。放下著。嚴云。一物不將來。放下箇甚麼。州云。恁麼則擔取去。

拈云。一言安邦。一機破的。乃趙州之通變。提得起。放得下。尊者固是果位中人。一往看來。灼然靴裏動指頭。

舉。金剛經云。若為人輕賤。是人先世罪業。應墮惡道。

以今世人輕賤故。先世罪業。則為消滅。

拈云。者般說話。縛殺多少人。解脫多少人。兼雌帶黃。滅胡種族。若以因果評。入地獄如箭射。

舉。僧問青林虔禪師。學人徑往時如何。林云。死蛇當大路。勸子莫當頭。僧云。當頭時如何。林云。喪子性命。僧云。不當頭時如何。林云。亦無回避。僧云。正當恁麼時如何。林云。失却了也。僧云。未審。向甚麼處去。林云。草深無覓處。僧云。和尚也須隄防始得。林撫掌云。一等是箇毒氣。

拈云。青林棒喝不施。針錐在舌根上。何曾放過。者僧爛泥中有刺。縱得便宜。不知早入行舖了也。當時若問博山。但咄云沒去處。看他道箇甚麼。雖然。在今之日。討

箇師僧。也難得。

舉。劉鐵磨到滄山。山云。老牯牛汝來也。磨云。來日臺山大會齋。和尚還去麼。山放身臥。磨便出。

拈云。案山起雲。主山下雨。杓卜聽虛聲。熟睡饒謔語。只饒弓折箭盡。未是作家。要得同氣相求。同聲相應。看者一隊水牯牛。復笑云。鼻頭總在博山手裏。

舉。僧問乾峯。十方婆伽梵。一路涅槃門。未審。路頭在甚麼處。峯以杖一畫云。在者裏。僧問雲門。門云。扇子[跳-兆+孛]跳上三十三天。築著帝釋鼻孔。東海鯉魚打一棒。雨似盆傾。會麼。

拈云。問處太親。智眼成障。傾出雲門七珍八寶。天童喚

作返魂香。諸人還嗅著也未。乾峯者一畫。大地百雜碎。非但路頭。者僧脚跟下。七華八裂了也。

舉。米胡和尚。令僧問仰山。今時人還假悟否。山云。悟即不無。爭柰落第二頭何。胡深肯之。

拈云。米胡酌其菁華。仰山碎彼璘玳。自非大方家問答。不及此。祇如肯諾不得全。米胡又且如何。

舉。趙州問投子。大死底人却活時如何。子云。不許夜行。投明須到。

拈云。趙州投子。果能跨逐日之蹄。截奔匯之水。但要與博山相見。尚須向鐵圍城裏。穿下過來。

舉。子方上座問法眼。和尚開堂。承嗣何人。眼云。地藏。
藏。方云。太辜負長慶先師。眼云。某甲不會長慶一轉
語。方云。何不問。眼云。萬象之中獨露身。意作麼生。
方豎拂子。眼云。此是長慶學得底。上座分上作麼生。方
無對。眼云。只如萬象之中獨露身。是撥萬象。不撥萬
象。方云。不撥。眼云。兩箇。參隨左右皆云。撥萬象。
眼云。萬象之中獨露身。[吃-乙+小]。

拈云。法眼嗣地藏。冤有頭債有主。子方為長慶。風不動
浪不移。豈可以人情污佛事耶。當時待問獨露身與萬象撥
不撥。但云是何言歟。管取法眼如瘞子作通使。吐露不
出。

舉。僧問首山。如何是佛。山云。新婦騎驢阿家牽。

拈云。首山佛話。雖俚語。猶堪入俗。然老將不談兵。較之似乎真金璞玉。烹之刻之。則喪淳矣。

舉。僧問九峯。如何是頭。峯云。開眼不覺曉。僧云。如何是尾。峯云。不坐萬年床。僧云。有頭無尾時如何。峯云。終是不貴。僧云。有尾無頭時如何。峯云。雖飽無力。僧云。頭尾相稱時如何。峯云。兒孫得力。室內不知。

拈云。指活路于廬中。舌頭不粘著肉。披全提於向上。額顛不拄著天。九峯口齒。若梭腸。自有巧婦針線也。所貴者。兒孫得力。室內不知。且道。不知底是何事。

舉。華嚴經云。我今普見一切眾生。具有如來智慧德相。但以妄想執著。而不證得。

拈云。根本無明。即是諸佛不動智。不動智即是根本無明。者裏別具一隻眼。老瞿曇冰消瓦解。

舉。僧問夾山。撥塵見佛時如何。山云直須揮劍。若不揮劍。漁父棲巢。僧問石霜。撥塵見佛時如何。霜云。渠無國土。何處逢渠。僧後舉似夾山。山乃上堂舉了云。門庭施設。不如老僧。入理深談。猶較石霜百步。

拈云。門庭施設。入理深談。孤鴈羣飛。缺一不可。一句則玄景未移。而天機獨運。一句則神柯未伐。而靈樹絕依。二大士氣宇如王。識得渠語者。便好作罷參齋。

舉。南泉示眾云。三世諸佛不知有。鯨奴白牯却知有。

拈云。手把地。尾連天。王老師異類中行也。三世諸佛不知有。掬明月於無影樹頭。驚奴白牯却知有。剪白雲于不應山谷。何人知此意。除是長嘯者。

舉。進山主問脩山主云。明知生是不生性。為甚麼為生死流轉。脩云。笋畢竟成竹。如今作箴。使還得麼。進云。汝向後自悟去在。脩云。某只如此。上座如何。進云。者箇是監院房。那箇是典座房。脩禮拜。

拈云。拈轉鼻頭。披翻唇齒。裁長補短。自有機宜。此語非但為脩公截舌。亦為後人點眼。可謂。絆斷葛藤。而遊象徑。芟除荊棘。以露瓊枝。其活句如此。

舉。翠巖示眾云。一夏已來。為兄弟說話。看翠巖眉毛在麼。保福云。作賊人心虛。長慶云。生也。雲門云。關。

拈云。吐輕[糸*系]于春蠶。豐毳毛于冬狸。諸大師各出隻手。且道。當得甚麼邊事。惜取眉毛好。

舉。仰山問中邑。如何是佛性義。邑云。我與你說箇譬喻。如室有六窻。中安一獼猴。外獼猴從東邊喚猩猩。獼猴即應。如是六窻俱喚俱應。仰云。只如內獼猴睡著。外獼猴欲與相見。又且如何。邑下禪床。把仰山手作舞云。猩猩與汝相見了。

拈云。中邑鋪文演義。譬喻得精。仰山讓老推尊。何曾放過。且道。還有佛性義也無。滿頭霜雪棲岩谷。半夜穿靴入市鄷。

舉。僧問曹山。靈衣不挂時如何。山云。曹山今日孝滿。

僧云。孝滿後如何。山云。曹山好顛酒。

拈云。松回千古之風。靈衣脫體。露濕中宵之月。散步狂歌。須是者顛酒翁乃爾。若夫混沌乾坤。逢人不認。曹山脚跟。猶沾泥水在。

舉。僧問法眼。承教有言。從無住本。立一切法。如何是無住本。眼云。形興未質。名起未名。

拈云。形未興名未起。且道。森羅萬象。從何處得來。者裏放過即不可。

舉。瑞巖問巖頭。如何是本常理。頭云。動也。巖云。動時如何。頭云。不識本常理。巖佇思。頭云。肯即未脫根塵。不肯永沉生死。

拈云。德音震響。土裂河分。不勞神用。變化鯤鯨。則不無巖頭。但博山要問伊。既是本常理。因甚有肯不肯。依稀越國。彷彿楊州。

舉。首山示眾云。第一句薦得。與佛祖為師。第二句薦得。與人天為師。第三句薦得。自救不了。僧云。和尚是第幾句薦得。山云。月落三更穿市過。

拈云。吞盡佛祖。佛祖為師。號令人天。人天作則。向沒蹤跡處。立名題分數目。喚作第一第二。早是蛇足矣。然其鋪舒展演。與奪臨時。首山舌上有鋒。咽喉若海也。還知月落三更句麼。無為無事人。別有閒家具。

舉。僧問仰山。和尚還識字否。山云。隨分。僧乃右旋一

匝云。是什麼字。山於地上書一十字。僧左旋一匝云。是什麼字。山改十字為卍字。僧畫一箇圓相。以兩手托。如脩羅掌日月勢云。是什麼字。山畫一圓相。圍却卍字。僧作樓至勢。山云。如是如是。善自護持。

拈云。者僧旋身。撥無煙之火。仰山畫地。挑海底之燈。義天燦爛。彼此作家。六書中收不住。且道。是甚麼字。大地無盲人。誰是賞鑑者。

舉。僧問雲門。如何是超佛越祖之談。門云。餬餅。

拈云。運劫外之香糜。興現前之供養。餬餅之談。塞斷人口也。其清音如玉。只饒辯似懸河。話會不下。何也。如野饑麥飯一飽即休。若論超佛越祖之談。待別時來。與汝註解始得。

舉。長沙令僧問會和尚。未見南泉時如何。會良久。僧云。見後如何。會云。不可別有。僧回舉似長沙。沙云。百尺竿頭坐底人。雖然得入未為真。百尺竿頭須進步。十方沙界是全身。僧云。百尺竿頭如何進步。沙云。朗州山。澧州水。僧云。不會。沙云。四海五湖王化裏。

拈云。會公坐殺法身。不通凡聖。岑老碧天雲外。更鬪精華。白牛牯觸牧多方。死貓兒解弄也活。與盲人點眼。聾者開聰。會公還識痛癢麼。

舉。龍牙問翠微。如何是祖師西來意。微云。與我過禪板來。牙取禪板與微。微接得便打。牙云。打即任打。要且無祖師西來意。又問臨濟。如何是祖師西來意。濟云。與我過蒲團來。牙取蒲團與濟。濟接得便打。牙云。打即任

打。要且無祖師西來意。

拈云。龍牙者漢。一副鐵脊梁。直硬到底。打破大唐國。
討箇頭正尾正底難得。

舉。玄沙到蒲田。百戲迎之。次日問小塘長老。昨日許多
喧鬧。向甚麼處去。小塘提起袈裟角。沙云。料掉沒交
涉。

拈云。人將語探。水將杖探。烈火裏辯真金。鬧市裏識天
子。袈裟下認取老僧。玄沙小塘斯人也。縱然蓋覆將來。
口苦心甜。更有事在。

舉。雲門云。聞聲悟道。見色明心。觀音菩薩將錢來買餬
餅。放下却是饅頭。

拈云。聞聲悟道。虛空敲不響。又作麼生。見色明心。清風無形質。又作麼生。胡言漢語即不無。觀音菩薩入普門三昧。雲門者漢。向甚處摸索。

舉。滄山問道吾。甚處來。吾云。看病來。山云。有幾人病。吾云。有病者有不病者。山云。不病者莫是智頭陀麼。吾云。病與不病。總不干他事。山曰。不干一句。速道速道。吾云。道得也與他沒交涉。

拈云。滄山懷仁。道吾尚義。二老雖則不露針鋒。也太煞俊俏。且道。誰是病者。誰是不病者。誰是不干者。試指出看。

舉。俱胝和尚。凡有所問。只豎一指。

拈云。藏而愈露。拙而愈巧。放開捏聚。虛空逼塞。且道。是箇甚麼。復豎一指云。十目所視。

舉。肅宗問忠國師。百年後所須何物。師云。與老僧作箇無縫堦。帝曰。請師堦樣。師良久云。會麼。帝曰。不會。師云。吾有付法弟子耽源。却諳此事。請詔問之。師化後。帝詔耽源。問此意如何。源云。湘之南。潭之北。中有黃金充一國。無影樹下合同船。琉璃殿上無知識。

拈云。古殿苔封。逢人不到。白雲深鎖。有路猶迷。青山逼近見巍巍。萬仞崖頭不露頂。古今多少人。向堦影邊。描寫不出。惟天童雪竇。較些子。

舉。臨濟問黃蘗。如何是佛法的的大意。蘗便打。如是三

度。乃辭蘂見大愚。愚問。什麼處來。濟云。黃蘂來。愚云。黃蘂有何言句。濟云。某三問佛法的的大意。三度喫棒。不知有過無過。愚云。黃蘂恁麼老婆。為你得徹困在。更來問有過無過。濟於言下大悟。

拈云。三年不開口。毒氣噴人。三遭喫痛棒。拂蒿枝相似。黃蘂處喫交。大愚邊拔本。末後逢人胡喝亂喝。是何道理。不向紫羅帳裏撒真珠。畢竟是蝦跳不出斗。

舉。疎山到滄山。便問。承師有言。有句無句。如藤倚樹。忽然樹倒藤枯。句歸何處。山呵呵大笑。疎云。某四千里賣布單來。和尚何得相弄。滄喚侍者。取錢還者上座。囑云。向後有獨眼龍。為子點破去在。後到明招。舉前話。招云。滄山可謂頭正尾正。只是不遇知音。疎復問。樹倒藤枯。句歸何處。招云。更使滄山笑轉新。疎方

有悟云。為山元來笑裏有刀。

拈云。獨眼龍。共資玄化。矮師叔。撞破疑團。且道。畢竟句歸何處。謾使為山笑轉新。

舉。楞嚴經云。吾不見時。何不見吾不見之處。若見不見。自然非彼不見之相。若不見吾不見之地。自然非物。云何非汝。

拈云。盡大地是箇釋迦。阿難[祝/土]著釋迦鼻孔。盡大地是箇阿難。世尊裂破阿難胸襟。且道。向甚麼處見。甚麼處不見。者裏著得一隻眼。黃面瞿曇。非但瞞人。亦乃自瞞。

舉。洞山解夏上堂云。初秋夏末。兄弟或東或西。直須向

萬里無寸草處去。良久云。祇如萬里無寸草處。又作麼生。顧視左右云。欲知此事。直須枯木上生花。方與他合。石霜云。出門便是草。明安云。直得不出門。亦是草漫。

拈云。洞山一具牙齒。敲得鳴。打得響。胡言漢語。撒得開。收得聚。可謂曖曖玄提也。二老漢。騎虎頭把虎尾。口似蜜甜。心如鳩毒。還知彼落處麼。

舉。仰山夢往彌勒所。居第二座。尊者白云。今日當第二座說法。山起白椎云。摩訶衍法。離四句絕百非。謹白。

拈云。仰山夢裏惺惺。驚羣動眾。說摩訶衍法。離四句絕百非。曾透徹也未。快須拋却榿椎始得。

舉。陸巨大夫語南泉云。肇法師也甚奇恠。解道。天地與我同根。萬物與我一體。泉指庭前牡丹花云。大夫。時人見此一株花。如夢相似。

拈云。大夫遡流窮源。南泉雲行雨施。正眼觀來。總是夢中說夢。

舉。雲門垂語云。乾坤之內。宇宙之間。中有一寶。秘在形山。拈燈籠來佛殿裏。將三門來燈籠上。

拈云。歷諸心。指諸掌。顯諸仁。藏諸用。開發性源。其至矣夫。拈燈籠來佛殿裏。將三門來燈籠上。雲門大師來。也放過一著。

舉。師祖問南泉。摩尼珠人不識。如來藏裏親收得。如何

是藏。泉云。王老師與汝往來者是。祖云。不往來者如何。泉云。亦是藏。祖云。如何是珠。泉召祖。祖應諾。泉云。去。汝不會我語。

拈云。南泉老漢。幸遇師祖。博山當時若在。待伊召聲未絕。即應云。瓦礫不勞拈出。管教南泉結舌有分。

舉。洞山不安。僧問。和尚病。還有不病者麼。山云。有。僧云。不病者還看和尚否。山云。老僧看他有分。僧云。和尚看他時如何。山云。則不見病。

拈云。不二門開。日面月面。總不似洞山癡病。混之弗得。類之弗齊。病中善看病也。者僧眼裏有筋。皮下有血。要見洞山。也不難。

舉。臨濟問院主。甚處來。主云。州中糶黃米來。濟云。糶得盡麼。主云。糶得盡。濟以拄杖一畫云。還糶得者箇麼。主便喝。濟便打。次典座至。濟舉前話。座云。院主不會和尚意。濟云。你又作麼生。座便禮拜。濟亦打。

拈云。臨濟棒頭有眼。善察來機。不是不知來處。要院主識痛棒始得。院主便喝。典座禮拜。門裏出身。剛柔相濟。若徹困去。可謂一點水墨。兩處成龍矣。

舉。石霜遷化。眾請堂中首座。接續住持。九峯不肯。乃云。待某問過。若會先師意。如先師侍奉。問首座云。先師道。休去歇去。一念萬年去。寒灰枯木去。古廟香爐去。一條白練去。且道。明什麼邊事。座云。明一色邊事。峯云。恁麼則未會先師意在。座云。你不肯我那。裝香來。座乃燒香云。我若不會先師意。香煙起處。脫去不

得。言訖便坐脫。峯乃撫背云。坐脫立亡則不無。先師意未會在。

拈云。善建者不拔。善辯者若訥。首座損其花。填其實。潔其操。楷其式。住持事業。豈其然乎。九峯太煞剋挺。不近人情。還會石霜意也未。總好與三十笞帚。

舉。同光帝謂興化云。寡人收得中原一寶。只是無人酬價。化云。借陛下寶看。帝以兩手捧幘頭。化云。君王之寶。誰敢酬價。

拈云。徑寸之璧。照乘之珠。望中原光影。萬一不得為比。文殊寶冠。隱諱不得。淨名方丈。說示不來。興化畢竟酬價不可得。然雖如是。誰道黃金如糞土。

舉。僧問洞山。三身中那身不墮諸數。山云。吾嘗於此切。

拈云。近不得倚。遠不得携。推之弗前。約之弗後。洞山於此若鐵櫬也。若夫辯奇貨。採驪珠。求華璞。追藍琰。安可以語於此哉。離乎言句。親之可矣。

舉。僧問雲門。如何是塵塵三昧。門云。鉢裏飯。桶裏水。

拈云。博山尋常受用。腐柴為爨。野菜和羹。或有問如何是塵塵三昧。但向道。切忌鉢裏尋飯。桶裏覓水。且道。與雲門相去多少。

舉。僧問瑯琊覺和尚。清淨本然。云何忽生山河大地。覺

云。清淨本然。云何忽生山河大地。

拈云。清淨本然。山河大地從甚處得來。云何忽生。又一重也。有眚者。不可以語其純素。碧眼者。不可以眩其玄黃。天童所謂見有不有也。於瑯琊答處。便恁麼悟去。不知誰是其人。

無異禪師廣錄卷第十

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第十一

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

頌古

拈花微笑

瑞瓣靈枝劫外春。拈來攪動海山雲。婆心況是如天遠。誰是拖泥帶水人。

乾闥婆王獻樂。迦葉起舞

袈裟角上帶些些。撒向閻浮布種芽。最喜琴聲清入骨。山川隨處綻曇花。

世尊因五通仙人。問六通義

應諾聲消那一通。山崩海竭絕形蹤。仙人有口難分割。雙耳聰聰却似聾。

普眼欲見普賢

三度殷勤遍界觀。大千祇在一毫端。六牙白象原非遠。不見多因被眼瞞。

女子出定

出定謾云彈指間。空勞神力不相關。而今慣喫和羅飯。一日三餐飽便閒。

阿難尊者問金襴外別傳甚麼

披得金襴早是遲。聲音相應合知時。門前倒却剎竿子。吹落空花第幾枝。

二祖乞達磨大士安心

覓心不得與心安。月印澄潭徹底寒。莫逐根塵生下劣。金毛獅子大家看。

三祖懺罪

萬里天開一陣風。雲推桂轂出煙籠。秋深秋浦那清影。露
滴芙蓉兩岸紅。

打牛打車

人道車行只打牛。我圖牛運打車休。忽朝車破牛亡處。迥
地遮天祇一頭。

南嶽遣僧問馬祖。祖云。自從胡亂後

掃盡狼煙志未休。晴空白日使人愁。太平不挂將軍印。擲
刃懸戈始徹頭。

龐居士問馬祖。不昧本來人

山為圖畫水為琴。誰解其中發妙音。箇是馬師彈得出。宮商清慘痛難禁。

馬祖不安次

玉回珠轉發真機。混不得兮類不齊。莫謂老儂無氣力。倒騎石虎過遼西。

百丈再參馬祖

豎拂當陽振祖威。難將此際話離微。灼然突出燎空燧。箇是金毛獅子兒。

百丈野狐

燒却百千萬億身。誰為我也孰為人。若將落昧通消息。曠劫無明理不伸。

南泉問僧。夜來好風

試問松風逆順訓。謾將得失豁雙眸。毒龍未肯輕開口。鑒在機先始徹頭。

僧問南泉。百年後向甚麼處去

拽耙拖犁異類中。崢嶸頭角出羅籠。溪南溪北無蹤跡。莖草銜來孰與同。

鹽官喚侍者

灼然扇破索牛來。樹子無根石上栽。當時圓相如拋出。多少英雄被活埋。

歸宗剗草次

一鋤兩段血淋漓。大地山河乞命時。識得此翁真面目。難將麤細與君知。

趙州問大慈。般若以何為體

相逢特地一重關。大笑呵呵豈等閒。置帚謾言今日事。清機歷掌逼人寒。

臨濟訪平田。遇嫂使牛

路途不識棒加牛。使得終須是對頭。行過平田長岸也。耙
犁未動合知休。

趙州勘婆子。臺山路話

脚跟之下臺山路。今古無人辯是非。勘過依前驀直去。却
來平地捉盲龜。

婆子送錢。趙州轉藏經

不受人間不施錢。趙州多著一番顛。勞渠四大和風轉。惹
得阿婆道未全。

僧問趙州。如何是道。州云。牆外底

從來大道透長安。牆外訓渠話轉難。會得若翁真實語。現前一日飯三餐。

僧問趙州。如何是祖師西來意。州云。庭前栢樹子

庭前栢子惠西來。眼上眉毛腳底鞋。嘗記江南三月裏。鷓鴣啼處百花開。

青州布衫重七斤

七斤衫子真歸處。何必尋渠較異同。更問其中端的旨。趙州牙齒不關風。

僧問趙州。如何是出家。州云。不履高名。不求苟得

三途迴絕出家兒。身不寒兮腹不饑。竹杖敲殘山頂月。倒吹鐵笛詠新詩。

三次喫茶話

南北東西四路通。謾將曾未話形容。醍醐滴入焦腸裏。靜水無波看活龍。

婆子燒菴逐僧

萬花叢裏不沾身。陷殺閻浮多少人。識得者僧行履處。軟綿團內有剛鍼。

丹霞參忠國師。侍者被打逐出

耳提面命貴當機。大哭還思大笑時。果是南陽門裏漢。皮穿骨露不饒伊。

僧問大隋投子。劫火洞然時。壞不壞義

壞不壞兮較大千。骯[骨*(廿/(歹*巳)/土)]言句不勝錢。衲僧眉下如開眼。笑指虛空缺半邊。

臨濟兩堂首座齊下喝。濟云。賓主歷然

未喝應須驗主賓。衲僧肯向句中親。若於喝下通消息。木馬嘶風過漢秦。

德山托鉢

家門興盛子強爺。密啟臨機路轉賒。說法不同昨日語。鉢盂柄上較些些。

三玄三要

言中有響句藏鋒。血染山花別樣紅。聊爾與君通一線。眼光如瞎耳如聾。

五位君臣

正偏兼帶驗重玄。君義臣忠事事便。獨蹈大方消息盡。絲綸應兆未生前。

僧參雪峯。低頭歸菴。至見巖頭。指末後句

低頭無語便歸菴。今古將何作指南。祇者是時猶不會。青山如翠水如藍。

舉上座訪瑯琊

相逢聊爾敘寒暄。何必區區吐妙玄。淡飯粗茶隨分足。莫教重起竈頭煙。

雪峯南山鼈鼻蛇

鼈鼻當軒好看來。喪身失命話全該。一棚傀儡都拋出。何似玄沙帶活埋。

僧問雲門。樹凋葉落時如何。門云。體露金風

樹凋葉落露金風。澗水山花處處同。普字法門親瞥地。不須擬議話從容。

僧問雲門。殺父殺母。佛前懺悔。殺佛殺祖。向甚麼處懺悔。門云。露

殺佛還如殺父時。懺無懺處顯全機。負慚嬾向人前語。笑逐清風倚杖藜。

玄沙三種病人

剗腸吐膽老婆心。擬議纖毫自陸沉。要得現前真受用。六根不具始知音。

大顛趨首座

數珠提起問端由。晝夜難將百八調。趨出座元誇好手。泰山難掩大顛羞。

興化打維那

宗師一片毒心腸。痛棒維那頗廝當。鬼哭神號留不住。至今千古姓名香。

夾山答法身句。見船子後。亦如前答

雪前風勢侵空急。雪後寒光照眼明。黃葉紛紛如剪綴。臘餘松栢映山青。

六祖遷化云來時無口

香煙直灌曹溪路。石女猶眠錦帳中。仍問歸期何日月。案山風起落花紅。

鼓山聖箭

九重宮裏路通霄。隨處稱尊舌更饒。何似鳳銜丹詔出。邊郵萬里盡歸朝。

大通智勝佛十劫坐道場

灰頭土面稱知識。蹋破毗盧額頂紅。多劫不能成正覺。祇緣身在道場中。

南院上堂。舉啐啄同時語

子母渾融氣未分。只須啐啄乃相親。一朝[穀-禾+卵]破情忘處。倒跨橫趨不辯人。

僧問雲門。如何是諸佛出身處。門云。東山水上行

水上山行能信否。誠然諸佛下生時。而今不許雲門語。電捲風馳祇自知。

法眼問脩山主。毫釐有差

權衡掌握重輕分。毫髮無欺說似君。用得熟時稱好手。公平須是當家人。

趙州鬪劣不鬪勝

義勝緣輸理一如。橫張赤幟道情殊。趙州不是閒相識。驢糞逢人換眼珠。

虔侍者。不肯首座

香煙斷處辯聲訛。肯信峯頭語更多。首座當時如出定。管教人唱太平歌。

興化獎在太覺為院主。一日覺勘驗。化連喝。覺連打

販賓鬻主頻施喝。痛棒如風不順情。酸澀肚腸都嘔盡。衲衣脫下便惺惺。

雪峯古澗寒泉話

萬丈深潭徹底清。隨緣飲啜不關情。趙州言句從來辣。雨後青山眼倍明。

世尊陞座。迦葉白椎

清白門庭無賸法。從來一道絕週遮。飲光不合重敷演。擊碎虛空路轉賒。

迦葉尊者因外道問。如何是我我

醫盲手段不尋常。撥翳金針別有方。烜赤太陽重益火。真誠一片熱心腸。

蜀僧為六祖塑像

三十二相憑君塑。就裏何曾有梵音。佛性分明親指示。莫教辜負老婆心。

馬師令人送書上徑山。山發緘。於圓相中著一點

欽師猶被馬師惑。殺得人兮活得人。虎視諸方格外旨。圈圈一點是關津。

馬大師西堂百丈南泉翫月次

窮源的是一家親。倜儻丰標壓四鄰。拽斷傀儡棚上索。驀然鸚鵡過西秦。

陸巨大夫向南泉道。肇法師也甚奇怪

指花破夢南泉事。天地同根陸大夫。當下不知花是夢。至今流落滿江湖。

鷺湖義禪師。麟德殿與眾法師論義

捏轉鼻頭行古路。撇開廛市往山阿。不知幾度清風起。無奈禪師一點何。

僧問興善。如何是道。師曰。大好山

滿目青山誰是道。居然知道不知山。閉門作活何多事。樵採歸來鎮日閒。

僧問楊岐叔禪師。如何是祖師西來意。師提起數珠

露濕雲凝曉不收。暮霞猶挂樹稍頭。西風夜半猿啼後。笑看蟾光海面浮。

僧辭趙州。乃豎拂子云。有佛處不得住

不行鳥道不居廬。醉眼摩娑白晝眠。謾道逢人莫錯舉。摘楊花是季春天。

雪峯問靈雲。前三三。後三三。意旨如何。雲云。水中魚天上鳥

前三三與後三三。魚鳥何緣作指南。因見桃花發一笑。而

今觸處放癡憨。

石梯見侍者托鉢赴堂。乃喚侍者。侍者應諾

穿耳胡僧拍掌回。尋常問答語如雷。莫言此外無多事。蹋破須彌頂上苔。

僧問多福。如何是多福一叢竹

煙雲鋪地起重層。斜曲縱橫指似僧。古殿不嫌車馬跡。清風啟戶雨如繩。

青原問石頭遷禪師曰。有人道。嶺南有消息

家國無人寄信來。客途何事苦徘徊。春風吹入名園裏。無

蒂曇花一夜開。

丹霞訪龐居士。見女子洗菜

東隣翠鈿映娥眉。俊俏如今更是誰。却被箭鋒施冷地。驪龍忍痛虎傷肢。

丹霞問僧。甚麼處宿

食有因緣宿有由。緇衣端不向人求。雲山黯黯清如許。一夜霜風盡白頭。

道吾智禪師。指佛桑花問僧

禪心隱隱露春規。酒未沾唇覆玉彝。更向花源辯真假。一

雙空手夜歸遲。

香巖擊竹悟道

一擊有聲聾兩耳。動容不墮眼初開。未生面目渾如此。無限行人被活埋。

趙州庭前栢樹子

庭前栢子西來意。流布叢林是與非。盡把乾柴當猛火。阿誰於此絕思惟。

雲門餅

特地來伸佛祖談。咽喉塞斷莫顛顛。若將斯語重加註。十

擔油蔴樹上攤。

南泉斬猫

利刃當陽作者知。何人救得此猫兒。若無起死回生術。空向沿途自泣岐。

德山棒

截斷眾流沒氣息。隨波逐浪話從容。而今作賊偷心漢。瞎棒盲枷效此翁。

洞山麻三斤

端嚴妙相難描摸。何似當陽指出來。一夜西風侵骨冷。天

明滿地是乾柴。

洞山五位頌

正中偏。一輪古鏡照衰顏。清風吹起蓬鬆髮。回首猶驚兩鬢刪。

偏中正。赤肉團中全慧命。倒騎石虎蹋層冰。根塵永處那伽定。

正中來。澹澹澄江月印苔。相逢莫恠無回互。誰道當機貴活埋。

兼中至。捧劒書紳恒順利。堂堂妙用古今輝。互換靈機稱至治。

兼中到。夜明簾外沉清照。大千沙界絕纖埃。不許時人開口道。

無異禪師廣錄卷第十一

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第十二

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

佛事

為鷺湖和尚封龕

我大和尚。示有去來。體非離即。悲願弘深。化儀權息。
暗兮如日之光。明兮如漆之黑。今朝封固見端倪。九九元
來八十一。諸昆仲。助揚法化。無礙興衰。

奠鷺湖和尚茶

住錫鷺湖四十年。清光法雨滿人間。而今南邁分身去。拄杖縱橫列祖先。諸昆仲。還聞得無聲三昧麼。好將龍口噴來水。煑茗和雲奠座前。

為壽昌和尚入塏

靈運遍山川。莖草化金光之聚。音容存梵宇。微塵彰法界之身。從來白浪滔天。今日清風滿地。分身南邁。他方境界殊常。携履西來。此處慈祥更顯。掀翻西竺窠臼。澄潭不許龍蟠。重脩古佛安居。寶砌還須龍護。雖然。且道。先師就位一句。又作麼生舉揚。良久云。石鼓元無縫。山頭賸有雲。

為壽昌和尚掩塋

如何是佛大好山。白毫如練氣如藍。慈雲化作乾坤眼。留與人天永遠看。

拱臺上座火

古稀之外重添八。僧臘叢中最占先。何必往生期淨土。今朝親見火中蓮。

光敷禪人火

二千里外圖何事。拋却家鄉驀直行。今日火中看變態。蓮花陸地帶雲生。

遍慈禪人火

緣上座一心彌巨。三界為家。紫芝孕秀。皓玉無瑕。今日
靈苗縱發。佇看火裏蓮花。

心恒禪人火

如何是心。青山高處白雲深。如何是恒。堂堂古路坦然
平。而今撒向孤峯頂。烈火燄中恁麼行。以火把打一圓相
曰。恒心何處是。遍界放光明。

禪人祝髮

米必成飯。僧原是俗。釋迦由此而弘經。馬祖領斯而相

撲。三千里外。喜汝脚下有筋。五百年後。笑我舌頭無骨。嘔。芟除無始妄因緣。且向梵王宮裏宿。

佛祖贊

阿彌陀佛贊(二)

行大願大。悲深智深。然莊嚴於化境。實淨土於凡心。須知念佛終成佛。未聞無址忽成岑。

乘願力來。償眾生債。曰此娑婆。即極樂界。都云點鐵成金。其中有利有害。何以故。若於紙上見彌陀。輸我當行好買賣。

釋迦文佛贊

者箇慈尊。乘悲願力。化有緣眾。正信調直。彼不知我。
我不彼識。穿過髑體。分明是賊。若還錯過此時辰。直待
當來問彌勒。

觀音大士贊(二)

稽首大悲。踞盤陀石。覲面斯彰。今胡云昔。眾生淨心。
諸佛妙智。玉齒琅琅。不識普字。見性非照。聞性非聰。
旋佛旋生。寶鏡芳容。厥號大悲。亦曰大慈。孰云普門妙
用在茲。

華藏世界。總蒲團間。負不了債。藉眾生還。興慈而運
悲。援苦以需安。現身五道何多事。目擊晴空鎮日閒。覆
紫竹之林。而懷深悲。踞盤陀之石。以默深慈。援眾生之

苦惱。代諸佛之行儀。或曰普門示現。而不捨風濤浪湧之中者。嘆。今正是時。

西方境贊

佛在瑠璃地上。花開八德池中。欄楯樓臺迥迥。珠林寶網重重。切不可作境諱却。既不作境諱。即今彌陀在甚麼處。咄。

浮山舍利塏贊(有序)

佛昔闍維。十剎繁興。八王分請舍利。入震旦者。蓋無幾也。耶舍尊者始從西域。將舍利。安奉于廬山者有二。其一在歸宗之金輪峯。自晉歷今千有餘載。放光輒彌山谷。屢現祥異。不可殫述。果清湛上座。紫柏老人子也。以因

緣力。積歲葺治。啟視。得金銀瑠璃滿三餅。其餘眷屬舍利。不可稱計。分布諸善信人。願力堅者。輒得之。吳太史觀我得二十有二顆。久復開視。滿三十顆。眾人聚觀。各隨所見。大小色相。種種不一。其他神變。盡智思量。所不能測。太史爰以敬心。合于悲智。欲使見聞讚歎禮拜。悉植勝因。乃謀于浮山之巔建窣堵波。以擬于金輪。昔有人。入地獄見地藏菩薩。曰汝罪惡深重。應墮地獄。急往鄮山禮舍利塼。可脫此苦。觀夫一禮一拜。即脫地獄。則太史所植勝因。與諸善信。速成無上菩提。無疑也。余游浮渡。因得瞻禮。合掌讚歎。而說偈言。

諸佛闡維時。廣流布舍利。散滿閻浮提。皆從因緣有。放光開幽暗。絕滅一切苦。普使見聞者。悉發菩提心。廣修眾妙行。圓滿波羅密。功德不思議。盡回向佛智。

達磨大師贊(四)

喚汝是箇達磨。受人博換。喚汝是箇博山。覷面迷亂。我
今識得渠。原是秦時鍍鑠鑽。咄。如幻如幻。

老臊胡。面壁九。剜人心。截人肘。幾遭毒害。而地轉天
旋。一片真機。而象騰獅吼。依然隻履又西歸。真箇蝦跳
不出斗。

擡頭不見有天。低頭不見有地。一雙大耳連環。兩箇鼻孔
出氣。滔滔白浪蹋長蘆。識得渠儂非小事。咄。

紫氣祥雲。旋覆江岸。折蘆者誰。是鐵面漢。近傍誠難。
胡為而贊。兩條墨跡迴思惟。一顆明珠光燦爛。

老子贊

覲面是條青牛。四蹄躡地。覲面是箇老子。鬚髮皓然。我記得你生于李樹下。母腹曾經八十年。惱釋迦涅槃太早。吐玄津混沌之先。而今渾化成團去。顛倒人間永遠傳。

羅漢贊(四)

從來三事衲。知是幾千春。今日重拈綴。當陽見素心。碧桃盤累累。瑤草影沉沉。更有西來旨。山高莫浪尋。

鉢從何處來。勞彼鼓雙翅。尊者窺碧漢。預作捧鉢計。大道元磊落。三昧貴遊戲。不逐見聞緣。超然登十地。

貝葉靈文。琅琅玉齒。聽誦者誰。踞地獅子。雲兮竹兮。

高山仰止。經了月明。終而復始。

分身南邁。神龜捧足。布袋全收。指頭獨矗。直下明珠。
遠山靈木。至理彌綸。阿誰相續。

十八羅漢圖贊

眾禪和跨步武。降得龍兮伏得虎。塵沙結使未乾枯。傀儡
一棚誰作主。飛錫懸光倚杖藜。分明撒出駭雞犀。欲知佛
法深深處。山淨雲收聽鳥啼。

雲棲大師贊

生在杭城蘇州有。老在杭城常州有。三十年前孔子之徒。
三十年後釋氏之友。八德池中喜種蓮。彌陀塞破諸人口。

覲面不知渠是誰。七七還渠四十九。

又

頭顱拄天。袈裟著地。此是阿誰。彌陀再世。

題優曇華圖

誰將紅綠現優曇。數遍前三及後三。謾道法華親指示。而今覲面是司南。

壽昌和尚贊(四)

峩峩老漢。篤行可佳。形之非形。丹青難畫。灰頭土面。笑神光拜雪。銅心鐵膽。罰世尊拈花。爛蒲團而為坐具。

破蓑衣以當袈裟。枕石漱泉。粘雲帶霞。風流客不堪誇。
大好山中三十載。鋤頭柄有活生涯。

稽首吾師。四生慈父。語入重玄。機貴回互。七處道場。
千指圍繞。擲如意珠。傾出栲栳。者一句子。終朝賣弄。
將是曰非。以輕為重。我探虎穴。親遭毒手。絕後再甦。
如飲醇酒。壯齡至老。惟一不二。泊焉辭眾。分明指示。
天下聞之。稱甘露滅。眷屬雲仍。芳塵凜烈。

者箇和尚。半隱半顯。指下為高。將深作淺。有時慈祥與
脩羅輩息嗔。有時惡發將佛祖也褒貶。今日被人寫上畫
圖。大似美玉遭幾點瑕玷。博山不解含容。代為諸人聊通
一線。通一線。米中有飯。麥中有麵。咄。

此似吾師真箇是。丟却把鋤看株樹。蒲團覆地絕纖塵。蠢

動含靈皆得度。咄。切忌道著。

圓相贊

啊。是輪月麼。多兩耳朵。是腔水麼。少幾重波。想是世尊遺愛。仰山傳訛。幾人尋不著。千般籌算。及至相會處。一場懨[怡-台+羅]。令予笑不徹。只得稽首再拜。南無佛陀。

峯頂和尚贊

者和尚。相非好。緇混素。寅作卯。汲水擔折。已見辯翁。烹茶銚側。而逢蘭老。供母下視長蘆。弘戒多言護草。惟不可說向上機鋒。何以故。道理玄談渾不曉。

洪濤山天安律師贊(有序)

余挂錫博山有年矣。每慮梓里。開化無人。往來衲子。傳
有天安法主闡揚教乘。作羯磨師。余心儀之。未得緣晤。
丁卯春。余旋故丘。則安公遷化已久。入山見卯塢巋然。
因述贊。以酬夙心。

世界無依。根塵空寂。悲智成身。而興慧益。戒德難思。
行非有己。慈緣廣攝。先余鄉梓。說法雲興。誨人餅瀉。
施利不沾。遠邇咸化。化緣云畢。而塔此山。法音奇演。
鳥語喃喃。

雲陽耆宿贊

雲散于長空。陽回于大地。盡華藏含靈。拄杖頭出氣。

空印法師贊

者老凍儂。寒威凜烈。忽死忽生。是何時節。酌古該今。
雷轟電掣。滲漏行藏。與人各別。不各別。贏得人傳甘露
滅。

杲禪座贊

此是何人。是我杲兄。蘊之藏之。慧日慈風。有餘錢而贍
叢席。無賸法以導羣蒙。千年不改青松色。湛水流雲徹太
空。

一菴法主贊

一亦不可得。菴跡何所留。寶池澄巨浪。橫架採蓮舟。

古心法主贊

古佛傳燈久。心師續燄長。欲知渠去處。芳草臥斜陽。

拙如贊

覓巧不得。拙自何來。如摩尼珠。投石火胎。頓瞥地時何所據。煙雲深處姑蘇臺。

解深贊

解甚深法。碎煩惱窟。鐵壁虛通。銀山突岬。萬仞崖頭眨眼看。緊著脚跟休恍惚。

龍峯八十一真贊

生緣八十餘。誰人寫上紙。根塵既本淨。何必染青紫。戒行若虛空。華藏為棲址。別號號龍峯。啟予親贊此。咦。忽然覲面頭邊珠。滄海直教枯到底。

趙豫齋真贊

豫齋老翁。者等形狀。髭鬚白而不白。和尚相而非相。十卷楞嚴。任你週流。一脈菩提。從人譽謗。似者等沒用底老頭陀。貶在閻浮極惡世中。留與人天作榜樣。

宛陵王玄石影贊

扶疎松與竹。清適茶兼酒。中有得意人。面南看北斗。今日相逢山水間。素縑未展竟何有。崆峒石畔芝蘭香。風雲筆底龍蛇走。道服樵巾。岸眉海口。雅句新裁。奇文立就。烹泉倩童。採芝借手。箇中無限風流。不落時人窠臼。五湖之內。都識得玄石先生。千古之下。悉稱為博山社友。

劉龍田居士影贊

大圓光中。惟公明哲。松風鳥語。代公之舌。演微妙音。宣第一義。趨世出世。往來遊戲。何以知之。山川草木。日月星辰。而為眷屬。釋迦不會。彌勒再來。香雲海眾。讚嘆奇哉。

查汝定居士影贊(二)

一二三四五。急急連忙數。不弄祕魔叉。解打禾山鼓。更
欲覓言詮。和聲當面吐。是誰安作窩。大千無寸土。幸有
上頭關。濶大堪步武。斬却雪峯蛇。笑殺玄沙虎。我今贅
此題。留作閣浮譜。

那裏來三一窩。似認得較不多。從來無有面目。今朝戴髮
頭陀。更將水墨傳真假。笑殺當年指路婆。

自贊

余集生居士。寫師像與自像。相視而坐。請贊。時居士五
十壽。且有內召。故末句云云。

博山余居士。真箇熟因緣。促膝撩衣坐。知是幾千年。悟

性空彰毫楮。緣生法上親眉宇。活似龍兮獍似虎。箇中元
不分賓主。一輪明月照金沙。大千隨處茂靈芽。剎剎塵塵
轉法華。雪巢癯窄噉晴霞。翻身須辯婆心切。紅爐燄裏寒
冰冽。徹底無依笑點頭。眼中慎勿沾金屑。五十方知四九
非。生擒兔象顯全威。殷勤。

國事猶佛事。一片丹心捧日暉。

者箇漢。清淨眼。昂藏眉。最惡毒。假慈悲。凡說法不思
惟。罵諸方痛針錐。扯人萬丈崖頭立。盡力將身祇一推。
咦。必也是誰(陳旻昭居士請)。

生平不就他學。祇向自心捫摸。忽然打破漆桶。隨處令人
驚愕。某禪和。毋自錯。者廝不異常流。討甚超方出格。

江北生。江南長。卓有來由。全無伎倆。口裏終朝漉漉。
心中全無靜想。隨方多結歡喜緣。留與諸人作清賞。紙上
畫我不像。真是他難近傍。有渾身。無五臟。佛法抖擻沒
纖毫。敢受諸人之供養(傳實禪人請)。

者老子多捏空。貪睡眠常做夢。入市廛過麟鳳。近著他眉
毛痛。泛泛端如五兩輕。堆堆何啻千斤重。

者廝兒無得失。了一緣萬事畢。少矯詐最朴實。愛與人宣
祕密。有時獨坐亂峯巔。指點風雲吹鬢策。咄。

者老凍儂。自謂英傑。無些子長。為法門切。舌根謙讓如
線。脊梁剛硬若鐵。終日叨叨千萬言。添得頭顱幾點雪。

者漢無長。祇肯認非。逢剛則柔。遇慈則威。挾帶挾路。

知顯知微。肚裏了無些子物。一生贏得口頭肥。

咦。通身狼狽。滿面塵埃。喜而不昧。怒而不嗔。罵盤山無面目。笑船子解藏身。流雲古木深深處。嘉羽奇花耀眼新。咦。汝是何人。

生成眉宇。是何標格。從本無家。隨方作客。或時被有識者呼為瞎驢。或時被無知者尊為禪伯。嚴兮如月之清。慈兮如日之赫。行藏不與眾同流。善惡難教分皂白。茲因曇晦禪人勒逼將來。不免書此權為之塞責。

者漢子沒來繇。擔閣浮重担。結眾生深仇。破鷲湖戒律。滅壽昌宗猷。心毒如砒。口甜如蜜。獍惡若虎。暴躁若猴。且道。是博山耶。非博山耶。依稀越國。彷彿揚州。

者箇和尚。生平無狀。花擘佛祖之家私。敢受人天之供養。更問宗乘事若何。是聖是凡祇一棒。

朱雲鶴居士。寫者漢作麼。說彼解談禪。開口便成墮。錯錯。溫州橘皮不是火。

者箇臭乞兒。從來沒計較。舉步似安詳。開口便胡道。有時一喝。大海水也著乾。有時一脚。須彌山也著倒。今日寫上畫圖。一任傍人取笑。咄。

素紙條墨。山重水重。邈無蹤跡。點綴虛空。一腔秋色。八面春風。葵誠徹見衷腸事。鼓打三更日正紅。

鐵面老人。堪寫上紙。本是無形。長眉穿耳。弄假成真。逢嗔作喜。無端平地浪滔天。都把他鄉當故里。

獨坐蒲團。想箇甚麼。瓶瀉雲興。說亦不破。有時喚作栢樹子。有時喚作訝郎當。有時喚作破竈墮。從緣返復百千名。地轉天旋祇者箇。

此是博山。我是阿誰。我猶是我。用彼何為。識得斯人真面目。山頭敗葉幾成堆。

者老秃奴。原非本像。坐破蒲團。是甚模樣。默默無言許自知。醜惡形骸誰比況。從來巾侍渠儂。識得昂藏去向。雖然忍受不與人傳。切莫認作本師和尚。

兩條墨痕。那堪供養。真不似真。像亦非像。若要的見博山。眉毛祇在眼上。

者漢癡獸。槁木死灰。箕踞若塑。怒發若雷。彌勒先生。
釋迦後來。趨亦不去。喚亦不回。三尺絹子。活埋活埋。

蔡闍脩公錯寫了。者漢有甚好。生平與佛祖。似箇生冤
家。開口何曾談著句禪道。假說從廣南帶來鎮海明珠。元
是江北盛烏盆底栲栳。你見他麤眉大眼。便被渠瞞。要見
他臭爛肚腸。捏轉鼻頭。但向虛空討。

此是何人。博山老朽。靜默無言。曰獅子吼。三心莫得。
以建法幢。十指不干。而稱抖擻。內外搜尋蹤跡無。引得
禪人顛倒走。

面潤腮紅。眉麤眼大。別想機緣。悉皆迸破。觀身心等陽
燄之騰。視富貴如空花之墮。吳少峯寫渠儂。休錯過。箇
中一線之微。問取知非首座。

無異禪師廣錄卷第十二

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第十三之十五

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

參禪警語上中下

卅云。與第二編。第十七套第五冊所收禪警語同。故今省之。

開示偈一

示無踰禪人參念佛是誰(有序)

無踰禪者。領雲棲師翁念佛公案。於雙徑峰頭。目視雲漢有年矣。而誰字尚未及破。謁余乞偈。助其發機。余不辭蕪陋。以偈記之。

雲棲師翁。淨土宗旨。雙解重圍。夢幻生死。念佛者誰。痛筍深追。高懸祖印。順機適時。誰字不明。疑情忿勇。力竭氣絕。始破漆桶。漆桶既破。毋容怠惰。脚步擬緩。非福即禍。萬仞懸崖。只須親到。石幔雲幢。風清月皎。清皎眼開。當面活埋。轟天裂地。其聲如雷。

示水齋道遵參沒蹤跡

船子廿餘年。藏身無蹤跡。一棹入華亭。兩岸花狼藉。今

人但逐句。熟讀竟何益。水齋志於禪。苦行非所適。專提
句話頭。堅硬逾金石。疑情成片去。只教一縫坼。遠不在
天涯。近非是咫尺。吸乾滄海浪。長空淨如碧。擊碎珊瑚
枝。梵語從唐譯。不親釋迦文。勘破維摩詰。街坊等箇
人。相將飲瓊液。

示觀恒禪人看普字

雲從龍風從虎。千里遠行跨步武。不辭涉水與登山。矢志
迸破雲門普。雲門普字古今傳。剔起眉毛反覆看。本命元
辰著落處。衣袋皮囊見不難。皮囊包裹真消息。現成不費
些兒力。纔生擬議隔天涯。肯向禪門空白日。只須豎起鐵
脊梁。直下明明達本鄉。故園田地都拋却。始信男兒當自
強。

示如是禪人參無字

趙州無古今有。伶俐衲僧顛倒走。若於二處見根源。大似
面南看北斗。破無字兩重關。重步高登萬仞山。縱饒絕頂
橫身過。吸霧披雲未可閒。筆直路行將去。誰管途中住不
住。只教倒跨紫金毛。反側始能張露布。海底塵山頭浪。
奧語玄機都不向。月皎風清夜靜時。沾著纖毫成滌蕩。反
覆看不較多。泥牛解吼木人歌。油瓶丟向籃筐裏。笑殺當
年凌行婆。

示懷照禪人參沒蹤跡

一句話頭如鐵橛。雄心莫教根基劣。太阿橫按絕周遮。眉
睫交橫流汗血。密究深栽絕動搖。臥薪嘗膽莫辭勞。鍼錐
筍入偷心死。奪得如來向上標。藏身之處沒蹤跡。醉舞狂

歌人不識。斷臂安心誑小兒。雪庭那得真消息。沒蹤跡處
莫藏身。吸盡澄江躍浪鱗。紅爛身遊荊棘裏。不尋歸去可
憐生。一喝耳聾稱大悟。何如返擲解回互。舍利八萬四千
顆。何曾夢見娘生褲。香象截流彼岸登。迦陵破卵即飛
騰。衲僧果具通天眼。抹過峯頭第幾層。入理慎防休太
早。狸奴不厭叢林飽。若于動處便旋機。依舊全身入荒
草。直下縱橫六不收。江水無心競夜流。更問祖師端的
旨。淡雲輕日正清秋。

示麓屏禪人省親并參無字

一箇無字。倚天長劔。瞥爾情生。搖空閃電。三千里外直
如弦。只教覲見親爺面。見後如何。切忌道著。

示參父母未生前

父母未生前面目。已生之後又如何。一朝蹋著來時路。雨具雲衣事更多。

示清隱禪人九帶語

浮山九帶。償眾生債。爛翻舌頭。眾生頗柰。入佛法藏。揭露家私。事貫理貫。和賊捉敗。佛正法眼。真不掩偽。妙叶兼通。順風逆載。事理縱橫。明暗互融。屈曲垂慈。機感自在。金針雙鎖。當面活埋。平懷常實。貴買賤賣。更有一帶。同條死同條生。勘破此帶。有利有害。清隱禪人請說破。輸我當行好買賣。偈曰。一句話頭如鐵橛。浮山九帶沒來由。須知塞却通天竅。突出娘生箇指頭。

示林埜禪人參沒蹤跡

沒蹤跡莫藏身。釣盡華亭躍浪鱗。藏身處沒蹤跡。三歲獅
兒解返擲。緊把繩頭勇力參。太虛紛出黃金汁。男兒漢須
性燥。捩轉鼻頭何處討。好於痛處下鍼錐。只待冷灰看豆
爆。不破疑團誓不休。放出瀉山水牯牛。五字到今諱不
得。戴角披毛者一頭。親磕著得便宜。敢問。皮囊知不
知。倒吹鐵笛音聲別。正是塵勞解脫時。

示可上禪座

一句話頭如鐵橛。從前活計湯澆雪。譬如杼海討明珠。勇
心直教滄溟竭。不得明珠誓不休。到手方纔得自繇。通身
汗下清風起。白浪滔天迸出頭。險道先須辯通塞。要以前
人為軌則。長慶蒲團船子橈用處。謾將心意測。管他烈火
與寒冰斷臂焚身似不曾。若箇皮囊真寶聚。好將清操續傳

燈。

示慈門禪人

一句話頭如鐵橛。眉毛不與眼相參。究心自古無多事。劈破疑團是指南。疑團破處無涯岸。突出衣珠光燦爛。從他八萬四千門。門門撞著是者漢。臨濟當年赤肉團。至今鮮血尚漫漫。真人裏向袈裟裏。鼓掌難教覲面看。只須揣出虛空骨。徹底無依休恍惚。順流筆直到江西。匡廬深處蛟鼉窟。五老峯前翠作堆。劫風幾變尚崔嵬。江濤響入遊人耳。莫錯呼為脚底雷。

示恒見禪人

一句話頭如鐵橛。千年故紙不須鑽。德山不入魔軍隊。大

地眾生被眼瞞。莫道宗門路勁挺。大丈夫兒須自省。二祖
雪庭斷臂時。震旦何人不引領。只須坐斷葛藤窠。佛法塵
勞柰爾何。點心不向言前薦。笑殺當年賣餅婆。休向山林
恣懶惰。石火電光容易過。縱然入定不聞雷。簡點將來都
是錯。生成不怕紫金毛。鐵壁銀山走一遭。果是老胡親的
子。隔溪何用手相招。

無異禪師廣錄卷第十五

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣
錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第十六

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

開示偈(二)

示吳觀我宮諭

一口氣不來。畢竟甚處去。血肉身心非常住。勘破緣生緣不生。根塵即是大寶聚。鬧市叢中景物披。何須山塢與江湄。負薪樵子機頭婦。渴飲饑餐步不移。百草頭邊親祖

意。毋拘路滑恣遊戲。謾將佛法當真參。沾著些兒成垢膩。
本來無古亦無今。肉髻明珠豈外尋。黃鶴樓前伸轉語。
方知居士問頭深。

示何芝岳尚書

一口氣不來。畢竟甚處去。靈山古佛親分付。回頭石馬出
紗籠。肯就家庭守珍御。淨几明窻自在時。花香雲照碧羅
衣。夜深月下翻清影。無蒂珊瑚露幾枝。折杖行兮途路
杳。旋身愈覺乾坤小。不須別樣問通津。萬事無如出處
好。眼動眉舒曰妙存。鴉鳴知是幾黃昏。依正報中親瞥
地。迥然無佛處稱尊。

示方廣野居士

一口氣不來。畢竟甚處去。急著娘生雙眼覷。洞然無物飽
齟齬。畱塞虛空何處住。既無住處肯干休。鐵壁銀山迸出
頭。謾道腰纏十萬貫。端然屋裏販楊州。世緣那更分清
濁。赤肉團中光閃爍。撿箇柴頭品字煨。風流何啻三禪
樂。撫掌捫空意灑然。浮山湖畔草芊芊。倒騎驢子都遊
遍。破霧披雲不記年。

示吳九濤居士

一口氣不來。畢竟甚處去。百年光景從頭數。忙忙三萬六
千朝。莫待臨時申苦楚。長安大道痛加鞭。行不前兮亦奮
然。直待九重宮殿裏。金鑪應有暗香傳。翻雲覆雨曹山
墮。活潑機輪無不可。纔欲將心度量來。溫州橘皮不是
火。世間無水謾云波。吸盡西江奈爾何。酬渠祖意山頭
有。紫霧紅霞映碧蘿。

示吳石生居士

一口氣不來。畢竟甚處去。四方八面大火聚。動即燒兮靜亦然。出離肯別生疑慮。不生疑慮直趨前。覓火還須先見煙。臭爛不堪皮袋子。灼然雲外是同年。同條生不同條死。瞥地嗔兮瞥地喜。顛倒場中識得渠。原來少箇當門齒。同門出入自優游。傑出叢林是趙州。略彳橋邊度驢馬。不風流處也風流。

示趙元振居士

一口氣不來。畢竟甚處去。雲從龍兮風從虎。旋風八字打將來。大地山河如目覩。香樹雲幢處處周。蓮花朵朵湛清流。善財不用南詢遍。彈指豁開彌勒樓。彌勒樓臺燦珠

玉。寶几明窻清可掬。鶴唳鶯啼盧舍那。時人何必棲幽
谷。解開布袋放癡憨。包納虛空甘不甘。轉位就功親去
就。舌頭無骨定司南。

示盛子惠居士

一口氣不來。畢竟甚處去。一千七百閒言語。交馳棒喝祖
師禪。蝶夢南華方栩栩。鳴椎歸位話幽微。四句離兮絕百
非。却笑仰山清夢裏。無錢博得口頭肥。好就風雲看變
動。真機不與時人共。本無一物獻尊堂。堆堆何啻千斤
重。掉轉乾坤別樣新。從來依法不依人。參禪道者渾無
事。靜聽枝頭鳥語頻。

示范以都居士

一口氣不來。畢竟甚處去。明眼衲僧難共語。管甚閒忙靜
鬧時。四威儀內頻頻舉。話頭綿密絕周遮。寶印親懸驗正
邪。清淨界中纔動念。無端病眼見空花。一念不生俱解
脫。芥孔鍼鋒誇廣博。攪亂乾坤不識人。旋風八字無棲
泊。只須掉轉拄杖頭。絕無煙火不干休。通身汗下通身
冷。笑展家風得自由。

示吳蓮舟居士

一口氣不來。畢竟甚處去。幻化皮囊誰是汝。險惡場中走
一迴。靜陸平原應自許。一步高來一步低。高低盡處見端
倪。法身炯潔何相似。白雪清風類不齊。話頭一句如饑
渴。山自崩兮海自竭。迸破疑團廓然時。却笑香塗與刀
割。少林無故把心安。不識心兮毛骨寒。突出娘生真面
目。了知生死不相干。

示盛蓮生孝廉

一口氣不來。畢竟甚處去。過水拏舟方自渡。到岸逢人話
短長。即忙覓取來時路。異種靈苗說似君。從來絲髮不干
人。解開布袋頻頻看。賸有山頭一帶雲。盞子落地成七
片。聊與時人通一線。無礙光明徹幻軀。根塵界是摩尼
殿。雲頭按下太生生。妙用臨機不順情。斫却中心一樹
子。四方八面任縱橫。

示胡水稜縣尹

一口氣不來。畢竟甚處去。白日青天誰不覩。還鄉盡道是
兒孫。就裏無容誇佛祖。箇中原不立階梯。土面灰頭孰與
齊。欲問故鄉晴雨候。須知脚下有黃泥。驅耕奪食男兒

漢。步不移兮登彼岸。何必區區藉世燈。額上明珠光燦爛。
爛。夜無惡夢日無驚。大地山河一掌平。好把虛空百雜碎。
碎。不期華藏宛然成。

示潘次魯貢元

一口氣不來。畢竟甚處去。五蘊山頭張露布。百萬軍中取
勝時。覷面那容更回互。重圍力破不為難。轉位旋機直下
看。纔起一絲分別想。脚跟早隔萬重山。智人當下知端的。
的。至理無分今與昔。百劫千生撞出頭。掃地焚香全利益。
益。逢人笑展佛家風。血染山河朵朵紅。參遍閻浮諸善
友。文殊祇在福城東。

示宋大山孝廉

一口氣不來。畢竟甚處去。晴是日兮陰是雨。翻來覆去見
根源。裂破胸襟誇步武。毋拘坐臥及經行。展似眉毛作麼
生。雨後花香人發笑。霜前菓熟鳥相爭。道人嬾與分時
節。囹圄不用頻饒舌。鐵馬嘶殘劫外風。大圓覺裏無豪
傑。你既無心我也休。兩忘何必強追求。趙州可煞添鹽
醋。傾出當年投子油。

示方肅之館元

一口氣不來。畢竟甚處去。毋問三千七百祖。公案交橫眉
目間。無心理會閒家具。法身清淨廁坑籌。沒來由處有來
由。一朝拶出通身汗。始覺從前滿面羞。著衣喫飯隨時
好。何自稽遲不自了。抹轉娘生惡面皮。觸著通身都是
寶。開不成單合不雙。後園驢子繫枯椿。翻他覷井真三
昧。隨處逢人樹法幢。

示劉雁先居士

一口氣不來。畢竟甚處去。即此不明是家務。譬如大路到
長安。前行更不生疑慮。直入重門興未休。夜明簾外更清
幽。庭前瑞草和根拔。淨白無依始徹頭。徹頭格外知端
的。男兒肯向他尋覓。謾言鷄子過新羅。捉活原來在咫
尺。拄杖頭邊眼頓開。橫拈倒卓不須栽。家庭懶論耕耘
事。賸有江風帶雨來。

示胡鼎甫居士

一口氣不來。畢竟甚處去。萬仞懸巖誰作主。筋斗翻空經
幾迴。敗葉堆頭親眉宇。當知父母未生前。氣不來兮理亦
然。勘破箇中些子事。層巖石虎抱兒眠。哮吼一聲山嶽

動。金鱗肯別醜。虜虜。倏爾風雲際會時。騰躍威稜看大
用。萬象森羅聽指呼。緣生幻法總然徒。靈山別有拈花
意。笑殺當年碧眼胡。

示張欽之居士

一口氣不來。畢竟甚處去。生死輪迴無伴侶。五蘊根塵盡
屬魔。降魔須獲金剛杵。金剛本體露堂堂。賊魔難與共商
量。自古護生須是殺。殺盡安居達本鄉。諸祖相傳正法
眼。獅兒不是猢猻產。殘篇斷索盡家珍。烈漢從來無料
揀。萬象森羅指顧間。高揮大抹得安閒。逢人不洩真消
息。笑把芙蓉鎮日看。

示倪瓊圃侍講

一口氣不來。畢竟甚處去。大千斂在毫端聚。堂堂古路絕
周遮。誰敢當陽曰住處。集雲峯下四藤條。坐斷春風不放
高。百草頭邊親薦得。萬花叢裏任逍遙。空非大兮塵非
小。品彙無如出處好。十字街頭等箇人。饑餐渴飲隨溫
飽。撥盡寒爐火一星。迥無情識不通靈。脚跟蹋著來時
路。始信澄潭徹底清。

示孫明都進士

一口氣不來。畢竟甚處去。智人勿以明相覩。豁開霄漢露
羣峯。得意飄然如鳳翥。翱翔萬里見方圓。清光不與市同
[廓-享+墨]。藥山老宿曾親說。水在餅兮月在天。大用堂
堂絕分齊。動止還同春富麗。大方獨蹈境唯心。誰向虛空
誇巨細。拈花端不涉離微。勘破靈山老古錐。無縫塢邊多
水草。龍眠深處鹿兒肥。

示林卞石居士

一口氣不來。畢竟甚處去。劈頭認取最初步。縱橫萬里不離天。莫待臨時泣岐路。欲知淮甸與江干。連絡駢闐車馬殘。散盡浮雲開眼看。洞庭無蓋法身寒。凍殺法身成底事。隔岸無分他與自。塵塵剝剝絕纖蹤。誰道婬房并酒肆。峭壁層巖不可攀。還期陸地見波瀾。風聲鳥語宣真諦。都在龍眠煙水間。

示楊蘭似居士

一口氣不來。畢竟甚處去。自古慈門無阻拒。寶所非遙趨進時。縱橫原不循規矩。明中有暗暗中明。明暗相參罷問程。拗折驪龍頭上角。珊瑚枝畔水痕腥。抖擻通身虛捏

恠。眼耳鼻舌分疆界。撲碎挪圓總不妨。自買應須還自
賣。運水搬柴識得渠。從來就裏絕親疎。深山佛法依何
住。鳥宿雲藏月上初。

示胡永胤居士

一口氣不來。畢竟甚處去。話頭好教頻頻舉。隨緣透徹未
生前。澗水松風解法語。橫趨倒跨不為難。剎海須彌指顧
間。靈芝瑞草和雲秀。綺榦仙葩帶露寒。閒拈竹杖敲空
響。肯向人前呈伎倆。二時粥飯自家常。寶網明珠俱不
尚。我曾行遍不欺人。脚底風雲說似君。果得箇中消息
淨。根塵界裏活如神。

示謝中隱居士

一口氣不來。畢竟甚處去。倒卓眉毛別有路。[口@力]地一聲猛省來。人在煙雲最深處。心如古井不生波。笑殺臺山指路婆。豎起拳頭明歷歷。放開布袋奈渠何。覲面縱橫無忌諱。當機那論剎那際。十方三世絕周遮。畱塞誰分心境異。塵勞堆裏妙蓮香。東土西天謾舉揚。更有一言吐不出。無人處所為商量。

示夏廣生元甫生生三居士

一口氣不來。畢竟甚處去。放得開時捏得聚。脚下泥深水亦深。水泥深處無憑據。只須豎起鐵脊梁。撞破藩籬達本鄉。識得未生前面目。通身白汗絕商量。流通白汗清風古。敢道山河無寸土。縱橫不墮悄然機。烈漢從來跨步武。金牛飯飽趙州茶。春到園林樹樹花。更問西來端的旨。白雲流水淡生涯。

示余任甫居士

一口氣不來。畢竟甚處去。沙裏淘金休莽鹵。五蘊山頭認得真。從來不出渠門戶。譬如捉賊須見賊。獲得賊時謾度量。分析現前賊與賊。空門端的好兒郎。幻化塵勞續慧命。須知業累性清淨。十方坐斷不通風。地轉天旋稱大定。鑪爇清香試返魂。香煙盤結嶺頭雲。倒騎石虎歸家晚。拍掌佯徜笑語新。

示玄照鎧禪人

一口氣不來。畢竟甚處去。蹋著頭頭皆寶所。灼然明月照金沙。無量光明誰不覩。只須開眼見光明。策杖尋溪愛路平。撞著長鬚黑面老。方知烈漢不通情。翻身蹋上毗盧

頂。直捷無依還自省。不問程途深夜歸。須知露濕衣裳
冷。當門缺齒不關風。肯向人前論異同。纔起一絲分別
想。山重重又水重重。

示一如洞禪人

一口氣不來。畢竟甚處去。推不前兮留不住。眉下娘生眼
忽開。肉團元是明珠庫。明珠庫內寶成堆。地動天翻響若
雷。不是吾家親眷屬。方纔趨入又驚回。那箇人無皮下
血。自心冷煖向誰說。何勞特地立階梯。一念無生頓超
越。祖師崖岸滑如苔。片語投機稱本懷。謾道分身無量
億。一塵端有一如來。

示淨休珍禪人

一口氣不來。畢竟甚處去。提起如穿荊棘絮。扯不開時進
步難。解脫還須善調御。萬花叢裏不粘身。眼底無筋一世
貧。逼到岸邊行不去。端然過水見長人。鐵非硬兮綿非
軟。入門先自防家犬。捏轉繩頭契祖機。萬八程途不記
遠。社飲村歌春日和。翠微深處白雲多。若將語默通消
息。輸却當年凌行婆。

示岑伯巖禪人

一口氣不來。畢竟甚處去。直入橫趨帶角虎。瑞草靈芝香
暗傳。層巖峭壁清風古。受用家私色色然。真情端不向人
言。忽朝[口@力]地一聲子。始信宗門有別傳。男兒不借他
人力。肯逐因循消白日。閒雲流水遞相交。古路一條如筆
直。識得娘生枯粹姿。瑩光皎潔若琉璃。何用多生熏善
業。風流應出當家兒。

示夢雲禪人

一口氣不來。畢竟甚處去。直入無容生怕怖。若是吾家種
草兒。英靈自有娘生袴。娘生袴子不尋常。貼肉連皮謾忖
量。從他孔竅分疎密。別有鍼鋒一線長。會得將身藏北
斗。萬派千流皆授首。纔生擬議隔天涯。野干難同獅子
吼。綠楊深處一聲鳩。喚醒渠儂得自由。山中水草隨緣
足。笑放瀉山水牯牛。

示慈菴禪人

一口氣不來。畢竟甚處去。淨白地上休染汙。直跨橫趨達
本鄉。莫來攔我毬門路。耍笑謳歌識得渠。從來萬法本如
如。宗乘無限風流事。獨羨楊岐三脚驢。真珠撒向紫羅

帳。陳爛葛藤俱不尚。別有通天路一條。活句清機如歷
掌。沾著通身似蜜甜。利生端不涉慈嚴。三家村裏商量
遍。菱角如錐尖更尖。

示發光禪人

一口氣不來。畢竟甚處去。萬里程從初步起。撥雲見日未
為難。妙用堂堂須返己。返己毋勞著眼看。霜清露冷觸體
寒。忽然擊竹聲消盡。賸有千竿與萬竿。

示念如禪人

一口氣不來。畢竟甚處去。重玄奧義從斯起。閻浮走遍萬
千遭。歷劫何曾離自己。識得自己是何顏。毳衲橫披露半
斑。峭壁懸巖穿下過。方知峯頂有層巒。

示太初法師

華巖山中太初老。雙眸倒視乾坤小。條眉舒放不尋常。丈
六金身一莖草。一莖草上有瓊樓。體露金風得自由。解脫
還期真實相。鉢囊不挂一絲頭。與我同鄉復同縣。非故非
親非覲面。離俗還如相約來。機緣頓異諸人見。諸人不識
兩行藏。多笑鄰家稚子狂。三昧百千誰指註。權時贏得額
頭光。淨脩三業浮囊渡。戒德清明人仰慕。愧我塵緣擺不
開。何日龍眠重會晤。不須問路不分岐。壽量恒沙報爾
知。倒跨泥牛吹鐵笛。白毫光射幾須彌。

示毒鼓上座

識得吾家真寶藏。兢兢肯把繩頭放。了生脫死大因緣。要

在當人能擇上。身心世界等空花。露地白牛長者車。通衢
八面清風起。無底籃兒盛活蛇。逢緣不把真機洩。硬似胡
綿軟似鐵。拄杖縱橫得自由。分明兩口一無舌。須信懸巖
絕後甦。突然狀出山海圖。掉轉乾坤何境界。三更初夜曜
金烏。

示子朴上座

識得吾家真寶藏。巖頭萬仞須親上。拌得娘生一箇身。好
與諸人作榜樣。登山涉水是尋常。攬浪拏雲當自強。透過
老僧無味句。幾多玄妙盡糟糠。不滯法身貴轉位。從他花
雨呈祥瑞。萬象都來一口吞。等閒擲出燎天燧。一陣胡風
劈面來。優鉢羅花舌上栽。脚跟步步須親到。謾言南嶽與
天台。

示我空上座

不住山阿住市廛。喜與檀那結善緣。菴前車馬自駢闐。月
救生靈幾萬千。多生值遇余居士。濟生菴子從斯起。壯麗
弘開不二門。躍淵縱翻無窮已。不惜娘生一箇身。何妨州
縣往來頻。毫釐升合非私畜。鐵額銅頭見主人。如斯不媿
為僧相。三德六和真可尚。始終無改舊行藏。好去叢林作
榜樣。更須徹究未生前。不明之處痛加鞭。掀翻碟子如天
大。覷破從來不值錢。

送無擇禪座上羅浮山

緬想當年景泰師。芟茅構室海之湄。羅浮絕頂恣遨遊。鐵
橋峯畔連瑤池。石門方廣容几席。三更日上海水赤。旋覆
乾坤辯故新。吞吐風雲度朝夕。上人今往亦何求。縱步勤

登二石樓。倒視滄溟如涓滴。一千瀑布稱雄流。明月壇邊
戒牘有。殺佛焚經誇抖擻。錫杖源清浴活龍。玉鷲峯峻逢
華首。七十二洞奏天樂。百千草木成瓊閣。夜深險極轉身
難。踢破指頭親見脚。我亦將來步此山。入林端不問人
間。折桂茹芝閒歲月。時臨清碧照衰顏。

示靜休禪人莖母

恩愛相牽劫數長。只須瞥地見親娘。若將骨肉分真假。管
取多生手脚忙。者一回莫錯過。敲響髑髏誰是。我今日親
逢知識緣。快須努力痛加鞭。愛水情山消不盡。輪迴知是
幾千年。道人心不失照。額上珠光明皎皎。還將折杖攪長
河。觸著泥沙都是寶。塵緣何處是吾心。赤肉掀翻莫外
尋。

示恒一禪人

曠劫不變謂之恒。散步披襟入棘林。蠲諸名數謂之一。萬仞峯頭獨足立。動足揚眉落二三。無身領荷非端的。只須古路不逢僧。地轉天旋似不曾。草鞋裹向袈裟角。水底時挑白日燈。檻外閒人分曙色。虛空畱塞如漆黑。豁開兩眼若銅鈴。何待當來問彌勒。此是恒常不變心。從來不向外邊尋。春風吹入巖阿裏。靜聽枝頭報好音。

示棲壑靜主之浙

棲禪嶺表稱耆舊。鎮海明珠誰不有。栲栳相傳古及今。誰是拏雲攫浪手。肉髻深藏知幾秋。光明普照四神洲。旋聞返見辯端的。喫飯穿衣得自由。果若沾嘗些子味。蹭蹬如痴亦如醉。逢人懶話目前機。正好隨羣與逐隊。何緣跋涉

博山來。浙水潮聲莫浪猜。脚跟蹋著家鄉路。白汗通身帶活埋。

示擴安禪人

洞徹無依謂之擴。廓充銷盡塵緣障。心空境寂謂之安。唯境唯心難比況。只須豎起鐵脊梁。撞破虛空是本鄉。雲門胡餅金牛飯。喫過始知滋味長。千重百匝無遮互。赤肉團邊彰露布。趙州略徇古今同。截斷不容驢馬度。圓融混合顯全機。土面灰頭絕悟迷。有問衲僧成底事。清風明月滿前谿。此是禪人真受用。聖凡鼻孔從來共。大抹高揮五兩輕。端居拱默千斤重。佛法塵勞一担擔。無煙火炙骨毛寒。一朝連擔都拋却。撮土成金總不難。

無異禪師廣錄卷第十六

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第十七

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

開示偈(三)

示汪省菴居士

段心地主汪居士。今日相逢有甚奇。解道聖凡同一體。夙緣密行少人知。疑情隱隱天機現。華藏光明祇一線。洞徹曹源滴水時。夜叉心即菩薩面。早知父母未生前。不妨痛

處更加鞭。山頭雲霧都收盡。濁水澄清月正圓。月圓不許
將心會。寶塢無形入也未。六窗虛靜絕纖塵。兒女團圞非
分外。

示黃心鏡居士

從來大隱隱廛市。居士今朝身便是。塵勞堆裏發靈苗。真
俗何嘗有二致。高原陸地不生蓮。沙水淤泥花始鮮。選官
選佛憑君選。佛法何妨兒女邊。翻思昔日維摩士。毗奈耶
城弘大智。推倒文殊不二門。笑携竿木恣遊戲。誰云恩愛
障修行。無生原不礙生生。但知生理元無性。何慮菩提道
不成。分明今日老龐家。山海敲冰來煮茶。撒手那邊千聖
外。須彌頂上浪生花。世間恩愛妄疎親。白日青天鬼繫
人。看破傀儡棚上索。莫教辜負好時辰。銀山鐵壁丈夫
志。明月清風道者心。世界從他滄海變。佛聲終不愧東

林。

送盛翀吾居士

曾自吳山越水來。而今復過姑蘇臺。故鄉景色堪徘徊。幻
化場中隻眼開。木蘭亭下人如電。縹緲霓裳今罕見。海湧
峯頭虎亦潛。北畝南阡經幾變。此身即是真法聚。莫逐根
塵生怖懼。木人花鳥本無情。宦途榮顯閒家具。我將此語
餞君行。越水吳山一掌平。更有太湖流不輟。待將清湛濯
塵纓。

示本宗禪人

如何是本古路峻。嶒躡得穩。如何是宗澄江水。底日頭
紅。麻三斤與乾屎橛。蹭蹬如吞栗棘蓬。識得此心無二

法。動容不待眉毛眨。破爛袈裟撩亂遮。崢嶸蹄角恣騰
躅。不學諸方五味禪。清風過耳自悠然。聖凡家業都拋
却。撒手佯猶笑掣顛。旋身不躅無明草。佛法塵緣都潦
倒。本源靈湛絕週遮。海底珊瑚和日皎。

示林野禪人

真修行辦己事。願與釋迦為嫡子。迥脫塵勞大丈夫。好將
名字標僧史。住深山棲巖谷。那管春花秋草綠。一箇閒人
天地間。饑寒飽煖隨緣足。鋤為枕草為氈。睡眠摩挲白晝
眠。西來大意山頭有。何必臨機更豎拳。不勞心枉費力。
華藏莊嚴在咫尺。大千沙界絕遮攔。煩惱無明都解釋。不
動步是真修。體露金風得自由。看破世間顛倒事。青林深
處一聲鳩。

示白齋禪人

為僧難為僧難。喫盡人間苦與酸。是非憎愛風穿耳。度量還同海樣寬。華藏界謾盤桓。無邊剎海一毫端。覷破緣生無實性。了知生死不相干。心外境亦何繁。流水青山鎮日看。三十年來知是錯。分明月照髑髏寒。覓不得始心安。徹底無根見肺肝。祖佛相傳祕密旨。大似將空挪作丸。直教生鐵流金汁。湧沸都來掌上觀。會得者些關楔子。不妨隨處種旃檀。

示碧輝禪人

為僧易。為僧易。要在男兒有大智。雪山真寶囊衣中。烈燄何須更迴避。任毀謗從罵詈。恩愛冤家都遠離。孤標獨立絕親疎。濁惡世間恣翫戲。逢人化敷妙義。譬如大鵬輕

展翅。又如鉛汞與真金。入火始能辯真偽。不求師不斷
臂。不圖名兮不愛利。了無一物挂心懷。饑來喫飯困打
睡。胡張三黑李四。從來不問渠名字。空花落盡見青天。
敢道頓然超十地。

示順涯禪人

入僧數非難易。蹈矩循規理不違。韜光混俗渾閒事。動止
無非振祖威。棲巖壑住柴扉。騰騰養得肚皮肥。就中一種
真三昧。猛火叢中片雪飛。知也未察幾微。晴空白日雨霏
霏。光明八萬四千土。土土皆作黃金輝。袈裟紫衲衣緋。
驀地逢人拄杖揮。三餐茶飯隨時度。渴飲清泉饑食薇。男
兒到此恣豪放。更當勇力破重圍。都城祖意須親薦。淨白
途中芳草菲。

示古航關主

君不見。天目山頭石作船。高峯大士居其巔。三十餘年瓔
珞飯。至今人把清名傳。吾徒靜室亦何有。口不開兮足不
走。赤身惟剩兩條眉。白手空拳誇抖擻。又不見朗公禪。
鋤為枕子草為氈。佛法世緣何所似。磐石多恣白晝眠。吾
徒不聞鋤與草。磐石藤蘿何處討。開窻祇可見青天。一道
靈明光皜皜。莫將此際當尋常。光非照境境非光。倏然廓
徹通無礙。便是心空及第郎。

示李希仁居士

君不見。此事不與教乘合。敢將外典分優劣。坐斷虛空逼
塞時。大千沙界無遺子。是途中非考輟。只須吐出廣長
舌。無情敷演妙伽陀。塵說剎說眾生說。山可傾海可竭。

日可冷兮月可熱。獨有禪門不動尊。笑看紅爐飛白。雪爆
得斷卒得折。旋機轉位誇豪傑。四方八面任縱橫。何妨弄
巧翻成拙。鼓是非稱奇絕。金毛跳入野狐穴。捋虎搏龍興
未闌。泥人肋下三條鐵。大因緣好時節。為君細解同心
結。列聖叢中向上關。熟讀斯文真口訣。

示禪人

人生天壤間。幻質若浮漚。虛脆無真實。苦向身外求。譬
如朝露花。又如塗地油。須臾便斂跡。胡為不知休。人身
優曇開。芥子針鋒投。赤肉明珠窟。青山碧玉樓。披襟彌
寶色。動步遂清幽。肯逐塵緣使。矜竚空白頭。

示方赤城侍御

紅光彌雉堞。清瘦晏居中。鬚髮皤然白。衣冠興愈濃。名
言蘇困躓。門第鼓祥風。燕雀高眉宇。圖書飽幼童。寂住
添靈翠。浮山起彥隆。溪聲清過樂。雲勢活如龍。他日重
遊處。相將看嶺松。

示六義禪人

誰云有六義。寧知一字無。寄身如浮雲。經世一須臾。男
兒氣浩然。眉宇動天樞。灼然沒巴鼻。迥與生死殊。打開
大散關。壯哉始自娛。莫學班白人。喃喃讀梵書。論義如
流水。究竟若芟蘆。真是獅子兒。生成鐵額顱。又如猛丈
夫。杼海求明珠。只教親瞥地。裂破祖師圖。

示陳□□居士

遍界不曾藏。眼根豈能見。除是悟心人。當下討方便。單
提句話頭。深追與力究。纔欲涉思惟。圓明成過咎。譬如
破重關。力與萬人敵。通身都是膽。輸贏在咫尺。那復論
危亡。亦不分彼我。抹轉上頭關。無可無不可。果是獅子
兒。不向那邊討。力就解翻身。根塵光皎皎。清風拂夜
月。旭日盡朝露。萬象咸點頭。森羅盡回互。喚作無事
人。喚作猛烈漢。更擬問如何。水浸石頭爛。

示李借假居士

念佛與參禪。法門最直路。鎮海傾明珠。樂邦宣淨土。和
盤盡托出。覲面絕差互。遠祖蓮花開。趙州驢馬度。抑揚
激教源。高下辯宗譜。塵界毫端析。法身全體露。花開德
水清。酒醒衣珠悟。謾言佛土佛。須識主中主。念佛與參
禪。祥雲和紫霧。隨方布德澤。切莫生猶豫。付囑應弘

通。化儀非小補。果得兼行之。真如帶角虎。

示詹智安居士

實相母容寄足。虛空豈是真心。坐斷十方窠臼。頂門痛下金針。掉轉乾坤何境界。拈來。沙土盡黃金。

示古輝維那

提起話頭。倚天長劍。斷生死流。碎魔軍殿。不斬驚奴。
豈肯放手。直破重圍。先須知有。知有體玄。如臨深淵。
約不退後。推不向前。勇不顧身。命根始斷。絕後再甦。
救得一半。一半倔強。拗折拄杖。絕思惟時。來喫痛棒。

示殊常二禪人

一歸何處。是擎天柱。抹轉額顱。笑破了去。別子江上。
浪花麤分。明月照珊瑚樹。只饒坐斷清虛。解活也須回
互。雙雙行也雙雙行。須知一住一不住。

示智和禪人

遇午一餐。遇晚一宿。此是何緣。無非順俗。忽朝踢破指
頭。敢道。玄沙受屈。屈不屈。聽叮囑。藍田片玉本來
輝。脫[穀-禾+卯]烏龜火裏浴。

示玄機禪人

癡癡𤝵𤝵。好去邏齋。昨日南嶽。今朝天台。兩瓢熱水。
一束乾柴。梅子熟也。還我核來。若將持呪為禪要。天下

禪人盡活埋。

示徐六嶽宮保元勛

不忘靈山親付囑。長安大道行人速。一鞭木馬蹋花飛。九重宮殿爐煙馥。閒拈拄杖撞虛空。逼塞誰分心境同。到得還家花未老。白雲依舊故山中。

示方心寰徹侯

不忘靈山親付囑。大鵬久住金剛窟。但問歸家歸未曾。休將古德商遲速。虛樓百尺倚晴空。門閉梯捐路自通。不動步時彈指入。樓前木馬夜嘶風。

示詹見五勛卿

不忘靈山親付囑。紅塵豈障參禪骨。雲衣不挂忽然甦。滿目桃花春簇簇。春風吹樹看春來。露柱生兒笑滿腮。識得無生親的子。任君掩耳過經臺。

示顧醒石鴻臚

不忘靈山親付囑。者箇都非心佛物。驀爾通身熱汗流。一味之間百味足。百味誰嘗一味非。旅中無繫自知歸。解道澄江淨如練。令人常憶謝玄暉。

示徐南高同卿

不忘靈山親付囑。紅藕池邊波可掬。通身獨露放光明。萬里山河清淨目。庭生瑞草未為奇。瓮裏醃菹變紫芝。碧眼胡

師吞未盡。酸甜祇貴大家知。

示何天玉同卿

不忘靈山親付囑。識取未生前面目。柳風梧月主人醒。掃
花閒殺樵青僕。春到黃鶯語亦親。半塘遙隔見通津。還他
寶釧金鞵子。任我穿衣喫飯人。

示俞容自勛卿

不忘靈山親付囑。學道先教無馱足。假饒已悟更加鞭。管
取千魔俱殞沒。護持須護自心玉。冰雪中間別有香。大著
眼眶看仔細。丈夫眉宇舊昂藏。

示徐孟麟侍御

不忘靈山親付囑。光明智火燒殘牘。逢人何處著商量。盡日芙蓉看未足。芙蓉霜刃向雲磨。魔佛由來奈爾何。露布已聞鏡吹奏。太平端許臥山阿。

示任文升侍御

不忘靈山親付囑。緣生世諦多林麓。剖開慧眼顯全機。肯向塵緣空碌碌。突出衣中無價珍。從來見處不依人。大圓覺體光明藏。淨白元無一點塵。

示吳黃嶽侍御

不忘靈山親付囑。清光靄靄彌山谷。舉頭誰不見青天。男兒肯向他尋逐。待客迎賓事事長。跬步何曾離本鄉。了知

動轉非他物。優鉢羅花遍界香。

示朱羅青民部

不忘靈山親付囑。回頭紙穴癡蠅出。疑情舉處要分明。莫把心量重卜度。大千經卷一塵微。只貴當人剖出之。曾向洛陽宮裏過。春花春鳥總宜詩。

示蔡聖龍祠部

不忘靈山親付囑。慧燈好向風前續。青天白露鷲峯明。更從何處分真佛。無分無別阿誰知。當下知歸我是誰。猛火煅成清淨土。一聲孤雁夜聽遲。

示龐序皇司馬

不忘靈山親付囑。春氣非傳紅與綠。一念攀緣眼底花。片
言玄妙膺中物。空諸所有實諸無。活殺從來是丈夫。山色
溪聲還跳出。鬧藍風雨對屠沽。

示曹安祖司馬

不忘靈山親付囑。浩然氣宇餐天祿。堂堂妙用絕周遮。百
匝千重光晃昱。底事分明說似君。碧空花雨亂紛紜。飯餘
柳岸經行慣。清風微動水成紋。

示吳泊如繕部

不忘靈山親付囑。海外波斯雙赤足。夜來龍藏掌中生。鎚
碎休教添碌碌。俊鶻摩天秋氣高。虛空無物見纖毫。驅耕

奪食男兒事。一任西風爽布袍。

示王季常繕部

不忘靈山親付囑。雪冷須彌偏突兀。拈來青棗大如瓜。見後桃花清似菊。熱油鐺舐大方饑。莫使重留貼肉衫。到得感恩知愧日。許君親見老香巖。

示白雉衡虞部

不忘靈山親付囑。社舞村歌堪薦入。歌聲鼓節遣誰聞。耳中供箇觀音佛。虛空消殞一人邊。草淨湖南萬里天。一句相憑重道當。石人雙耳聽聲前。

示周敏山水部

不忘靈山親付囑。珊瑚影映澄江綠。清風明月兩相知。蓮花水面如車軸。石頭城外草芊芊。蹋月穿雲知幾年。一自洞庭歌罷後。至今花雨尚蹁躚。

示金蘿石田曹

不忘靈山親付囑。禪牀直豎蒼山骨。迥然一念射當人。此是吾家真種族。空花輪轉本來無。迷悟俱非并覩驢。討得鑊頭些子味。臥雲嘯月種松株。

示吳鬯膏田曹

不忘靈山親付囑。刻刻須教深入木。和身迸透頂門開。六六原來三十六。鐵船無恙海潮通。月落沙寒釣已窮。若向

此中親薦得。竹簫吹過斷蘆中。

示丁蓮侶國博

不忘靈山親付囑。寶華淨界無延促。眉眶之下鼻頭垂。何人解把舟行陸。方舟渡子不曾迷。說著河源却未知。雪滿短蓑寒夢破。自驚身是釣魚師。

示林如冲奉常

不忘靈山親付囑。熟處當生生處熟。却將生熟一鐺煎。跛鱉盲龜稱萬福。出門何地不青山。傍晚征夫閒未閒。開徹碓花供醉眼。磨成磚鏡照衰顏。

示吳文孫中祕

不忘靈山親付囑。頭頭法法光明域。虛堂無事一聲雷。野
狐跳入金毛窟。金毛獅子解翻身。者裏分明不昧因。吐却
狐涎入狐隊。出山人是住山人。

示汪叔度進士

不忘靈山親付囑。康莊車馬偏難忽。黃塵冉冉遍天涯。憑
君拭洗青山俗。青山無況著秋煙。鹿草龍芝種玉田。獨有
一年收未得。祖珍拋散禁城邊。

示沈得一孝廉

不忘靈山親付囑。得意驂騑風趁足。奔騰蹴蹋見分明。萬
里空山尋古宿。尋人花影落繽紛。玉帶誰教報衲裙。合有

臨行饒舌處。鍾山雲似博山雲。

示陳賁生孝廉

不忘靈山親付囑。白石蒼松堪擊筑。擊出針鋒一線通。千流萬派看漩澗。山頭白浪海中塵。囊裏無錢賸買春。月滿珊瑚枝自露。跏趺應笑劫前身。

示徐六虛孝廉

不忘靈山親付囑。宗門豈傍他人入。英雄眼底笑男兒。清風古路無迂曲。參禪先令識心閒。錦鯉成龍一躍間。皮袋生光情愛盡。淡將言句寫溪山。

示曹清之奉常

不忘靈山親付囑。參禪莫就禪中宿。當日惟知劍柄長。而今始覺毬門複。枯椿未始是枯椿。觸處風搖白玉幢。萬里泥牛奔影去。碧雲無賴滿春江。

示陳允嘉廣文

不忘靈山親付囑。斷崖峰頂黃茅屋。十方坐斷見春風。撥雲夜看千花谷。跨著楊岐三脚驢。不逢渠處也逢渠。解開布袋憑人看。妙用臨機果不殊。

示張時華參軍

不忘靈山親付囑。十年豫造征人服。征人未免挂征鞍。會免臨期多倉卒。繡幢煙影碧油車。放出南山鼉鼻蛇。若道

葛藤猶未斷。一杯清供趙州茶。

示周元執參軍

不忘靈山親付囑。牧童明月騎歸犢。未到人牛不見時。休隨草色平川綠。雨餘芳草是前村。牧笛無端欲斷魂。却向古鄰荒寺去。大家扶起破沙盆。

示劉斗樞司馬

不忘靈山親付囑。縱橫出沒無拘束。閒雲蹤跡渺天壤。魔佛從來皆眷屬。放生容易殺生難。火宅之中叫野干。露地白牛車上坐。寶鈴珠網夜天寒。

示吳淳太光祿

不忘靈山親付囑。鉢盂中是千鍾粟。橫吞一粒齒牙香。却笑饑人果空腹。一粒原來何處生。大千心畝廓然平。夜來[勝-天+貝]有栽秧雨。好向綠楊聽曉鶯。

示葉翼所典謁

不忘靈山親付囑。花蜂豈就空枝宿。鑽向銀山鐵壁中。他家好似無情物。場開選佛看登壇。莫道心空及第難。踢殺猢猻縛殺鬼。不知菩薩是何官。

示丘言思宮端

不忘靈山親付囑。彌陀一句無真俗。數珠繩斷佛聲消。卞和剖破荊山玉。分明寶鏡映千燈。擇葉尋枝我未曾。識得

燒菴真供養。泥牛搖尾過窗櫺。

示李在璞孝廉

不忘靈山親付囑。脩幢拗折瀟湘竹。實相門開聲悄然。短衣破笠黃金域。江風淡蕩法身寒。江雨淒清夜未殘。休把鶻啼比鶯語。萬花叢裏現優曇。

示葉白於中翰

不忘靈山親付囑。期君試聽無生曲。無手人彈無耳聽。聚合從前親骨肉。團圞何處問他方。一片空心選佛場。打鼓却看誰作主。釣魚原是謝三郎。

示余集生同卿

不忘靈山親付囑。爾自彈絲我吹竹。合成一調供眾生。梵
天花雨成禾穀。攪不清兮燒不香。捉賊須教有正賊。溺器
踢翻清夜曉。傳燈名字間僧行。

示余周生都閩

不忘靈山親付囑。日午虛窻剔明燭。厨前巧婦細思量。自
笑能炊無米粥。諸天同器不同餐。肘後金符近已刑。馬足
似雲弓似月。將軍今夜下三韓。

示方士雄太學

不忘靈山親付囑。青山滿目原非物。荊棘叢中穿過時。何
論橫趨與直入。旋風八字打將來。寶網金繩觸處開。萬壑

千巖春自暖。兔光和露護珠胎。

示汪吉所居士

不忘靈山親付囑。加鞭倒跨泥牛犢。牛背頻將鐵笛吹。聲
聲韻出無生曲。無生曲子孰賡和。石人解拍木人歌。遊遍
支那歸去晚。衣冠之下古彌陀。

示陳旻昭文學

不忘靈山親付囑。瓊苗遠發瀏陽佛。揚吾家醜。逼吾忙。
管保千生受塗毒。千生祇在一朝圓。毒鼓聲騰萬馬先。廓
爾子韶明物格。紫雲金殿暗香傳。

示余得之居士

不忘靈山親付囑。日用何妨耕與讀。書中全露聖賢心。大似良田獲嘉穀。聖賢俱自道場來。儒釋源流莫浪猜。會得拈花微笑旨。龜毛拂子舞三台。

示剡水禪人

不忘靈山親付囑。波澄三昧銀鷺浴。自從不解倒跨牛。石人淚墮相思曲。相思難寫夢初分。半是思君半恨君。若使琵琶能訴出。指端應現博山雲。

無異禪師廣錄卷第十七

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第十八

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

開示偈(四)

示劉自度居士

沒蹤跡處莫藏身。釣盡澄江躍浪鱗。藏身之處沒蹤跡。華
亭兩岸花狼籍。迸破虛空別有天。綠楊深處草芊芊。更須
簡點家常事。跛脚驢兒在後園。

示智璘居士

眾生心佛無差別。大理不明誓不輟。一朝識得本來人。頓悟無生方欣悅。兒女團圞古道場。動步先須達本鄉。父母未生前面目。著衣喫飯是家常。

示悟言禪座

立志脩行須犖卓。還如美玉重雕琢。雕到玲瓏八面時。功成始得稱無學。放下塵緣即便休。青山何事使人愁。牧鞭收向明珠庫。放出瀉山水牯牛。

示吳觀我宮諭

塵尾縱橫劫外春。一番拈弄一番新。油餅勘破投明客。茶話輸他返拜人。孝滿酒顛欣逆子。劍揮巢破驗忠臣。不辭竿盡重栽竹。喜得華亭躍浪鱗。

示蔣熙臺居士

聖道無依不揀人。入門何必斷貪嗔。月盛銀盃含秋碧。露浸松濤帶曉雲。清淨界中纔一念。輪迴路上幾生身。話頭頓破閻浮夢。瑞草靈苗說似君。

示湛如禪人

圓明湛湛妙無垠。如涉纖毫即是塵。大地都來銀世界。更於何處覓金身。休云妄莫分真。祇知一馬生三寅。匝地清風何所有。笑看鸚鵡過西秦。

示江憶州居士

摩尼江岸若何求。直向驪龍領下搜。喝轉迅流須勇決。吸乾滄海任遨遊。拏雲攫浪憑雙手。倒嶽傾湫祇一頭。眉底頓開無礙眼。光明普照四神洲。

示張興公居士

橫身宇宙沒遮攔。盡力推爺山外山。不辯金光珍燕石。十方消殞謾追攀。脫筌網躍靈源。變化風雲頃刻間。此是洞曹兼帶旨。為君款款露全斑。

示蕭若拙郡伯

不逐形儀觀實相。玄機獨露面門餘。忘言寶藏流千古。爍
夢真光徹太虛。石女繡空花有果。木人敲火燄生魚。本源
妙粹離非即。待客迎賓體自如。

待客迎賓體自如。何勞緣木復求魚。靈心洞燭山河影。慧
眼旋觀物象虛。插草欣投當指地。拈花偏向笑顏餘。而今
斲破娘生面。眉目依然不是渠。

示黃玄石居士

出塵無染毒龍腥。世道鴻毛一樣輕。幻化場中誰是我。電
光影裏孰為情。楞嚴讀罷知空殞。寶所登時愛路平。自古
圓通門大啟。想君足下紫雲生。

贈契玄上座

圓契拈花意。重研寶鏡玄。弘施彰正令。妙挾驗真傳。峭
壁深春翠。靈花帶晚煙。當軒持萬象。印破水中天。

示孤月禪人

講席都遊遍。來參沒味禪。鋤雲栽紫芋。引水種青蓮。邃
谷嵐浮樹。乾柴火少煙。松風與夜月。相向不須錢。

示金燦宇居士

日用事無別。避喧轉覺難。飯餘歌晝永。燭盡笑更殘。一
切但仍舊。萬般都是閒。纔生分別想。知隔幾重山。

示魁杓居士二

信心功德聚。凡聖莫岐分。放出唯三要。收來祇一塵。不
從他變態。毋用自紛紜。識得衣中寶。何愁徹骨貧。信心
功德聚。真箇火中蓮。曠劫元無異。今生幸有緣。揭開塵
界網。印破水中天。最喜金剛寶。光明照大千。

示龔可濟居士

苦海何為楫。誠心可濟然。慈風清性水。慧日麗中天。華
藏巖身相。靈山在目前。須知塵界裏。烈火綻青蓮。

示李虛雲居士

話頭一句如弦直。岸柳巖花露法身。幾向綠楊深處看。端
然一點不沾塵。

示劉自度居士

話頭一句如弦直。多少行人步不前。趨入便須著眼看。香雲深處徹重玄。

示李何事居士

話頭一句如弦直。釣盡長江獲赤鱗。步下葛藤都絆斷。超然無累逐時新。

示王元淳居士

話頭一句如弦直。耀日精金覲面看。行過水晶宮殿去。門前尚有玉欄干。

示卓無量居士

話頭一句如弦直。珠若澄兮水自清。徹見本來真面目。方知人我不關情。

示陳旻昭居士

話頭一句如弦直。香象奔波失却威。截斷狂瀾觀自在。旃檀林裏鳳凰飛。

示張興公居士

話波一句如弦直。滴水高興幾丈波。出沒雲煙無限量。空花陽燄奈渠何。

示楊仲宜居士

話頭一句如弦直。行遍閻浮不識人。拄杖頭邊親磕著。深知痛癢是關津。

示顧長卿居士

話頭一句如弦直。甘露還從天上來。八角磨盤親撥轉。無限樹子倚雲栽。

示馬文先居士

話頭一句如弦直。不是牛兮不是驢。蹄角皮毛消得盡。灼然露出頂門珠。

示何允量居士

話頭一句如弦直。跛脚猫兒睡正鼾。夜半經行誰共語。月光花影恣清談。

示姚鄰卿居士

話頭一句如弦直。進步寧知行路難。稍得順風催客便。蕭然無意過三灘。

示陳非白居士

話頭一句如弦直。入處應從侍者邊。定動更知將智拔。門庭高峻古今傳。

示范爾培居士

話頭一句如弦直。急水灘中下足難。行過夜明宮殿裏。嚴霜六月透心寒。

示鄧直卿居士

話頭一句如弦直。水底游魚樹上鷗。眉下頓開清白眼。笑看塵境亂如麻。

示余未也居士

話頭一句如弦直。鳥道羊腸路可行。行到水窮山盡處。廓然天地是同庚。

示齊羣玉太守

話頭一句如弦直。寶網香雲眼裏花。透過冰山并雪洞。相逢且喫趙州茶。

示方時生貢元

話頭一句如弦直。似吼春雷起蟄龍。情解那容些子在。善行須信轍無蹤。

示姚純甫貢元

話頭一句如弦直。機發靈樞應不窮。知是自家真現量。四方八面起清風。

示張述之貢元

話頭一句如弦直。凡聖量情不礙膺。獨蹈大方何境界。倒騎鐵馬向空行。

示齊理侯居士

話頭一句如弦直。業識消磨六月霜。煩惱叢中開眼看。皮囊盡放紫金光。

示齊季顓居士

話頭一句如弦直。生逼魚蛇化活龍。大地山河成粉末。眉毛血濺梵天紅。

示胡康生居士

話頭一句如弦直。捷疾雄奔木馬嘶。萬壑千峯都躡遍。珊瑚枝上摘摩尼。

示胡凝生居士

話頭一句如弦直。祖令全提向上玄。不向意言生卜度。路頭筆直到家園。

示方奕予居士

話頭一句如弦直。人在冰山雪洞來。時節不同塵世界。桃花九月滿園開。

示戴式其居士

話頭一句如弦直。栢子庭前語最親。略徇橋邊行下過。通人那肯問關津。

示盛集陶居士

話頭一句如弦直。瓶瀉雲興也是閒。佛法若從知解入。少林端不把心安。

示姚申甫居士

話頭一句如弦直。混入方知不夜天。路載碧雲雲載月。無身人坐案山前。

示劉胤平狀元

話頭一句如弦直。飯後頻斟趙老茶。策杖喜隨流水去。深林無伴看飛鴉。

示劉君含居士

話頭一句如弦直。行遍三千及大千。掉轉身來何境界。夜明簾外月當天。

示劉六合居士

話頭一句如弦直。混入靈源不記年。識得自心元是佛。更於何處覓金仙。

示劉爾敬居士

話頭一句如弦直。梵語唐言義不殊。搬盡世間閒骨董。清風明月滿庭除。

示劉爾靜居士

話頭一句如弦直。水底紅塵山上魚。布袋都來收拾盡。珊瑚枝上喜踟躕。

示洞如禪人

話頭一句如弦直。六月炎天火裏霜。須信目前無別法。溪深杓柄自然長。

示微密禪人

話頭一句如弦直。狹路相逢罷問程。脚下原無勾絞索。橫牽直絆不須驚。

示慧林禪人

話頭一句如弦直。度盡眾生佛是魔。魔佛兩關都透過。陽春白雪和巴歌。

示慈水禪人

話頭一句如弦直。夢醒忻看劫外春。遍野牛羊足水草。莫教躡破嶺頭雲。

示宗伯禪人

話頭一句如弦直。開眼須知合眼時。明暗兩頭無著處。倒吹鐵笛咏新詩。

示水澄禪人

話頭一句如弦直。策杖尋溪得自由。撞著木人開口問。無言笑指水東流。

示玄燦禪人

話頭一句如弦直。喝水成冰當等閒。拄杖纔行三兩步。幾多花雨落人間。

示云知禪人

話頭一句如弦直。直入重樓最上層。公案萬千成粉碎。阿誰敢曰續傳燈。

示荊山禪人

話頭一句如弦直。喫飯穿衣最上乘。就裏不生分別想。道人行處火消冰。

示中和禪人

話頭一句如弦直。山自青兮水自藍。活計不從人處得。清風明月是同參。

示道菴禪人

話頭一句如弦直。你既無心我也休。華藏莊嚴原具足。貫珠寶網不他求。

示弘覬禪人

話頭一句如弦直。誰是緣生誰是真。坐斷兩頭無點事。庭前應笑看花人。

示□□禪人

話頭一句如弦直。世道紛紜作麼生。直入萬花叢裏過。不沾些子始通身。

示寂常禪人

話頭一句如弦直。勿論他家短與長。生死岸頭何捷徑。疑情粉碎罷商量。

示智華禪人

話頭一句如弦直。無位真人倒著[革*(華-(十*|*十)+(人*|*人)))]。行到水窮山盡處。通身渾是佛陀耶。

示慧生禪人

話頭一句如弦直。討甚閒心鼓是非。迸破疑團清夢裏。相逢難與話離微。

示湛之禪人

話頭一句如弦直。梅熟何勞更索核。吐盡口中酸澀味。齒牙應有暗香來。

示小枝禪人

話頭一句如弦直。幽谷芝蘭分外香。浪靜水平人不語。鴛鴦鳧鳥自成行。

示小止禪人

話頭一句如弦直。直下承當早是遲。父母未生前面目。不勞開口貴先知。

示曹印禪人

話頭一句如弦直。佛是靈山老比丘。以手自家頭上摸。不須螺髻也風流。

示玄京禪人

話頭一句如弦直。博得靈源活水長。分派不生高下想。成渠何必細參詳。

示瑞雲禪人

話頭一句如弦直。勘破塵勞語最親。撿得乾柴烹活水。自斟自酌不干人。

示恒如禪人

話頭一句如弦直。風雨無停竟到家。却笑後園驢喫草。夕陽西照影偏斜。

示葛皖伯居士

話頭一句如弦直。雪夜安心不是心。好看當年干木客。石頭路上水泥深。

示純素禪人

話頭一句如弦直。水面燈毬火裏蓮。雪洞冰山穿下過。長安盡處更加鞭。

示江達所居士

話頭一句如弦直。脚下黃泥知幾深。垢膩汗衫都脫盡。從他撩亂不關心。

示許圓脩居士

話頭一句如弦直。日不勞兮夜不眠。自古鼻端無點氣。何須特地慕腥羶。

示程君鑒居士

話頭一句如弦直。就路還家太鈍生。曠劫本無些變易。何須特地越規行。

示芮含實居士

話頭一句如弦直。十八兒郎笑未休。撿得糞頭無價寶。幾多歡喜幾多愁。

示覺海菴主

話頭一句如弦直。不落思量第二籌。推倒須彌穿屐走。毗盧頂上滑如油。

示眾禪人

話頭一句如弦直。空裏浮雲鏡裏花。看罷莫生奇特想。從來黑豆不生芽。

話頭一句如弦直。當下無心見本來。干木更須牢把定。衡
山路上滑如苔。

話頭一句如弦直。地覆天翻不動心。祇有一條生活計。隨
緣愈入愈知深。

話頭一句如弦直。無耳人聞說法聲。雲水盡時歌舞罷。長
安大道坦然平。

話頭一句如弦直。底事分明不許知。動著些兒遭藥忌。離
言誰肯辯深慈。

話頭一句如弦直。聞說何如見面親。縱是風恬閒不徹。還
憐活水躍金鱗。

一句話頭如鐵橛。碧雲深處有家傳。相逢不必重宣說。處處春風楊柳天。

一句話頭如鐵橛。死中要箇活人來。六根粉碎成團去。優鉢羅花遍界開。

一句話頭如鐵橛。縱橫萬境也教閒。脚跟不帶些泥水。收拾行囊過故山。

一句話頭如鐵橛。三千里外步如初。從來心法無前境。大地收來一草廬。

一句話頭如鐵橛。動中消息是如何。纖毫不盡隨生滅。笑殺當年凌行婆。

一句話頭如鐵橛。驪龍頷下抉珠時。只須不顧危亡也。入手方知出世奇。

一句話頭如鐵橛。紛紜境界體如如。只消識取來時路。倒跨楊岐三脚驢。

一句話頭如鐵橛。多年故紙不須鑽。一朝家當都拋却。始覺從前被眼瞞。

一句話頭如鐵橛。眉毛動處即須知。衲僧氣宇天然大。莫只因循十二時。

示五葉侍者

一句話頭如鐵橛。三玄五位不須論。千經萬典都拋却。掃地焚香是甚人。

示融愚禪人

一句話頭如鐵橛。活中要箇死人來。相逢為報鄉關事。紫莖金櫻帶露開。

無異禪師廣錄卷第十八

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依

卅新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第十九

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

開示偈(五)

示李虛雲居士

頓悟心源開寶藏。萬花叢裏樂優游。春風也解禪那意。吹盡殘紅伴水流。

示劉自度居士

頓悟心源開寶藏。鐘鳴鼓響驗聲塵。自從識得緣心法。一箇無心閒道人。

示齊寶明居士

頓悟心源開寶藏。從他煩惱與菩提。三餐茶飯隨時過。無事深山聽鳥啼。

示鄧九如居士

頓悟心源開寶藏。灼然笑點馬師圈。頂門果具摩醯眼。黑白終歸句下圓。

示李何事居士

頓悟心源開寶藏。摩挲睡眠見青天。現成公案重拈出。三箇獼猴夜簸錢。

示傅遠度居士

頓悟心源開寶藏。衲衣底事有來由。芻豢吞箇青州棗。直至而今飽不休。

示方士雄居士

頓悟心源開寶藏。雞鳴犬吠演真乘。雖然逐日忉忉底。喫飯穿衣似不曾。

示劉今度居士

頓悟心源開寶藏。庭前栢子話偏長。道人不諳西來旨。一陣清風一陣涼。

示楊仲宜居士

頓悟心源開寶藏。黃金沙石不須論。展開兩手無依摸。萬象森羅一口吞。

示姚鄰卿居士

頓悟心源開寶藏。龐家兒女是知音。超方不許留些子。拋却家園自陸沉。

示鄧直卿居士

頓悟心源開寶藏。家風不與世人同。百千萬種諸三昧。祇在尋常語默中。

示劉文長居士

頓悟心源開寶藏。全身領荷亦遲遲。更思吸盡滔天浪。笑倒江西馬大師。

示王元淳居士

頓悟心源開寶藏。祖翁田地不曾移。若將計較從他覓。大似傾盃灌漏卮。

示茹無簡居士

頓悟心源開寶藏。箇中原不立纖塵。誰云珍玩過沙石。還笑從前徹骨貧。

示陳非白居士

頓悟心源開寶藏。珊瑚枝上月溶溶。清虛不是人間境。吹去浮雲晚樹風。

示熊飛卿居士

頓悟心源開寶藏。黃花翠竹總真如。若將花竹生知解。笑殺當年碧眼胡。

示葉對育居士

頓悟心源開寶藏。肘後靈符衣裏珠。幾多玄妙都拋却。認取楊岐三脚驢。

示余得之居士

頓悟心源開寶藏。通衢倒跨白牛車。角頭無限莊嚴具。都在深慈長者家。

示余未也居士

頓悟心源開寶藏。大千經卷不他尋。分明一箇真猷子。肚量從來海樣深。

示鞠巖長居士

頓悟心源開寶藏。逢人懶論口頭禪。珍珠收向皮囊裏。棒喝交馳總不然。

示鄧魯生居士

頓悟心源開寶藏。好山好水一時收。從來不出門庭外。古佛家風得自由。

示張訥所居士

頓悟心源開寶藏。觸體無識眼初明。更知心境如如處。花鳥逢人亦不驚。

示王夢蘭居士

頓悟心源開寶藏。多年古路滑如苔。淨瓶撲破重拈起。歸去闍浮又再來。

示姚亶卿居士

頓悟心源開寶藏。西江吸盡不為奇。當陽打箇翻斤斗。鐵笛橫吹劫外詩。

示吳叔達居士

頓悟心源開寶藏。隨聲逐色過朝昏。一條拄杖穿雲走。得失親疎總不論。

示王君翰居士

頓悟心源開寶藏。落花流水盡家珍。臺山婆子空勞力。到岸毋容更問津。

示王閔卿居士

頓悟心源開寶藏。何勞特地問風幡。獵人驚破三更夢。始覺從前事事煩。

示徐貞可居士

頓悟心源開寶藏。大唐國裏沒禪師。虛空打箇翻身轉。拍手佯猶我是誰。

示鄭謙臣居士

頓悟心源開寶藏。拈香擇火當尋常。而今識得閒些子。却笑從前手脚忙。

示蔡玉源居士

頓悟心源開寶藏。揚眉瞬目顯全機。幾多鹽醋都傾却。收拾深山住草扉。

示□白生居士

頓悟心源開寶藏。白雲深處有家傳。灼然伸出拏雲手。好向虛空駕鐵船。

示羅元清居士

頓悟心源開寶藏。著衣喫飯見如來。不須更問南山路。笑指庭前石上苔。

示任徵生居士

頓悟心源開寶藏。珊瑚枝上海風清。現前何事為遮障。纔涉思惟萬八程。

示碧輝禪人

頓悟心源開寶藏。驪龍頷下挾珠來。而今懶論光明聚。包裹皮囊且學猷。

示瑞崖禪人

頓悟心源開寶藏。扶桑元在海門東。衲衣時藉雲霞補。剪尺無煩問誌公。

示葉鳧生居士

頓悟心源開寶藏。更須笑展佛家風。娘生面目從緣識。水鳥山花處處同。

示魁吾居士

頓悟心源開寶藏。金陵原是石頭城。萬年不更長江水。一任諸人自濯纓。

示華宇居士

頓悟心源開寶藏。脚頭蹋著盡黃金。更知錦帳春消息。石
女穿花不用針。

示洪宇居士

頓悟心源開寶藏。錢塘江上弄潮來。回途不顧衣衫濕。驀
地逢人笑滿腮。

示振宇居士

頓悟心源開寶藏。相逢眉動便知音。現前休問無生境。深
澗流泉太古琴。

示蓮溪居士

頓悟心源開寶藏。腰纏十萬下楊州。從來懶慣無他意。風自清兮水自流。

示冲玄禪人

頓悟心源開寶藏。魔王眷屬盡家親。當軒明鏡難逃影。畢竟無容一點塵。

示陳濠濮居士

頓悟心源開寶藏。真光原與世光同。華嚴無限香雲蓋。旋復都歸指顧中。

示方季康居士

頓悟心源開寶藏。毗耶城裏是吾家。大千掌內輕拈出。毫相輝煌燿影斜。

示卓無量居士

頓悟心源開寶藏。金針透穴不為難。夜深懶聽漁家樂。帶月乘雲下碧灘。

示熊□□居士

頓悟心源開寶藏。無榮無辱道人家。一條白練隨他去。動著些兒亂似麻。

示徐□□居士

頓悟心源開寶藏。脚頭何地不青山。肯將佛法生知解。迸破塵勞且學閒。

示郭玄朗居士

頓悟心源開寶藏。飯餘策杖喜經行。溪邊折盡垂楊柳。展似眉毛作麼生。

示余慎爾居士

頓悟心源開寶藏。緣生識得本來身。蓮花根發淤泥裏。却笑居塵不染塵。

示端宇上座

頓悟心源開寶藏。江南江北不須分。溪聲山色西來意。萬里青天萬里雲。

示應時上座

頓悟心源開寶藏。清風凜凜自江來。從緣薦得相應句。蹋破須彌頂上苔。

示三藏殿以監院

頓悟心源開寶藏。拈來瓦礫勝黃金。閻浮遊遍尋知己。得意終歸祇樹林。

示棲霞一監院

頓悟心源開寶藏。木樨香後菊花香。天明對鏡窮顏色。原是東村趙大郎。

為六雪禪人入關

翻思昔日雲門老。關字相酬最上機。分付博山闇道者。莫教辜負翠巖眉。

為六雪禪人出關

始行大事六年雪。頓入圓明一片冰。今日幸親無縫堦。掣開關鎖萬千層。

四公案拈示六雪座元

沒蹤跡莫藏身。藏身處沒蹤跡。吞乾海水躍金鱗。澄江始見花狼籍。

什麼物恁麼來。曹溪路浪如雷。說似一物即不中。大庾嶺上網張迴。

有佛處不得住。無佛處急走過。三千里外摘楊花。逢人莫論蒲團破。

麻三斤乾屎橛。纔拈著心路竭。筵破闍黎鐵面皮。禪牀皎皎三更月。

示方士雄居士(三首)

千賢萬聖說惟心。識得應歌樂道吟。就裏了然無一物。山河大地盡黃金。

非佛非心非是物。謾勞皮袋喫酸辛。現前境色清如洗。一一為君細指陳。

一滴靈源無變色。非今非古亦非新。十方坐斷重移步。不是瀟湘不是秦。

示謝在之居士

識得雲門一字禪。眾生諸佛本同廬。當機更問西來旨。陸地蓮花朵朵鮮。

示汪心鏡居士

來機即赴未為難。背觸俱非肯綮間。大火聚中看變態。真
文不欲露全斑。

示吳鼎甫居士

脚頭無地不青山。祖意還期顧盼間。識得未拈花去處。是
非不到飲光顏。

示玄京沙彌割股愈母(二首)

父精母血得生身。須信從前徹骨貧。者箇皮囊都割盡。孰
為我也孰為人。

世間大孝無如佛。童子心腸亦效之。幻化門頭開隻眼。也須記取下刀時。

示何芝嶽宗伯(二首)

道得溪深杓柄長。空花陽燄罷思量。東拋西擲衣中寶。舌遍三千謾舉揚。

世諦寧羈出世緣。追風逐日箭離弦。當機覲面如親薦。訂約輸盟不記年。

示阮澹宇郡伯

秋時落盡閣浮葉。何故黃花九月開。惟識肯隨渠變異。冷看漩瀆去還來。

示雪航禪人

行盡千山與萬山。逢人特地放癡憨。一朝看破枝頭月。始覺澄潭徹底寒。

示常菴禪人

識得真常便住菴。袈裟從教破[監*毛]毳。橘皮湯作三更點。翫月歌盃下碧潭。

示智鑄禪人

一片閒雲歸嶺去。三間茆屋旁山隈。乾坤裏向袈裟裏。今日分明付大梅。

示彬穎禪人

三間茆屋隨緣住。兩朵眉毛要自伸。好把偷心都死盡。始知布袋活如神。

示超塵禪人(二首)

滔滔瀆水送行舟。剩有江南結勝遊。蹋遍故鄉田地日。歸來應笑亂峯頭。

脚跟一段真奇事。抖擻塵緣作麼超。禪者果知燈是火。烏窠何必用吹毛。

示照浮禪人行脚(二首)

問君曾讀五車書。[打-丁+禽]管成文似有餘。我已搖鞭君
信否。歸家應笑倒騎驢。

倒騎驢子上楊州。却勝當年跨鶴遊。邵泊河邊何境界。煙
雲深處水悠悠。

示成涵禪人

幾回夢入故家鄉。麥飯葱湯謾忖量。躡遍山川圖甚事。只
須親見本爺娘。

示志西禪人(三首)

宗門底事皎如雪。軟似金剛硬似泥。無事夜行剛把火。須

知脚下有高低。

分明兩口一無舌。簸土揚塵無間歇。突出海門大日輪。元來却是新羅月。

倒跨泥牛自在時。橫吹鐵笛咏新詩。雖然拶出通身汗。下載清風付與誰。

示恒一禪人省親

恒年一片切心腸。不問程途到上方。今日還從原路去。歸來親見本爺娘。

示九如監院

荷擔監院不尋常。鐵額銅頭頗廝當。喫盡幾多酸苦味。而今始覺菜根香。

示知止禪人送師回浙

殷勤特地送師回。此去還期此日來。莫謂江頭風景別。年年九月菊花開。

示剖密禪人

錫杖橫挑入徑山。風霜肯信觸體寒。千峯頂上牢收拾。若謂崎嶇步轉難。

示觀一禪人

入嶺還如出嶺時。袈裟緊裹肚皮饑。今朝不辦山頭供。雲樹依依任所之。

示寶巖禪人

奔馳何獨豫章西。錫杖無辭脚下泥。別子江邊高著眼。紅輪盤湧一聲雞。

示自繇禪人

聽到天花撩亂時。宗門底事貴親知。翻身抹過毗盧頂。箇是金毛獅子兒。

示印文禪人(三首)

覲面當機識印文。肯將世念自紛紜。只教霜雪消融後。自有靈枝一帶春。

至寶從來六不收。根塵界裏自優游。一朝和架都翻轉。迸斷中間與兩頭。

夢幻漚花人易會。漚花夢幻莫生疑。世情徹底融通處。軟似金剛硬似泥。

示石隱等琨侍者

蒼石重巖挂碧霞。妙巖錦上復添花。回頭忽見匡山路。五老峯前有活蛇。

示曉宇禪人

譙更連漏頗相當。眨眼還成孟八郎。一覺天明無別事。法身元是臭皮囊。

示石浪禪人

長江石壁浪滔天。岸柳巖花亦眩然。最喜澄潭潭底月。開眸不費草鞋錢。

示穆禪人

逢緣不盡謾云休。細看瀉山五字牛。肯信虛空成粉末。劫外無身何處遊。

示玄詮禪人

玄猷端不涉言詮。過渡還乘沒底船。彼岸豈容些子法。逢人祇只敘寒暄。

示道開禪人(三首)

行脚年來路轉多。白雲冉冉莫蹉跎。大庾衣鉢今猶在。盡力荷擔動得麼。

行盡千山與萬山。脚皮多笑口皮頑。渾身不見些兒煖。火把分明覲面看。

侍者三年尚未勞。脚跟多被惡風搖。此間佛法無人識。肯向而今動布毛。

示筵禪人落髮

當機削去娘生髮。露出摩尼頂上珠。分付時人高著眼。此回親見赤鬚胡。

示甫中禪人

甫中知見盡芟除。烈漢從來不蓄書。隻字片言都吐出。翻身却笑趙州無。

示印宗禪人

印破宗乘壯鐵牛。溪南溪北恣優游。忽朝驀鼻穿歸也。迥地遮天者一頭。

示捷初禪人

雲從谷聚谷生雲。黶黷祇園別有春。寶篆香消僧定起。階前花雨幾繽紛。

示陳之望居士

自家田地要耕耘。勤牧牛羊莫亂羣。就裏靈苗須早種。及時花雨幾繽紛。

示去非禪人

自是不貪香餌味。三餐茶飯淡如飴。舌根血盡經光現。好向深山種紫芝。

示僧

當軒寶鏡若為容。影象全消顧盼中。妙挾渾然無滲漏。謾將珍御雜頑空。

示印空禪人

空知四大元非我。印破孃生鐵面皮。講到天花撩亂處。巖前石女夜生兒。

示沈東華使君

一餐齋罷一杯茶。掃地焚香誦法華。幸得箇中無別事。莫教黑豆又生芽。

示智璠居士

饑時喫飯冷添衣。正是維摩杜默時。莫謂朔風吹不入。天寒也貴大家知。

示古邦居士

剔起眉毛休懶惰。法門底事勤擔荷。一朝撞破指頭時。始覺從前都是錯。

示樵陽居士

少室宗風無別法。從來澗水碧如藍。五臺山頂金毛現。看破前三與後三。

無異禪師廣錄卷第十九

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

開示偈(六)

劉和鶴居士赴試春官以草履送之。兼示四偈

曾聞赤脚下桐城。居士今朝恁麼行。草履緊包雙指露。管教平地聽雷聲。

桂花香處露真機。正是心空及第時。燕北風高如有雁。倩
閒早寄博山詩。

草鞋蹋破長安道。直入金臺最上層。壁上有僧高著眼。好
將佛法繼傳燈。

脚跟點地瑞蓮開。萬仞峯頭得意回。有問草鞋何處覓。報
言曾到博山來。

示周肯成居士

苦海中流弄釣竿。從渠漩澗不相參。西江涓滴如吞盡。沙
界都盧一坐龕。

示胡法野居士

抖擻身無些子法。野情偏結世緣多。當初大道如親薦。笑殺臺山指路婆。

示平宰居士

平心待物恒常事。高宰乾坤越樣新。突出衣珠如瓦礫。不妨隨處是通津。

示余毓蟾太守

鶴長鳧短自天然。何似君家白晝眠。盡世諸人尋不著。星辰印破月中天。

送彭質先學博(二首)

一法空時萬法空。萬緣空處體皆同。堂堂日用無他事。指點全彰顧盼中。

帶雨山頭縱步時。心空及第報君知。現前佛法誰擔荷。琪樹瓊花映綠醺。

示寫照寶林居士

握管精神分外奇。此情惟有自心知。宛然寫出娘生面。千載人思上古時。

示黃子義居士請經回

為求半偈捨全身。居士今朝怎麼行。踢破指頭誰證據。萬

餘紙上話無生。

示素真居士請經回

剝肉燃燈為法來。脚跟蹋破幾蒼苔。牢把柁時急水去。鞋
山頂山頂上瑞蓮開。

生成一片鐵心腸。猛浪狂風頗廝當。今日回觀山頂月。逍
遙誰謂脚跟忙。

剖塵直欲見全經。舟楫何辭泛遠溟。恠石狂風穿下過。此
回始道佛家寧。

水陸兼行意頗安。石頭城外走長干。無邊塏影光明種。今
日方知會遇難。

示越山禪人

不從途路分階級。只欲須彌頂上行。倘與迦文親覲面。問渠何處是緣生。

建安江岸示青林諸弟子(三首)

相逢倏爾半年餘。卍角丫環妙挾初。寶篆久沉宮漏冷。願携香水灌毗盧。

逆水重重疊疊灘。相逢千里別離難。迴途石馬如廝撲。邃壑幽林指顧間。

來時清冷去炎蒸。惹得山嫌腥臭名。今日江濱何所適。剩

餘一葉扁舟輕。

示眾禪人(二首)

一莖草上現瓊樓。吸盡支那四百州。贏得清風收白汗。何須特施使人愁。

天高地厚問端由。棒喝交馳卒未休。換骨洗腸猶不是。誰知屋裏販楊州。

示楊蘭似居士

投子山頭不記年。趙州翻弄老婆禪。夜行不許須親到。公案而今始得圓。

示伏虎寺龍泉禪人(二首)

一蛇一虎每隨身。劈面當機不順人。放不下時擔取去。袈裟贏得嶺頭雲。

金錫當年格鬪時。畜生靈性更粗知。而今識得鷺湖事。千載風規步不移。

示剡水船居

馬跡塵蹤豈不能。喜從水面伴禪僧。繩牀安向驪龍角。細柳長隄紹祖燈。

示自空禪人

捨却菴居雲水遊。腰包瓢笠喜干休。雖然指出當陽道。岐路須防滑石頭。

示蔣一个居士薦母(二首)

叱去泥牛木馬。橫拈玉線金針。刺出真空錦繡。何須向外追尋。

從來不是眾生。何用更求活佛。放光動地者誰。喚作天真一物。

示連茂宇居士(四首)

人生一百歲。造化若浮雲。衣裏珠無價。分明指似君。

世界何期久。塵緣仔細看。昇沉無了日。輪替骨毛寒。
慾寡神怡靜。無嗔氣自清。修行知此意。何必問長生。
要緊惟慈恕。慈心即佛心。了知慈是佛。不向外邊尋。

示道開禪人

相聚喫茶去。斯人超一等。不須徹夜行。露濕衣裳冷。

示放生者(二首)

想彼飛潛意。貪生與我同。仍無冤對業。何事陷羅籠。
水上回頭日。空中鼓翅時。豈圖榮貴作。悲運報君知。

示黃海岸司理(四首)

民財己財。民肉己肉。不飲不葷。是中丞祿。

行無緣慈。運同體悲。蓄之伐之。必也其誰。

齊之以刑。待之以禮。善惡賢愚。如出諸己。

應緣海岸。樹大法幢。通身毛孔。吐旃檀香。

四咨

咨爾庫頭。正信因果。一米不私。毋存彼我。七菓地獄。

兩餅餓鬼。毫釐侵欺。過蠱毒水。一絹一錢。猪頭驢脚。

知罪福相。守如來約。賣寶壽薑。燃石窻燈。千年辛辣。
萬古光明。

咨爾化主。眾生福田。法輪未轉。飲食須先。粒米寸紗。
智者可嚇。甌錢瓦錢。古今稱訝。持臨濟鉢。勾大慧簿。
相隨來也。笑倒圓悟。古鏡未磨。汝當下語。黃鶴樓前。
翱翔絕侶。

咨爾監院。持顯持微。勤儉辛苦。捨汝而誰。以禮交賓。
以和慰眾。先人後己。法門梁棟。指甲許鹽。龜毛許利。
倏忽有差。陷身于地。古楊岐叟。終慈明代。清光匪磨。
傳燈永載。

咨爾典座。變生為熟。惟法相應。米中有粥。張石鞏弓。
牧嬾安牛。一回入草。牽轉鼻頭。遵如來言。信獅子吼。

偏眾一湯。烱銅灌口。乃聖乃賢。多務斯役。踢倒淨瓶。
橫趨而出。

淨土偈(有序)

曩雲棲師翁。將一句彌陀。簧鼓天下。人競謂古彌陀再
世。余弱冠心切歸依。及行脚。被惡風吹入閩中。蹈宗乘
闡域。念佛法門東之高閣矣。己亥鷺湖圓戒歸。與緇素
談。及祖師巴鼻。因無可與語。復憶吾師翁慈惠恩大難
訓。嗣後亦時將彌陀六字。結西方十萬緣。間有議之曰。
師宗門下客。何以搬此閒家具。余曰噫是何言歟。蓮花淨
域。諸祖咸趨。余何敢諱緣引毫書一百八偈。以醒緇素。
若喚作禪。喚作淨土。一任諸人。強生節目。自不干老僧
事。

峇天啟辛酉夏浴佛後五日識

淨心即是西方土。行遍西方步不移。無影樹頭非色相。瞥然起念便支離。

淨心即是西方土。念佛聲消我是誰。徹底掀翻誰字窟。三家村裏活阿彌。

淨心即是西方土。何必瞿曇萬卷書。霹靂一聲聾兩耳。全身拶入趙州無。

淨心即是西方土。裂破閻浮歸去來。使得時辰顛倒走。金沙水面妙蓮開。

淨心即是西方土。倒嶽傾湫我是誰。少室山前親撞入。紅

鑪猛燄雪花飛。

淨心即是西方土。帶累同緣禍及身。五蘊六根成粉末。伶俐好笑又驚人。

淨心即是西方土。親到方能辯祖宗。吸盡澄江高著眼。鏡清水底日頭紅。

淨心即是西方土。點鐵成金喻不齊。細抹將來渾小事。莫教辜負老僧兮。

淨心即是西方土。拄杖橫挑布袋行。貴買得來仍賤賣。慈門無價不須爭。

淨心即是西方土。倒跨崑崙入海門。行到水窮山盡處。灼

然別是一乾坤。

淨心即是西方土。千聖同登沒底船。石壁丹崖都撞過。而今始覺脚皮穿。

淨心即是西方土。掃地焚香事事宜。兩口不開生白醜。此情惟有木人知。

淨心即是西方土。澄不清兮攪不渾。更問樂邦何處是。好將此語教兒孫。

淨心即是西方土。海底紅塵湧瑞花。萬億劫來成底事。今朝特地獻袈裟。

淨心即是西方土。楚水秦山路坦平。禪客莫生高下想。脚

跟點地最分明。

淨心即是西方土。赤脚波斯入大唐。突出衣中無價寶。者回不做探花郎。

淨心即是西方土。錦繡乾坤淨業成。一句彌陀纔吐出。昂藏皮袋廓然清。

淨心即是西方土。一句彌陀一佛成。大地咸成銀世界。更於何處覩明星。

淨心即是西方土。燒盡閻浮栗棘蓬。貼肉汗衫都卸却。堂堂獨露主人公。

淨心即是西方土。肉髻明珠不用親。萬八程途彈指到。莫

教辜負好時辰。

淨心即是西方土。炯炯毫光劫外春。作佛尚嫌忙世界。那得閒情趣鹿羣。

淨心即是西方土。蘊界元空極樂邦。萬境無人誰會得。一輪明月照澄江。

淨心即是西方土。妙理玄談總不論。寶鴨香消簾倒卷。却於無佛處稱尊。

淨心即是西方土。碧眼胡僧笑點頭。順色摩尼如瓦礫。誰云寶閣及瓊樓。

淨心即是西方土。月老冰枯興正驕。一帶晴空無限樂。分

明底事不相饒。

淨心即是西方土。一念無生喚不回。好把兩頭都坐斷。春風吹起劫前灰。

淨心即是西方土。口說無憑步最親。爛壞木魚輕擊著。幾多花雨亂繽紛。

淨心即是西方土。待客迎賓似不曾。光剃頭兮淨洗砵。渾然天地一閒僧。

淨心即是西方土。直裰原來重七斤。只教[監*毛]毳成片去。不須禮拜復殷勤。

淨心即是西方土。三昧塵勞總不知。野菜和羹消日子。無

生一念越僧祇。

淨心即是西方土。鼾睡須知被底穿。一覺天明無別事。三餐茶飯又依然。

淨心即是西方土。打破畫瓶歸去來。無影樹逢臘月火。春風偏向百花開。

淨心即是西方土。極樂都無眾苦侵。一句彌陀光爍爍。花開見佛不須尋。

淨心即是西方土。六月嚴霜遍地鋪。突曉途中人不諱。冰懷炯炯道情孤。

淨心即是西方土。突出孃生雙眼睛。四聖六凡都坐斷。胸

襟鐵鑄沒人情。

淨心即是西方土。行樹常開白玉花。長者倚門終日望。竚
竚何事不歸家。

淨心即是西方土。荷葉無風浪打翻。透網金鱗諳水勢。而
今觸處是癡頑。

淨心即是西方土。雨灑雲蒸分外奇。一具骨頭鳴歷歷。振
聲也要大家知。

淨心即是西方土。德水常清七寶池。佛法要從何處入。微
風纔動念聲時。

淨心即是西方土。水月松風徹底清。覲面不知真趣向。臨

終何用佛來迎。

淨心即是西方土。奕葉相承鏡裏花。非樹非臺如會得。本源無地長靈芽。

淨心即是西方土。樹倒藤枯句裏親。大笑一場人不委。相隨來也是關津。

淨心即是西方土。水鳥時常演妙音。黃面瞿曇慈太煞。都緣一片老婆心。

淨心即是西方土。石上靈蹤萬古存。拄杖頭邊親摸著。了然無事大沙門。

淨心即是西方土。廓徹無依絕異同。鼓掌狂歌經幾劫。眉

毛血濺梵天紅。

淨心即是西方土。蹋斷橋梁見古村。瞥爾常光穿腦過。優游三界獨稱尊。

淨心即是西方土。淨土不聞寒暑侵。幾陣香風來水面。無邊化鳥盡歸林。

淨心即是西方土。一句彌陀當路頭。家破人亡何處去。慈門無餌不須鉤。

淨心即是西方土。狼籍囹圄總不成。肯信彌陀居濁界。空中惟聽散花聲。

淨心即是西方土。官不容鍼車馬通。古木鴉聲纔歇得。一

輪明月出煙籠。

淨心即是西方土。朗月當空照膽寒。百歲老人分夜火。剩
搖木鐸笑更殘。

淨心即是西方土。木馬嘶風過漢秦。蹋破髑髏誰是主。多
年故舊一時新。

淨心即是西方土。包納虛空干不干。獨有狸奴精古恠。破
顏微笑兩三翻。

淨心即是西方土。捏死猢猻迸出頭。萬億劫中彈指到。彌
陀無量有來由。

淨心即是西方土。古澗寒泉吞吐難。徹見趙州真面目。橫

行直撞不相干。

淨心即是西方土。瓶裏鷺兒喚出來。自己主人長夜夢。一聲佛號不須猜。

淨心即是西方土。孝滿曹山好酒顛。吸盡樂邦消息子。笑看烈火綻青蓮。

淨心即是西方土。無相光中有相身。心境牽纏成鬼戲。誰為我也孰為人。

淨心即是西方土。向上傳燈語亦非。幻化圖中開隻眼。何須更欲問玄微。

淨心即是西方土。開口何曾道得來。獨許通玄峯絕頂。萬

年石上長青苔。

淨心即是西方土。下載清風付與誰。白汗流通濃滴滴。壘堆贏得一身肥。

淨心即是西方土。露柱燈籠笑未休。喫盡世間酸苦味。蒲團剩有暗香浮。

淨心即是西方土。琴瑟無絃太古音。韻出海潮無限意。徽猷永絕去來今。

淨心即是西方土。狹路逢人話短長。兩耳聾時聽愈好。鄉音誰與辯宮商。

淨心即是西方土。彩筆將來畫不成。深夜石牀無伴侶。鼾

然一覺已天明。

淨心即是西方土。獨宿孤峯境更賒。萬仞巖前親瞥地。袈裟角上帶些些。

淨心即是西方土。教外須知別路行。若是祖師門下客。破顏端不論無生。

淨心即是西方土。優鉢無根滿樹花。不許老胡閒太慣。龜毛景色亂如麻。

淨心即是西方土。古曲無音和者稀。昔日瀉山親囑付。大書五字載毛皮。

淨心即是西方土。擁毳訓機花藥籃。更問此間多少眾。前

三三與後三三。

淨心即是西方土。餅瀉何曾夢見來。缺齒老翁惟面壁。一
花五葉至今開。

淨心即是西方土。皮袋還知痛癢無。掉轉乾坤何境界。夜
明簾外夜明珠。

淨心即是西方土。仙菓奇葩帶露看。金色頭陀纔覷見。倚
天長劍逼人寒。

淨心即是西方土。翻著襌衫倒著[革*(華-(十*|*十)+(人*
|*人)))]。若是韶陽親的子。可擒可縱雪峯蛇。

淨心即是西方土。入水烏龜陸地行。換盡皮毛并骨髓。而

今特地可憐生。

淨心即是西方土。撲碎挪丸總不妨。本性彌陀無向背。廣長舌上妙蓮香。

淨心即是西方土。措大拳頭認得麼。者裏不曾分勝負。臨機何用動干戈。

淨心即是西方土。峻急灘頭下脚難。糙石深坑親歷過。彌陀覲面莫顛顛。

淨心即是西方土。奪食驅耕事太繁。何似懶殘無用漢。逢人含笑豎空拳。

淨心即是西方土。三歲孩兒盡白頭。讀罷世間經史後。洞

然無物飽齰齰。

淨心即是西方土。臘盡多燒破紙錢。拍掌又逢新日月。萬花堆裏看龍眠。

淨心即是西方土。相見揚眉落二三。古道不存車馬迹。舌頭無骨定司南。

淨心即是西方土。帶髮留鬚表丈夫。赤尾金鱗纔躍出。澄潭無水浪花麤。

淨心即是西方土。魔界空時佛界空。世界閒雲收拾盡。一輪迸出海天紅。

淨心即是西方土。穿市波斯讀梵書。百丈當年開大口。至

今稱謂赤鬚鬚。

淨心即是西方土。空裏狂花鏡裏頭。看破兩樁奇異事。端然屋裏販楊州。

淨心即是西方土。逐隊隨羣粥飯僧。一飽饑瘡無別事。慇懃祇奉佛前燈。

淨心即是西方土。古寺清幽月到窗。夜半捉來牀畔鼠。天明飛出繡鴛鴦。

淨心即是西方土。眼裏瞳人築繡毬。搬弄世情渾不了。廓然無事且干休。

淨心即是西方土。海底珊瑚望月生。獨角龍王開眼看。嶢

嶝古路少人行。

淨心即是西方土。毒藥醍醐一器盛。殺活從來都在我。放
開捏聚不須驚。

淨心即是西方土。罔象玄珠不足稱。要會老僧無味句。破
驢脊上走蒼蠅。

淨心即是西方土。呼遣南山鱉鼻蛇。弄罷渾成閒笑話。樹
頭無影亂啼鴉。

淨心即是西方土。浩浩塵中射鹿回。祇箇隨流人不稟。禪
門無句語如雷。

淨心即是西方土。撥盡寒灰火一爐。不用吹紅并潑殺。三

餐茶飯[此/束]盧都。

淨心即是西方土。破爛袈裟撩亂遮。莫道老儂無氣力。囊中藏箇赤斑蛇。

淨心即是西方土。磐石無根笋未抽。大海不驚連夜雨。木人歌舞妙蓮舟。

淨心即是西方土。生則生兮步不移。打破大唐國裏看。須知脚下有高低。

淨心即是西方土。火裏唧螻吞大蟲。纔起一絲分別想。山重重又水重重。

淨心即是西方土。斫額西方萬八千。彈指頓開無礙眼。西

方端不費盤纏。

淨心即是西方土。苦海無波一掌平。世界三千挑不起。全身放下夢初醒。

淨心即是西方土。托鉢空回肚不饑。沙米淘來成底事。蓋因衣裏有摩尼。

淨心即是西方土。豎起眉毛嚇殺人。禪客相逢彈指去。丹霞輸却破頭巾。

淨心即是西方土。出世韜光任所之。無始業緣都吐盡。莫教換却好毛皮。

淨心即是西方土。足下煙生腦後光。苦海久迷安養國。一

枝蘆葉當慈航。

淨心即是西方土。活計從來天樣寬。箇裏本無元字脚。千年故紙不須鑽。

淨心即是西方土。悟了還同未悟時。濁惡界中無揀擇。多因脚下絕參差。

淨心即是西方土。猛虎喉中活雀兒。邈邈老僧無管帶。趺閒多寫樂邦詩。

無異禪師廣錄卷第二十

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十一

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

宗教答響一

參悟品第一

劉胤平弘昞太史問。宗教二門是一是二。今云。參悟是第一義。一切教乘。可盡廢耶。大疑大悟。不疑不悟。有不疑者。作何開發。終不悟者。作何究竟。又復一種熟讀公

案。謬認當機。此云證否。更復教中多明了者。此於悟門。為有差別。為無差別。

師云。釋迦大師坐道場四十九載。末後拈花示眾。故有教外別傳之旨。果教外別有傳乎。宗乃教之綱。教乃宗之目。舉一綱則眾目張。祇知理目。而不識其綱者。是知宗教之道合一之旨。所謂岐路中。又有岐路也。肯就岐路。徑循其綱者。諸教中皆有宗旨。得其旨。則一言一字。皆最上之機。如不識其旨。泥於文字。則宗亦教矣。

華嚴經云。如日當空照。童稚閉其目。自言何不覩。多聞亦如是。又云。如貧數他寶。自無半錢分。法華經云。棄捨所習誦。廢忘不通利。貪著於名利。多遊族姓家。楞嚴經云。縱能宣說十二部經。不如一日脩無漏業。圓覺經云。以思惟心。測度如來圓覺境界。如將螢火燒須彌山。

也。真。尋。之。云。藥。破。止。衍。量。未。弗。因。
教。下。功。有。經。以。當。眾。生。動。宗。捷。無。華。利。事。
在。直。之。者。伽。醫。宗。地。了。當。參。師。隊。至。一。
非。貴。日。源。楞。醫。宗。地。了。當。參。師。隊。至。一。
人。宗。一。其。楞。醫。宗。地。了。當。參。師。隊。至。一。
在。義。非。得。也。有。心。大。何。是。其。峯。他。而。中。
者。文。間。流。在。如。是。念。心。念。矣。也。高。入。一。文。
宗。通。之。尋。不。如。是。念。心。念。矣。也。高。入。一。文。
知。博。刻。尋。不。如。是。念。心。念。矣。也。高。入。一。文。
不。在。頃。也。在。頌。心。不。究。終。二。廢。子。者。別。
而。教。無。源。也。在。頌。心。不。究。終。二。廢。子。者。別。
揀。致。真。得。此。又。惟。知。參。實。固。宗。非。獅。義。分。
料。一。致。真。得。此。又。惟。知。參。實。固。宗。非。獅。義。分。
自。歸。功。間。有。為。法。物。了。真。堅。於。載。若。無。為。
教。宗。之。間。亦。門。是。圓。如。究。教。中。義。定。吾。
此。差。一。日。刻。者。無。如。云。念。念。也。教。第。一。義。
以。千。非。頃。流。亦。經。心。念。也。教。第。一。義。
著。有。通。無。其。宗。佛。嚴。非。心。二。義。禪。無。佛。
能。教。博。也。棄。為。諸。楞。無。莫。一。第。參。入。法。
不。以。博。流。而。心。病。字。中。惟。教。名。門。時。說。
終。良。參。其。得。佛。救。文。日。思。於。經。妙。開。三。

緣。開示悟入佛之知見。本文翻案云。是法非思量分別之所能解。即此非思量九箇字。作麼生領會。若不真參實究。是謂入海算沙。非究竟也。繇此觀之。教不可廢。要為在得其綱領。果得其綱領。教則為指。為筏。為導引。為開闢。為助緣。又安可廢乎。

又謂。大疑大悟。不疑不悟。有不疑者。作何開發。若果為生死心切者。安得不疑。如不疑。是生死心不切耳。如云一口氣不來。畢竟向甚麼處去。不究心時。被善惡業牽引去。既不隨善惡業牽引。畢竟向甚麼處去。既不知去處。安得不疑。如不疑者。是堪共語人。又何必別求開發耶。若果發真疑者。縱不悟。站定脚跟。不起第二念。此即成佛作祖底基。如別求究竟。即非究竟也。熟讀公案。謬認當機者。千聖出頭。救渠不得。安敢曰證。譬如平人妄號帝王。自取誅滅。非細事也。近時妄稱知識者。

行棒行喝。入門便打。入門便罵。不論初心晚進。妄立箇門庭。皆是竊號之徒。鼓動學者一片識心。妄興問答。豎指擎拳。翻筋斗踢飛脚。大似弄傀儡相似。使旁觀者相襲成風。殊不知。古之所是。今之所非。將來鑊湯爐炭。決定了他不得。是謂之善因惡果。良可痛歎。若於教中多明其優劣。而代佛揚化。非世間功德之可比。書寫讀誦。尚不可思議。況說法乎。此皆詣實之語。學者可善而擇之。

淨土品第二

問。念佛參禪。近分二幟。能兼修否。既云念佛。恐以觀門。為第一義。臨終往生。作何指引。念時修觀。作何攝受。

可喻。又何妨發願往生乎。淨土訣云。生則決定生。去則實不去。斯達惟心之境。終日生而不妨無生。終日無生而不妨往生也。又何況念空真念。生徹無生乎。

夫觀門者。亦淨土一義耳。據彌陀一經。祇教一心不亂專持名號。雖言西方種種妙境。未明示其觀相也。無量壽經出十六種觀門。首曰日輪懸鼓。乃至佛菩薩。寶池樓閣。及花開九品。總雜等觀。則隨脩一觀。即得往生也。惟楞嚴經大勢菩薩云。憶佛念佛。現前當來必定見佛。憶者觀也。此觀念相繼。自得心開。不待往生。又不妨往生。亦攝念佛者往生。斯菩薩化儀。為彌陀輔弼。自利利他。不妨兼舉也。此淨土一門。仗果位中佛發大弘誓。廣攝念佛行人。比於諸法門中。似省力也。如單提一句彌陀。當以信行願為資糧。信者信自心有成佛底種子。信有彌陀可見。信有淨土可生。信我念佛將來畢竟見佛。畢竟成佛。

更無疑慮也。行者念念無間。如人行路。直至到家乃可。願者願生淨土。將我念佛功德。發願回向大地眾生。同生淨土。同成佛道。斯亦菩提之心。比為已生者。日劫相倍也。祇念佛決得往生。況有果位中佛接引攝受耶。

止觀品第三

問。止觀二義。諸書備具。惟種種法繁漫難脩。有一二門。當總持否。即如觀持準提呪者。觀鏡觀像。觀諸梵字。法更繁衍。以何為的。其不知者。誤認假相。不宜攝觀。是耶非耶。

師云。惡世有情。生無慧目。從無始已來。根本煩惱俱生無明。從劫至劫。不能暫捨。其不思議熏。不思議變。業轉現識。發六麤境。招因帶果。吸引眾生。輪迴世間。生

不更覆藏。第五要發菩提心。永無退轉。志求大乘。欲度
人故。更當訶慾澄心。止緣入觀。又如智者大師云。方便
行中。當具五法。一者欲。欲離世間一切妄想顛倒故。欲
得一切諸禪智慧法門故。亦名為志。亦名為願。亦名為
好。亦名為樂。是人志願好樂一切諸深法門故。故名為
欲。如佛言曰。一切善法。欲為其本故。二者精進。堅持
戒禁。棄於五蓋。(五蓋者。一貪欲蓋。即貪毒。二嗔蓋。
即嗔毒。三睡眠。四疑。此二法即癡毒。五掉悔。即是等
分攝。合為四分煩惱。具八萬四千惡法故)初夜後夜。專精
不廢。譬如鑽火未熱。終不休息。是名精進善道法。三者
念。念世間為欺誑可賤。念禪定為尊重可貴。若得禪定。
即能具足發諸無漏智一切神通道力。成等正覺。廣度眾
生。是為可貴。故名為念。四者巧慧。籌量世間樂禪定智
慧樂。得失輕重。所以者何。世間之樂。無漏無為。寂然閒曠。
不實。是失是輕。禪定智慧之樂。無漏無為。寂然閒曠。

永離生死。與苦長別。是得是重。如是分。別。故名巧慧。
五者一心。分明。明見。世間。可患。可惡。善識。定慧。功德。可尊。
貴。爾時。當使。空無。所獲。又。終。不。回。易。是。名。一。心。魔。據。外。道。
能。沮。壞。慧。無。體。不。真。止。未。若。而。六。亦。然。是。所。謂。如。不。淨。息。並。
觀。定。慧。如。上。在。無。所。有。外。觀。了。當。界。二。者。正。觀。
止。滅。法。住。內。觀。寂。如。對。不。
減。則。皆。有。生。滅。更。治。分。
止。現。無。六。如。現。馳。嗔。別。
滅。則。皆。有。生。滅。更。治。分。
法。住。內。觀。寂。如。對。不。
住。內。觀。寂。如。對。不。
內。觀。寂。如。對。不。
觀。寂。如。對。不。
寂。如。對。不。
如。對。不。
對。不。
不。

無性。即是實相。先了所觀之境。一切皆空。能觀之心。自然不起。能所雙泯。斯即還源。此據智者小止觀。略引之。倘徧修者。當看全文。更有摩訶止觀。具載藏乘。此不繁引。如三觀中隨修一觀。即攝諸觀。既攝諸觀。隨修一觀。即名總持法門也。

如持準提呪者。當觀諸法無性。蘊界無我。法界理成。渾成一大圓鏡智。又名一心。然後觀鏡。觀像。觀諸梵字。如寶鏡當臺隨念隨現。似無繁衍。像現呪聲。如空谷響。應此為的也。其不知者。誤認假相。當以前義導之。如不攝觀。雖持曰事。不名入理。當深思之。倘欲深入法性。如顯密圓通□法界觀法。又不可不以彼為的據。華嚴經云。若有欲識佛境界。標也。當淨其意如虛空。示也。遠離妄想及諸取。止也。令心所向皆無礙。觀也。此四句。亦標示止觀之大綱也。

清涼大師疏云。聽許說中分二。一誠識勸修。淨意如空。總以喻顯。下二句別顯。一離妄取。如彼淨空無雲翳故。斯即真止。二觸境無滯。如彼淨空無障礙故。斯即真觀。此觀不作意以照境。則所照無涯。此止體性離而息妄。故諸取皆寂。斯則不拂不瑩。而自淨矣。無淨之淨。則闇蹈佛境矣。此為心要。請後學思行。據清涼深入止觀法要修行者。如體會斯意。大得便宜也。

戒律品第四

問。念佛參禪。俱精戒律。諸如沙彌比丘等戒。斷不宜犯。律有明條。至有在家諸優婆塞及優婆夷。發心持戒。當受何品。恐於世緣不無干礙。作何通融。為廣示義。

師云。識心熾盛。猶如奔馬。無暫停息。造諸惡業。遍法界故。凡欲修行。翻前惡境。並起善心。其斷惡修善。以戒為基本。若無戒律。一切善法。悉無以成。南山大師云。戒德難思。冠超眾象。為五乘之軌道。實三寶之舟航。禪定智慧。以戒為基。菩提涅槃。以戒為本。發趣萬行。戒為宗主。戒為却惡之前陣。戒為入道之初章。譬如世間造樓閣相似。必先造其基址。若無基址。徒架虛空。必不能成就也。

遺教經云。當尊重珍敬波羅提木叉。如暗遇明。如貧人得寶。戒是正順解脫之本。若人能持淨戒。則諸善功德。皆悉能生。是故修道者。當持淨戒。東坡云。禪律並行。不悉相留礙。如念佛無戒。當有慧無福。縱得為人。福慧淺薄。輪迴諸有。亦未可知。參禪不持戒者。斯謂之狂人。將持戒束身。藉以口實。以祖師門下破執之談。都作箇實法會。

塗身。不歌舞倡伎故往觀聽。不坐高廣大牀。此名八關。欲
更加過午不食。或增上菩薩戒者。以此植之極善。念佛必超常寂光
常持五上品。在家出家。要知了生死入佛乘。僧俗一致。何分別
土。有也。是宿門外誓斷一切惡。所謂姪殺盜妄。身口非為。一
隔。有也。是宿門外誓斷一切善。所謂世善成功。因善度一切眾上佛應
之心下賤者。一者悉修。善者皆悉。將來境從心現。境即
三聚過失。二者不修。三者識恩。心緣於境。境從心現。境即
切過失。二者不修。三者識恩。心緣於境。境從心現。境即
便上證者。普度名量。心緣於境。境從心現。境即
今及物。虛空量。心緣於境。境從心現。境即
今及物。虛空量。心緣於境。境從心現。境即

以體起用。方發無作。到此則無持戒之名。又安有犯。故云。戒性如虛空。持者為迷。到此不持不犯。非初學者所及。如云諸惡莫作眾善奉行。以便初心開發慧命。更為穩便也。

布施品第五

問。布施一門為六度首。金剛經云。不住於相。此最勝義。又復破除慳貪種子。或復不能隨心如願。廣作功德。量力而行。非慳惜耶。

師云。觀心如幻。觀法亦然。四大假緣。無實主宰。身心尚不我有。況身外乎。良以世人認定箇色身。堅著我相。貪圖利樂。資養無明。長慳貪業。從劫至劫。不能暫捨。縱其貪染。吸引眾生。墮於地獄。即此貪心本無休止。故

地獄有限眾生如光明切提子者故無者有情施。息之機。造無窮。無所見。是故無頭內外。無性有輪。利益華何。因果業。般若菩薩。諸施。從劫如施。無寂。外此諸摩。然。是云。住法內。劫。唾。二。非。不。慧。供。功。深。故。若。住。內。劫。上。寂。不。慧。供。功。可。諸。若。法。內。劫。上。寂。不。慧。供。功。懼。菩薩住法內。劫。唾。二。非。不。慧。供。功。若。而。行。施。外。施。者。心。非。有。行。中。德。施。是。而。法。如。人。內。外。圓。滿。國。城。無。常。求。無。後。最。說。此。智。行。而。如。人。內。外。圓。滿。國。城。無。常。求。無。後。最。說。此。肯。行。布。有。目。一。善。妻。施。進。本。施。切。布。布。種。以。破。施。日。一。善。妻。施。進。本。施。切。布。布。種。

施。所謂分減施。竭盡施。內施。外施。內外施。一切
施。過去施。未來施。現在施。究意施。分減施者。謂菩
薩稟性仁慈。好行惠施。若得美味。先與眾生。然後方
食。若受食時。預作念言。施自身中八萬四千尸蟲等。又
以此食。惠施眾生。願我於身永斷貪著。是名分減施。竭
以盡無所慳。是名竭盡施。內施者。謂菩薩年方少盛。端正美
好。乃至頭目髓腦。以濟眾生。念已施之。心無所悔。是
名內施。外施者。名華上服乃至王位。我今宜應隨彼所
求。充滿其意。即便與之。是名外施。內外施者。如上所
說。悉皆施之。是名內外施。一切施。過去施者。假使十方人來求佛
上所欲。悉皆施與。是名一切施。過去世諸佛不
菩薩所有功德。聞已不著。了達非有。不起分別。不貪不
味。亦不求取。無所依倚。見法如夢。無有堅固。但為教
化所著眾生。成熟佛法。而為演說。又復觀察過去諸佛。

捨。了。是。足。令。開。足。成。妙。一。成。行。者。現。皆。行。捨。覺。具。為。滿。得。行。不。一。香。一。施。不。行。長。一。衣。畢。所。不。聞。不。實。而。有。悉。所。不。一。色。布。如。一。載。一。法。之。不。聲。夢。佛。所。有。忍。知。如。一。悉。也。中。婦。去。諸。有。乃。如。就。捨。一。生。得。不。之。畜。不。行。教。貧。過。來。非。天。行。成。捨。不。是。可。行。餘。而。不。教。貧。於。未。法。諸。行。成。捨。不。是。可。行。餘。而。不。教。貧。已。聞。若。觀。諸。菩薩。令。於。施。中。隨。有。小。優。意。念。此。作。此。著。修。者。令。名。分。當。之。善。有。如。是。此。作。此。著。修。者。令。名。分。當。之。善。有。如。作。謂。至。謂。此。著。修。者。令。名。分。當。之。善。有。如。得。施。者。無。分。別。施。者。此。名。分。當。之。善。有。如。不。來。相。施。者。無。究。竟。施。者。此。名。分。當。之。善。有。如。都。未。取。現。不。迷。心。施。者。能。行。但。功。力。不。可。以。者。得。求。不。取。現。不。迷。心。施。者。能。行。但。功。力。不。可。以。者。得。推。去。非。來。施。其。離。名。現。然。後。是。心。不。行。破。無。與。方。有。未。來。捨。是。已。清。淨。非。不。食。心。則。檳。榔。十。是。達。名。功。眾。演。眾。就。行。學。搏。解。者。一。

王興供養。此謂之施心勝故。田亦勝故。田有二種。一者敬田。二者悲田。敬田者。供養三寶。國主天地。及父母師僧。人所易發。凡諸所有。不生恻惜。於有情分中。則生分別矣。二者悲田。見病者。老者。貧窮者。殘疾者。乃至負命之者。當起同體大悲。資其所欲。而行布施。謂之悲田。其福勝故。用此幻化之財。作真實無相功德。以世間利樂千分萬分。百千萬億分。不足為比也。其或有無厭之求者。不與者不得罪。何以故。縱彼貪心。陷彼慧命故。又或自身本無所有。而區區乞醯於鄰里者。似不可以布施解脫之心。而較其優劣也。大凡施者當隨分。而無恻心。體上三輪空意。及菩薩無盡藏施。成就檀波羅密門。又不可不學也。

無異禪師廣錄卷第二十一

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣
錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十二

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

宗教答響二

願力品第六

問。發菩提心。最勝功德。利他自利。為菩薩行。如諸比丘對佛菩薩。發大誓願。為是義故。其如宰官當權住世。一切易辦。至或卑微分力歉薄。作何願力。而為功德。

師云。法門無量。願為先導。世出世法。無願不成。願者
好也。欲捨離一切惡法。故欲化諸如
入諸菩薩。同成佛道。故若無有願。如畫無膠。如馬無轡。如
眾家器。雖成其坏。未經火煨。故更以弘誓堅之。弘者廣
者也。誓者制也。以弘誓願。廣制其心。邊誓願成。然發願道自
師因地中。發無量法門。煩惱自斷。資誓願憶之
願斷。自度此無有退轉。徑入佛道。令諸菩薩
必能發弱。菩薩於華嚴會得入不
矣。怯藏一切眾生。皆得入不

是以入願。知象外。此發願道。對生力。推車不我。
故之魔。壞權位。成當菩薩。一切知願。一推心。法。
折毅伏。爛有當發同。菩薩。故墮。昔寶塢報。
屈剛降。悉官悉生。分發對。有情。故墮。昔燒有。
不可亦。力。宰皆眾。不可發。及願不。成。見佛說。
故乾。勇猛。無。豈。大地。不。佛。皆。決。力。成。見。佛。
敵乾。子。無。勢。向。此。對。友。佛。禪。願。過。言。
怨終者。如。當。微。皆。也。數。數。一。至。欲。皆。塢。發。
摧云。心。譬。亦。卑。悉。心。數。對。直。我。所。欲。至。戲。
能云。心。譬。亦。卑。悉。心。數。對。直。我。所。欲。至。戲。
謂儒。初。官。最。提。心。數。對。直。我。所。欲。至。戲。
願等。故。力。者。宰。官。最。提。心。數。對。直。我。所。欲。至。戲。
誓因。道。願。諸。乃。功。德。菩。提。心。數。對。直。我。所。欲。至。戲。
大惡。入。無。發。士。所。修。者。時。亦。大。一。世。日。推。救。之。
發因。而。若。能。居。將。覺。當。知。以。有。即。一。日。推。救。之。
力無。息。故。丘。者。將。覺。當。知。以。有。即。一。日。推。救。之。
智處。不。息。故。丘。者。將。覺。當。知。以。有。即。一。日。推。救。之。
大非。強。法。非。一。度。覺。可。發。悉。佛。法。不。嚴。飾。故。
有處。自。深。力。即。自。此。又。聖。前。乃。故。人。忍。壞。

似不可須臾有間然也。

懺悔品第七

問。懺悔二義。槩括過未眾生惡業。宜於自心皆悉懺悔。今如請僧禮拜求懺。或復持般若諸經。皆懺悔義。又復自心朝夕懺悔。此於法中。是一是二。有淺深否。

師云。業繫之身。眾苦逼迫。五陰熾盛。六賊交侵。心識奔馳。無暫停息。起十惡之業因。償無窮之苦果。貪嗔癡愛。猶如猛火。妄言綺語。疾於迅流。造殺盜婬。無底畔之深坑。著見慢眠。沒涯岸之苦海。起六十二種邪見。成八萬四千障門。障菩提心。障菩提道。障菩提行。障菩提願。輪迴三有。不聞佛法僧之洪名。汨沒四生。那識過現未之報應。殊不知因連於果。果徹於因。因果相訓。絲髮

抓癢。欲滅罪愆。欲了生死。欲出輪迴。無有是處。又如
一心念佛。并修止觀法門。深達實相。皆可滅罪。惟參禪
一門。最為超拔。似滅罪疾。又不可以諸法門為比對也。
二者事懺。謂端對聖容。廣陳供養。散花行道。稱佛洪
名。五體投地。如大山崩。發露披陳。求哀懺悔。或禮梁
皇法華等懺。或禮千佛名經。皆懺悔意。或七日乃至十
九日。百日三年。現諸瑞像。乃能滅罪。此在自已力行。
或自身德薄行淺。請戒德名僧。二十四位。至四十八位。
一百八位。鋪設齋筵。亦當滅罪。如目連尊者。自不能救
母。佛今於僧自恣日。供養眾僧。及禮眾僧。其母當日
滅罪。脫餓鬼苦。此仗修行之力。懺主敬眾僧。當作佛
想。即得滅罪。不可反得罪。非能懺主滅罪也。又此懺悔
豈但不滅罪。只恐反得罪。非能懺主滅罪也。又此懺悔
即捨財功德。僧尚得罪。發菩提心。生大恐懼。生大慚愧。念地獄

道。惡。即。菩。淨。常。苦。懼。不。罪。育。邪。莊。即。王。日。一切。已。
脫。此。為。無。言。無。阿。深。大。服。飾。弟。王。日。一。日。已。
悔。故。湯。生。不。可。則。名。憂。語。我。出。捨。過。待。衛。一。日。已。
懺。離。鑊。思。苦。死。王。除。以。王。怒。王。給。侍。王。一。日。已。
求。出。炭。者。道。懼。有。云。便。當。息。作。供。給。白。王。一。日。已。
同。得。爐。者。道。懼。有。云。便。當。息。作。供。給。白。王。一。日。已。
等。一。人。悔。惡。怖。梨。城。此。方。汝。座。王。其。作。供。給。白。王。一。日。已。
彼。我。香。又。設。如。波。吒。多。遂。等。弟。願。令。女。日。日。白。王。一。日。已。
為。不。盡。也。世。悔。年。毗。故。衣。服。弟。親。與。及。諸。門。立。
當。不。盡。也。世。悔。年。毗。故。衣。服。弟。親。與。及。諸。門。立。
苦。空。樹。消。異。懺。懺。百。弟。邪。冠。已。王。暫。樂。及。諸。門。立。
之。地。獄。山。罪。剎。深。度。有。愍。脫。如。是。中。種。種。之。人。
生。地。獄。山。罪。剎。深。度。有。愍。脫。如。是。中。種。種。之。人。
眾。使。刀。無。來。心。佛。滅。法。憂。室。臣。言。日。中。種。種。之。人。
邊。使。刀。無。來。心。佛。滅。法。憂。室。臣。言。日。中。種。種。之。人。
無。樂。心。去。不。來。心。佛。滅。法。憂。室。臣。言。日。中。種。種。之。人。
道。乘。發。惡。一。息。菩。者。深。道。入。登。臣。弟。之。問。訊。
生。佛。若。無。我。怖。憂。諸。浴。令。大。親。殺。往。問。訊。
畜。餐。則。無。我。怖。憂。諸。浴。令。大。親。殺。往。問。訊。
鬼。餐。則。無。我。怖。憂。諸。浴。令。大。親。殺。往。問。訊。
餓。苦。提。土。空。惡。滅。此。見。我。嚴。命。言。滿。臣。

過。竟。王。汝。聞。味。故。寶。聲。病。佛。心。者。染。本。不。
六。大。百。汝。復。亦。不。初。令。不。佛。向。有。又。有。
日。臣。種。好。以。不。知。無。我。得。面。三。如。觀。罪。
當。諸。妓。見。偈。不。覺。如。歡。懷。安。如。寶。此。緣。性。
死。人。樂。聞。答。諸。此。喜。死。穩。蓮。心。怖。生。自。
如。將。皆。弟。我。我。妓。以。死。思。天。歡。之。法。空。
是。王。恣。弟。於。身。女。見。檝。惟。人。喜。心。畢。斯。
乃。弟。汝。答。於。身。女。見。檝。惟。人。喜。心。畢。斯。
至。共。意。云。七。日。嚴。舞。殺。我。將。歸。種。於。竟。謂。
六。往。無。我。中。具。聲。者。心。至。依。種。軟。境。我。懺。
日。阿。無。為。不。及。宮。殿。執。刀。不。知。漏。法。安。五。造。當。
已。育。數。為。不。及。宮。殿。執。刀。不。知。漏。法。安。五。造。當。
過。王。眾。畏。不。見。諸。殿。刀。不。知。漏。法。安。五。造。當。
餘。所。人。死。不。聞。女。臥。門。五。已。及。存。欲。者。翻。
一。問。日。心。怖。聲。等。具。立。欲。過。僧。弟。樂。誰。惡。
在。言。問。懼。不。思。大。地。又。聞。著。今。王。若。心。為。境。
至。汝。訊。故。不。嗅。惟。地。聞。著。今。王。若。心。為。境。
第。七。願。都。不。懼。死。諸。搖。畏。歸。見。懺。不。者。斷。
日。為。於。不。嘗。死。珍。鈴。死。依。弟。悔。貪。心。續。

心。自愧尅責。將已作之罪。發露披陳。不復覆藏。稱十方諸佛洪名。觀罪性空。不於幻化場中復造惡業。而明信因果。守護正法。如此則無惡不消。無罪不滅。自懺他懺。一二淺深。俱不可得也。

福報品第八

問。作福求報。此最劣根。然不作福。復何望報。今如罪福。皆繇自心。種種報定差耶。

師云。福罪報應。如影隨身。如空答響。如人挑擔。重者先墜。求其絲毫遠離。了不可得。又安可求報耶。然諸佛悉具二嚴。謂福足慧足。而因地必當先布福田以資慧種。福緣深厚。自得心開。非求報也。佛開六度。而啟萬行。檀波羅密者此云施。而施者。達三輪體空。斯不望報。報

耶謂精報況無。然者遠壞願。金曰出家。常於
梨。慧。及。求。提。回。皆。尊。久。缺。發。皆。名。出。體。
毗。云。布。行。至。悉。莫。迦。嘗。於。有。共。身。家。志。著。
辱。度。行。萬。直。資。地。摩。云。面。金。而。劫。門。是。袈。
忍。二。肯。萬。直。資。地。摩。云。面。金。而。劫。門。是。袈。
云。後。安。行。資。地。摩。云。面。金。而。劫。門。是。袈。
此。福。而。法。相。因。昔。傳。像。面。一。十。羅。繇。袈。
密。修。智。以。之。願。諸。佛。也。付。壙。佛。緣。竭。為。髮。
波。悉。無。薩。施。以。願。諸。佛。也。付。壙。佛。緣。竭。為。髮。
提。者。若。菩。祇。必。法。求。伏。壙。請。因。摩。色。鬚。
羸。四。若。菩。祇。必。法。求。伏。壙。請。因。摩。色。鬚。
戒。謂。此。慧。槃。地。度。施。一。非。柔。起。請。因。摩。色。鬚。
云。中。含。證。養。行。如。法。財。使。其。眾。所。以。中。以。丘。
此。教。皆。而。資。廣。果。有。性。後。往。夫。壽。盡。尊。善。
密。進。四。此。身。人。富。金。槃。珠。姻。夫。壽。盡。尊。善。
羅。進。四。此。身。人。富。金。槃。珠。姻。夫。壽。盡。尊。善。
波。精。前。佛。法。以。行。餘。土。善。佛。將。為。天。飲。佛。
尸。云。諸。嚴。良。不。國。尸。佛。將。為。天。飲。佛。
之。此。若。然。莊。乎。提。佛。師。婆。女。人。生。此。有。
隨。密。般。耶。實。度。菩。得。煨。毗。貧。二。後。波。度。諸。
自。波。禪。進。也。餘。上。後。為。中。時。願。色。葉。冀。

眾中。稱歎第一。乃至付法傳衣為西天初祖。此因果歷
然。以嚴飾金故。而得自至。非如求報也。願力相資。而證極
果。如種子。福如其雨。雨露良田。惡可成就。火燄刀斧。或遭其
時。必得耶。如成棟梁之材。刀斧俱非。亦是幻。造諸惡業。俱
可偈風。幻出無根。無實性。愚者輪圍。幻業能招。此身心。如
相妨。殊不生性。清淨。如成棟嚴。皆不自報。但因地施
一切。中無邊。剎土。故云報善惡。毫髮悉。昔遂
化之。無成就。故云報善惡。毫髮悉。昔遂
時。所成。故云報善惡。毫髮悉。昔遂
之。所成。故云報善惡。毫髮悉。昔遂
耳。所成。故云報善惡。毫髮悉。昔遂
市。所成。故云報善惡。毫髮悉。昔遂

廿餘里。捨此報身。後生人道。為大富長者。其廿餘里。亦
金銀寶藏。自然湧出。斯施利甚。微而福。如不勝。感報。世
勝貧窮。以為人役。使良可悲。夫。造寺寫經。何。以。無。功。德。初。見。武。帝。有。此。如
何功德。祖曰。並無功德。如影隨形。雖。自。空。寂。如。是。功。德。不。以。因。
但人天真功德。祖曰。淨智妙圓。談。果。釋。天。帝。非。鬼。道。報。緣。
何是求耶。如未成人。但隨地傳燈。此。種。種。報。緣。
世果耶。大臣報。如五戒。以。傳。燈。此。種。種。報。緣。
國王有勝報。如五戒。以。傳。燈。此。種。種。報。緣。
焉有果。如五戒。以。傳。燈。此。種。種。報。緣。
以修羅適機。以。傳。燈。此。種。種。報。緣。
施者適機。以。傳。燈。此。種。種。報。緣。

也。

釋疑品第九

問。信心不具。大愚癡暗。近復始信。終成破毀。此何義耶。良由業識易發現故。以何熏習而種善根。即如上所陳諸義。能堅行之。永不壞否。

師云。不發信心。為障緣深故。如住世間者。自言我得安身法。不必天地之蓋載。陰陽所運行。非癡暗而何。佛統華藏世界。如日月照臨。十二類眾生。皆生於此。長於此。佛以慈光。照眾生故。佛以悲心。及眾生故。而不信有佛。是報恩乎。是背恩乎。直饒不生信。不信因果。不信報應。不信有佛。墮地獄。生餓鬼。於畜生道中。千萬億劫。跳出不可思不可議世界之外。又何曾出得世尊化育

不。大。我。師。以。為。子。可。世。推。
自。祖。非。者。無。老。之。三。也。
者。六。不。慧。無。迦。思。以。報。
法。不。見。善。持。釋。惑。適。有。
主。不。非。最。住。以。惑。順。亦。
故。豈。他。以。如。人。疑。者。下。
度。故。云。中。故。無。當。惡。上。
滅。故。又。人。師。中。而。之。
久。不。淨。百。為。師。富。劫。
非。清。又。學。門。為。識。者。劫。
在。不。過。同。法。善。清。淨。者。劫。
現。他。人。間。如。持。下。是。貪。者。劫。
薩。而。不。見。世。如。住。天。下。是。貪。者。劫。
佛。不。見。道。人。以。如。者。軾。軻。三。世。
之。清。道。人。是。故。法。者。軾。軻。三。世。
觀。不。修。果。無。師。是。主。善。者。軾。軻。三。世。
此。自。真。若。中。為。佛。貧。不。爽。
以。皆。若。左。輩。知。識。迦。者。不。
是。淨。云。若。是。如。同。善。釋。廉。髮。
聲。清。師。非。故。天。下。師。見。之。

敷。造。業。以。多。
藥。所。傷。報。前。生。
開。百。劫。受。報。不。意。
剖。使。經。百。人。之。不。如。
醫。假。五。通。所。善。者。
命。曰。又。五。所。善。者。
佛。傷。受。有。地。方。故。
疑。以。自。無。慳。悒。
驚。之。還。無。慳。悒。
眾。示。報。間。多。
大。緣。果。石。前。生。
疽。因。時。入。山。前。生。
癰。中。遇。非。受。貧。
病。劫。會。中。清。廉。
者。多。緣。中。清。廉。
尊。說。因。海。清。廉。
難。仍。因。非。知。
阿。治。不。非。此。
昔。治。不。非。此。

多劫法門深可。信而根念。佛淨土。迴。善根。肉身。菩。為。識。
前。多。劫。於。苦。種。善。根。種。善。根。信。念。佛。淨。土。迴。善。根。肉。身。菩。為。識。
適。幾。傷。受。而。種。善。根。而。種。善。根。必。生。脫。種。名。加。有。
順。是。而。獄。習。而。救。善。真。而。現。世。為。投。
得。知。謗。地。習。而。救。善。真。而。現。世。為。投。
者。毀。方。熏。徑。故。而。種。真。子。此。常。為。投。
惡。將。來。生。毀。方。熏。徑。故。而。種。真。子。此。常。為。投。
故。以。將。寄。他。何。最。悲。訓。而。真。了。樣。輪。菩。薩。一。言。一。
人。之。猶。復。寄。他。何。最。悲。訓。而。真。了。樣。輪。菩。薩。一。言。一。
惠。報。罪。壞。發。現。最。有。必。到。彼。岸。因。真。了。樣。輪。菩。薩。一。言。一。
多。非。易。樂。有。影。隨。形。必。到。彼。岸。因。真。了。樣。輪。菩。薩。一。言。一。
生。廉。非。易。樂。有。影。隨。形。必。到。彼。岸。因。真。了。樣。輪。菩。薩。一。言。一。
前。貪。地。獄。業。捨。愛。苦。海。如。下。悟。善。知。永。不。諸。佛。一。
富。善。墮。地。獄。業。捨。愛。苦。海。如。下。悟。善。知。永。不。諸。佛。一。
受。生。雖。鼻。又。門。慈。惡。因。果。脫。佛。參。禪。已。諸。義。擁。護。凡。
者。今。阿。夫。向。大。善。惡。必。成。佛。信。窮。已。陳。為。舟。師。
貪。者。今。阿。夫。向。大。善。惡。必。成。佛。信。窮。已。陳。為。舟。師。
故。人。退。者。阿。夫。向。大。善。惡。必。成。佛。信。窮。已。陳。為。舟。師。
因。合。自。生。悲。以。信。有。信。經。佛。無。有。來。所。常。為。舟。師。
惡。和。也。者。憐。者。向。種。信。一。故。說。又。薩。人。

田中。如食金剛喻。肚腸穿壞。金剛不壞。況自有壞乎。凡有疑者。教中喻曰猶豫。其猶豫之心。疑自疑他。能障道故。疑自者。謂根機劣弱。難以入道。殊不知。衣中之寶。肘後之符。彼既丈夫。我胡不爾。疑他者。當信諸佛法教。皆真實語。見聞思者。深入法趣。以四攝法。廣度眾生。達法性空。無眾生可度者。是入金剛三昧也。

回向品第十

問。萬法歸一。是大總持。以上諸門。方便究竟淺深大小。為不同耶。併乞慈旨。說回向義。

師云。萬法歸一。是大總持。謂一法總持一大藏教。如佛所說八萬四千法門。當求一門深入。以一門故。攝一切法。故云。一字法門海墨書而不盡也。以上諸門。雖方便

門生見佛而散。止而不
欲。盧而佛。方。散。非。法。惡。而。不可。生。聞。舌
一切。故。毗。佛。念。十。不。生。觀。起。所。犯。了。外。也。知。味。
究。分。知。念。成。斷。念。止。觀。無。界。無。布。不。
實。無。事。不。佛。也。人。念。足。無。謂。器。亦。眼。不。
參。一。不。佛。也。之。諸。具。惡。者。塵。亦。色。也。
真。者。上。大。舊。一。路。理。之。諸。具。惡。者。根。所。色。也。
頭。身。究。是。佛。上。如。生。觀。不。名。戒。其。能。干。布。
一。理。乎。主。身。在。也。念。不。非。觀。不。名。求。無。非。鼻。
將。真。外。求。知。佛。移。入。曠。然。又。諸。而。不。我。施。見。色。交。
只。身。之。而。不。佛。移。入。曠。然。又。諸。而。不。我。施。見。色。交。
等。法。身。佛。殊。念。密。拶。境。那。身。也。孰。為。又。香。臭。
不。徹。法。離。殊。念。密。拶。境。那。身。也。孰。為。又。香。臭。
小。參。土。主。之。而。意。在。逼。心。禪。全。也。施。者。也。
大。淨。有。機。而。者。散。入。理。意。乎。剋。能。來。布。
深。盡。而。身。觀。矣。淨。不。分。身。觀。非。好。誰。而。耳。
淺。收。而。法。亦。顯。淨。不。全。止。豈。是。將。者。聲。
究。無。淨。師。佛。之。不。不。耶。不。起。持。得。受。不。

也。功。得。安。成。願。向。於。業。潤。名。為。以。生。或。代。意。有。常。皆。回。向。回。身。諸。解。惑。即。樂。為。得。名。正。所。順。法。此。根。以。集。得。留。喪。趨。菩。薩。可。即。禪。隨。眾。善。修。路。善。惱。其。生。緣。亡。離。耶。亦。故。此。至。令。修。正。所。苦。因。眾。上。因。彼。耶。願。覺。乃。願。所。正。以。眾。令。增。使。利。生。大。登。拜。眾。不。成。涅。槃。見。眾。令。增。使。利。生。大。同。禮。眾。不。天。猛。諸。受。物。造。故。能。求。菩。薩。情。從。一。切。悉。人。勇。菩。若。代。與。不。情。安。求。菩。薩。有。界。開。示。當。諸。若。代。與。不。情。安。求。菩。薩。化。云。虛。惡。門。者。想。經。我。者。令。有。又。生。幻。經。虛。惡。門。者。想。經。我。者。令。有。又。生。中。界。行。趣。同。懈。耶。苦。代。說。向。之。無。鬼。地。意。法。欲。惡。窮。可。善。極。提。為。根。回。縱。惡。餓。大。向。盡。諸。窮。可。善。極。提。為。根。回。縱。惡。餓。向。回。向。苦。豎。不。己。上。身。以。受。界。遠。回。說。回。病。一。遍。自。一。無。苦。薩。生。蘊。皆。中。悉。諸。閉。橫。生。惜。感。就。有。菩。眾。了。明。總。品。皆。無。關。則。眾。況。所。成。受。是。代。現。說。頓。求。行。德。樂。就。力。大。受。故。究。生。代。現。說。頓。

眾生苦也。又回向者。必須先有所修善根。將自己所修善根。回向於大地有情。同離苦趣。同生淨土。同成佛道也。或但願自利之事。似不必回向。我自未種善根。欲利生。亦當以願力相資。願與回向。合一之道。無分別也。復以此流布居士所問博山所答。悉如夢幻。無能所故。以無能所善根。普皆回向大地中夢幻有情。同成佛道。同入無餘涅槃。十類眾生滅度盡。而不見有滅度之者。方入斯羅陀尼法門無盡藏三昧也。

無異禪師廣錄卷第二十二

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十三

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

宗教答響三

吳觀我太史問。廣淪於過去世。種少善根。得聞向上一路。無柰障緣深厚。念力麤浮。雖有疑情。不能相續。又恨病魔羈羈。未遑參請諸方。親覩過量大人不思議用。獨憇山朗目兩唱導師。大費婆心。曲垂鞭影。終是數他珍寶。不救饑貧。二六時中。欲求少分相應。了不可得。何

幸未充耳根。遙嚮博山玄化。卒業警語。不覺神馳再嘆。
奇哉。飲光尊者。猶有嫡骨兒孫。以文字解脫。傳佛心
印。身無羽翼。不能奮飛。將無失之剎那。恨之永劫。敢
因現空上首飛錫之便。焚盥勒楮。敬問巾餅。願大師放額
顛眼光。照我神髓。如所應作。而提獎之。小刻二種。皆
心意識卜度依通。非實境界。而就中滲漏。亦不無和尚下
鉗錘處矣。南望翹心。悲仰悲仰。

師云。艤初遊石頭城。聞憨達朗三大師。心切歸依。為侍
受業師。南詢得入壽昌先和尚室。蒙示以船子公案。祁寒
溽暑。廢寢忘餐者幾六年。三大師淨其意識。殊不能記。
辭先和尚住博山。今二十五載。數年禪者憧憧。獲居士頌
古。并諸傳記。讀之灑然。始知有菩薩現居士身說法。歡
喜無量。恨未得面晤教言為歉耳。五月八日。於信州橋
菴。見空持居士翰教至。如旱逢甘雨。大慰未見之懷。三

復竭思。不能釋手。此亦希世之緣也。來翰謂。向上一
路。雖有疑情。不能相續。又云。如所應作而提獎之。艤
於此疑信相半。謂居士通身佛法。而復求應作之語。大似
居海者向人覓水。人所難信。又如埋兵索戰。將謂彼不能
勝。而自必勝之。又謂居士是菩薩示現。其謙退虛懷。為
眾請法。應如是乎。然向上一路。難以措辭。纔開口時。
白雲萬里。惟疑情一事。頗為能入。果不能相續。是生死
心不切耳。其切之一字。是如所應作。此是為居士無夢說
夢。好肉剜瘡。諒不以實法會去。不免就身打劫。將夢中
境界。不妨一一剖析。使未知者知。已知者亦何妨助法喜
也。悟解二種。開有多門。具在別柬。希居士審察之。不
以煩瀆為咎。若論著向上一路。只須大喝一聲。以火燼
之。揚向他方世界。毋使淨白地上。受此塵滓穢壤耳。聊
此復言。餘容緣晤。不宣。

悟之一字。祖師門下。呼為毒藥。迹尚不留。況其悟耶。今不避犯諱。藉言之。使智愚有所料揀。宗教有所分疎。行者不陷於險阻岐徑。實途中助耳。

復次論禪者。有二種悟門。一者從文字語言中。得解悟。二者從己分上參究得徹悟。夫解悟者力弱。徹悟者力強。解悟者。如聞人說物。徹悟者。如親眼見物。聞見雖一。疑與不疑。實霄壤之遠也。

復次。從文字中解。未得徹悟者。有二種障。一者文字障。二者理障。文字障者。如人食蜜。愈食愈甜。於十二分教。深求諦理。生死分中。了無交涉。是謂之障。理障者。於實際理地。相似了了。如通身是寶。不得實用。於生死分中。亦無交涉。是謂之障。

復次。從文字中解。未得徹悟者。有二種慢。一者我慢。二者增上慢。我慢者。謂我今已悟。眾生在迷。如我見處。人所不知。由此起慢。增上慢者。謂我已入聖位。上無佛可求。下無眾生可度。佛之一字。吾不喜聞。由此起慢。

復次。從文字中解。未得徹悟者。有二種怯弱心。一者我見理已極。行不能逮。賢聖位中。未得親履實踐。由此起怯弱心。二者我見地已與佛同。實不得佛之果用。神通光明。於我何有。由此起怯弱心。

復次從文字中解。未得徹悟者。有二種安隱想。一者謂實際理地。不受一塵。山河大地。不礙眼光。又云。圓同大虛。無欠無餘。大圓體中。求其生死去來。了不可得。由此起安隱想。二者見理雖明。不能親證。諸教乘中。多於

淨土。惟念佛往生甚為妥當。由此起安隱想(已上俱為禪病)。

復次。果徹悟。不為文字作解者。有二種實受用。一者得諸佛化儀。二者得諸佛果用。化儀者。謂諸佛淨穢土中。菩薩眷屬。聲聞眷屬。香雲花雲。幢幡寶蓋雲。及天龍八部。與我同等。無二無別。如不爾者。是未徹悟故。是理有分劑故。二者得諸佛果用。謂三十二相八十種好。乃至九十七種。及清淨法身。并神通光明說法等。與我同等。無二無別。如不爾者。是未徹悟故。是理有分劑故。

復次。果徹悟。不為文字作解者。具足諸菩薩無作妙行。謂過去諸菩薩。未來諸菩薩。現在諸菩薩。不可說不可說劫數。所行妙行。謂時同處同身同行同。於一剎那頃。一微塵許。悉皆具足。如不爾者。是未徹悟故。是理有分劑

故。

復次果徹悟。不為文字作解者。與十二類眾生。同一體性。自身入他身。他身入自身。一身入多身。多身入一身。彼世界入此世界。此世界入彼世界。世界入自身。自身入世界。入自身不見有世界。入世界不見有自身。互攝互融。無壞無雜。復於眾生分中。同一悲仰。又於眾生分中。起同體大悲。謂善與惡。悉無自性。皆自心現量。既無心外之境。以無作用。興慈運悲。不妨於無性體中。而解脫無性眾生也。如不爾者。是未徹悟故。是理有分劑故。

復次。果徹悟。不為文字作解者。與十二類眾生。同一幻化故。謂緣生無性。生本無生。無性緣生。眾生何有實。如幻化。吾與之居。如不爾者。是未徹悟故。是理有分劑

故(已上是悟心者實受用。非解者能知也)。

復次。從語言中作解。未得徹悟者。流出無邊狂解。有以日用事無別。惟吾自偶偕。而生狂解。有以隨流認得性。無喜亦無憂。而生狂解。有以神通并妙用。運水及搬柴。而生狂解。有以本來無一物。何處惹塵埃。而生狂解。有以對境心數起。菩提作麼長。而生狂解。有以山河及大地。全露法王身。而生狂解。有以無明實性即佛性。幻化空身即法身。而生狂解。有以入門便打。而生狂解。有以答問機緣。口頭快便。而生狂解。有以不必參究。直下承當。而生狂解。有以入門便罵。而生狂解。有以習學詩賦詞章工巧技業。而生狂解。有以放下又放下。開口即錯。而生狂解。嗟呼。醍醐上味。為世所珍。遇斯等人。反成毒藥。良以正法傾頽。邪魔熾盛。相續眷屬。彌滿世間。於生死分中留心者。不可不先燭破此虛妄境界也。更有三

句葛藤。不可不為居士說破。古德云。如何是禪。獼猴上樹尾連顛。如何是禪。猛火著油煎。如何是禪。碌磚。即此是祖師傳的葛藤。然雖如是。分明向汝道。相續也大難。

余集生同卿。問先輩云。五宗自瀉山而下。取人甚嚴。於是瀉仰法眼先絕。絕乎否耶。洞山數傳至太陽。法不輕授。年且八十矣。嘆無可繼。遂以衣履。別寄浮山遠求法子。器而僅得投子一人。當此之時。洞下不絕如綫。及投子得芙蓉。而玄風再振。弘衍至今。今之師雲門臨濟而未至者。皆翻然舍而宗之。儻所稱。取之嚴者。得之必精。得之精者。傳之必遠。非耶。夫曹洞一脈。愈微而愈不泯。有如此。豈臨濟一脈。轉捷而轉失傳乎。邇來修忌三祇。覺希一宿。翕習成風。至有纔著袈裟。便行棒喝者。問之則曰臨濟宗也。臨濟宗固如是乎。坡公云。借君拍板與捫

槌。我也逢場作戲。至目鉗鎚為戲劇。學人之過與。抑亦其師之過耶。請師昌言之。

師云。吾宗遡自達磨大師。傳佛心印。觀我東震旦。有大乘氣象。受二十七祖般若多羅尊者識云。震旦雖潤無別路。要假兒孫脚下行。特特航海而來。初見梁武問答時。便不順些子人情。如用一把鐵掃帚相似。乃至九年面壁。為法求人。神光立雪齊腰。猶呵為輕心慢心。欲冀真乘。徒勞勤苦。良以師嚴則道尊。因真則果正。是以斷臂安行。忘身為法。以及負舂槽廠。不避陸沉。方得大法流南嶽二大士耳。馬大師一足躡殺天下。一口吸盡西江。是何等根性行業。而印心後。尚侍嶽師一十五載。日益玄奧。及至開堂。猶命僧驗過。曰三十年不曾少鹽醬。嶽始然之。古人如此嚴密。載在方冊者。歷歷可考。豈敢畏絕

而麗心於長源得則詮相何豈傳
絕。高識履得秀。其念則。皆心其存。絕存者。
斷。師。可。以。皮。淳。萬。傳。念。天。悉。在。論。揆。馬。精。
稱。大。不。直。淳。萬。傳。念。天。悉。在。論。揆。馬。精。
雖。壽。又。寄。霞。初。洞。首。初。古。貴。絕。一。成。之。
譜。明。玄。得。丹。國。曹。得。國。頌。事。皆。後。而。得。
列。至。遐。玄。楷。得。實。而。國。頌。事。皆。後。而。得。
燈。宗。流。溢。太。楷。乃。尚。地。乃。以。宗。聞。薄。得。
傳。一。流。太。楷。乃。尚。地。乃。以。宗。聞。薄。得。
門。眼。盛。傳。芙。蓉。鑑。先。墜。於。世。奇。焉。絕。見。味。而。者。
雲。法。滋。五。得。雪。壽。昌。將。於。天。惜。論。其。則。而。者。
仰。存。澤。山。青。得。我。穴。中。興。於。天。惜。論。其。則。而。者。
。猶。其。青。玉。至。風。中。於。者。故。人。添。水。嚴。取。
乎。今。也。子。玉。至。風。中。於。者。故。人。添。水。嚴。取。
器。至。人。續。投。童。相。濟。霜。赫。變。相。果。則。取。
非。者。六。斷。得。天。轉。臨。石。烜。一。庭。果。則。取。
諸。者。十。其。而。得。展。此。昭。明。由。此。門。存。其。士。所。問。
授。派。三。謂。了。展。如。昭。光。獨。在。皆。非。居。士。所。問。
而。受。者。之。處。了。裕。遠。如。昭。光。獨。在。皆。非。居。士。所。問。
嗣。裔。法。之。公。了。庭。流。遠。昭。琦。宗。不。五。苟。如。

人。授一。是。間。如。傳。玄。盲。要。有。為。下。自。
得。法。知。無。例。皆。傳。一。棒。三。必。喝。戲。錯。各。
不。大。天。山。造。此。士。便。玄。以。玄。三。時。以。棒。成。宰。各。
寧。於。刀。肯。居。門。三。未。具。用。皆。庭。主。無。
所。無。欺。樹。不。衣。入。具。人。當。應。戶。門。硬。作。無。
此。自。佛。劍。決。白。山。中。人。悉。正。遍。立。門。硬。作。無。
及。真。欺。於。炭。塵。即。德。語。中。勤。一。喝。玄。街。妄。塹。誑。
見。道。欺。湯。爐。微。袈。非。師。句。一。棒。三。沿。是。見。養。
亦。而。心。鑊。身。披。所。大。於。一。棒。須。機。打。意。坑。拜。供。
士。絕。於。來。碎。初。之。濟。皆。則。一。棒。機。用。落。禮。
居。雖。欺。將。可。曰。今。臨。皆。一。當。槩。墮。人。
不。意。嗣。偽。坑。寧。但。乃。如。主。要。一。當。槩。墮。人。
然。者。實。火。士。喝。是。又。賓。三。教。貴。一。人。貪。
正。得。傳。牽。智。行。之。所。人。揀。三。分。奪。來。妄。印。
意。不。雖。相。有。棒。古。打。幾。料。具。可。縱。審。狂。妄。印。
余。器。名。盲。數。行。知。曾。要。一。語。一。殺。若。一。班。冬。
遠。非。者。盲。數。今。不。曾。要。一。語。一。殺。若。一。班。冬。
必。授。器。引。眾。劫。也。殊。載。三。且。一。既。其。耶。引。動。圖。
之。勿。非。盲。幾。業。此。燈。中。加。之。差。應。論。承。

謂成無上道報。終決沉生死苦海。正所謂邪師過謬。非眾生咎。然在真為生死之人。具眼參方。必不被其所賺。嗚呼時丁末世。貴在辯正邪別真偽。須向本分中商量徹底。莫向法嗣上較論斷續也。

劉心城大參問。千里餐風。連宵逼拶。大師大慈。石人墮淚。無奈迷雲展轉濃重。索性全抒狂臆。以當發露懺悔。惟師慈父。容此驕子。不惜慳[怡-台+羅]。逐款批答。令玄立地轉關。頓破葛藤絡索。豈愛剝皮析骨。訓此法乳深恩。

師云。宗乘冷落。舉眼無親。今天下稱知識者。莫不云秉達磨大師單傳之旨。交馳棒喝。彌滿世間。豈但叢林。即街頭傭豎。悉妄言悟入。皆邪師過謬。非眾生咎。余禪暇及此。髮豎心寒。恨不能以智鋒慧刃。掃除魔黨。以報佛

恩。非敢以生滅心。造地獄業因。破夏往還。幸金陵諸宰
官居士。護持正法。方解制。緣遇居士。以法門為問。心
甚快然。然宗教殊途。皆歸一致。都城趨入。遲速不同。
非敢以宗抑教。以教抑宗。真有所抑。即是魔人。且達磨
何人耶。智者何人耶。敢妄加穿鑿。為分優劣乎。所趨向
者。就審初機為其指迷。不由迂徑。當隨問隨答。不辜居
士來意耳。貴在格外相訓。希勿以言句取則。領略在未問
之先。則居士無問。博山無答。大圓覺中。不挂一元字
脚。居士信斯語否。

問。蒙大師垂示。一口氣不來。向甚麼處去。言思路絕。
難咬難嚼。[口@力]地一聲。虛空粉碎。此誠最上極則。玄
雖凡下。戊午己未。曾亦兩年著脚。庚申劇病。竟入地
獄。一句彌陀。如湯沃雪。何至今日。轉打之遶。此段機
緣。亦非孟浪。似於夙劫。曾作佛隴(即天台)兒孫。每讀

妙宗鈔。所云取捨之極。與無取捨同。覺得實實可作生西
拄杖。實不妨與宗門向上極則。谿山各別。雲月是同。蓋
台教全以葛藤掃葛藤。以解路絕解路。四教六即十乘四
弘。才提一句。動成二十七萬一千餘句。而宗旨只一心三
觀。然非二十萬一千餘句。此一心三觀一句不得分明。
所以多句不離一句。併此一句亦無名字相貌可得。不待樹
倒藤枯。早已句歸何處。玄如未死五六年後。與乾三先
生。圓頂方袍。手捧三大部。向博山堂下。遶佛三匝。禮
師足已。叉手而立。惟望大師。另出手眼。俯為接待。

師云。居士於宗乘中。既兩年著脚。仍以一句彌陀。銷除
地獄。如湯沃雪。似非孟浪。前後參差。果志慕空宗。何
不以金剛猛焰之。仍待一句彌陀。不得實用。於斯可
見。居士既全是知解。與佛隴密契。不問可知。謂妙宗所
云。取捨之極。與無取捨同。居士即今。有取捨耶。無取

捨耶。若取捨。同之一字。即是妄言。縱硬作主宰。謂
其不礙。亦不取。捨何。雖百劫千生。不能脫此窠臼。自云我
淨不染墨。居士即今果不亂乎。實自謾耳。生西要旨。貴在一心不
亂。此亦初不究者。與一句。以一句。枝派蔓流。不能到也。妄云
往生法耶。掃葛藤。多句。如得。了。余保終身。亦太早計乎。
竟以葛藤。多句。如得。了。余保終身。亦太早計乎。
當料揀。先尋去。雖心中。見卵而求。時夜。不
早。已句歸何處。是見卵而求。時夜。不

問。蒙大師垂示云。一念識心即不思議境。非證法華三
昧。莫望領取。又云。智者大師妙悟處。不在三大部。在

禮法華時。卓哉我師。誰謂大宗師。非即大教主耶。玄輩
凡愚。則妄據智者大師所云。圓頓者。初緣實相。造境即
中。無不真實。繫緣法界。一念法界。一色一香。無非中
道。便確信得過。不思議境。非但凡愚有分。即熾然殺
盜妄。其事相不得。不攝於一戒。而即此姪殺盜妄。一念當
體。即煩惱。即菩提。即生死。即涅槃。實信得過。實把
得牢。依此圓教。修此圓行。而不了生死。智者大師欺人
賺人。恐無是處。

師云。余謂。一念識心即不思議境。智大師妙悟。不在三
大部。此即實語。誠非臆見。如一念具三千。是思大師親
證處。非從學問中來。如云即空即假即中。是因緣所生
法。并一色一香等語。乃從學問中來。實非大師悟處。居
士雖信得過。皆是識心領略。既非悟入。識解障心。如油
入麵。永無出期。不可不審。謂殺盜姪妄性惡即真。殊不

知。即真體中。無殺盜婬妄。當體煩惱。當體空寂。緣生
無性。等於空花。菩提涅槃。皆為贅語。非作故無。本性
無故。而復云依此圓教。修此圓行。正所謂無夢說夢。不
識大師行布而非行布。圓融而非圓融。過在學人。非在教
也。吾宗門中。非不看教。祇不滯斯解。如單刀直入。直
斬顏良為快意耳。

問。蒙大師垂示云。才開解路。便落生死。敢不服膺。然
所云不思議境者。即空即解即中也。此三諦只在現前一念
識心。一念最劣。三諦一心最頓最圓。最尊貴無上。雖復
證入甚難。而性惡法門。全性起修。全修在性。修性不
二。直斷無明。至於見思塵沙。譬如冶鐵。粗垢先去。非
本所期。自然先落。此一念直超三阿僧祇。當生便可證圓
住位。直截頓頓。品位彌超。似又不獨輕輕便便。了一生
死而已。大師大慈。願不有慮。

師云。才開解路。便落生死。如永明大師云。圓宗所示。皆是未了。文字性離。始名解脫。看宗鏡錄者。誰肯謂性離也。皆識上生識。心上求心。愈生愈求。轉覓轉遠。圓覺云。以思惟心。測度如來圓覺境界。如取螢火燒須彌山。終不能著。如不思惟者。以何法門。謂之捷徑。少林云。心如墻壁。乃可入道。亦不論性善性惡。全性全修。祇將一句話頭。深追力究。如喪考妣。識解何生。果得迸開光明煥發。如紅爐烈焰。見思塵沙。豁爾冰消。若斫樹去根。枝葉復生無有是處。沉向上一路。及盡玄微。去粗存細。似多著一翻心力也。極細根苗。卒難頓盡。直超品位。非行莫齊。言解相應。無有是處。台教學人。似不可以圓教自負。不求妙悟。蒸沙之語。豈欺我哉。

問。藏通別圓四教。智師剗立。四教有五頌。位次分明。

又不墮明白裏。後四頌則且置。只首一頌云。七賢七位藏
初機。通教位中一二齊。別信并圓五品位。見思初伏在凡
居。凡居者凡聖同居土。四淨土之一也。七賢者。五停
心。別念處。總念處。四加行。共七位也。四加行位則且
置。只總別念處中。一觀身不淨。五停心中。一數息觀。
便開出八背捨。六妙門。十六特勝。觀練熏修等。世出的
禪門。妙訣。一經開會。一一無非不思議圓妙法門。的的
當當。穩穩貼貼。保得一念識心。眼光落地時。決無失
脚。又何況即漸即頓。即藏即通。即別即圓。廉纖葛藤。
無一可取。無一可捨。所謂太虛空中之乎者也。將錯就
錯。西方極樂。大師大慈。願不有慮。

師云。四教五頌位次分明等語。乃至一經開會。一一無非
不思議圓妙法門。具在三大部中。此不繁引。而云的的當
當穩穩貼貼。此是智者大師見。非學人見也。居士謂。保

得一念識心。眼光落地。決不失脚。居士用那箇心保得。
若用識心。識心隔陰。則不能知。宿命具通。恐一生難
辦。臨終善惡。如人負債。強者先牽。毫釐念起。豈但說
即。如寒拾見瀉山。那事都不記了。西方極樂。亦是寐語
也。

問。蒙大師垂示。有大居士。問云。只提話頭。三乘十二
部。可盡廢耶。答。何作恁麼見地。三乘自為三乘人說。
豈不見。圓覺經云。惟除頓覺人。併法不隨順。玄奉此。
示。豈復疑云。只提話頭。三大部可盡廢耶。然而三大部
中。併三乘人。一總收為圓人頓覺。併四教十乘。六即四
弘。雖復的的當當。不許一字誦訛。而實無一法可容隨
順。所以荆溪一部金剛錚。總托一夢。懸符我師昨解制上
堂所云。一一皆夢中事。而金剛錚末後一句云。忽然夢
覺。問者答者。所問所答。都無所得。然則宗耶教耶。誰

非一夢耶。然而三大部及金剛錍。畢竟與三乘十二部。俱不可廢。大師亦復何曾欲廢三乘十二部。及三大部金剛錍耶。凡愚護玄。一口氣未斷時。願以三大部金剛錍。作廣額屠兒。一把殺猪刀。臨終放下。恃有大師加被在。即未放下時。亦有凡愚願力在。

師云。一句話頭。聰明學人卒難領略。謂識解多故。猿騰雀躍。無暫停息。欲收為圓人稱頓覺者。譬如妄號帝王。非敢向人說也。實無一法可容隨順。大似掩耳偷鈴。倘放下。一言一字。如食美味。念念不忘。況教理耶。思之可見。不待博山重加註脚。古人所謂。不得水精珠。難澄濁水。不得宗門中慧炬。實難破千萬劫之重昏。況夢中之夢。金剛錍三大部。恐未易與居士作屠刀也。

問。台宗圓頓。尊貴無上。則且置。縱使廉纖落索。實不

如禪宗直截透脫。而夙業深重之護玄。終不妨舍易從難。辭甘受苦。何以故。請先借世緣。自忖自卜。玄實生性薄劣。初叨第力辭館。選甫作令。亟徙寒氈。所至無不翫[骨*(卅/(歹*巳))/土)]重圍。笑拌頭顱一生。從喫辛喫苦中。自歌自舞。乃至生死大事法門。豈同兒戲。而於時所從。尚參究極則。既有我大師。全提正令。何須凡下免胄趨風。惟念達磨既開少室之宗。智師始剋佛隴之統。而五家宗派。烈日中天。三觀密藏。方沉闇室。一炎一冷。不可同年而語。遂於辭炎趨冷。千辛萬苦之護玄。不覺痴嗜偏投。每慨。大蘇妙悟以後。荊溪四明一輩。孤燈寒燄。僅不絕於幽溪即中一綫。師資嬰杵。有懷魂銷色黯。持此願王。泥犁不避。無心擇便。有分奔波。牛順羊逆。佇師殺奪。

師云。台宗圓頓。最尊無上。敢問。台宗所宗者。何為最

尊無上也。若謂一心圓極之理。當求之在心。非求教也。我達磨大師。傳佛心印。航海而來。斥諸名相。故云直指人心見性成佛。其機感契悟。如人飲水冷煖自知。雖入不思議境。而心行處滅。向上一路。千聖不傳。說著箇佛字。猶為贅語。非同教家自生難易。有圓有頓有依傍也。有識性者。孰不能習教。惟宗門下。實難得人。居士何不念祖師命脈。繫如懸絲。正要得深入教乘者。了明大法。傳祖師心印。開眾生慧眼。實博山之至望也。

問。離心意識參。既離心意識。將甚麼參。參箇甚麼。

師云。心意識作麼生。離只將一句話頭。真參實究。如喪考妣相似。心意識。要起起不得。何用離耶。即此心意識。豈但要離。如紅爐點雪。求其蹤跡。了不可得。且道參箇甚麼。居士就將此是箇甚麼便好討箇下落如不會者。

不妨疑著。良久云。散盡閒雲清野壑。海天大燦亮月明中。

問。何物凡愚。蒙師不棄殷勤答問。析剝難訓。柰凡愚既非格外人。安得領在未問先。大師答而無答。凡愚問而復問。惟我大慈。幸卒教之。一蒙示云。即今若有取捨。同之一字。即是妄言。玄復疑。妙宗宗旨。正謂取捨。愈有愈無。斯為圓妙。若無之始無。不落小乘耶。

師云。愈有愈無。斯為圓妙。殊不知。天台借路還家。終不墮有無窠臼。有無二字。實圓妙中影響。非始無也。若膠柱鼓瑟。豈但小乘。而凡夫熾然心行。欲擬之圓妙。大似捫空搥響。縱經多劫。終無得理。有智之士。寧不痛思者歟。

問。一蒙示。以葛藤掃葛藤。與不絆葛藤者。優劣若何。
玄復疑。不絆葛藤。豈非向上極則。若以較台宗二而不
二。不二而二。正爭此葛藤之有無。惟我大師。實云非敢
以宗抑教。以教抑宗。豈復置一優劣耶。若謂劣在人不在
教。教理則不廢葛藤咎。豈獨在人耶。

師云。不絆葛藤者。實在人非在教也。譬如生在王家。天
然之貴。不假他營。若以功能較之。優劣實霄壤也。楞嚴
經云。阿難縱能宣說十二部經典。不如一日修無漏業。華
嚴又云。如日當空照。童稚閉其目。自言何不覩。多聞亦
如是。此是教家料揀教與人優劣。不待擬議。而泮然冰釋
矣。今時習教理者。何不提綱挈領。而楷定法則。經之過
歟。人之過歟。

問。一蒙示云。多句不離一句。須得水源。若尋枝蔓。妄

云句歸何處。不太早計耶。玄竊聞。台宗專用六識。謂之
去丈就尺。去尺就寸。又謂伐樹得根。尋水得源。豈不懸
合我師宗旨。溯水源而掃枝蔓耶。既得其本。即蔓是本。
既尋其源。即流是源。一句多句。多句一句。似無復遲早
之可判也。

師云。台宗專用六識。正類吾宗門中。騎賊馬趨賊。謂以
馬為根也為源也可乎。若以馬為根源。是謂之昧却主人
翁。可謂奴即不辯也。圭峯云。識如幻夢。但是一心八
識。當與一刀。況其餘耶。若論圓極之理。當得其根。毋
尋枝葉。當得其源。毋滯漫流也。得其根者。一枝皆木。
得其源者。一滴皆水。若以枝葉漫流。為根本源流者。何
啻據淮泗。而曰即阿耨達池。不亦太早計乎。

問。一蒙示云。一念識心。保無失脚。用那箇心保得。若

用識心。識心隔陰。即不能知宿命具通。恐一生難辦。大
師慈悲警策。至此可容凡愚。未得謂得。以地獄為兒戲
乎。然台宗專用六識。既是一家宗旨。止觀懸合。首楞嚴
云。憶佛念佛。現前當來。必定見佛。即謂憶念亦用六
識。確為無過故。圓人雖極圓頓。而至何位。斷何惑。證
何理。往判諸教。諸位無不通達。學人分中正不必宿命神
通。即教中明用六識。六識明知位次。若能依教修行。學
人縱必不能自保。而教理可作保人。凡愚人作凡愚朴實
語。惟望大師哀憐攝受。而卒教之。

師云。台宗借用。皎如日星。自是居士錯會耳。豈不聞念
空真。念生即無生。若以六識為主宰。譬如蒸沙作飯。沙
非飯。本楞嚴斥能推者為心。又令微細揣摩。居士認定六
識。不待別求寂常心性。正類乎認賊為子。不亦謬乎。如
止觀圓頓義者。初緣實相。造境即中。無不真實。從實相

中出。止觀二義云。法性寂然。曰止寂而常照。曰觀貴在起行。不滯解門。如南嶽大師。九旬常坐。一時圓證。非解也。又如法性經云。滅非真諦。因滅會真。滅尚非真。況意識耶。所引憶佛念佛等語。念空真念與自得心開。還存得意識也無。若以解心判教。便為究竟。天台不必觀心。南嶽何勞常坐。惑終不斷。理豈入圓。縱經多劫修行。止是說心說性之人。道火何曾燒口。說食豈能充饑。勿自瞞預。思之可見也。

無異禪師廣錄卷第二十三

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十四

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

宗教答響四

卓發之文學問。華嚴會中。二乘如盲如聾。然亦兼攝聲聞。以包含無量乘故。此經雖云二乘種不生。乃所宣道品。大小互通。正與華嚴四聖諦品不異故。有生彼經劫。方證小果者。如大智度論言。彌陀亦以三乘度生。自應二藏五教總攝。何云不攝小乘。且既通雜華。復不能通雜華

所攝無量乘耶。

師云。居士既知華嚴攝無量乘。豈上德聲聞。如身子目連
杜視絕聽。悉是如來勝方便力故。為導引一類小機。發起
深信。信於一乘。如法華云。佛以無數方便。引導眾生。
其實皆為一佛乘故。此經云。二乘種不生者。正為化導二
乘執空不修淨土者。鈔云。豈獨凡夫。亦度二乘聖人。二
乘既生。況菩薩不生。彌陀以三乘度生。當無疑惑。既以
三乘化導。亦攝無量乘。二經互通。不言可喻。涅槃云。
闡提不入。非闡提不入涅槃也。問。餘門學道。名豎出三
界。念佛往生。名橫出三界。所謂餘門正指教中觀行故。
參禪稱為別傳。淨土亦云。徑路皆以超越觀行故。今云。
觀即是念。念即是觀。直以台觀當之。不反鈍置念佛耶。

師云。橫豎等論。鈔云。如蟲在竹。豎則歷節難通。橫則

一時解脫。謂樂邦與苦域並峙故。曰橫也。此是一往之說。論一心者。橫豎皆遍。獨淨土不具豎。而止曰橫。彌陀經云。其佛光明無量。照十方國。無所障礙。觀經云。是心作佛。心即佛故。淨土惟心。以界曰橫。論心豈不圓具耶。餘門非單指觀行。實乃具一切法門。參禪稱為別傳者。非五教之所詮。淨土亦云徑路。豈三觀之所及。今說觀即是念。念即是觀。舉一念即具觀行。以一念超越。即便往生。非觀行成就。然後乃生故。知念不妨攝觀。非觀行能鈍置念佛也。

問。觀經疏以十六觀通三諦。今以此經。旁通觀經。則入台觀門庭。以此經分屬圓教。則入事事無礙法界。然台宗以圓教。獨歸法華。而第四法界。惟華嚴有之。未知台宗三觀。得攝法界觀否。此天台賢首差別處。若為會同。

師云。觀經疏。以十六觀通三諦。今以此經。旁通觀經。亦不妨。以十六觀。旁通此經。何以故。彌陀經云。寶網行樹。蓮池階道。悉以金銀琉璃玻瓈合成。其佛光明無量。聲聞菩薩無數。復以西方攝。懸鼓豈不具足。一十六觀。似不必入台教門庭。台教當入我之。天台以圓教。獨歸法徑。不亦宜乎。謂此經分屬華嚴有觀名。既云圓教。豈不攝圓彌陀分屬。華。鈔云。事事無礙。標法界觀。天台賢首與此經疏。別事無礙。以事無礙。同於全潮。天台賢首與此經疏。別如掬海之一滴。不妨同於全潮。天台賢首與此經疏。別而不別。不別而別。非此之謂歟。

問。合論判彌陀淨土。是權非實。淨名惟心淨土。是實淨土。然淨受眾中何。菩薩成佛時。直心與彌陀無二。淨名來生無別。是實淨土。正指往生事。明言攝受眾中何。菩薩成佛時。直心與彌陀無二。淨名來生無別。是實淨土。正指往生事。生事相。論中何。菩薩成佛時。直心與彌陀無二。淨名來生無別。是實淨土。正指往生事。

一心。便不名惟心耶。

師云。合論云。彌陀淨土是權。如云一念至。一心不亂是權實。淨名淨土是實。如云隨其心淨。即佛土淨。菩薩成佛時。如云直心等眾生。來生其國。是實中權。如指門必入其室。如入室必由其門。二經大意。不妨互舉。非分兩橛也。疏指事一心者。重在持鈔云若達此心。四性不生。與空慧相應。名理一心。此即事而理。安得不名惟心也。

問。此經言眾生生者。其中多有一生補處。大本乃言。生彼國者。皆當一生遂補佛處。皆當之義。不止多有。然則中不胎生等。皆是補處。皆為等覺菩薩耶。

師云。此經言。眾生生者。多有一生補處。此多字從近而言。大本云。皆當一生遂補佛處。此當字。藉遠而言。此

經云。其國生者。皆是阿鞞跋致。華言不退轉。豈非當來
遂補佛位。即中下胎生。遂補佛處。益明非是現稱等覺菩
薩。良以延促同時。所謂徑中之徑。於斯益信矣。

問。單念佛人。不修助因。所謂但得本莫愁末。故云不修
餘行。得波羅密。亦云。即是多善多福。乃諸佛以萬行因
華。莊嚴法身。今念佛所證。止可云素法身抑已具足萬行
莊嚴耶。

師云。單念佛人。不修助因。古人淨業中。知識殷勤化
人。念佛同生淨土。豈非助因。不修餘行。惟念佛得到彼
岸故。信此一門。即是多善。化彼同類。即是多福。又夙
具種性。即是多善。夙修餘行。即是多福。即此已具萬行
莊嚴。非素法身也。

問。宗門教人。參念佛底是誰。似與別則公案無二。未嘗
回向西方。鈔云。體究念佛。與尊宿教人舉話頭下。疑情
意極相似。此只相似。還是直參誰字。教分四種念佛。未
列體究一門。今以攝持名中。却似經文本無此意。不應以
此入淨業門庭。若謂參此話頭。悟則心開。不悟亦不失往
生。此為禪宗留一退步。正墮偷心耳。若謂此疑不破。便
不得生。是反不如一直念去。不起疑情者。雖不開悟。尚
得往生也。乃智徹禪師。直以此作淨土正行。慈照天奇毒
峯。皆教人參究念佛。此諸師又何所本耶。雲棲若祖諸師
疏鈔。何不直拈誰字。若只相似。又更有差別否。其相似
不全是處。何不道破。

師云。宗門教人參究。貴在以期大悟。更不回向西方。何
得言留一退步。不失往生。是居士註脚。非宗門意。鈔中
謂。體究念佛參與體者。不容無說。參謂參破。體謂體

貼。體貼亦有佇思之義。宗門必不用。少林云。心如墻壁。乃可入道。又不與一直念去。較其優劣。雲棲祖諸師。亦是淨土一門。收此一類之機。放開一線。道又何辯相似不相似也。

問。一切國土。惟想所持故。以淨想換却妄想。如子憶母必善想。容儀歷歷可觀。今持名一門。但令念聲相續。不取相貌。只與讀誦無二。心易馳散故。稱名方便。或依出入諸息。以為藉氣束心。乃禪經中攝心調息。諸法。似屬小乘。未為第一義諦。將非大心凡夫所當行持耶。

師云。楞嚴云。憶佛念佛。謂憶念相繼。自得心開。非比單持名號。至一心不亂。夫讀誦者。惟記惟解。持名者只欲往生。如負重擔只欲到家。馳散何有。乃至一心不亂。非藉氣束心比也。生極樂國。如彈指頃。與法華其疾如風

相類。大心凡夫。豈捨此捷徑法門。而別求乎。

問。大本云。若有眾生。發一念心。念無量壽。定生彼國。疏中尅期。止及十念。而不及一念何耶。又念性刹那生滅。此經七日。定力乃生。則未得禪定者。無分。若此一念。如一稱成佛。釋作歸命一心。則大本不應繫十念之後。若止如經文。作一念喜愛之心。則與化經言不動如來佛刹。不以愛戀之心。遂得往生者。難易不同。此則全無定力。亦得往生。其勝方便。又當超越小本耶。

師云。十念與此本。相互通故。何分優劣。以一念具一切念故。一念未必為優。以十念即一念故。未必為劣。是故說一念。不妨十念。說十念。不妨一念。又刹那際不妨七日。七日不妨刹那際。經云。一念普觀無量劫。無去無來亦無住。或說一念。或說十念。或說七日。或說多劫。皆

如來勝方便故。亦不論定不定喜愛不喜愛。但一心念佛。無事不辦。如靈丹一粒。點鐵成金。更無疑慮。又何必以難易。較其超越也。

問。此七日若平時。姑置。待臨終方念。已為天如所呵。今既屬平時者。為是七日之後。盡此形壽。更不復亂耶。為復此後雖亂。終得往生耶。若永不復亂。不應止名七日。若更亂者。則已經退。何能感佛現前。

師云。經中云一日乃至七日。是剋期往生。不論臨終平時。一聞佛名。便發猛銳七日。往生者故不論。若未生者。在無間斷念念相續。豈可七日得定再不念佛名。其執持二字。何以消文。疏中云。執者聞名受之。勇猛果決。不搖奪故。持者受斯守之。常永貞固。不遺忘故。何云七日。復隨散亂。行者一心正念。更加猛利。以終身。如初

發念頃。何愁佛不感孚耶。

問。鈔中明理一心。為觀力成就。則體究。全屬觀門。但
前言妙觀難成故。顯持名殊勝。今乃復通觀法。仍是定
觀。勝於持名矣。若云參誰字是體究。則又全屬宗門。且
當參話時。不應有念。如知不二寂照難思等。幾許理路可
傍。未免兩處負墮。義云何通。

師云。前言妙觀難成。顯持名殊勝。良以娑婆之眾。心多
散亂故。持名攝念勝乎觀門。今乃復通觀法。以觀法是淨
土法門故。如持一念。不妨具足諸觀。讀彌陀經者。西方
勝境。孰不冥契。但以執持顯勝故。以觀境殊勝。不妨速
於持名。以持名徑捷。不妨超於觀法。兩處義成。何得言
墮。若宗門參究。是逗機之法。似不必與淨土和會。如參
念佛者是誰。即屬宗門。言語道斷。又不可以理路為依傍

也。

問。一部疏鈔。大意全重理持。則所明持法。最為要害。今既是持名。復云理觀。既是理觀。復拈話頭。禪淨止觀。三法混淆。雖復義理圓融。而行人念不歸一。將何為宗。此與一門。深入專修無間之旨。何復不侔。

師云。疏鈔一部。雖則全歸理觀。如玄談守約則惟事持名。文云。舉其名兮兼眾德。而俱備。專乎持也。統百行。以無遺。以此則知專貴持名。不妨發明理觀。觀理明徹。如膏益火。則更增猛熾也。若單提參究。單論觀理。如華嚴大部攝無量乘。上根利智。條條是路。亦不名混淆。但以根器相投。亦吾師翁之善巧耳。

問。疏言一心。即達磨直指之禪。又云。六祖斥無。乃門

庭施設不同。假使纔弘直指。復讚西方。則直指之意。終無由明。既言即是直指。復云。為門不同。是少林與曹溪。亦復不同耶。

師云。疏言一心者。豈但直指之禪。一大藏教。無不收盡。即歸之直指之禪者。此是。為參究念佛者。說非。為持名者。發機。門庭設施不同者。正符合。直指之道。亦非。為持名者。發機。雲棲以參究念佛。收之淨土一門。此是廣被機宜。看疏鈔者。不妨求一門深入。譬夫入海者。而責之淮濟江河深淺廣狹。更較其同異。不亦愚乎。

問。疏指至心念佛。一聲滅八十億劫生死重罪。屬理一心。若事一心者。多念止減少愆。乃又引佛名經言。一聞佛名。滅無量劫生死之罪。釋云。一聞則不待憶念。無量則不但八十億劫。然則何必獨指理一心也。覺於此中。自

相違礙。又此經亦言聞經聞名。皆得不退。則一切等閒發願。散亂稱名者。咸不退耶。

師云。果得一心。則不論理事。疏鈔謂多念止滅少愆者。此是就散亂。而藉一心者說也。聞名滅罪。眾生在迷。亦復不知。如地獄聞名。即得究竟。并獲往生者。何止滅罪。蓋論眾生心力之勤怠耳。大凡教中。論事論理。論定論散。如用兵之法式。臨陣決勝。貴在當人。必不以法式楷定。然後為正論者矣。

問。棗柏言。華嚴一乘大道。非往生菩薩境界。何故華嚴長子。乃以十願。導歸極樂。如生公說。闡提有佛性則後出涅槃為證。今行願全與棗柏不符。則一論宗旨竟將安歸。乃雲棲但拈出導歸之文。亦不能折棗柏之誤。當知棗柏未易輕詆。今欲和會兩義。其說云何。

師云。棗柏謂華嚴非往生菩薩境界。為顯一乘。不妨抑彼揚此。普賢導歸極樂。正謂攝無量乘故。棗柏為化大心凡夫。頓入華藏故。普賢是華藏中菩薩。以十願。導歸極樂者。為三根普利故。如觀方入一隅。則十方普現故。良以大心難發。極樂易生。究竟旨歸。彼此符合。以此則知棗柏。原非錯誤。雲棲安得以是為非耶。

問。因戒生定。因定生慧。則一心者。自制心始。此中自當發慧所為不假方便。自得心開也。天台念佛五門次第。亦復如是。今以事持屬定門攝。理持屬慧門攝。而云事持。未能破妄。利根徑就理持。將慧不由定。一切理路通明。便可當覺路耶。

師云。因戒生定。乃至天台次第。此是教家法則。然亦有

先慧而後定者。如云專持名號。即得往生。自非慧根深
發。莫能信也。雲棲以事持。為定門攝。理持為慧門攝
者。此亦教家法則。然事非慧而不持。理非定而不發。事
持既能發慧。安得不破妄耶。又可將一句彌陀具戒定慧。
猶深入理。不可不知。何也。為專持萬德洪名。不生諸
惡。豈非戒也。至一心不亂。豈非定也。自得心開。豈非
慧也。念空真。念緣起無生。豈非理也。深入至理。淨土
惟心。生彼不離生。此是正覺地。何必捨事持而入理解。
謂之覺路可乎。

問。觀雖十六。言佛便周。如經所言。觀佛身故。見佛
心。觀佛身者。從一相好入。則眉間白毫。可攝念佛三
昧。何故慈雲。但教人作蓮花開合想。鈔中亦止通普觀為
助因耶。

師云。觀經言佛便周者。佛以法界為身故。觀佛身故。亦見佛心者。謂緣勝境。入實相理故。既從一相好入。毋論眉間白毫蓮花開合。以十六觀門。隨緣一觀。悉是助因。鈔中以普觀為助因者。猶為確當。

問。諸經多言。念佛行人。現前見佛。如遠公三觀聖相等。所謂能念佛人。佛住其頂。古德教人。決志求驗。正在平時。今經止言臨終佛現。豈七日功成。未能現見。僅感臨終耶。抑必現前見已。然後臨終得見耶。

師云。諸經多言。行人現前見佛。亦有當來見佛之語。楞嚴云。憶佛念佛。現前當來。必定見佛。其必定二字。深有旨趣。如種穀得穀。必無虛棄之功也。遠公三觀聖像。現前見佛也。淨土諸師。臨終感佛來迎。當來見佛也。由此觀之。只愁不念佛。不愁行人不見佛也。毋論平時七

日。但一心不亂。專持名號。喚醒自性彌陀。一切佛菩薩像。皆影現其中也。

問。往生菩薩。心不顛倒故。能預知時至。與本願相應。然則坐脫立亡。庶幾來往自由。能識死從何去者。何為古宿全不以此勘驗。至云死時何若欲先知耶。

師云。淨土菩薩。與宗門坐脫立亡。識得死從何去者。大不相同。淨業行人。尅期往生。預知時至宜矣。宗門中人。知亦可。不知亦可。發明大理。視死生如夢幻。安得於夢幻中著脚。以生死為實事耶。又當知化儀既畢。來去自由。此等不思議解脫。惟同道者方知。又何得與淨業。較同異耶。

問。觀經十念。論明臨終心力猛利。能勝終身行力。乃大

本十念。不言臨終。此與觀經。為同為別。若此七日。不必定是臨終。則此十念。亦屬平時。既非最後大心。何能化往寶王。論反以一念為正。是義何居。

師云。大本十念。克十念往生。而不克往生者。乃日日十念。雖不言臨終。以至臨終明矣。論明臨終心力猛利。此為一等猶豫。行人說恐臨終障重。不克往生。以猛利勝之。能勝終身行力者。此加勉之義。使行人以遂往生。假如平日猛利。大事已辦者。十念七日。俱不出一念故。何緣自生疑難。

問。觀音勢至。同侍彌陀。為西方三聖。觀音反聞自性與今持名一心。總以音聞為教體。正應同屬耳根圓通。又文殊亦發願往生。何反揀去。勢至鈔言。耳根不攝念佛。念佛能攝耳根。是勢至。能攝觀音。而觀音不攝。勢至將持

名。不屬音聞。而觀音不補彌陀為安養教主耶。

師云。耳根以聲塵。旋入念佛。以舌上稱揚。然俱屬音。聞出入義別。文殊取一根深入。安得不揀。雲棲判根塵同異。豈可言觀音不攝勢至耶。如論往生行業。亦不取耳根圓通。豈勢至復不攝觀音耶。正所謂打鼓弄琵琶。非以諸法門。迹上較眾聖之所行處也。

問。世尊言。諸修行人。用攀緣心。為自性者。猶如煮沙。欲成嘉饌。今此念佛心。是攀緣心耶。非攀緣心耶。若用攀緣心者。一切覺觀思惟。皆是生死根本。若非攀緣心者。何言念性生滅因果殊感。若云此生滅心即不生滅心者。何云煮沙。此與波水之旨。當自不倫。波即是水。沙非是饌。大覺立喻。應不雷同。乃法華所云。若人散亂心。一稱南無佛。南能所云。不斷百思想。對境心數起

者。又非即用此生滅心耶。

師云。世尊斥世間人。認攀緣心為自性。非斥用攀緣心入自性。豈不聞。圓覺云。以幻修幻。天台專用六識。阿難云。供養如來。亦因此心。永退善根。亦因此心。以此推之。此心亦不惡。可以為入道之玄徑。論乎真性。何用念為論乎。樂土非念莫生。文殊云。念性生滅。此為選耳根圓通。淨業智人安得。隨文殊脚跟轉文殊。如修般舟三昧。又當以我念佛。為良導。法華一稱。塵勞起。而佛道成。南能不斷妄想興。而涅槃現。又當留待別時。向居士一一道破。

問。經末先言不退。後云往生。正以現生取辦。超乎餘教。鈔中反開少壽多障。不克往生一路云。于來世得生。此墮慈照所云。其人自不知我當生淨土。却要來後世。再

得生人中也。乃引禪門。纔出頭來。現成受用語為證。則何以永明揀去。有禪無淨。一流明淨業之諦。當於宗門耶。

師云。經中先言不退。後云往生者。謂先說淨土已生者。後云念佛必定往生。非現生取證也。鈔中開少壽多障。為多障行人不信決定往生。如信者則不障矣。來世得生者。謂不信。聞名亦種下。來世種子顯。聞名殊勝。超乎餘教故。不墮慈照之語。永明抑揚之說。單扶淨土一路。將宗門推向。萬丈深坑。亦不為分外禪門有。三生打徹故。云纔出頭來。現成受用。又何勞逐句。與淨土合轍。

問。準提密圓與華嚴顯圓。並屬第一。疏云。持名功德猶勝準提。今念佛人。盡此報身。方得往生。所證極果。僅至上品。何以不如準提所開。不轉肉身。便得往詣十方淨

土。只于此生。得證佛果耶。

師云。佛所設教。為當機者極成。如此土釋經者。亦復如是。天台歸圓法華。李長者亦多料揀。李長者必看天台三大部。天台未見李長者合論。若見時。又不知當何如。華嚴準提及淨土法門。各有所主。不可逐一比況。古德云。一兔橫身當古路。蒼鷹纔見便生擒。似不必向迹上追尋。夙具靈根者。纔聞著一言一句。便有出身路。所謂大藏小藏。從自心中流出。豈可以部帙。較優劣耶。

無異禪師廣錄卷第二十四

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：

2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十五

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

宗教答響五

六雪關主問參。話頭真切不落。楞嚴五蘊魔外(云云)。

師云。細觀楞嚴。五十種魔事。不出一箇著字。如色陰明白銷落諸念。乃至是人則能超越劫濁。觀其所由。堅固妄想。以為其本。即此堅固妄想。便不能融化。於妄想中精

名。之。本。精。上。妄。愛。無。愛。謂。乃。徹。流。
解。結。其。食。謂。妄。融。通。便。偶。一。念。心。所。陰。盡。滅。
聖。字。蒂。明。正。明。中。通。愛。此。章。破。蓋。陰。生。
不。想。根。虛。正。明。中。通。愛。此。章。破。蓋。陰。生。
如。妄。之。其。護。虛。陰。融。與。斷。九。不。想。為。不。
耶。總。是。乃。于。妄。想。如。境。來。先。如。妄。隱。妄。人。
著。中。便。甚。涉。明。何。根。中。最。只。初。幽。披。露。行。
非。中。便。甚。涉。明。何。根。中。最。只。初。幽。披。露。行。
豈。蘊。想。乎。苟。虛。而。妄。圓。行。耶。亦。中。從。不。
解。又。此。生。外。陰。非。即。魔。以。何。業。行。元。念。
聖。耳。即。不。從。受。地。明。蓋。天。良。字。魔。如。根。滅。
作。耳。即。不。從。受。地。明。蓋。天。良。字。魔。如。根。滅。
便。著。破。令。非。有。愛。等。救。著。本。云。是。
事。即。不。能。令。非。有。愛。等。救。著。本。云。是。
之。作。便。枝。牽。益。求。心。安。愛。空。非。性。元。
奇。不。著。其。想。上。到。章。悉。業。無。深。沙。為。根。
希。界。一。著。挫。妄。火。未。初。種。魔。愛。貪。飯。止。中。
見。境。初。除。悉。火。未。初。種。魔。愛。貪。飯。止。中。
研。善。最。不。氣。加。蓋。想。著。作。心。入。蒸。遷。見。

故。得凝明正心。爾時天魔。不得其便。但於圓元中。起計度故。窮其始末。有因無因等。既有計度。亡正徧知。計之一字。從幽隱中來。文云。觀彼幽清。不能徹見源底也。如識陰中。顛倒妄想。謂同分生機。倏然墮裂。六根虛靜。無復馳逸。虛靜為不馳逸。不馳逸為行陰盡耳。行陰既盡。見聞通鄰。互用清淨故。云窮諸行空。尚依識元。乃至精妙未圓。便生勝解。此十種悉以識心而生勝解。既作勝解。違遠圓通。生諸種類矣。禪門中。善用心者。俱不相涉。思大云。十方諸佛。被我一口吞盡。何處更有眾生可度。此是佛祖位中。留渠不住。邪魔外種。其奈爾何。欲得不受其蝕。但全身入理。不待遣不待護。妄想念盡。則魔業自盡矣。古德云。便好和根下一斧。免教節外又生枝。

問。不執修證。不廢修證(云云)。

師云。吾宗門下。毋論利鈍賢愚。但以信而入。既發起猛
利心。如坐在鐵壁銀山。祇求迸出。諸妄想心。悉不能
入。觀照功行。安將寄乎。果得一念迸開。如披雲見天。
如獲故物。觀照功行。亦何所施。祇貴參究之念甚切。其
參道。亦涉于功行。但不以功行立名。如看破世緣。切究
人。并法不隨順。若不以觀照為事。則有能觀能照之心。必
有蹈大方。心外無境。將十方世界。非妄而何。所以禪宗云。獨
坐斷兩頭。始得箇入門。向上語。寧之修。可謂圓證。
鬼家活計。此輩即不汗染之證。
名自欺。此輩即不汗染之證。
不無汗麼。即此不汗染之證。

如此則終日修而無修。掃地焚香。悉無量之佛事。又安可廢。但不著修證耳。九地尚無功用行。況十地乎。乃至等覺說法如雨如雲。猶被南泉呵斥。與道全乖。況十地觀照。與宗門。而較其優劣可乎。

智祖禪人問。諸方尊宿。每教人以一則公案。頓置面前。念念繫緣。名為參究。此於台宗止觀。專注一境。同耶異耶。若言其同。仍是教下工夫。非教外別傳。若言其異。彼則專注一境。此則繫緣一處。名雖異而實同。似是而非。乞求一決。

師云。宗門一則。非與諸法門為比。公案者。如公府之案牘。一句子不明處。只欲發明。貴在深追力究。非繫緣也。天台止觀。似不可以宗門較其優劣。止觀意在與法相應。如人行路。漸入佳境。參究意在。力破重圍。如披雲

見天。推門入白。天台以觀破惑。智德頓圓。窮之則有惑可破也。宗門以參從緣。心境俱寂。釋之則無緣可棄也。若以境緣同異較其非。是實霄壤也。

問。達磨西來。頓翻窠臼。惟一心地法門。直指人心。見性成佛。嗣後五宗迭出。門庭種種不同。曰五位。三玄。四賓主。乃至四料揀。為復法應如是耶。為復羣機差別耶。若謂法應如是。則教中云惟此一事實。餘皆方便。直指門中。不應有方便。若謂機有千差逗機之法。應爾。則楞嚴二十五圓通逗機之法。已悉何必另為贅枝駢拇之法。初祖東來。多此一番跋涉。

師云。達磨西來頓翻窠臼。授受之際。實無二法。何以曰五。主法者有五。不得不曰五宗也。豈以五宗者塞礙一心地之法門乎。乃至三玄五位賓主等語。盡屬名言。悉單傳

之註脚耳。果得千聖不傳之道。三玄五位。賓主君臣。如
指諸掌。法如是故。非差別逗機也。若在三玄五位上。印
證心地法門者。大似就枝榦而索其本。非即非離。即枝榦
非得其本也。離枝榦亦非得其本也。若本者。枝榦之本。一
枝榦者。本之枝榦。果是智人。思之可見。教中謂惟此
事實。餘二則非真。非真者權之謂也。非權無以導。其實
非實。無以開其權。雖是謂權歸實。又何妨權實並彰也。
教中之權各趨岐徑。宗中之相惟據本參。本參破如月印千江
岐徑通若風號萬竅。似不可以圓通差別之法與玄位。同日
而語也。初祖之來。法門尚矣。豈曰贅乎。

問。從聞思修。入三摩提。大小乘法爾如然。似不可廢。
即古德亦有云。三藏十二分教。某甲粗知。又云。先以聞
解證入。後以無思契同。是知聞教。然後參禪。千聖不易
之規。奈何近時尊宿。不觀學人曾否。聽教一例。示以無

滋味話。令彼早晚穿鑿。不落妄想。便墮無記。又為山
云。此之一學。最妙最玄。又云。若有中流之士。未能頓
超。且於教法留心。當為山之時。正像法隆盛之秋。猶
然。若是分別。而當今之世。正值末法衰殘。豈得人皆利
根。一槩以上乘法投之。況觀機逗教。應病與藥。似不可
廢。

師云。余答劉居士問。謂宗乃教之綱。教乃宗之目。如依
教修行。當以證入契同。為克家也。聞解似易。無思誠
難。惟吾祖師門下。以思無思之妙。又云。心如牆壁。乃
可入道。亦不以聞教不聞教。為不易之規也。如教中誦一
句伽陀。忽然大悟。又云。一言之下。心地開通。豈待遍
涉名言。方稱悟入。參究者。非涉於穿鑿。穿鑿二字。法
門大害。教中或有之。而宗門實無也。此之一學。最妙最
玄。當人人期於頓超。豈可甘心中下法。不論像末人。不

論智愚。惟辦肯心。是為上智。反末法為正法。翻中下為上根。似亦不難耳。

問。三無漏學。因戒生定。因定發慧。我佛誠言。而妙喜則云。他人先定而後慧。老漢先慧而後定。大與佛經相違。若以時事驗之。如人酒迷。慧性顛狂錯亂。酒醒則狂性自息。則慧先定後。妙喜之言。愈為有理。大師於佛經祖訓。若為會通。

師云。先定而後慧。佛之誠言。先慧而後定。祖師慈訓。二俱略之。非定論也。如人修定。若無慧為先導。則不能修。慧不妨在先也。有慧而戒立。戒立而定生。定生而慧朗。如環上尋輪。求其始末了不可得。以此觀之。大慧亦為賸語也。實佛祖符合。又何待會通。

問者。後生大空。會通之。
永嘉云。了則業障本來空。見道語也。而西土師子尊
此方可大師。俱了了人。何業障不空。必待訓償而
已。若謂償處正業障空。則造十惡人念佛。帶業往
亦必回娑婆。償宿業者多矣。若謂大了之人。業障實
了之。人反不及念佛十倍。則師子可師。仍居未了之科。師何以
能超念佛十倍。則師子可師。仍居未了之科。師何以

師云。業障空。是不易知也。若謂遭王難。是償夙債。實
不達業障空。非正論也。豈不識水月道場。空花萬行。鏡
裏魔軍。夢中佛事。汝以夢中惡念。帶業往生。諸惡頓
空義。償不忘因。非回償也。下品下生。見佛尚遠。歷胎既
釋。趨果得花開。非不償也。與宗乘中。較其優劣。不亦愚
乎。

問。雲門請益。睦州悟道因緣。傳燈會元載之甚悉。其見
雪峯。居然知識矣。並無請益語。盡皆問答語續。後出
世。何故不嗣睦州。反嗣雪峯為。復以人盛衰。易其心
耶。則非祖師所為。何能取法。後世且嗣法。昧心韋馱。
明加其杵。若謂錄語有略。則授受之際。千古慧命來源所
繫。豈可妄自筆削。諒必有說。乞師補之。庶免後世嗣法
之溷。

師云。雲門見睦州。夾斷一足。即有悟入。非大徹也。初
見雪峯。即命眾迎五百人知識。是雪峯以法眼印之。次日
上雪峯。峯纔見便曰。因甚麼得到與麼地。門乃低頭。從
茲契合。且從茲二字。非借辭也。況後溫研積稔。以印心
宗乎。非敢以盛衰易其心也。今時人以玉彼之師為冤家。
以印彼之師為恩故。殊不知。印彼者未必是。玉彼者未必

非。以非為非者。不失法會之正因。以非為是者。終陷泥犁之惡報。寧可千生不悟。不可一日著邪。滴血之語。豈欺我哉。當悉審詳。毋容輕忽。

剡水禪人問。教外別傳者禪也。淨因禪師以一喝而收五教。然則五教皆禪教外者。何謂乎。

師云。淨因以一喝。圓收五教。以解講華嚴者之惑。豈不聞一喝。不作一喝用。縱古佛與大菩薩到此。亦斂衽矣。況其聰敏及機智者乎。所以云。一喝能收五教。五教所不能收者。禪也。

問。禪不外教。教不外禪。唯字與聲。實無二相。別傳者。又何謂乎。

師云。禪稱教外者。非教中所列之禪。實乃世尊拈花。非字與聲所載者。彼時百萬人天。悉皆罔措。若論聲教所詮者。又何待迦葉微笑。世尊印定有教外別傳之旨故。知四十九年。未曾吐露。者箇消息。實是教所不能言者故。曰教外實是教中綱領故。云離文字相及言說相。貴在悟徹故。稱教外。果教外而別有傳乎。

問。清涼大師以禪為頓。似依六祖壇經判。若錯俱錯。苟非頓是圓也。亦教苟非圓亦頓。禪自禪。非但一不能收五。即五亦不能入一也。展轉合明。增長迷悶。惟冀慈音宣流開示。

師云。清涼以禪為頓者。是抑禪而揚教也。六祖謂開示頓教大乘。是借路經過。正為宗門稱頓悟者言之。若云非頓是圓。其圓之一字。吾宗門中。亦不立也。苟立其圓。則

不圓矣。如云大方廣亦是顯果德之相。其法身之理。理絕對待。何大之可立也。諸法緣起。應變無窮。至體無外。卷舒自在。其方廣二字。亦是借言大方。廣對世間言說故。爾標宗頓入不思議者。亦賸語也。況五教云乎哉。吾佛以禪稱教外。愈明也。如人生在王家。不說貴相。又如九品至一品者。品品可收。惟生在儲宮者。豈品級可收也。禪在教外。不言可喻也。

無異禪師廣錄卷第二十五

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依

卅新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十六

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

宗說等錫上

示金庭蔡坦如居士

居士欲成辦箇事。於祖師門下。當發深信。速了生死。再有一法。過於此法者。無有是處。此一句話頭。是換骨靈丹。是返魂妙藥。是伐生死稠林底利斧也。所謂無量法

門。百千見刺。一切計執。五陰魔怨。纔沾著此一句子。如看
則瓦解冰消。更不起第二念。何以故。即此去處不用止。心不用觀。定
一口氣不來。畢竟向甚麼處去。妄不用伏。則自然帖帖
火燄中。祇欲奔出。見不用斷。能燎一切。如神箭斷矣。故云。道人行處。徑
不用習。慧不利用。如烈火故。能掃一切。則返迴勢。玄沙可謂。得法門之絕
地。謂心猛風擬。豈但沒羽。無返迴勢。高低一顧。萬象又少分。故
切。如猛風擬。豈但沒羽。無返迴勢。高低一顧。萬象又少分。故
虎。纔生擬。豈但沒羽。無返迴勢。高低一顧。萬象又少分。故
如火消冰。箭既離弦。若新令。大師云。滄海為墨。不能書到此田地。假
路。入法門之標的也。發新印。筆。流出。非強言也。若未到近時
再甦。便乃通凡聖。以須彌裏。瓶瀉。盡成顛倒。知見。如近時
眾流。不照乾坤。從者如瓶瀉。盡成顛倒。知見。如近時
普眼。照乾坤。從者如瓶瀉。盡成顛倒。知見。如近時
云大藏小藏。偈頌如瓶瀉。盡成顛倒。知見。如近時
語如雲興。偈頌如瓶瀉。盡成顛倒。知見。如近時

者。將古。人公。案。逐。句。下。語。悉。以。義。路。符。之。識。者。一。見。
則。知。宗。風。掃。地。謂。痛。哭。流。涕。者。不。亦。宜。乎。予。到。敝。鄉。見。
吳。太。史。問。曰。大。師。曾。見。弟。子。頌。古。否。予。曰。何。以。見。之。予。
如。曰。居。士。頌。婆。子。燒。菴。謂。寒。巖。枯。木。太。僧。生。豈。不。是。不。肯。
者。僧。麼。籬。相。似。假。知。識。論。此。公。案。禪。萬。一。未。曾。夢。邪。在。網。中。便。爾。知。祖。庭。一。
脫。桶。籬。近。時。魔。風。出。否。若。有。緇。佛。之。深。恩。也。
非。秋。人。能。以。衲。衣。覆。之。可。謂。報。佛。之。深。恩。也。

祖庭秋晚
紛馳棒喝

賴有智者
加諸盲者

遍界魔風
斷手折足

孰喜孰嗔
謂應機也

遍體流血
謂不領會
三千七百
下語偈頌
我書此語

不知痛癢
目爾裁抑
大有樣子
大學語之
居士勉之

大笑猖狂
苦哉痛哉
奪食驅耕
是生死本
置心一處

是何模樣
神號鬼泣
決無此理
肯自干休
今正是時

示壁如禪人

夫為學者。父母生成。一具靈骨。如黃金鑄。就只須深生
正信。浚發大機。知佛所說一代時教。不求妙悟。盡逐虛
聲。雖是多聞與不聞等。如象陷於泥。雖有全力。不能跳
出。良可愍也。如仁者生於大族。幼為貴介公子。復從科
第中來。及出仕做官時。供養法師。殷勤請益。於教乘
中。無不通達。及問著己分上事。則無可奈何故。知名言
數句。非究竟法。惟吾祖師門下。不起知解。直探本源

子。從本覺起而熏無明。論四德本來是有。不從種子生。
從因作名故。稱種子。能侵損本識故。繇是行人信樂大。
乘。以大智慧無明故。又當知。本識極劣無記。非能熏也。唯
成。因位熏及相應一本覺。斯起。純成四德。閻室。一燈能破。則彌
七。轉識。無觀。不三昧。祖師。始是到家時節。不然只饒及盡玄微。
此。無明。本識中。身好通氣。非當家種草也。
圓。時本識。淨色。便為活計。他門。
滿。清淨。現色。別為活計。他門。
普。現色。便為活計。他門。
入。便為活計。他門。
頭。別為活計。他門。
他。門。別為活計。他門。

一具黃金骨
通佛所說教

深生於正信
當求妙悟門

浚發大機用
若滯名數句

聞與不聞等
直探於本源
而堅於現行
淨法亦如是
本覺熏無明
識想從何起
待了本因緣

惟吾祖師禪
心如墻壁入
展轉生燒相
以佛果德相
如沸湯澆雪
清淨不容他
再為仁者說

端不存知解
阿賴耶執受
數數無間然
成行人因位
四德純圓時
十界用無輟

示證之禪人

夫為學者。熟爛聖經。凡一言一字。須消歸自己。所謂佛
已具知見。何用更開。謂開眾生佛之知見耳。如貧家伏
藏。若獲其藏。更不復貧。圓覺云。如來大光明藏。是眾
生清淨覺地。既稱清淨。何有眾生。下文云。永斷無明。
方成佛道。復云。此無明者。非實有體。果知無體。大光

明藏。觀體全彰故。云如來因地。修圓覺者。知是空花。知
即無輪轉。斷云。非作故無。本性無故。至普賢章云。知
幻即離。不作方便。離幻即覺。亦無漸次。中峯大師云。而
此二章。宛有衲僧氣象。至於以幻圓融。何妨行布。殊不
言之。一念具三千。一心融萬行。絕去來之跡。延促同時。
知。一遠近之殊。遐邇一致。當下無我法界理成八相。成道於
泯殊方。猶若今日。獲大寶車。行步平正。其疾如風。所謂圓
融而此則知。纔聞名字。猶為臆語也。若乃證三德。以
究六即之是非。便乃斷吾不相見也。觀行斯起。無明斯斷。六根斯淨。
楷國祇劫。再與諸昆仲別峯相見也。

化花離立行故非覺禪斗緣
佛空中云不可萬劑知圓師筋因
受空即不具分便大祖翻本
眾生如幻亦一念無證稱覓空了
眾猶知知一理果斯欲懸待

眾生體死實際心塵知立脚兒裂
眾無生實悲微真不註獅子腦
一切明於斯大界曰證乘獅皆
化無了了興沙此因宗如獸
化知即覺而恒證了悉譬羣

見得中覺中劫證說羅猛議說
知不可地云立多圓人勇思者
佛不因地即不可圓稱因脩大不仁
以生來幻不此時對勝生吼為
佛如離於一即證最而哮再

示象先禪人

總得餘故。所以云。一葉落天下秋。一塵起大地收。乘此
寶乘。遊於四方。嬉戲快樂。不亦宜乎。或云行布位次。
教有明文。何乃執心。頓廢斯旨。是真如一心無盡之理。則一切
次無盡。心無盡故。若能了此真如他心。亦同無盡。如一燈
六度四攝萬行。皆無有盡。轉示他心。初祖達磨。以無盡之
燃百千燈。冥者皆明。悉無盡故。初祖達磨。以無盡之
旨。傳無盡之燈。爍萬劫昏暗之迷途。成一時光明之佛
事。須從悟入。不假言詮。果發明大理。如烈火沸湯。不
容片雪。無明不待斷。而自斷。果位不待成。而自成。如
祖師門下。單提一句話頭。看一口氣不來。畢竟向甚麼處
去。如在萬丈坑中。祇欲跳出。縱八境交加於前。亦不暇
顧。若一刻中不尋出路。則喪身失命了也。故云。如一人
與萬人敵。覷面那容眨眼看。如此用心真切。則[口@力]地
一聲。桶子底脫矣。依然舊時。人不是。舊時行履處。佛
法尚不留些子朕跡。況人我世緣。曰脩與不脩者乎。

緣門說歇說果劫求法明岸成來出
字槃所間言佛大他心皆彼一切不跳
文涅槃佛無於覓三向一悉登一氣親
離入況說離何遠不此者然成一口要
不速何互遠云長更了冥條一一祇

持慧相生眾心有足竭暗底斷禪坑
總邊實眾聽自心具無幽到一切師丈
顯無談及所識自本用破直一祖萬
字就乃佛無不離寶綿綿燈流斷樂在
文成尚心亦若豈珠綿慧截一當如

字用林種者議嚴成門方河後礙去
文者樹智說思莊圓濟四渡先無處
無道與滋能不妙悉利於象論通甚
持為鳥不無名土念開行香不理竟
總而水而亦是國一廣遊如更教畢

八境交於前
那容眨眼看
不是舊時人
便是好時節

亦不生暇顧
如此切用心
世緣何處有
待了本因緣

如人破大敵
倏然桶子脫
不於世生心
再為仁者說

示超乘禪人

夫為學者。最先要具擇法眼。將如來一大藏教。疏通理本。徹究行緣。心絕狐疑。成辦箇事。永明大師云。備一乘之基地。堅萬行之垣牆。始能架高造實不妨。向吾祖師門下。求箇徹頭。不然。盡掠虛聲。非關究竟。須知。宗之一字。是教網綱維。如起信論云。止者止一切相。乃至心不可得為止。而觀因緣生滅為觀。永明云。或以理觀。對於事止。謂契理妄息也。或以事觀。對於理寂。謂無念知境也。當知。參禪之者。纔提起一句話頭。妄想心不待

人不稟。吹毛用了急須磨。理徹寰中。見超物表。了吹毛
之利。慎勿遲疑。廓照用之機。毋容住足。豈淺根劣解者
之所能知。非守株抱愚者之所能到。果深信於教外別傳之
者。觸目逢緣。當以斯意。自勉也。

若了生死源
亦不涉狐疑
譬如架樓閣
能盛獅子上
欲究名真止
是不涉於三
當體離心多
未遂拈花旨

先具擇法眼
具此淨白心
先當築基址
教理通無礙
單提一句話
五百安心門
何關於五教
心念遠離故
法界斂毫端
吹毛用了時

行理俱通徹
始求無上道
又如琉璃瓶
作宗乘助緣
不起分別想
無心頓超越
果絕後再甦
邪見無第二
猶是第懷遲
慎勿懷疑

頓入不思議
再為仁者說

始名甘露滅

待了本因緣

示寓中禪人

夫為學者。徹究根原。無煩枝葉。何謂根者。三界惟心。何謂原者。萬法惟識。故云。未達境。惟心起種種分別。達境。惟心已分別即不生。祖師云。若人識得心。大地無寸土。良以聽學之人。誦得名相。齊文作解。心眼不開。全無理觀。習禪之者。惟尚理觀。觸處心融。暗于名相。二俱互闕。或忘緣。趣解脫之門。或執妄。取究竟之果。撥波求水。即泥是瓶。不了唯心。妄生執著。不了唯識。妄意有無。永明大師云。阿賴耶識。廣容周遍。為萬法之根原。此體不可說。微細最難思。周遍法界。而無住心。任持一切。而不現相。入唯識之正受。破計執之邪心。楞

汁。便好將身帶活埋。

究竟根原人
不生分別想
二者交互通
究竟無妄取
遍界無住心
淨穢唯心變
入圓成實故
如摩尼雨寶
心境雙融處
抖出虛空髓
藉寓法界垣
禪道從斯瞥

無煩於枝葉
誦文尚理觀
是名佛出世
識體最微細
任持不現像
了此唯識性
離依他遍計
理與行交徹
入此無礙門
沒跡莫藏身
中道不須論
待了本因緣

唯識與唯心
習禪了名相
解脫非忘緣
深密不思議
成無上妙圓
流出諸如來
似磁石引針
行與理俱濟
藏身沒蹤跡
掀翻大地藪
生鐵流金汁
再為仁者說

示道揆禪人

夫為學者。圓頓之教。了義之詮。廣博精研。窮源極數。
一一得其實用。慎勿執名相階級。并遮表文字。障諸佛之
光明。翳眾生之慧目。執持行位。違遠圓通。不識方便之
詮。盡落止啼之說。當知。吾佛的指生心。是心作因。是
心成果。是心立位。是心標名。於無名位中。而安名位。
不離跬步。法爾如然。于無因果中。而建果因。豈待報
緣。而隨念具足。華嚴經頌云。若以威德色種族。而見人
中調御師。是為病根顛倒見。彼不能知最勝法。良以眾生
自生劣想。昧本勝緣。不識果顯之法身。是因隱之本覺。
非他佛智遍自。是自佛智遍他。非自因趣他果。本是他果
極承我因。以此則知。因果同時。聖凡一道。了無二相。
即過羣魔。直剖純圓。豈存漸次。不得一法安住佛乘。果
然一道齊平。則萬差俱泯。古頌云。千尋滄海底。萬仞碧

峯頭。日出當中夜。花開值九秋。若不如是。盡是背覺合
塵。捨已循物。華嚴論云。滯名即名立。廢說即言生。指
鹿作馬。期悟遭迷。執影是眞。以病為法。錯解佛意。謬
生緣。如來說名可憐。憫者。不亦宜乎。惟吾祖師門中。
一句話頭。挫鋒破敵。譬如窮海。到底方休。看一口氣不
來。畢竟向甚麼處去。非思議之可知。豈情識之能解。四
相離而命根頓斷。四病了而慧性純清。如日照秋霜。似箭分
穿石鼓。其話頭功。力。百千萬種。脩證之門。不能較其少
也。故三千七百祖師。非此門。無繇出路。如六祖問南嶽
大師。汝在甚麼處來。曰。嵩山來。祖曰。說似一物即不中。
來。嶽無對。遂經八載。曰。修證即無忌諱。可謂透網金鱗也。
祖曰。還假脩證否。吐語。不犯纖毫表裏。果知去處。則知來
他悟底人。開言來。當疑情頓發。針筍不入。水灑不濕。盡
如看一口氣去處不明。當疑情頓發。針筍不入。水灑不濕。盡

大地黑漆漆地。撞不入頭。要得箇入頭。既得箇入頭。要
得箇出頭。須信有千聖不得從毫末。聖無累脚。大似隔靴抓癢也。
孚座主聞鼓角聲。窮諸玄乃至汝功。撞不入頭。要得箇入頭。既得箇入頭。要
捏一滴。皆以此則知。撞不入頭。要得箇入頭。既得箇入頭。要
一形。患。以。此。則。知。撞。不。入。頭。要。得。箇。入。頭。既。得。箇。入。頭。要
。以。此。則。知。撞。不。入。頭。要。得。箇。入。頭。既。得。箇。入。頭。要

圓頓了義教
慎勿執名相
勝劣若生心
是因隱本覺
了無二相者
未乃稱佛乘
期悟復遭迷

廣博窮其源
雖說功行位
病眼顛倒見
因果同魔境
即過名即佛
滯解於佛意

一得實用
心具悉無
果顯之遺
不生遠近
不知此法
不說更言
廢說更言
惟吾祖師

單提一句話
工夫非作意
命根斷何起
果知甚處去
聖揆無羈滯
一口氣不上
信有向終不
情想了本因
待了本因緣

譬如窮海者
止滅任俱離
百千脩證門
即會與麼來
動念屬染污
疑情須頓發
是諸祖行徑
有志丈夫兒
再為仁者說

到底始方休
我人眾生相
不能喻少分
道心絕遮攔
生情即藥忌
大地黑漆漆
不得此路時
豈肯暫休歇

示同水禪人

夫為學者。凡經律論。三藏文字。大小偏圓。靡不遍涉。
清涼大師云。以聖教為明鏡。照明自心。以自心為智燈。
燭經幽旨。如鷲王擇乳。如日照高山。大心圓信。繇此深

驚。正此圓想。發妄源。旨。而一切全迥。達本為
不。善初相。而因斯之空。一切法而無。如
經。種來德。斯只達。一心至極。言有具外之
是。而如。智慧聞。云。不一。象。而情。超。別。本。智
聞。佛。云。來。耳。文。著。知。萬。佛。凡。超。分。靈。有
若。佛。五。經。如。見。下。執。當。羅。至。絕。餘。妄。含。無
云。四。嚴。具。知。見。下。乘。有。森。賢。頓。有。切。慧。故
經。三。華。皆。之。義。二。有。云。聖。礙。而。一。慧。故
劣。佛。二。矣。生。佛。妙。何。云。聖。礙。而。一。慧。故
下。佛。根。矣。生。佛。妙。何。云。聖。礙。而。一。慧。故
生。一。善。根。矣。生。佛。妙。何。云。聖。礙。而。一。慧。故
自。於。諸。一。開。了。凡。礙。海。極。事。含。智。如。空
境。非。種。一。華。了。凡。礙。海。極。事。含。智。如。空
聖。此。所。奇。哉。法。懷。謂。無。礙。海。極。事。含。智。如。空
推。此。佛。哉。正。之。證。得。圓。融。歸。海。大。涼。得。大。則
高。知。佛。奇。正。之。證。得。圓。融。歸。海。大。涼。得。大。則
可。當。萬。源。佛。能。則。殊。派。極。解。若。人。天。淨
不。當。萬。源。佛。能。則。殊。派。極。解。若。人。天。淨
切。者。千。云。同。稱。而。本。教。眾。而。聖。疾。本
入。怖。於。百。嘆。聖。者。著。妄。機。百。至。無。經。等。妄
入。不。已。覺。即。信。執。如。隨。極。法。收。出。皆。淨

智所入。亦無如外之智。能證於如。約偏計而妄空。即凡
心中。無他無自。舉體覲具。非聖非凡。理無脩證。行絕參
差。若有之譏。約理故說無漏智性。不假他營。約事則無所求
中。吾故求之耳。萬行並起。一性圓明。一切身入一身。一
切劫入一劫。是以初心。便成正覺。不壞本相。因果同
時。如十信攝於諸位。諸位十信歷然。如十住攝於諸位。
諸位十住不亂。不亂即行布。互具即圓融。故有相即相
入。非自非他。如乳投水。廢已同水。彼成已成。故得一
多無礙。大小相融。恒沙斂於微塵。多劫彰於頃刻。假使
有人。縱經多劫。六波羅蜜。善提分法。未聞此如來不
議大威德法門。或復聞已不信不解。不順不入。不得名
真實菩薩。以不能生如來家故。若聞即便信受。隨順悟

入。當知。此人即如來真子矣。清涼大師云。剖微塵之經
卷。則念念果成。盡眾生之願門。則塵塵行滿。如於一塵
中脩一切行。一切塵亦然。一剎那際度一切生。一切劫亦
然。以此無行之行。無生之生。終日無化。其行度大焉。
若不了此圓妙之旨。未免有亡羊喪真之嘆。經之過歟。人
之過歟。

佛以一音聲
不能測佛智
非凡聖本同
了諸經妙義
凡聖了然故
多劫入一時
因果同不可
已亦不可得

對機種種說
聞經不驚怖
莫生優劣想
亦是名大聖
因該於果海
勿生分別想
萬法本如如

眾生妄分別
斯人多善本
聞斯發圓信
亦不生凡情
一身入多身
果徹於因源
萬法歸自已
如亦不可立

譬如乳投水
大小互無礙
若覓祖師禪
庭前栢樹子
待了本因緣

廢己即同水
最妙最深玄
心如墻壁入
纔生分別想
再為仁者說

彼成己亦成
是禪門註脚
更問西來意
灼然沒交涉

示雪憨禪人

夫為學者。以一大藏教。開自己清淨眼目。自眼本淨。何
用更開。為不了者說。圓覺經云。皆以圓照清淨。永斷無
明。方成佛道。知無明本無。識性虛妄。猶若交蘆。則山
河不礙於眼光。根塵何傷於覺體。照破恒沙四天下。似不
難矣。今時學人。孰不知妄心無體。及乎徵妄。妄念紛
然。則以妄印心。縱脩阿僧祇。終無了底日子。何以故。
以沙作飯故。錯亂脩習。知妄空而認有。斷妄何期。知即

之寶藏全開。饑虛普濟。窮子之衣珠頓獲。永絕攀求。寶
王剎現於毫端。大法輪轉於塵界。便好安水月之道場。脩
空花之萬行。報無報之慈恩。豈待歷僧祇之劫也。不然。
至等覺。猶乃被呵。南泉之惡口可據。成佛果。尚云擔
糞。德山之痛棒堪加。汝既發心。當生深信。只此一門決
了生死。看一口氣不來。畢竟向甚麼處去。忽朝疑團迸
破。眉毛祇在眼上。一口氣演出一大藏教。一一毛孔中。
悉得究竟堅固。無位真人。在汝面門出入。六根門頭。則放
光動地也。如疑情不破。誓不休心。直須切上加切。疑上
加疑。慎勿向人涎唾下。別求開示也。若知到不到者。大
慧黃楊木。高峯不夢不惺時。識得自己主人翁。便好長伸
兩脚臥。

性本自清淨
一門頓超出

非佛亦非生
的指因地心

十方諸如來
具足果中行

想學提無中想剎劫來疑破事憨說
證無菩虛是論王祇不加團實癡者
脩超求本於戲寶僧氣更疑論放仁
起指果體何成端待一口上朝剝好為
不彈計物云皆毫豈一疑一朝剝便再

證地成遍體非故恩話切出頭雪緣
圓摩斯周明合然佛句更加迸人片因
即三義元淨和了報一更親石爐本
脩幻客性妙緣性名提上欲打紅了
了如旅見悉因真是當切祇雨如待

脩脫去見緣是藏輪禪去間賊間舌
圓解來倒見非來法師處壁真世饒
得真無顛與及如轉祖甚鐵驗出多
具名主名見是藏塵究竟坐賊間不
知是亭是斯有識微欲畢如捉世更

宗說等錫上

無異禪師廣錄卷第二十六

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十七

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

宗說等錫下

示弘傳禪人

夫為學者。發大信心。成大力勢。於大乘圓頓法門。成辦大事。如覓諸味先飲醍醐。復得餘食。知苦澀故。不然。於眾味中而生足想。聞醍醐味。不生好樂之心也。大涅槃

經云。我今當令一切眾生。悉皆安住祕密藏中。入於涅槃。何等名為祕密之藏。具三德故。如[、/(、*、)]字三點。若並則不成[、/(、*、)]。縱亦不成。乃至解脫之法。亦非涅槃。如來之身亦非涅槃。摩訶般若亦非涅槃。我今安住如是三法。為諸眾生。名入涅槃。以此則知。如來涅槃即眾生心是。佛說我者。即是覺義。以自心覺故。常樂淨義。悉備自心故。為眾生安住。非為佛安住也。如觀一微無體。真如性遍。觀者即般若。無體即解脫。性遍即法身。一塵中即具三德。即入涅槃。非縱非橫。圓融無礙。以此則知。一事一行。一一皆入法界。具無邊德。是無盡宗趣。性起法門。無礙圓通。實不思議。清涼大師云。凡聖交徹。即凡心而見佛心。理事雙脩。依本智而求佛智。或執理而迷事。或執事而迷理。而不知。約圓明之智。成此事緣。又不知。起行布之緣。求此理佛。當知。即事之理。念念果成。即理之事。心心行起。不明斯旨。俱墮偏

枯。約理始曰圓修。融事方成圓行。如亡情則染分自淨。真體自明。無事則淨分自清。妙用斯起。如剎那際。忽染忽淨。則剎那際染分淨。耶。非比禪門。失意之徒。縱情人者。不可須臾失照。若不達此意。俱落斷常。永沉邪見。故云。剎那際。剎那際。證。剎那際。證。一切證。非與執。計無脩節矣。又當知。曠劫脩。一斷一切斷。剎那滅却阿鼻業。當知。甚自知時節。剎那脩。故云。彈指圓成八萬門。一而廢三。如滿。說脩說證。說成佛。不。

三十棒趲出三門外。何以故。功德天黑暗女。有智主人。
二俱不受。

欲究圓頓教
更不思餘食
如來有密語
縱橫悉不成
圓融互無礙
三德悉無具
事事與融無
脩一語須見
傳燈途俱不

須發大信心
無上大涅槃
決定無密藏
解脫即法身
即入涅槃城
一事與一行
亦名無盡藏
亡情染分淨
俱是兩頭語
何妨荊棘林
弘揚深妙法
待了本因緣

譬如飲醍醐
一切眾生入
三德一心具
法身即般若
如觀一微空
不離法界性
凡聖交互通
一念即三祇
惟吾祖師門
不貴琉璃碗
頓入不思議
再為仁者說

示夢西禪人

夫為學者。看如來一大藏教。為了生死大事故。譬如入海取寶。先求如意之珠。如上山採藥。首得阿伽陀。能療眾疾。如來一大藏教。唯說一心。若得一心。一切佛法。無不具足。馬大師云。佛語心為宗。無門為法門。知無門為門者。運大悲心。說法無盡。楞伽經云。世間離生滅。猶如虛空華。智不得有無。而興大悲心。又云。一切法如幻。遠離於心識。智不得有無。而興大悲心。據此二偈。五法三自性皆空。八識二無我都遣。何以故。謂生滅之法。如空華故。謂心識之緣。如幻化故。圭峯亦云。識如幻夢。但是一心。知如夢者。夢不實故。知如幻者。幻性離故。知如花者。捏目成故。亦不可詰夢之有無。幻之真假。華之生緣。何以故。若將妄窮妄。無有了期故。我世

尊於楞伽會上。以非字法門。訓一百八問。於此脩學。
頓悟自心。何待劬勞。肯綮非異。譬如泥團微塵。非異非
不異。知是真心識藏。亦復如是。浮
何以故。一切妄想。性自離故。經云。若見離自性。浮
雲。火輪。捷闔婆城。無生。幻燄。水月。及夢。內外心
現妄想。無始虛偽。不離自心妄想。因緣滅盡離妄想。說
所說。觀所觀。受用境界。離生住滅。自心起。隨入分
者。不相應。無所有境界。離生住滅。自心起。隨入分
別。大慧。彼菩薩。不久當得生死涅槃。平等大悲。巧方
便。無開發方便。果知七種喻中見離自性。生死涅槃。豈
但平等。等如空華。云何不三昧。以一切法無我故。若知緣
一切虛妄法者。即得如幻三緣生。破斷見故。即此二句。超
出生外道一切見故。良以。末法邪魔熾盛。正法澆漓。用識

心。妄擬禪宗。縱無明。咸稱悟道。如吹水尋火。掘地覓
天。坑陷無知。墮無間獄。當知。宗門妙悟。悉合聖經。
不落言詮。離諸名相。不是斯旨。謂宗是別傳。非關於
教。殊不知。拈花微笑。是宗門中。一條徑路。貴在直到。一大事
因緣也。一大藏教。一口氣不來。畢竟向甚麼處去。一朝打破
打之透耳。如看一資生業等。皆順正法。況如來親行親到
疑團。治世語言。資生業等。皆順正法。況如來親行親到
親證法門也。

如來一藏教
先求如意珠
若了唯心法
更不向他求
如幻亦如夢
亦不識方隅

為了於生死
為藥得阿伽陀
具足亦如法
世間生滅有
智不得醒然
夢醒醒然故

譬如入海者
能療眾生病
心宗無盡藏
猶如空中華
如人夢村落
不作東西想

何於夢境中
百八問俱息
又如金莊嚴
一切悉假名
得自覺聖智
超諸外道見
一條最徑路
畢竟甚處去
無有世間法
再為仁者說

分別夢中事
如疑團微塵
瓶盤釵釧等
大悲巧方便
入如幻三昧
宗是教之極
更不打破疑
無出世寂滅

一非字法門
非異非不異
但了金性故
如七種喻說
緣生無自性
滿口吐不出
一口氣不來
世間法常住
待了本因緣

示有文禪人

夫為學者。知諸佛立教有無量法門。惟參禪及修淨土。是
兩條徑路。亦不可兼之。良以。行人力量微薄。若兼之則

淨今阿起信謂大乘心之要。然菩提回向。即得身口明珠。投佛。法不成。若脩我阿起信。謂大乘心之要。然菩提回向。即得身口明珠。投佛。法不成。也。故云得誠心。二者深心。論曰。初所攝佛名。似不得念。觀。則。藝。子。至。二。論。初。所。攝。佛。名。似。不。得。念。觀。則。餘。種。一。者。二。論。初。所。攝。佛。名。似。不。得。念。觀。則。施。為。界。本。起。信。行。魔。時。執。持。惡。名。亂。心。稍。動。不。悲。法。中。之。願。起。乃。悉。一。佛。人。心。濁。亂。心。稍。動。射。以。大。與。章。萬。行。願。乃。悉。一。佛。人。心。濁。亂。心。稍。動。譬。如。願。中。行。願。乃。悉。一。佛。人。心。濁。亂。心。稍。動。深。入。菩。提。上。品。此。回。向。三。善。法。數。說。阿。彌。陀。佛。投。於。亦。宜。心。一。門。然。依。上。品。此。回。向。三。善。法。數。說。阿。彌。陀。佛。投。於。亦。宜。心。求。提。心。惟。如。無。拔。一。人。脩。行。發。心。聞。說。阿。彌。陀。佛。投。於。亦。宜。心。當。發。自。求。提。直。固。不。遺。心。要。念。經。云。此。一。句。佛。者。脩。求。提。心。又。如。無。拔。一。人。脩。行。發。心。聞。說。阿。彌。陀。佛。投。於。亦。宜。心。當。發。自。求。提。直。固。不。遺。心。要。念。經。云。此。一。句。佛。者。脩。雜。亂。當。發。自。求。提。直。固。不。遺。心。要。念。經。云。此。一。句。佛。者。脩。意。先。不。藐。三。直。德。下。不。發。一。也。彌。陀。當。知。單。持。不。清。靈。丹。如。心。土。發。多。羅。直。心。兼。載。天。下。不。發。一。也。彌。陀。當。知。單。持。不。清。靈。丹。如。土。發。多。羅。直。心。兼。載。天。下。不。發。一。也。彌。陀。當。知。單。持。不。清。靈。丹。如。論。樹。謂。經。提。當。往。業。於。所。門。

不。一。心。當。何。初。心。是。去。心。假。身。異。性。故。入。
到。不。礙。量。念。是。萬。國。眾。住。不。知。生。滅。而。
究。竟。所。念。一。心。純。行。陀。即。常。住。覺。無。克。
念。十。萬。佛。脩。道。善。知。不。遠。涅。槃。即。佛。義。體。
自。十。國。佛。圓。佛。初。則。但。出。世。者。謂。覺。樂。往。
念。生。十。此。即。是。以。此。豈。槃。離。眾。佛。名。速。
教。往。照。念。義。念。德。善。往。也。涅。若。有。故。向。
念。願。量。土。此。真。萬。後。願。有。念。離。云。何。壞。生。
去。當。無。量。達。空。足。名。妨。念。念。體。經。佛。無。深。
念。正。明。無。若。念。具。是。何。念。體。經。佛。無。深。
流。矣。佛。即。故。長。一。果。生。世。即。涅。槃。有。惡。此。
陀。淨。土。其。佛。即。故。長。一。果。生。世。即。涅。槃。有。惡。此。
彌。淨。土。其。佛。即。故。長。一。果。生。世。即。涅。槃。有。惡。此。
一。理。又。云。一。土。無。分。念。泯。即。彈。指。佛。名。矣。家。切。此。
將。則。又。此。理。善。俱。善。遠。念。知。佛。當。知。故。壽。
祇。亂。之。外。知。以。中。則。名。此。中。名。則。者。清。云。

彈指即往生
是名生佛家
至體離生滅
往生極樂國
有禪有淨土
莫能宣少分
待了本因緣

當體離諸念
性本清淨故
是名無量壽
更問祖師禪
猶如帶角虎
纔云向上路
再為仁者說

即見常住佛
眾惡無能壞
永離惡道名
滿口道不出
文字及語言
便爾唇齒結

示無遷禪人

性海本無際。淨穢交互通。但隨業用見。各得自受用。彌陀因地中。廣發大願力。現清淨土相。化彼念佛人。若人專意念。如子憶其母。想念心不移。分得心境淨。或觀妙色像。種種莊嚴具。憶觀悉成就。而得生安養。或於一剎那。即得念不退。念空得見佛。彈指即往生。稱此一佛

名。三根皆普利。譬如摩尼珠。能雨一切寶。一佛名如
是。成就一切慧。心淨即土淨。佛生了然故。一佛一切
佛。一切土一土。心外本無土。剎剎唯心現。若了唯心
土。生彼即生此。無生無不生。無不生生生。無不生不
生。無生生不生。若了無生者。緣起互無礙。生則決定
生。去則實不去。淨土妙蓮花。皆從自心有。淨心即是
佛。不可得思議。一稱南無佛。皆共成佛道。

附或問 示壁如禪人

或問。華嚴是毗盧根本佛門。理事行相。輪圓具足。顯佛
果位中智悲德相。具足無量乘故。無量乘者。無不收盡。
不知。禪宗稱頓悟者。何教所攝。豈非清涼判頓教攝歟。
抑亦未及圓教者歟。曰華嚴具無量乘者。以佛果德相。普
示眾生。用成因位。使大心眾生。繇此頓入。如水一滴即

同大海。頓發圓機。即眾生心中。具足如來智慧德相。此是教家極則。非比禪宗悟門也。如教家所能攝者。吾佛四十九年所說妙法。判教者。無不攝盡。何故復於靈山會上。拈花示眾。百萬人天。悉皆罔措。人天會中。豈無圓頓之機。又何待迦葉一人破顏微笑者歟。故世尊印定以教外別傳之旨。付囑摩訶迦葉。以此則知。五教所不能攝。唯禪門能攝五教。如淨因禪師一喝中能分五教。豈但一喝。即一語一偈。一動一靜。皆純圓之旨。非悟入者。可能彷彿萬一也。或禪宗稱頓者。是頓悟之頓。非判教之頓也。良以。教者貴在眾生以期悟入。如獲悟者。豈教之能攝也。當知宗門中。別有長處。古德云。此事不與教乘合。惟到者乃能知之。非諍言也。

或問。華嚴乃性起法門。眾生悟入者。於一塵中。徹見無邊法界。知心體合。達本忘情。徹諸佛之本源。洞眾生之

本際。故華嚴論云。其為本者。不可。以功成。其為源者。
不。可以行得。如生。在。王。家。天。然。之。貴。豈。禪。宗。稱。頓。悟。曰。
教。外。別。傳。者。過。此。而。別。有。長。處。耶。不。涉。此。大。教。而。別。有。長。
處。耶。曰。是。何。言。歟。以。期。悟。入。其。悟。入。二。字。與。言。說。之。相。
相。使。大。心。眾。生。也。如。言。說。之。相。即。是。而。不。期。妙。悟。者。經。不。
何。啻。霄。壤。之。遠。數。他。寶。猶。在。門。外。止。宿。草。菴。非。已。有。分。也。只。饒。
云。乎。如。貧。窮。子。入。不。思。議。法。界。未。稱。悟。門。須。知。如。來。無。邊。法。寶。之。
藏。還。如。窮。明。在。所。以。云。理。身。向。上。一。路。玄。微。為。豎。起。拂。子。師。奪。拂。子。猶。是。法。
頓。入。圓。事。云。如。何。是。法。身。向。上。事。法。身。向。上。事。龍。蛇。易。辯。衲。子。難。瞞。此。猶。是。擲。
更。有。為。山。事。如。何。是。法。身。向。上。事。龍。蛇。易。辯。衲。子。難。瞞。此。猶。是。未。
問。身。邊。事。便。歸。眾。有。如。是。作。略。非。跳。出。教。家。窠。臼。何。能。得。此。利。
法。身。邊。事。便。歸。眾。有。如。是。作。略。非。跳。出。教。家。窠。臼。何。能。得。此。利。

便耶。後問明招。樹倒藤枯。句歸何處。招曰。却使為山
笑轉新。師於言下大悟。曰原來為山笑裏有刀。當知宗門
中句。不落言詮。只此一句子。一大藏教註不破。不與教
乘合者愈明。所以稱別傳長處者。不亦宜乎。

或問。禪宗中。以悟入二字。超出教乘。法華經中。開示
悟入佛之知見。已具悟入。何待宗門以悟入為標的耶。曰
法華經中。世尊入無量義定。放白毫相光。繇是天雨四
花。已印證說法華竟。其會中大眾。不解不知。豈但悟入
之花者。如予淨土緣起中謂。法華是開示中一大事因緣。拈
花微笑。是悟入中一大事因緣也。故世尊從三昧安詳而
起。及乎三請。復云。吾今為汝分別說法。始說一大事因
緣。開示悟入佛之知見。文云。是法非思量分別之所能
解。良以。教乘非思量分別。則無可言說。是以。釋迦掩
室於摩竭。淨名杜口於毗耶。智不能知。識不能識。非大

悟門。無繇契會。故吾宗門中。妙悟不在言詮。其悟之一
字。如龍得水。似虎靠山。又如海船稍遇順風。則倏忽千
里。非比教家終日說悟入。而不求妙悟者哉。果能思經中
深義。以思入於無思。而悟入者。此人三乘圓極教網。所
不能羈。復從自心中。能演出一大藏教。如天台智者。圭
峯大師。即是宗門。非教家人也。於法華中豁然大悟。向
圓覺經一言之下。心地開通。妙悟者。在法華圓覺。非在
三大部及大小疏鈔者也。吾宗門中人。豈但圓覺法華。即
犬吠雞鳴。鳥啼花笑。觸處逢緣。皆能悟入。如臨濟大師
問黃蘗。佛法的的大意。三次俱不領會。復於大愚灘頭。
看破黃蘗用處。便云。原來黃蘗佛法無多子者。便是宗門
中長處。非教乘所能載也。

或問。如師所云知無明無體。便云本無。又指非作故無。
本性無故。復引知幻即離等語。便不假脩證。如楞嚴謂。

入云。宛有風有吾污染法證。超大融若長掃
一云。水火體。故污染法證。見超大融若長掃
云。即章地真證。無家之不能。離中。不。山。門。裝
以。覺。二。至。明。脩。不。教。脩。不。能。人。不。妨
何。圓。賢。乃。妙。繁。即。比。其。若。考。時。壁。以。不
盡。嚴。普。乃。明。肯。證。不。況。說。如。喪。弦。如。鐵。所。人
第。楞。殊。得。明。肯。證。不。況。說。如。喪。弦。如。鐵。所。人
次。但。文。可。皆。勞。脩。念。却。者。說。如。喪。弦。如。鐵。所。人
因。豈。不。可。皆。勞。脩。念。却。者。說。如。喪。弦。如。鐵。所。人
除。說。曰。心。塵。待。又。所。須。已。明。官。路。直。字。繫。縛。底
頓。此。大。心。塵。待。又。所。須。已。明。官。路。直。字。繫。縛。底
非。如。峯。徵。根。又。語。佛。之。大。理。已。明。官。路。直。字。繫。縛。底
事。若。中。處。荷。兩。頭。諸。佛。之。大。理。已。明。官。路。直。字。繫。縛。底
銷。曰。聞。經。之。旨。擔。是。一。此。云。大。一。條。一。箇。尋。箇。悟。徹
併。耶。不。聞。經。之。旨。擔。是。一。此。云。大。一。條。一。箇。尋。箇。悟。徹
悟。脩。豈。楞。圓。裏。不。污。染。也。塹。平。面。無。其
乘。不。汝。如。大。者。與。此。大。蹤。墮。坑。地。山。大。而
悟。不。汝。如。大。者。與。此。大。蹤。墮。坑。地。山。大。而
頓。便。幻。象。七。向。脩。即。明。毫。墮。大。壁。脩。不。與
頓。便。幻。象。七。向。脩。即。明。毫。墮。大。壁。脩。不。與
則。者。幻。僧。氣。識。丈。夫。云。得。真。發。織。是。云。鐵。不。與
則。者。幻。僧。氣。識。丈。夫。云。得。真。發。織。是。云。鐵。不。與
理。以。衲。空。志。祖。即。則。還。情。師。通。說。處。

地。成就種種行門。善念尚不起。況諸惡念者乎。

或問。離心意識參。絕凡聖路學。心意識作麼生離。識之一字。亦不惡。如教中說。小乘滅識取證。深密經。第八種子識。為如來藏。若說業種恒真。生怖難信。皆為凡愚而不開演。如楞伽經說。第八業識。即如來藏。維摩亦云。塵勞之儔。為如來種。又云。未具佛性。亦不滅受而取證也。受既不滅。想識亦然。如楞嚴識性周遍。華嚴以大悲行。從無作根本智起。不屬五位之內。行相因果。專以佛果示悟眾生。明佛果無二愚也。何心意識而可離乎。雖設行相法門。佛不說之。總令當位菩薩自說。佛但放光表之。然安立佛果行位。為悟大根眾生。故將佛果直授為因。因即以身相及身毛孔。國刹重重。菩薩佛身互相攝入。界。一一身相及身毛孔。國刹重重。菩薩佛身互相攝入。雜類眾生。身土相入。悉皆無礙。以此則知。佛果決無二

愚可斷。大根眾生。以果為因。無愚可斷。愈明。況滅識
耶。宗門中。人。參究。向上。一路。更超。出此。根本。法門。一步。
何云。離心。意識。耶。曰。宗門。中說。離心。意識。理極。深玄。非滅
識也。謂。單提。句頭。大。理不。明。如。臨大。敵。心。意。識。要
起。起。不。得。以。此。曰。離。非。斷。離。之。離。如。圓。覺。云。知。幻。即
離。亦。非。有。可。離。之。離。也。只。此。一。句。話。頭。能。超。教。中。無。數。方
便。如。天。台。一。心。三。觀。性。惡。即。真。全。性。起。脩。乃。至。一。色。一
香。無。非。中。道。若。非。妙。悟。盡。屬。六。即。是。非。如。黃。葉。止。啼。終。無。得
發。圓。機。止。獲。五。品。未。免。楷。諸。未。悟。者。乎。故。吾。宗。門。長。處。纔。初
發。比。論。如。好。堅。樹。一。出。土。而。迥。壓。羣。陰。所。以。宗。門。最。捷。最。徑。便。不。與。教。中。故
云。禾+卵]中。雷轟。電掣。三。乘。已。逾。眾。鳥。矣。十。地。魂。驚。是。真。語。者。實。語

者。如洞山大師偈云。如荃草味。如金剛杵。正中妙挾。
敲唱雙舉。又云。通宗通塗。挾帶挾路。錯然則吉。不可
犯忤。天真而妙。不屬迷悟。可謂悟之一字。亦沾染不
得。況三乘教理。肯留些子朕迹。故宗門入處。掀翻世
界。掉轉乾坤。最極深玄。所以云。一大藏註不破。法眼
大師云。理極亡情謂。如何有喻齊。到頭霜夜月。任運落
前溪。當知初心即能超過一切法門。諸悟入者長處。豈毫
楮。能罄之者哉。

佛指生因心
是眾生因心
法界性緣起
安得常住果
故說妙蓮花
不能曉了此

是諸佛果德
因果交互通
頓入不思議
縱脩不於多
開示佛知見
凡聖懸隔故

復示佛果德
佛生了然故
不以此為因
不名生佛家
執果德行相
自生優劣想

唯吾祖師禪
能攝於教乘
三千七百祖
行於異類中
應機無等倫
慎勿懷遲疑

以此期悟入
超出法界量
展轉相授受
頭角灼然露
是宗門長處

教乘不能攝
迥離言說想
傳燈永不滅
咳[口*敕]與掉臂
智者求妙悟

示蔣月船居士

若人欲出於生死。淨土法門為第一。彼佛厥號阿彌陀。廣發四十八大願。若能稱其名號者。決定往生安樂國。彼土莊嚴最清淨。水鳥樹林皆念佛。七寶池開四色花。八功德水隨意樂。七重寶閣迥諸天。寶楯寶網光交映。行樹咸敷眾寶花。天諸音樂無間然。得生彼土何因緣。自心具足佛種子。彼佛願力能加持。使我行人易成就。彼佛如母憶念

子。子若逃逝母何為。子若憶母便相見。即得往生安樂土。

示等健行者

若人誦般若。智慧如金剛。最勝最堅利。能斷拔緣苦。光燄燦世間。破諸無明暗。廣度羣生類。實無滅度者。六塵本清淨。不以塵生心。根蘊亦復然。亦不依識住。應知住無所。智慧了然故。聞經不驚怖。四相皆遠離。初中并後善。漸入漸增長。不即亦不離。不常亦不斷。三心不可得。萬行悉圓滿。世界非世界。眾生非眾生。莊嚴非莊嚴。果知非非者。成就種種名。不住相布施。如日光普照。不久獲佛智。成就大悲心。

示吽然上座

性天清徹。塵雲而逐于陰晴。慧月孤明。識雨而遷于朗
昧。所以情生智隔。想變體殊。示寂毗耶。沉痾馬祖。夫
病者萬異。略而有三。何謂三。有苦樂憂煎。侵優淨體者。是
中不病。不病者。謂汝現所染。更懼生死者。是也。昔有僧。問古德云。和
也。病中病者。謂徹理知命。出生死者。是也。曰有。僧云。不病者還來看和
者。謂徹理知命。出生死者。是也。曰有。僧云。不病者還來看和
尚今日病。還看他有分者。便是病中不病底樣也。又云。
尚否。曰老僧看他有分者。便是病中不病底樣也。又云。
病後始知身是苦。汝當觀察。病是假緣。從業有故。業從
苦交煎總不妨。汝當觀察。病是假緣。從業有故。業從
起。妄從心生。心既無生。病將安寄。曠。

示袁夫人

嗟此閻浮極惡世。無一可樂。縱有樂者。皆無常苦空。
畢竟無諸佛有智之者。豈肯坐視百年。不求出離乎。
知指出教非與發沒如思參千大。諸佛外此諸起意坐惟麼著處盃。
指師心劣一句歸撕起恁著處盃。非此諸起發沒如思參千大。
師心劣一句歸撕起恁著處盃。與此諸起發沒如思參千大。
心劣一句歸撕起恁著處盃。發此諸起發沒如思參千大。
劣一句歸撕起恁著處盃。起此諸起發沒如思參千大。
一句歸撕起恁著處盃。起此諸起發沒如思參千大。
歸撕起恁著處盃。起此諸起發沒如思參千大。
撕起恁著處盃。起此諸起發沒如思參千大。
起恁著處盃。起此諸起發沒如思參千大。
恁著處盃。起此諸起發沒如思參千大。
著處盃。起此諸起發沒如思參千大。
處盃。起此諸起發沒如思參千大。
盃。起此諸起發沒如思參千大。

示不畏禪人

閻浮惡世。大可畏人。五陰覆心。食噉慧命。有識者皆憚之。子獨號不畏可乎。但能以金剛杵。碎煩惱窟。以智慧火。燒無明薪。單提一句本參話頭。拶破疑團。通身是眼。橫行三界。無敢當其鋒者。始不負此號也。不然。動步則荊棘滿地。塵埃亘天。謂無有所畏。是自欺耳。又不可不驚也。偈曰。不從諸聖求真諦。畏向凡情雜道心。直使兩頭都坐斷。袈裟角上水泥深。渾無一物可當情。寶屑金沙礙眼睛。鐵壁銀山親迸出。來時古路坦然平。

示何惺谷居士

古德云。門裏出身易。身裏出門難。以此觀之。直下無

身。那容住足。向空植種。終沒收成。只須坐斷兩頭。向
威音那畔翻身。十字街頭。進取一步。方可喫博山痛棒。
若論宗門大意。總不出古人行徑。但向本參話頭上著切。
不可以卜度猶豫之心。自障道眼。如一生不了悟。縱百劫
千生。祇向外打之遶。遊遍閻浮世界。脚跟下厚得幾重
皮。亦濟得甚麼邊事。若待脩了無明去沙澄水。直饒到澄
潭月影。夜靜鐘聲。未免猶是生死岸頭事耳。偈曰。大丈
夫。須自了。學道不學文。做癡莫做巧。讀盡百王書。未
免受拷[打-丁+老]。無義味話頭。宗門第一要。豎起白汗
流。藏身孤月皎。鐵壁與銀山。只教都靠倒。會者則逐浪
隨流。不會則白頻芳草。清高不上古人墳。昂藏何似而□
好。

示惟岳禪人

祖師云。毫釐繫念。三途業因。瞥爾情生。萬劫羈鎖。既不許別生異念。則單提一句話頭。頓發疑情。疑情果發得起。則千萬人中鬧市叢裏。孤歷歷。峭巍巍。祇此話頭上。疑情不解。始是工夫得力。忽朝撞破疑團。摸著鼻孔。始可與博山話會。偈曰。話頭一句如弦直。譬如調象須全力。倒跨橫趨任所之。不與禪門存軌則。堂堂大路坦然行。大海淵溟徹底清。拗折驪龍頭上角。珠光閃爍不關情。

示量如禪人

如來一大藏教。是箇切脚。且道。切箇甚麼字。以字不成。八字不是。既然切不出。當看一口氣不來。畢竟向甚處處去。將此一句子。如持金剛王寶劍。誰敢當其鋒者。又如臨大敵。毋容眨眼。只欲決勝。始能破生死之牢關。

斷根塵之識浪也。不然。豈但一生空過。即百劫千生。未
有了底日子。有志之人。豈甘心自棄。六祖祇是箇挑柴
漢。放下柴擔。便乃知歸。彼既丈夫。我胡不爾。但在自
之肯心。非干人利鈍也。當知。肯之一字。如換骨靈丹。
其猛利究心者。可不勉乎。偈曰。話頭一句如弦直。脫死
超生過反仄。不於此際見根源。只待當來問彌勒。去處不
知肯自休。水冷霜枯迸出頭。贏得腰纏十萬貫。忻然騎鶴
上楊州。

宗說等錫下

無異禪師廣錄卷第二十七

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣
錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十八

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

書(一)

與鄭方水大宗伯

頃在樵陽。聞德星光臨棲鳳。及拜領佳什。珠璣滿案。鏗鏘作聲。至講經座。本以無舌證一章。貧衲甚喜。大居士不易到此田地。必有大發明處。非彼常情潤飾詞華。供詩

料者也。昔夾山大師。囑洛浦云。且莫草草匆匆。截斷天下人舌頭。即不無。怎教無舌人解語。彼時赤尾金鱗。早向壘甕裏醢殺矣。仰山偈云。一二二三子。平目復仰視。兩口一無舌。此是吾宗旨。伶俐衲僧。二三十年做工夫。到此。未免結舌。芙蓉云。無舌兒童能繼和。正所謂向上一路滑如苔。大居士何以得之便利若此。貧衲恨未親接台顏。徒于言下。操勺蠡以測無涯。倘再借清光照臨薜蘿。共談海印三昧。使靈源幾片石。咸為點頭。乃佛法之靈驗耳。

與詹定齋廉憲

自去歲奉謁。奇遇欣躍。謂禪與淨土。居士兼有之矣。翰教遠頒。若猶有意于愚師弟者。何謙抑亦至於此。竊謂。毗盧性海。人人具有。從上諸聖語言。及諸家公案。無非

發明茲義。總在學者見解何如。居士書中。超脫之見。即是此境現前。一了百了。更無二語。若曰明于此。或昧于彼。恐尚是意識中得來。非性地上徹悟耳。雖然。大善知識。種福田。植慧根。何難于此道也。即以居士勳業。較量之闡中品士。尺幅證心。塞外閱兵。一鼓作氣。文經武緯。用無不宜。第令持此向最上乘中。直是玄鑑洞觀單刀直入氣象。貧衲將翹首居士。了一大事因緣也。

與鄭雲梅司理

別傳之道。自世尊拈花。迦葉微笑。二十七祖。傳之菩提達磨。觀其宗旨深奧。非大聖無由開化。趣用整密。非圓機無以領略。大士航海而來。直接上根。每遭耻斥。故面壁九年。俟時揚化。至二祖安心。斷臂流血而見骨髓。三祖懺罪。瘋顛病差作良模。信大師徵詰。明佛性于少年。

盧行者風幡。烹真金於大冶。自後金雞[銜-金+缶]粟。南
嶽廐裏跳出馬駒。而秉命尋思。青原山中笑看麟角。江西
一躡。四十員。斷命根于彼時。捏轉鼻頭。盡大地人。
領全機于此際。及乎五家派出。或揚眉瞬目。豎指擎拳。
打鼓吹簫。揮戈舞劍。無非助揚一大事而已。豈有他哉。
五宗則首出瀉山。父子唱和。暗機圓合。撼茶則體用雙
彰。耕田則事理俱顯。臨濟則直下妙用。活中要箇死人。
一語中具三玄。一玄中具三要。有照有用。立主立賓。非
上根利智。孰能究其涯量哉。有時一喝。如金剛王寶劍。
栗棘蓬從此渾吞。有時一喝。如踞地獅子。金剛圈憑斯返
擲。仍觀法眼一派。則何止一顧。惟心。全提正令。耳色眼聲。
六用互施矣。雲門則高低一顧。萬象齊彰。擬議之間。則
橫屍萬里。故云。顧盼猶倍寶鏡三昧。揚眉落二。獨洞下宗
旨。不附物。不立玄。以交參。而分玉石。不犯當頭。君臣
五位。以辯金鑰。雲水交參。

正位。若機紐銜于樞口。轉處幽微。以絲紗吐于梭腸。用時綿密。大理本無二致。門庭施設萬端。豈非雲月是同。溪山各異耶。如上所言者。居士本自具足。又何待貧衲葛藤如此知。居士是箇中人。必證箇中話。敢惜乎口業也。居士欲要大安樂處。須向者葛藤裏。一一透過始得。還肯麼。此時若不究根源。且待當來問彌勒。

與趙□□司理

貧衲草野疎陋。承獎借過分。且詔以靈光獨露之旨。使振百丈家聲。自愧何堪。誠知。大居士得此光明幢相三昧久矣。故能以此光。回照一切。每惟末法中。士大夫不罵佛謗法幸矣。如臺下深心力護。如己眼目。非徹照佛乘廣行慈願。孰肯擔荷如此耶。然知大居士。雖作如是廣大佛事。亦不作佛事之想。雖發露此光。而光非存照。故盤山

彰。不知其然而然。至今喫粥飯。始知甜耳。以臺下家裏
人。說家常話。非敢馳騁機解。自揚家醜。蓋承以靈光下
照故爾。借光放光。然亦自知。不揣其量。

瀉山云。此宗最妙。難得其人。末法宗風。掃地久矣。僧
中寥寥。不意縉紳先生猶見居士。所謂清獻公再來非耶。
承大教辯明實際。無物不有。無物不空。真俗二諦。於中
影現。無法也而假名為法。無身也而假名為身。此真性一
段光明。開發顯露。清淨無翳。如朗月處空無不現者。至
云潛思于髻年。根力純熟。如此則十二時中。固不待提撕
話頭。如香象渡河。截流而過。一超直入。已是漸言耳。
第禪宗向上。不說法身邊事。要在機用回互。深舍獨占。
古人云。懷州牛喫禾。益州馬腹脹。天下覓翳人。灸猪左
膊上。此語亦不可作道理會。亦不可作機鋒契。要知十二
時中潛行密用。築著磕著。不差毫髮。徹見佛祖骨髓命

脉。則如居士所云。縱橫自在。御風而行者也。若然者。不把繩頭。而繩頭自把。即此繩頭。復是何物。上堂洵口而道。為好事者錄而成集。忽被居士覷破。又添一重公案也。第捧讀佳製。霍然忘暑。所謂薰風自南來。殿角生微涼。倘因合刻。永戴法雲。

上憨山大師乞壽昌壇銘

恭惟。大師最大圓慈。無上善聚。覩慈容而入道。聆警咳以銷煩。末世法幢。昏衢慧炬。某於髫稚。便耳鴻名。幾欲向往。未遂瞻光。雖私淑慧燈。而衷心菹結。丙申年參見先師壽昌和尚。把茅之下。量兔角之短長。頓拳之間。捋虎鬚之返復。稍知去就。便爾樵牧之間。于茲二十餘年矣。去歲為先師入壇。得覩師贊章。悲喜交集。哀哉。切心自忻。謂先師大光明藏。于斯透露不泯。即欲趨領教益

借慧潤。以展遐思。多歷障緣。行行中止。今春縉紳先生輩。乞銘靈塋。某謂。非大師筆力。不能傳先師之神。眾咸默然。悉從未議。敬遣小徒輩。登山丐請。伏惟慈允。以慰渴思。豈但不肖等。得沾濡法恩。即先師于大寂光中。致謝無已耳。

與沈東華廉憲(三)

春日得聞報知。福星照冰谿也。此非小緣。皆湖東子民善因所致。惟林下人。躑躅不敢前。蓋公門中。非僧家行處。祇焚香遙祝而已。承翰教豐儀。仍問及宗乘中事。豈但為僧者。得沾惠澤。即三千七百祖師公案。亦復重宣也。臨濟大師云。一語中具三玄。一玄中具三要。此善知識。臨機慧辯。三玄三要未兆之先。已通身突露。非臨時湊泊。如旃檀本香。借火爇則分外香。若以火論香。則辜

負旃檀。若以言句中討玄要。大可笑也。諸家錄中皆下
語。大似以鶴粉喻雪。雖色相似。去雪實霄壤。惟汾陽頌
云。三玄九月菊花新。得得意忘言。道易親。一句明明該萬
象。重陽九棒因緣上會去。則待客迎賓。拈匙把筯。三玄三
在臨濟。問可蓋頂。黃金束腰。傀儡碗脫丘。三玄三要。留待台
要。烏紗無寄。本來面目。是甚麼碗脫丘。三玄三要。留待台
目。暗然無寄。本來面目。是甚麼碗脫丘。三玄三要。留待台
駕入山時。再作箇話會也。

讀翰教。不能釋手。知居士靈機浚發。皆夙生般若慧之所
成就。非常情可及也。惟祖師門下言句。如煮木札羹。如
炊鐵釘飯。不可以智知。不可以識識。惟悟與悟。乃能明
了。若謂某為三玄句。某為三要句。某為先照而後用句。
某為照用不同時句。正所謂以管窺天。以蠡測海。多見其

不知量也。大居士決欲發明此一件大事。赤肉團上無位真人。在六根門頭。放光動地。不得當面錯過。若錯過時。百劫千生。未有了底日子。將前解路。如斬一握絲。一斷一切斷。更不相續。無位真人。是甚麼乾屎橛。但恁麼究去。一朝知痛癢時。向大愚肋下。築三拳。是大丈夫作略。非分外也。若依草附木。東引西證。說心說性者。可向請一義學沙門。將三經五論。細說一遍。禪之一字。拋向萬丈深坑。過不可說不可說劫後。再可談不了之緣。未為晚也。不識大居士。於此寧甘心乎。

昨承諭。入道貴在真實。真實二字。誠入道基本也。不識。居士於真實處。曾入道乎。少林大師云。外息諸緣。內心無喘。心如墻壁。乃可入道。果得心如墻壁。則真實二字。不言可喻。若心中揣摩。生諸解路。早是不真實。欲得心如墻壁。安可得乎。果得心如墻壁。正堪入道。若

以心如墻壁。便欲住足。祇是箇心如墻壁漢。不堪與語道也。然心如墻壁。不容易到。有一等人。將妄心遏捺。令心不起。謂之心如墻壁。大似水上按葫蘆。從少至壯。從壯至老。欲得心如墻壁。無有是處。真是箇究心人。將一句話頭。纔方提起。如吹毛利劍。觸其鋒者。即喪身失命。欲其別生一念。了不可得。連真實二字。安亦不住。斯二字誠為入道之基本也。大居士日用以此可坐進斯道。不然。則彈指一生。可謂錯過了也。真實云乎哉。

與林季翀大宗伯(二)

隙駒易流。與大居士。兩易寒暑。以慧照觀之。靡隔朝夕矣。適捧翰教。忭躍無量。經世出世一大因緣。撞破從前關棧。自是有力大人也。居士當一肩擔荷。又何慮誤墮落哉。夫性命者。宜直下會去。如會去。則眼見耳聞。與法

界體同。無纖毫滲漏。圓覺疏云。德用無邊。皆同一性。
性起為相。境智歷然。相得性融。身心廓爾。居士於斯見
徹。憂慮不能縈。生死不能繫。遊戲世間。京都鄴都浩
浩。皆菩提道場也。更徹見淨土宗旨。白太傅。須要讓居
士一籌耳。其或未然。但看念佛者是誰。行裏坐裏。一切
事物裏。只要看破此誰字。忽朝摸著鼻孔。阿彌陀佛不向
別求也。

舊冬承翰教。謂人生五十。不知性命所在。此為誠言。非
套子語也。當知。此事萬劫難逢。千生罕遇。既知有此關
楨。若不發明。肯甘心耶。祖師答見性偈云。在眼曰見。
在耳曰聞。在鼻嗅香。在舌談論。又云。遍現該週沙界。
收攝在一微塵。大居士可將此偈細看一遍。眼所見。耳所
聞。不逐聲色。畢竟是何物也。世人都被聲色所轉。輪迴
六道。無有了期。一失人身。萬劫不復。可驚可怖。可懼

可畏。如有智者。當于此著忙。世間功名富貴。決定羈絆
不得。何也。身非我有。況身外乎。看破此境界。十二時
中。深追力究。念念不移。決欲發明而後已。若能返照。
直下無第二人。動轉施為。無虧實相。視生死如夢幻。觀
世界等空花。永嘉云。大千沙界海中漚。一切聖賢如電
拂。如此。做一箇凡聖不拘底大快活人。世間之樂事。百
千萬倍。胡足為比。他日向棲鳳嶺頭。拍掌一笑。何也。
笑此老婆心葛藤語耳。

與余毓蟾郡丞

逢人即問。知居士貴恙未瘥。甚是挂意。良以。生此極惡
世界。有身即有苦。不待病時是苦。從少至壯。乃至出仕
做官。種種運為。莫不悉是苦境。公曾在苦中穿下過來。
何云今日方纔是苦。要知法身苦不能及。劫火洞然。我土

安隱。居士當確實正念。不以此苦退菩提心。不以此苦生
退墮心。當看此身。如弊垢衣。如夢中像。生歡喜心。管
他今日去。明日去。如船子和尚水喪。降魔和尚火化。是
謂之捨苦趨樂。如此拌得。壽亦可延。病亦可愈。古云。
外其身而身存。斯之謂也。縱是便行當撫掌莞笑。做箇倔
強底漢子。使後人發心。不可畏首縮項退他人信心。公之
福也。我忝知識。不得不盡情。向公道破。

與沈□□孝子

接來書。知居士操履不羣。三十年前。酒色場中耽閣半
世。三十年後。始發清淨心。看即腫即臭即爛。頓起疑
情。即陳眉公啟廸也。余每看眉公書。似挫抑禪門。此開
示學者。又似傍禪家門戶。孔子顏曾思孟。決無此等語。
此語似初心禪者口氣。但使人在色身上作活計。不能深入

性。地。何。但。死。了。便。臭。爛。即。今。色。身。水。火。稍。不。通。流。即。臭。
爛。又。何。足。疑。閩。僧。又。云。髮。毛。爪。齒。不。知。痛。癢。此。是。簡。眉。
公。脚。跡。走。底。漢。子。即。今。幻。妄。色。身。還。知。痛。癢。麼。爛。壞。底。是。
甚。麼。臨。濟。大。師。云。赤。肉。團。上。有。一。無。位。真。人。汝。等。諸。人。
好。看。又。云。無。位。真。人。是。甚。麼。乾。屎。橛。此。是。出。生。死。底。要。
津。斷。知。解。底。利。器。此。無。位。真。人。還。爛。壞。得。麼。一。朝。病。
來。手。忙。脚。亂。便。是。認。定。箇。色。身。不。肯。放。下。生。平。行。履。
總。不。究。竟。正。所。謂。擔。佛。傍。家。走。認。驢。鞍。橋。作。阿。爺。下。領。
居。士。將。平。生。所。知。所。解。底。盡。情。放。下。但。看。箇。無。位。真。人。是。
甚。麼。乾。屎。橛。深。追。力。究。頓。發。疑。情。行。裏。坐。裏。著。衣。喫。飯。
裏。只。討。箇。下。落。忽。朝。打。失。鼻。孔。始。知。爛。壞。臭。爛。底。是。場。
笑。具。耳。余。普。說。板。在。蘇。州。是。余。生。平。行。履。居。士。請。一。本。
可。以。坐。進。斯。道。他。日。漆。桶。脫。時。還。幾。雙。草。鞋。錢。未。晚。也。

與余文台居士

生死事大。無常迅速。來論最為肯綮。但要發明生死二
字。將此二字。做箇貼肉汗衫。若一行住坐上徹去。千句萬句。
死從何去。無邊佛法。自然通曉。毗盧遮那佛。華藏世界。
一時徹去。無受用。大小二藏。從自心處。居士決明此事。但
界。悉自無境可得。生死二字歇場。亦不可撥棄世緣。守著靜
心外既無去。決不可從人語句上。生出何來。一句子。認著能
恁麼看。亦不可想。不然。所謂如是師。如自然七顛八倒。胡
謔。自生滿足也。正所謂如是師。如自然七顛八倒。胡
樂田地真性。如是師。如自然七顛八倒。胡
一靈人。如生死到湯爐炭。劍樹刀山。饒他不得。為伊平日
於時去。鑊湯爐炭。劍樹刀山。饒他不得。為伊平日
將去。鑊湯爐炭。劍樹刀山。饒他不得。為伊平日

快。便破佛毀法。謗善知識。坑陷人家男女也。居士但如貧衲所示。或看禪關策進。博山警語。及徑山回書。悉能助發機緣也。

與吳觀我太史(二)

往返生生社。與居士清談。將半月。如坐毗耶城。正所謂彼上人者。難以訓對。然不二門向上。更有事在故。云不可以智知。不可以識識。譬如入都城。四會之衢。非行到。不能親歷諸境。嗟夫此道閉之久矣。投子遠錄公。將五百餘載。其間提唱者。罕得其人。生死分中。似不可以解心敵。如南嶽見六祖。德山見龍潭。大有樣子。居士於此。但當盡心單提一句話頭。孜孜不捨。以期大悟。若徹見根源。即無明結使。不斷而自消。根識境緣。不澄而自殞。可謂靈丹一粒。點鐵成金。自不與諸法門較優劣。縱

不悟站定脚跟。終有到家日子。如不信斯道。三阿僧祇
劫。始能成就。古德云。拌此一生。乃至三生。必能打徹。
豈欺我哉。如看一口氣不來。畢竟向甚麼處去。此處字上
要切要緊。切不可沾著一點。但貴深追力究。決定要討箇下
落。如前教乘中。有相應法。急須吐却。或澄心瞑目。寂
照相治。虛靈不昧。觀法無我。乃至究竟。不在參禪人分上。
謂之野狐涎。所以云。鳳縈金網。趨霄漢以何期。居士不
可不慎。貧衲不得不盡情吐露也。

貧衲生少智慧。唯參究一念子蓋切。今與居士。論及宗乘
中事。譬如居海者。不問江河淮泗。惟以海印印之耳。所
謂看話頭。六代相傳未之有。問答之際。一語中放不過。
便頓發疑情。如能大師問南嶽。大有樣子。自後諸家激

勵。皆曹溪一箇印子上來。居士于此須發起大信心。要徹
生死。決從斯門而入。捨此別求。是岐路。非禪門捷徑。
于此事上。決不可生疑。決不可以教乘中印證。所云散位
獨頭。倏起倏滅者。祇須切之一字。是破意識利斧也。禪
警語。大慧回書。禪關策進。悉能助發。如參究一日。得
一日實用。縱一生不明。亦不妨具成佛作祖底基本。古所
謂但辦肯心。必不相賺。承諭浮山聖道場處。自有天龍擁
護。貧衲似不能應命。山居人事叢雜。年臘漸長。兼以病
魔日至。每欲捨眾入深山邃谷。以度餘年。說法境緣。付
囑於大地有情。待時節發生耳。齊羣玉居士。纔發信心。
須臾即沒。無奈死魔壞菩提心印。大可嘆息。唯居士體認
自己本命元辰。莫管他世界成壞。永嘉云。大千沙界海中
漚。況漚中一隣。虛起滅耶。

無異禪師廣錄卷第二十八

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣
錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第二十九

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

書(二)

與何芝岳相國

人生緣遇不易得。歸向三寶。倍復為難。惟居士深入佛乘。靈苗智種。天性帶來。而究竟一念子。肯心自許。其肯心二字。誠進道之基本也。昔人云。我得百丈一句語。

做宰相。此話一行。使天下人。皆知有佛法利益甚大。非世間功德可比。希居士燮理之日。毋忘此一句話頭。十二時中。幸以大法為念。直欲進陪上古。洞鑒今時。日應萬機。不壞不雜。觸境遇緣。若臨大敵欲勝。重門欲開。猛浪中欲登彼岸。大旱時欲得甘霖。思到思不及處。忽然摸著鼻頭。原是舊時面孔。端不借別人纖毫力。若以世智辯聰。揣度道理。定信不及。唯有力大人。一担擔荷。更不搖頭轉腦也。此事誠難。決不可將經書上印證。不可遏捺妄念。不可使自心空寂。凡諸動心。皆成藥忌。諒居士已深鑑此意。不待貧衲贅語耳。

與蔣一个文學

泥途雪境。勞往返三百里。而作衛護法喜之親。過于骨肉。第此心難發。果能發起。即菩薩行利他行。非恒常人

也。然利人者。必當自利。藉塵勞業識中。提起一句話頭。以期悟徹。居士當決定發此心。若不發此心。是謂之脩福。非脫生死。此心一發。塵勞業累。自不能繫。決不可避喧向寂。以塵勞為障道。此是小機。非有力大人。昔趙清獻公。青衿時便參究。至做官始悟道。張無盡就仕路參訪。做運使親見兜率。此二公。大可為人眼目。居士又不可不學。以貧衲意謂。單提一句話頭。只管盡情讀書。話頭在念。根塵不偶。境緣不入。書亦當有深進。自然華文麗藻。不與世間讀書為比。若曰參究妨讀書。讀書妨參究。此非上根利智。幸留神勿忽。

復□□□侍御

華嚴疏云。一夕之夢。翱翔百年。居士肯信百年之夢在一夕否。若能知此。則延促同時。遐邇一致。無邊剎海。全

在一塵。豎窮橫遍。則無間然。如此則與居士一會。則一切時一切處悉會。又豈但語言相親。根塵相偶。然後為會晤哉。于此倘未能瞥地。可將一口氣不來。畢竟向甚麼處去。單提此一句話頭。行裏坐裏。著衣喫飯裏。不可須臾間斷。忽日撞破疑團。以破此百年夢境。則世間之寵辱。自不關心。世間之樂事。自不能為礙也。貧衲遊浮渡時。得聞居士上荆楚。不知急水灘頭曾吸盡否。百草頭邊曾會意否。若吸得盡。會得意。不可以龐家兒女為軌則。不妨乘小艇跨鄱陽。而上博山。與道人相見。烹活水聽松音。又是一番清境也。他日宰執權衡。為護法金湯。不待貧衲多囑耳。

與何惺谷居士

居士生平操履。余甚愛之。但知見太博。恐悟門妨于進

益。世間因緣等事。似不必太勞攘。只須按下雲頭。睜開
隻眼。提金剛之利劍。懸肘後之靈符。發諸人未發之心。
到祖佛不到之地。不然。恐耽著解路。未免有算沙數寶之
譏。紅紫亂朱之誚。居士具大力量。但為人太勁挺。初心
者。難得親近。大凡與縉紳。及始發心者。相見時。以法
啟迪之。以慈撫之。以悲救之。以方便導引。始得機感交
孚。乃法門要徑耳。

與徐止觀居士

承諭。末法下衰。魔風熾盛。宗門冷落。主法無人。余嘗
于此撫几長嘆。可謂襟期不隔千里同風。但不識于此事中
曾瞥地否。若此瞥地。不妨向祖師門下。拋磚引玉。撮土
成金。垂手將來。與物作則。盡大地是魔。直從魔隊裏穿
下過。盡大地是佛。直從佛頂[寧*頁]上行。然後向佛魔不

到處。解三玄戈胄。碎五位鎗旗。黑漆桶裏。鑑貌辯色。
無影樹下。嘯月吟風。脚跟下動步。覲體與博山相見。倘
未得如是。禪警語不可不細嚼一遍。提一箇無義味話頭。
做一場沒巴鼻勾當。一朝迸出頭來。渾身當宇宙。求其一
做眾生相。了不可得。何物在迷。何人在悟。居士與博山長
太息。悉賸語也。貧衲掃一坐具地。與居士作不動軒。不
識。居士以為何如也。

上樊山王

殿下天然貴胤。乘願力來遊此堪忍世界。導引群生。然行
海重重。須懷兼利。交互融徹。與法相應。又至理深玄。
非參莫透。靈心絕待。貴發親知。知與行符。名之曰智。
紹隆佛種。其利博哉。殿下是過量人。已入密印三昧。不
待貧衲贅語耳。小徒歸承瑤章寵賜。知殿下有夙世之緣。

倘春水浪高。不妨乘舟舞棹。向博山浴龍池。逢場作戲。
貧衲命侍者。別甌炊香。水鳥樹林。當為殿下。談實相
也。

與陳熙塘方伯

疑情不起。是生死心不切。似與前論中。不相符合。果生
死心切。是誰二字不明。安得不疑。疑情頓發。心意識尚
不起。沉解路乎。雖兼淨土。決不可生自足想。安隱想。
斯二種。是究心人大病。居士不可不知。識得是病。終不
蹈此二途。祖不云乎。不斬鬻奴誓不休。彼既丈夫。我胡
不爾。是誰二字。是斷心意識底利斧。截解路底垣墻。出
生死底要津也。參此二字法門。如韓信背水陣。不顧危
亡。始得相應耳。只此一生。判百劫千生不了底公案。有
智者。當以日代歲。身可寒。肚可饑。不可使話頭有間

斷。只須迸破疑團。心意識及解路。冰消瓦解。始得大安樂。是大得便宜人。百千萬倍。不足為比也。何如。

復余集生居士(附請書)

大法之東流江左也。自康僧會始。於是趾其後者。代有隆替。而佛會之廣薦。禪宗之編集。於以不負付囑國王之慈旨。則自我明皇帝二祖始。而一時從龍之臣。如沈翰林黃侍郎一流人。皆毅然以弘護為己任。此建業故事之可尋者。是故毒鼓不震。於帝都多遺遠死。法輪不轉。自王臣半屬小機。和尚一國之師。人天之眼。而三十年來。若將有避焉。以偏處於江之右。抑亦興言及此乎。日者弟子(裕)不甘作門外漢。自遠趨風。一往入室。分鷲王之膾乳。竊獅子之片毛。掉鞅而歸。便自稱尊。無佛處。痾漉漉。如裨販然。冀以化此一方之五印。而都人士之羣為雄

者。自是而效拙秀才之所為。於慧業中。知有丈夫事也。
而王孫公族之號。最貴踞者。自是而效邵陵之所為。知有
七處九會。四諦五時事也。而進賢輩之日支月支。不萬羊
不屬馱者。自是而效顏清臣裴公美之所為。稍稍不諱浮屠
法。知有四依十地。及流水寶勝事也。夫弟子(裕)而分膾
乳。竊片毛也者。以試之。同類之攝入。上求下化。斯既
然矣。況在和尚真獅子。真鷲王。來此驢羣鴨類之中。諸
所攝入。又何似夫弟子(裕)而不忍同類之愈躁愈沉。尚不
靳小慈。思一引手。況在和尚普觀大地。有一眾生不佛。
若已推而納之泥犁。此之為興慈運悲又何似。而時至化
起。機熟緣生意者。今茲適遇其期乎。此自和尚意中事。
又何假弟子(裕)喋喋為哉。和尚其惠然肯來矣。鄉先進自
儀臺僕大夫以下。若而人。宦陪京者。六曹以下。若而
人。世守則元勳以下。若而人。實有問心。謹用臚列名
狀。瓣香遙禮拜。使而行。自是翹勤西望。日日以幾。如

歷饑渴。和尚其來矣。弟子(裕)一番拮据。頗費手口。總之從佛法起見。何敢告勸。萬期憫我專愚。且無使我不誠於初發意之俗漢。而因以阻若輩後來之轉機。則幸甚幸甚。菩薩戒弟子道裕再稽首。旻昭陳居士。為弟子(裕)無師社中善友之一。今為南中四眾。捧刺跋涉。不辭勞勸。此亦其猛利之一端矣。所期和尚。莫輕放過。先與三十痛棒遣歸。以為和尚前茅可也。裕又白。

又。

自參和尚後。覺向來胸臆間雜毒。被少分醍醐。洗發頓盡。歸來筆研付之祖龍。書籍付之豚犢。丈室而外。一物不將。獨是坐斷十方。密移一步。粗知奉教而行。而長安甚鬧。我國晏然。且喜歸源有路。中間自信得力處。是去冬解組而歸。於凍舟中。結八十日不語之期。所謂佛也沒

柰何。良然良然。若問某甲見箇甚麼。纔開口便自肉麻了也。初春接慈札。極承護念。不翅方外毛裏。擬致報書請益。迫於王程。遽趣舍人裝北上職。此阻濶時廛失乳之思。今茲啟請。肇自夙懷。寔從僉議。因念九到洞山。三上投子。舍身求法。應非居士所饒為。而西遊三十國。遠屆五天。為法求人。則有顯師之風在。沉復懶道人。宴坐石室。四祖自來。牛頭不往秣陵。往事大底如斯。惟和尚念之。邇者鍾阜間。大有道人氣。亟擊。勿失可也。不者。一枝橫出。別調風吹。徒使曹洞印文久成刊敝。而假年五十。法嗣未弘。甚無謂也。弟子(裕)方以詩偈為戒。聊取裴休語。為和尚誦之曰。一千龍象隨高步。萬里香花結勝因。擬欲事師為弟子。不知將法付何人。弟子道裕再白。

震旦法席之盛。無越於 帝都。雖代有隆替。悉係因緣。

非智。力所。能強。也。惟我。明聖。祖神。宗。受靈。山付。囑。建立。
三寶。弘通。大乘。是。以天。雨寶。華。壇呈。奇瑞。宰官。開士。
傾心。法塹。實千。載一。遇。應。斯嘉。暮祝。誦。未。能報。其萬。一。豈
敢效。嬾瓚。輩。不。思弘。法深。益。且念。正法。將沉。魔風。熾盛。
稱悟。稱證。者。已。遍域。中。付。拂。付。券者。幾。盡大。地。痛。思古
格。為法。重人。寧。以。身陷。泥犁。憂。是。何。意。調。獨。掌。不。浪。鳴。
腸。今。時。急。於。法。嗣。欲。遁。逃。深。山。不。忍。見。此。茶。毒。而。居。士。復。以
隻。輪。無。單。運。擬。欲。將。令。美。印。高。敝。殊。乏。文。夫。氣。象。剛。刀。雖。快。
慈。心。居。士。似。無。愧。逼。老。人。出。山。門。擒。盛。舉。何。異。浮。山。雙。徑。
護。耳。無。罪。承。當。與。否。猶。如。羸。夫。睨。彼。巨。鼎。且。浮。山。雙。徑。先。聲。已
不。斬。赤。體。於。津。梁。猶。如。羸。夫。睨。彼。巨。鼎。且。浮。山。雙。徑。先。聲。已

到。諸執事人。攀轅恐後。今年決不出山。語已在前。意欲踐後。倘違初心。以赴徵命。難辭眾口。進退維谷。居士其代我商之。一芥翳天。毫端含剎。邊隅都會。孰劣孰優。今古異局。彼此殊勢。易地未必相為睽合。同異未可一轍而論。若必按圖索馬。恐劒去久矣。高明如居士。諒必不爾。或是為法心深。意圓而語滯耶。

諸大檀護未及徧復。幸宣鄙懷。統希炤亮。不盡。

與余集生同卿

舊冬。與居士熟疇昔之緣。雖爛翻舌根。痛加激勵。實無他念。只教透徹向上一路。方稱貧衲本懷。別後甚為悵然。及度嶺。閩地善信。歸心如雲。諸祖芳塵。清芬如烈。似不減吾鄉也。頃聞恩擢法門。幸甚。正好藉此時節

廣益佛乘。大凡諸修行人。多被二風所觸。逆境中。能發人道意。如見危思安。順境中。多打失正念。為情想所溺。諒居士具大智慧。畢竟二途不涉。然不可不知。禪警語不可不熟讀。功深力到。忽朝摸著鼻孔。祇在面上。始信吾言不謬矣。應事接物之時來。則赴去不留。以寬恕二字。作座右銘。亦可為助道光明幢子。幸居士留神焉。

與陳若來使君(二)

瓶錫過貴郡。方登岸。即蒙台駕枉顧。談及宗乘中事。大發肯心。歡忭無量。別後六日。登鼓山。讀旌孝善果二錄。足見居士一片慈孝婆心。超出常情萬萬也。然人生如芭蕉。無堅實相。又如作客寄住旅亭。雖有旨酒嘉餚。安隱快樂。自非久長。惟智者必尋歸家計耳。視此四大色身。如幻如化。一氣不來。作何究竟。此是吾人一件最要

緊事。於此不忙。溫飽之餘。悉為別人忙。即溫飽亦是分
外事。況其他乎。希居士一句不可。發當機。毋容暫息。將一口氣
不來。畢竟向甚麼處。切不。思。以為得。不。可。因。因。循。循。
著。始是。大。安。樂。處。照。澄。思。以。為。得。不。來。畢。竟。向。甚。麼。處。去。
書上。印證。二。六。時。中。如。駕。輕。車。而。遊。熟。路。不。亦。樂。乎。放。生。業。悉
度。日。子。疑。團。若。得。其。所。廣。其。悲。願。是。貧。衲。至。望。

聞貴恙。心甚懸懸。恨不能縮地一晤。想居士。世間境
緣。不能動念。一出世時。悉是順境。惟此現前身心。珍
愛護。從護惜中。水火不能交濟。便成病苦。欲治斯病
者。先當看破此身。悉是假緣。無實主宰。如夢如幻。病
自可救。良以從業有故。業從妄起。妄從心生。心即無
生。病將安寄。十二時中。當此諦觀。則病不待藥而自愈

也。善養者不知有身。不見有世界。對境逢緣。如木石相似。但看父母未生前。那箇是我本來面目。將此一句話頭。切切看去。毋容起第二念。是名善調治矣。居士具大智慧。似不待贅語。忝在方外之交。不得不盡情說破也。

與徐澹初孝廉

董巖話別。倏忽一紀。頃與門下晤。對緣不易耳。參究一事。幸深留意。不可忽。不可忽。想吾人。生此閻浮。如漚如沫。聚散不常。一氣不來。身非己有。就此不實境界中。當尋箇大安樂處。一口氣不來。畢竟向甚麼處去。此去處不明。則生死暗然。不可不著忙耳。如參究一事。切不可先下註解。不可思惟卜度。若註解卜度。是謂之藥忌。于參究分中。了無交涉。只將一句話頭。著衣喫飯處。動轉施為處。畢竟向甚麼處去。一朝衣線下迸開。自

然七通八達。三千七百祖師言句。皆一場笑具耳。

與陳四游中丞

貧衲行業無補。主持宗門。無甚長處。惟一肯心自許。謬
為先師印可。自謂藏身幽壑。以保餘年。不意往來禪者。
以情量推之。遂使水漲船高。名過于實。愧也何如。貴境
鼓山聖道場處。如以玄沙黃蘗長慶雪峯。每欲登攀。無由
克就。何幸檀越乘願力來。城塹法門。興揚三寶。況以楨
榦宏猷。廟堂遠略。為出世間。畫一籌策。頽風復振于今
日。氣象更新于此時。其功德熾然。非毫楮能罄。然依正
互融。真俗雙顯。外營佛剎。內護心城。頓使無價寶珠。
輝天鑑地。不知居士肯瞥然否。古德云。我有明珠一顆。
久被塵勞關鎖。今朝塵盡光生。照見山河萬朵。由此觀
之。世界不在身外。道場毋論他方。鼓山博山。似不勞動

步也。承召敢不趨命。第寒山色色有羈。殊不如願。諒摳衣有時。但不敢以年月期限為約耳。

與葉童真居士

會徐澹老。知居士在恙中。千里之緣。一水之隔。悵恨無已。丙辰別後。不識於生死分中。曾留意否。古德云。病後始知身是苦。健時多為別人忙。此語為頂門針。破世念利刀。智者寧不覺乎。真欲究心。不須理會古人別種公案。恐生出意路。更不穩便。只就已躬下。看一口氣不來。畢竟向甚麼處去。此去處不明。則生死暗然。更不瞻前顧後。只恁麼逼拶將去。如勇士臨大敵。直解重圍。居士肯諦信此語。病不問藥。壽不問命。使得此地水火風轉。定不被五行之所拘束耳。

與泉州諸禪人

泉南佛地。列位上人。生于此。出家于此。皆夙世善根。遭此緣遇。當發猛利心。徹己躬下事。接續祖師慧命。此博山之至望。承道愛論。山野無有不適者。奈鼓山之羈。博山之逼。如著絮從荊棘中行。東扯西牽。不遑安住。做箇沒徧[仁-二+(天/韭)]忙漢子。大可發一笑耳。浴佛後。拄杖頭已北向。速速回山。擲去瓢囊。喝散大眾。灑灑落落。然後向佛國中。與列位上人。簡枯柴烹活水。唱箇古今不二底還鄉曲子。

無異禪師廣錄卷第二十九

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第三十

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

書(三)

復邢梅陽孝廉

貧衲方息慈時。即聞令先師居京邸說法。服膺豪傑。摧折慢幢。如雷如霆。可喜可懼。因侍受業師南詢。不遑親聆教益。迄今渴慕之懷。歷歷猶在。庚申冬接翰教。始知居

士入令先師籌室。味無上法乳。棄夢幻功名。自非深有所
得。安得如此行履。今獲居士長篇高論。歡喜無量。實以
慰未見令先師之夙心也。復承來論。謂時當叔季。大法平
沉。魔外說法。不啻河沙。讀之至此。則撫几長嘆。足見
居士一片大慈悲心腸。雖未面晤。可曰神交。況古稀之
年。乾乾若是。使懶惰比丘不無慚愧矣。貧衲久廢簡編。
承居士殷勤致問。不敢不竭思。以酬來意。

一問。狗子佛性之語。似不可以識量卜度。又不可在有無
上作活計。貴在真參實究。果然當下絕親疎。如風捲塵。
不留朕跡。若在有無上捉摸。何啻捫空論太陽遠近耶。有
角無鬚。二種語翻。趙州兩重公案。思之可見。非泛論
也。

二問。謂妙明體盡。正墮頑空。此是居士。錯會綱宗之

旨。不但見錯。兼義亦謬解。文中云。妙明體盡。謂理極情忘。力在逢緣。有轉身活句。況知傷觸不借中。自非知有。不知有者。如寐語相似。安能識其來源也。此正是曹洞血脉。如靈珠在握。又如瘞子喫蜜。心口俱甜。不能向人吐露。若以頑空釋。正所謂黑白相反也。

與劉胤平太史(二)

吾宗乘寥寥。不易得人。幸昆玉趨向斯道。如饑如渴。余實愛之。但不卜別後。於參究分中。有進益否。世諦境界。得解脫否。財色名實不動心否。果不動心。則有解脫。果解脫則近道矣。頃在建寧。閱殿試錄。始知居士臚傳第一。此從三寶中。乘願力來。藉世間之高名。廣法門之善行。諒居士先已勘破浮塵境界。必不以此介意。惟已分上一著子。不可須臾放下。一時不在。則錯過了一時。大理

一念不最善不行世第。
究則中行心正及。
參雨露三寶提為空囑。
然雨土惟云發三寶心切。
耶。水土。祇發。不以他日此。
子無福田。教中當賀。用。
漢若福。等。人。中。當。賀。期。
底。若。福。等。人。中。當。賀。期。
呆。若。福。等。人。中。當。賀。期。
癡。若。福。等。人。中。當。賀。期。
箇。若。福。等。人。中。當。賀。期。
做。若。福。等。人。中。當。賀。期。
弄。若。福。等。人。中。當。賀。期。
搬。若。福。等。人。中。當。賀。期。
中。若。福。等。人。中。當。賀。期。
緣。若。福。等。人。中。當。賀。期。
境。若。福。等。人。中。當。賀。期。
隨。若。福。等。人。中。當。賀。期。
肯。若。福。等。人。中。當。賀。期。
要。若。福。等。人。中。當。賀。期。
須。若。福。等。人。中。當。賀。期。
成。若。福。等。人。中。當。賀。期。
就。若。福。等。人。中。當。賀。期。
故。若。福。等。人。中。當。賀。期。
不。若。福。等。人。中。當。賀。期。
佛。若。福。等。人。中。當。賀。期。
是。若。福。等。人。中。當。賀。期。
謂。若。福。等。人。中。當。賀。期。
魔。若。福。等。人。中。當。賀。期。
業。若。福。等。人。中。當。賀。期。
居。若。福。等。人。中。當。賀。期。
士。若。福。等。人。中。當。賀。期。
魁。若。福。等。人。中。當。賀。期。
天。若。福。等。人。中。當。賀。期。
下。若。福。等。人。中。當。賀。期。
不。若。福。等。人。中。當。賀。期。
必。若。福。等。人。中。當。賀。期。
諸。若。福。等。人。中。當。賀。期。
善。若。福。等。人。中。當。賀。期。
助。若。福。等。人。中。當。賀。期。
之。若。福。等。人。中。當。賀。期。
可。若。福。等。人。中。當。賀。期。
矣。若。福。等。人。中。當。賀。期。
耳。若。福。等。人。中。當。賀。期。
途。若。福。等。人。中。當。賀。期。
次。若。福。等。人。中。當。賀。期。
脩。若。福。等。人。中。當。賀。期。
阻。若。福。等。人。中。當。賀。期。
會。若。福。等。人。中。當。賀。期。
晤。若。福。等。人。中。當。賀。期。
難。若。福。等。人。中。當。賀。期。
期。若。福。等。人。中。當。賀。期。
用。若。福。等。人。中。當。賀。期。
此。若。福。等。人。中。當。賀。期。
切。若。福。等。人。中。當。賀。期。
囑。若。福。等。人。中。當。賀。期。
不。若。福。等。人。中。當。賀。期。
能。若。福。等。人。中。當。賀。期。
勝。若。福。等。人。中。當。賀。期。
必。若。福。等。人。中。當。賀。期。
諸。若。福。等。人。中。當。賀。期。
善。若。福。等。人。中。當。賀。期。
助。若。福。等。人。中。當。賀。期。
之。若。福。等。人。中。當。賀。期。
可。若。福。等。人。中。當。賀。期。
矣。若。福。等。人。中。當。賀。期。
耳。若。福。等。人。中。當。賀。期。
途。若。福。等。人。中。當。賀。期。
次。若。福。等。人。中。當。賀。期。
脩。若。福。等。人。中。當。賀。期。
阻。若。福。等。人。中。當。賀。期。
會。若。福。等。人。中。當。賀。期。
晤。若。福。等。人。中。當。賀。期。
難。若。福。等。人。中。當。賀。期。
期。若。福。等。人。中。當。賀。期。
用。若。福。等。人。中。當。賀。期。
此。若。福。等。人。中。當。賀。期。
切。若。福。等。人。中。當。賀。期。
囑。若。福。等。人。中。當。賀。期。

居塵無。
欲赫思弱。居塵無。
祇名當怯器事大。
時科發生。劣器事大。
會今發。自根生死。
初望之。不可淺念。
仲所苗。切不為當。
昆野靈。切不為當。
諸山野靈。切不為當。
與山世恩。切不為當。
菴非風佛弘願。切不為當。
彌勒法。亦乃報大居士。
如之。亦乃報大居士。
為人。亦乃報大居士。
得諦有。亦乃報大居士。
貴世諦。亦乃報大居士。
道。亦乃報大居士。
解。亦乃報大居士。
信和合。亦乃報大居士。
生緣之先。亦乃報大居士。
深因兆。亦乃報大居士。
士係未。亦乃報大居士。
佛。亦乃報大居士。
祖。亦乃報大居士。
道。亦乃報大居士。
貴。亦乃報大居士。
在。亦乃報大居士。
得。亦乃報大居士。
人。亦乃報大居士。
如。亦乃報大居士。
彌。亦乃報大居士。
勒。亦乃報大居士。
法。亦乃報大居士。
亦。亦乃報大居士。
乃。亦乃報大居士。
報。亦乃報大居士。
大。亦乃報大居士。
士。亦乃報大居士。
捨。亦乃報大居士。
居。亦乃報大居士。
士。亦乃報大居士。
其。亦乃報大居士。
誰。亦乃報大居士。
歟。亦乃報大居士。
願。亦乃報大居士。
切。亦乃報大居士。
不。亦乃報大居士。
為。亦乃報大居士。
當。亦乃報大居士。
念。亦乃報大居士。
生。亦乃報大居士。
死。亦乃報大居士。
事。亦乃報大居士。
大。亦乃報大居士。
器。亦乃報大居士。
弱。亦乃報大居士。
思。亦乃報大居士。
赫。亦乃報大居士。
欲。亦乃報大居士。
居。亦乃報大居士。
塵。亦乃報大居士。
無。亦乃報大居士。

常老病。不與人期。失之剎那。悔之永劫。參究一念。不可須臾忘却。禪警語作箇策身符子。遠離諸過。以期大悟。凡在佛門。一切善事。盡其力量。皆可為助道因緣。若半遮半掩。即同流俗。非佛門弟子。博山有一頌。不免舉似。居士若向此頌子上徹去。不須動步。與山野大咲一場。可謂。老胡今日有望也。頌曰。博山事香燈。居士援毫管。千里審跬步。兩人缺一半。惟有過量漢。不被時辰轉。果知分寸長。却笑丈尺短。楚水吳山霧一團。森然雲樹謾勞攢。梅花無意枝頭放。爛熳枝頭驗的傳。後二句。是山野昔所和偈語。居士高發時。不知曾記之否。敬以點破。可發千載一笑。

與阮澹宇郡伯(三)

餅錫任緣。本非處所。萍蹤鳥跡。致使見者易而定者難

耳。居士權衡在手。漩澗自由。現宰官身。行菩薩行。當以公堂為丘壑。城市作山林。起同體大悲。不見有心外之境可矣。倘於簿案下錯過日用事。祇恐拄杖子笑人忙耳。辱錫報章。明晨當跣趺清几。以竢晤言。拙偈奉復。希郢政之。杖頭凜凜沐清風。漩澗都歸掌握中。千里不離跬步下。謾將傾瀉較餅空。

昨於緣幻場中。與居士論及佛乘。俱無詮次。即同體大悲。亦是未了底公案。吾人果於日用。知同體大悲。則步步躡著實地。非心外之境耳。古德云。樵子負薪歸。機婦連宵織。管他家事忙。且道承誰力。知恩報恩。只此一偈。不知。居士折旋俯仰。曾薦之否。果薦得。則山頭之白雪清冷。凍殺法身。脚跟之流水潺湲。侵損漁父。駢闐車馬。鱗躍子民。不須格外訓機。最喜塵中見佛。狂歌醉舞。誇本具之神通。淨几明窗。樂現前之三昧。不礙恒居

火宅。何妨倒誇白牛。弄窮子珠。奪饑人食。剖微塵卷。閱大千經。世間之樂事。百千萬倍。不足為比也。貧衲以此訓居士枉駕之勞。惟同體大悲。訂今晚向華嚴寺中。以償斯債。希示的音。其或未然。明早則遠征之念。已動接浙之行也。

滄海一滴也。世界一塵也。貧衲近在石頭城。大作一場佛事。究竟如幻。大居士還見聞也無。若見聞者。作座生是親切一句。試拈出似貧衲。使參禪作見聞種子也。頃接翰教。謂投芥未合。良以宗門中事。自非親到古人田地。所有議論。悉夢寐中語。閱九帶敘。煥然出奇。所謂三止三觀。乃至無上無向。無一無著。而一非無者。斯即向上著。此論至精至極。無人能到。但以貧衲觀之。祇是教中底蘊。亦是教中向上。似非宗門中向上語。吾祖師門下。貴在轉位旋機底一條活路。居士肯向著衣喫飯處。輕輕覷

破。大笑一場。始瞥地耳。然大章不妨流通。與天下人。作點眼藥。非文字也。慧命中實受用也。貧衲意謂。宗門中長處。只欲居士親到耳。詩酒二事。故乃陶情。然詩能勞思。酒乃傷脾。台下高年。幸清損之。慰所懷也。

與徐六岳元勳

貧衲髫年遊金陵。屈指四十載。登岸恍如夢中。閣下格外深慈。作法門檀護。使見者聞者。生希有想。域中第一長者。發此樂善之心。感人人種下成佛作祖根本。悉大居士導引慈力。風行草偃之德化也。常不輕菩薩。見捶打罵詈。皆曰。我不敢輕於汝等。汝等皆當作佛。況至誠禮拜讚歎者乎。以此則知。凡動善之地。皆為助道緣。譬主人有良田。佃與人者。田之莠即我之莠。田之熟即我之熟。其導引功德。思之可見也。江山曠如。肅此裁謝。

與王維新郡伯

貧衲不憚番易八百。長江千里。為法求人。雖則托鉢空
回。惟與大居士。夙緣深重。而殷勤護念。過於骨肉。蓋
以法為親。非世諦比也。向蒙問及楞嚴深旨。若窮其始
終。雖釋迦老人雲興瓶瀉。亦吐露不出。況其他乎。若云
清淨本然。云何復生諸念。此就眾生界中。未達清等四字
而言。果知得清淨本然。山河大地。向甚麼處得來。緣生
諸念。從識熏起。識如夢幻。但是一心。斯即從凡入聖。
又不當以覺復生迷為難。惟吾祖師門下。一句話頭。全身
入理。徹處如紅爐烈燄。乾柴濕草。無不燒盡。還源如人
到家。決不被諸岐為障。貧衲以此期大居士。斯為出世正
緣。似不可別生疑慮耳。

與俞容自勛卿

蒙問及曹洞宗旨。此之一學。最妙最玄。拈穴細金針。穿芒長玉線。彩空中色相。織劫外花紋。若非家裏人。竟不識家裏事。非功力能到。非智識能知。惟沒巴鼻道人。始全身擔荷。辯荳草之味。似不難耳。想居士天資近道。當深留意。莫錯過此一段大事因緣。此生不打徹。他時後日定悔恨在。莫言貧衲不為居士說破。決欲發明此事。不妨以眾善助之。譬如雨露滋嘉苗也。

與余未也昆季

昆玉深入法趣。生此善家。此非小緣。皆多生願力得。以法為親也。貴在心如境如。心如者。無心外之境。境如者。無境外之心。處世界如虛空。似蓮花不著水。始可云

居塵出塵。即事離事。不然。與世諦中人。則無二也。不
識。昆玉曾與此相應否。此事要在境緣上驗。若安閒無
事。謂不見有世法營心者。即名自欺。不可不審察真偽。
稍遇境緣。則有念起。不得將心遏心。只提起本參話頭。
自然冰消瓦解。不費纖毫力耳。假如大有省發。不可便謂
之悟門。吾法中以悟為不悟無過。惟不悟而稱悟者。大妄
語成。昆玉已深知之。似不待貧衲贅語也。悟不稱悟。決
不再迷。不悟稱悟。決然退墮。昆玉可將高峯語錄大慧回
書細讀之可見耳。

復方士雄太學

道學淵邃。而祕參究者。吾于居士見之也。客歲同舟入
皖。得遂揮麈清談。知見無不與聖賢膺合。但向上一路。
非功力到。安能有絕後再甦底日子。趙州三十年。不雜用

心。果得不雜用心。於鬧市叢中。打成一片。一切世間貪
嗔情愛針筍不入。始是大丈夫行徑也。來諭云。深自警
策。不敢自誑。亦不敢自屈。此三句甚愜鄙懷。果如此用
心。切切提起本參話頭。決到古人田地。縱未得大悟門。
即此便是成佛作祖底基本。譬如種穀。耕之耘之。安得不
成熟收穫。居士深自諦信。不加疑惑。忽日磕著撞著。始
知飯是米做。更不向外馳求耳。世緣濃淡。夢幻漚花。居
士已知。諒不蹈此籠檻也。海門先生證學錄。說道理。不
沾著纖毫。第不曾與真善知識話會。然于生死分中。亦得
其受用。力量淺深。又不可槩與悟門論也。錄序一章。極
力贊揚。居士細研之。倘可存存之。不然希燼之耳。

復居士

博山近日。漸覺衰殘。疲于津梁。凡諸方寄書問道者。任

浮沉之意。不以一字訓復也。接居士書讀之。其中真實操
履。于境緣中較量。曾不欺心。不答。有負來意。所論向
朱晦翁教中。體認天理。只饒到正心誠意處。凡所作為。
一一合乎中道。祇做得世間君子。非出世間法也。何以
故。皆六識之心故。復看父母未生前。第不曾見徹本來面
目。在影響中。生安隱想。今時假善知識。例皆如是。如
居士在病中覺察。猶是善根深重者。有一等人。熱病退
後。又當作尋常。活佛出世。亦不能救。果真實參究。提
一句話頭。孜孜不捨。縱不能悟。管取現業貼貼地。倘然
打破疑團。親到古人田地。亦不必向境緣中較量。如夢中
作得主。與白日不差纖毫。更向不醒不做夢時。主人公在
甚麼處。者裏打徹。可與高峯大師把手同行。更不向人問
如何若何也。

復沈得一居士

復。餘容緣晤。不既。

與頑石禪人

余出家來。初歷講肆。便知有此事。因求出世心愈切。于經教中。非不留意。知在識見中用事。如經云。以知解心。入佛境界。如將螢火燒須彌山。終不能著。又云。如日當空照。童稚閉其目。自言何不覩。多聞亦如是。故知。知解愈多。非但不悟道。且為障道緣也。因拂袖別參。初脩空觀五年。雖則塵緣淨盡。于入理實未得力。後于船子公案上又六年。始瞥然也。總不似賢弟。寂而常照。照而常寂。謂之工夫。欲將此心用心。非但一生。窮劫至劫。似不能了。何以故。以能寂能照之心。為根本故。又以此心念慮不起。為本體獨露。豈待少時。只饒從生至老。總不起念。此念之根。曾瞥然否。若果無根性。

學身識之尚恐折興作門起念。現
捺喪翻旦和趨。珠魂却亂非念慮
遏。即掀平珠而大精吐喝。防生。又
是。但書大之會作須胡。諛。惟無
非者。豈以外耳。負未認也。胡。之。起
轍。其迷。況一笑者。但識。佛。諸。紅。白。緣。教。即
塗。擬。恐。一。力。不。識。佛。諸。人。紫。白。緣。教。即
此。真。地。載。有。餘。性。中。是。汝。有。不。是。十。白
陷。利。非。何。千。為。賒。佛。用。珠。未。怕。此。三。明
人。真。之。發。故。太。佛。日。真。珠。未。怕。此。三。明
見。毛。云。寔。可。其。是。日。真。珠。未。怕。此。三。明
往。吹。佛。知。又。珠。認。知。須。撒。來。事。了。麼。白
往。如。佛。不。又。珠。認。知。須。撒。來。事。了。麼。白
渠。師。也。亦。夢。是。者。識。只。裏。過。無。即。說。不
孤。知。太。切。說。便。向。也。未。羅。穿。曰。生。此。等。怕
太。當。心。一。字。中。此。若。云。也。紫。裏。心。無。得。只
人。婆。之。似。即。履。又。識。向。紫。裏。心。無。得。只
示。乎。婆。之。似。即。履。又。識。向。紫。裏。心。無。得。只
蟲。之。謂。即。真。大。曰。行。也。還。曾。羅。帳。用。起。容。慮
大。為。可。即。乎。祖。日。馬。賢。僧。向。也。一。念。還。慮
岑。爾。可。乎。祖。日。馬。賢。僧。向。也。一。念。還。慮
云。故。命。窠。似。之。祖。未。見。且。云。如。之。若。宗。門。不
者。失。情。氣。問。亦。未。中。化。麼。得。時。慮。應。物。時。不

此見賢弟悟處。若作恁麼知解。宗門掃地而盡。知有二
字。何曾夢見者乎。只此知有。賢弟便可用心。直要徹見
古人幽隱深奧。所以云。若要知此事。直須高高山頂立。
深深海底行。向威音那畔翻身。十字街頭打睡。更須白汗
交流。喫痛棒始得。不然。則照而寂。寂而照。終日保
任。終日不起念。無事於心。無心於事。體悉此意。未為
良證也。

與善來禪人

迢遞三千里。因循十二時。支那都走遍。可惜脚跟皮。汝
纔入門時。便識汝了也。東走西撞。圖箇甚麼。若是皮下
有血底漢子。自當擇一本分宗師。三二十年。搬柴運水。
墾土掘地。未為分外。今時有一等假知識。魔魅人家男
女。開口便云。有甚麼禪可參。有甚麼工夫可做。直下承

當。蚤是遲了八刻。由此謂之俊捷。謂之英靈。謂之天
然。謂之超拔。於本分上。既不用心。將者些業識。銷磨
不去。瞳了施主飯。學詩學字。學鐘王。學頌古學開示。只饒學得
口頭便利。詩過李杜。字壓謊得人信向禮拜閻王老子。裝束得
瀉。祇喚作業識。一朝敗壞時。手忙脚亂。有底日子。放他不得
一箇皮袋子。一劍樹刀山。百劫千觀。又喚作無眼。向者裏合。便鼓
過。鑊湯。炭多劫數。如清風裏得麼。若具巴骨。向甚麼處去。莫承。當
來。知是幾多荆棘。如汝還辯得幾根來。莫去。若如此。又作麼生得
如淨地。汝還好于衲衣下。一口氣不去。莫來。若如此。又作麼生得
人。便好能講能言。一印證去。莫來。若如此。又作麼生得
偽。片皮能去。莫將經書。上自己。在。既
兩便。休去。莫將。是箇。有分。在。既
十方。世界。都。管。取。有分。在。既

口氣不來。畢竟向甚麼處去。如坐在銀山鐵壁之中。祇求迸開。還容得第二念起麼。還容得思惟分別麼。到恁麼田地。只須[口@力]地一聲。向威音那畔又那畔。翻箇筋斗來。始可向博山者裏喫痛棒。不然。且就千巖萬壑之中。打野糲消日子。總不干老僧事。偈曰。學道如牛毛。發明如兔角。人人喜平易。那肯窺山嶽。積翠與重巖。終是難描邈。名言并奇句。情想亂穿鑿。撞著黑面老。未免遭貶剝。有志丈夫兒。趁時須早覺。打破生死關。始可稱絕學。

無異禪師廣錄卷第三十

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：

2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第三十一

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

啟

復何菲莪大司寇

插草諭誠。大地無過。嶺表芳塵聯接。中天獨讓閩南。標
佛國名。從來有種。續祖燈燄。光亘無窮。恭惟閣下。揭
露衣珠。重披慧鏡。現宰官而為領袖。作地主以衛金湯。

穎悟于雷。不驚于虎。誰過楊李之門。碑文刻白字。敢曰
慈明之謁。當道種青松。弄雪嶺靈蛇。聽偃溪浚水。生擒
活捉。僧俗不分。果熟香飄。聖凡一揆。某挂錫巖阿。不
循情于蠟屐。載舟山水。愧拭涕于泥封。速度嶺以規僧
林。敢跨舷而登祖席。輒辭高誼。希鑑愚情。

復張中丞

寶樹吐煙。熏戒香于遍野。慈門返照。麗慧日于中天。乘
一極悲心。慶多生願力。恭惟閣下。付囑靈山。範圍塵
世。嗅木樨而無隱。晦堂活句驚人。悟物格以致知。妙喜
微言在耳。古既如是。今胡不然。徹萬劫因緣。成一時佛
事。攪長河酥酪。還他淨梵天人。變大地黃金。須是達多
長者。某惟圖溫飽。山門底事不知。久脫世緣。物外煙霞
頗適。頃承翰教。進止徬徨。愧不暇于羈延。實有違于台

命。

復黃孝廉

福地珠林。藉縉紳而興寶社。泉南佛國。仗緇素以扇慈風。發蘭若真乘。結菩提善願。恭惟門下。儒門砥柱。法塹金湯。揭壁上高僧。點塵中俗眼。一呼而應。從來聲裏有人。再犯不容。那箇衣中無寶。駕三車誘諸子。頓轡白牛。具四攝化同流。高標赤幟。象龍蹴蹋。凡聖通融。(某)素耽丘壑。不諳市廛。硜硜惟拾枯柴。熠熠難調野馬。度嶺之期已定。搖空之錫不回。慈命斯違。通身汗下。

復

金繩界道。蓮開八德之池。寶網舒光。樂響七重之樹。儒
釋慶多佛國。人天交集珠林。恭惟臺下。半偈心空。三生
緣遇。聞雷悟道。何妨抱子懷孫。指雪傳心。不礙男婚女
嫁。即事離事。居塵出塵。喚來瓶裏之鷺。放出雲中之
鶴。某慣熟藜羹。時疑梵字。聞囀鶯而慚語。拜翰教以厚
顏。希恕耑愚。無煩齒頰。

復

明鏡非臺。在無心而可鑑。菩提有種。誠諦信以抽芽。藉
願力金繩。動樞機屏翰。恭惟臺下。靈源皎潔。道樹敷
榮。斂法界于毫端。運絲綸于掌上。深談不二。須知金粟
重來。搏聚大千。喜見曇花再現。枝枝珊瑚帶月。行行欄
楯披雲。履諸宿芳塵。洞羣迷寶所。某鹿苑委身。濫蠟人
戒。悃禪門寄跡。愧鼻祖燈傳。急旋錫以驚遲。敢攀緣而

應命。援毫悚慄。安住不違。

復陳

大居士。天王碩輔。菩薩宰官。印毗耶真乘。妙契風規不
二。踵太丘德業。爭高月旦無雙。節旄望重江藩。屏翰功
高法苑。稽祖燈半籍。僧率多閩海鱗龍。拈聖箭一枝。公
實作鼓山城塹。接起晏祖道脈。皆可悟不跨石門之禪。挽
迴雪嶠靈風。喜復覩當年喝水之勝。躡神駒捋猛虎。豈圖
熱鬧門庭。擊法鼓豎慈幢。所貴翻騰龍象。貧衲未瞻光
霽。先仰星雲。物之格矣。想子韶頌月夜蛙聲。吾無隱
乎。喜山谷聞木樨香氣。深承折簡。尚候摳衣。傳法入閩
南。雖不效背觸竹篔問答。賞音逢太傅。還商量打翻茶銚
機緣。把臂雖遲。馳神不遠。

復黃惺源諸居士(二)

羨黃梅負春。妙悟心非臺樹。笑金粟戴髮。超然品逾風
塵。示有家而修梵。不壞俗以談真。莫問。陸和泥。皆可
產青蓮瓣。無分鑰與石。總是點黃金資。瑩戒珠于五濁。
是水可清。趨善道于八關。有情皆佛。妙在回頭得岸。不
妨就路還鄉。携竿木遊廬。逢場作戲。插莖草建刹。吹火
因風。甘贄設供。勾南泉打破粥鍋。龐公喫交。惹靈照從
傍倒地。團圞頭說不生話。須是作家。糞掃堆拾無價珠。
還他好漢。所望眾居士。信手揭開衣裏寶。擡頭識取屋中
人。不惟石鼓金湯。且解晏祖聖箭。

碧水倒流。一喝當年信采。青雲得路。羣公此處通霄。靈
心粲筆底之花。秀色攬峯尖之紫。驚人活句。從聖箭穿下
過來。竦耳法音。在冰消語中流出。昔之典型未遠。于今

豪傑無難。力貴擔當。道親履踐。況八閩擅雄才之地品。
爭誇虎史麟經。即諸祖續照世之燈代。不乏玄詮僧寶。緣
遇投乎鍼芥。法興賴于金湯。伏願。衣珠晃耀。眉底法眼
頓開。寶鏡高懸。照內真光不昧。倘不負名山約。徑跨野
鶴凌空。尚冀瞻異日光。暫對飛鴻辭命。溪山有異。雲月
是同。肅此八行。謝虛左席。

復魏國徐六岳居士(附請啟)

伏以。一乘大法。單提震旦總持。千里舊畿。願聽白椎振
響。敢申尺素。遙布腹心。緬惟。無異大師。五印乘天。
一花表異。婆心濟世。現比丘菩薩身。佛手療人。作廣大
教化主。人人待如怙恃。在在倚為津梁。法席聳西江。宗
旨振即心即佛。鴻名鏘東土。歸依滿世出世間。(弘基)愧
墮塵氛。蘄聆警效。顧封疆之脩阻。致悃素之鬱陶。頂禮

有緣。瞻依敢後。頃因宰官居士之拭目振錫。竊役管城毛穎。以稽首颺言。祈一舸以南來。正法眼藏應須有付。搖雙旌而西望。金毛聲吼端匪異人。(弘基)臨啟曷勝顛遡。仲春朔日。弘基再稽首。

伏以。天王碩輔。勛猷望重八夷。菩薩陪臣。屏翰功高五寺。運悲華而播揚大教。瞻毫相而悃協素心。祇樹非遙。金湯有賴。恭惟。六翁大居士閣下。肘後懸符。示居塵而不染。衣中揭寶。信即俗以原真。秀結慈林。光彌覺海。優曇有種。佛照無私。趁盲龜鞭跛鱉。為求法海神龍。圖快鷁放俊鷹。豈彈林間野雀。遍界吐紫磨金色。滿城嗅青蓮瓣香。不讓金粟玄模。喜見明公偉勳。耀心光於五蘊。在欲行禪。振祖道於四衢。何生不佛。花雨再沾鍾阜。浮杯必躍江濱。蹤跡可尋。法緣在邇。肅此裁謝。不盡瞻依。

復南都見任眾居士(附請啟)

伏以。萬滙歸源。玉瀝作全潮之用。五都列市。金衡為眾
肆之宗。故歸頂者法必尊其王。而垂手者地亦占其勝。遙
香悚注。空錫歡瞻。恭惟。無異大師。雲開曩劫。露沃今
天。續曹洞之燈。慈羅舉而普馴鳥性。嗣壽昌之鉢。慧鏡
懸而頓拔蓬心。賓中主主中賓。衲僧眼幾回遭換。牛非牛
馬非馬。古佛口到此難開。煙迥楚峯。麒麟息處已居花
界。霜澄饒水。師子遊時即現金燈。幡飄慕化之田。雨下
聞聲之種。翹依寶蓋。乃在金陵。道鼓久震於重雷。幸
高皇之弘護。義缸常明于薄夜。頌初祖之遙臨。但皮髓難
分。誰下吹毛之劍。即象牛交集。那調載帝之輪。二千里
思佛日之再中。百萬人望優曇之一現。(某等)紅緣方劇。
黑障未消。奉三尺而拜手。君恩。拈一拂以盟心佛囑。用

是。具陳花水。整飾蒲藤。遠迎微妙之臺。先淨莊嚴之界。千雲禮座。吳峯堪抵雙林。一士當機。淮水俱成五味。(某等)曷勝翹首以迓謹啟。時仲春朔日。護法弟子任僕朱葵袁楷王永吉程策嚴爾珪龐承寵曹應秋曾化龍陳爰謀王維新周光夏吳國模林欲梧周孕衷等。再稽首。

伏以。慈洽靈山。大臣獨善於囑累。派分鷲嶺。名儒多載於傳燈。點開水面印文。喚醒域中長者。弘張勝軌。高建妙幢。恭惟。列位大居士閣下。心蘊經綸。直詣天王華屋。望巍柱石。毋忘大事因緣。匪藉神鋒。雲呈五色。不搗毒鼓。天雨四花。指頭觸而處處逢渠。化城過而行行寶所。萬境燁熙朝之景。遐方之僧舍流輝。羣生沐造就之恩。古剎之香雲結綵。梵音未衍。祖道斯弘。倘杖錫之從緣。約餅花為代語。溪山有異。雲月是同。肅此八行。謝虛左席。

復南都眾鄉紳居士(附請啟)

伏以。雜花分雨。羅海滄以弘詮。靈葉彌天。妙曦暉而徧
德。鯨鐘鼉鼓。須大震於霄衢。寶筏金繩。定高馳於日
輦。毋念覺途之不廣。并先覺之聖生悲。竊傷護法之無
人。并問法之人易阻。江之左湘之右。眾同妙淨之船。此
非親彼非疎。緣現廣長之舌。故翹誠傾注者。居滿字之
半。覲面親承者。弘果地之因。眾慊虔宣。積丹歸命。恭
惟。博山大師。髓流曹洞。鍼施頂門。耨池八味而注多
方。戒月三空而澄此土。亘古來拈花。指栢都付木叉之
童。尋常見陷虎。牽獠穿翻泥鬪之鼻。揮鋒如月。靈錫可
飛。垂手若雲。慈航不繫。性相妙嚴華藏海。因緣具集王
舍城。正須幻示準繩。聊一掀翻骨董。蓋金陵首善。高
帝盛明佛法以作金湯。而玉筍隗[阿-可+我]。康僧先感舍

利以隆緣起。南國之風期未謝。累朝之芘賴斯弘。蒼蚪
赤虺所共居。亟須慧炬。璞金鑰石而同集。應借洪鑪。大
乘法中樹最勝一幢。誰許他分宗判教。菩薩地上現普隨三
昧。正在此通國大都。(某等)既把臂以同林。因矢心而為
法。可知讀殘萬卷。不免猶作鈍中人。又道不挂一絲。如
何尚稱堦下漢。幸今長者居士。共悲日夜是盲人。又兼宰
官大臣。自憫風波與[宋-木+喬]客。一番汗出。盡日心
馳。付囑慚負老瞿曇。慈悲全賴善知識。解空起有。曾聞
寶地迦陵。應供轉輪。仰祝珠林香象。猛動眾忱之注。豈
非因緣。堅挑素志之盟。實勞饑渴。即願燈王移座。不煩
香國借厨。但現圓身。煙帶六朝非浪宕。總堪善世。雨花
千載說繽紛。雖大地蒼蒼。難訓六月松風之價。而諸天涌
涌。欲發萬井火蓮之香。崇鑒深祈。遠瞻如結。(某等)可
任馳遡顛仰之至。護法弟子顧起鳳徐揚先俞彥丁明登吳家
周汪偉蔡屏周陳元慶李琰菩薩戒弟子余大成等。再稽首。

伏以。都城浩浩。時被花雨毫光。巨剎巍巍。賸有獅猊曲
盞。斬新條發新令。佛法仗有力大人。藉斯日現斯祥。唱
和在因緣時節。恭惟。列位大居士閣下。廊廟鼎鉉。就世
法而興出世。寰宇山斗。居塵界而樂超塵。碑文白字可
觀。當道青松堪種。真儀有像。呼來壁上高僧。活句驚人。
喚出餅中鷲子。緝為純嘏。助此清芬。湛若冰鑑無
心。隨方隅而映色。暖過陽春有脚。即溝壑以沾濡。不世
希逢。大因盛舉。(某)嬾同瓚老。祇知採汲不虛。跡類融
師。那辯巖花之墜。懷鄉雲占瑞兆。君恩水土難訓。運
慧日靜邊陲。佛教金湯有賴。布慈雲灑甘露。羣公悲願交
敷。懸赤幟豎妙幢。萬劫津梁普度。具啟馳謝。曷任瞻
光。

序

重刻五燈會元序

釋迦不出世。祖師不西來。佛法遍大地。談玄口不開。當此時也。語言文字。蹤跡不來。棒喝機緣。鋒芒不露。逮夫拈花示眾。牽起陳爛葛藤。立雪安心。突出現前公案。遂使宗風廣衍。慧日高懸。燃長夜之燈。羣昏頓曉。拈一莖之草。法界齊觀。駕車須是打牛。磨磚豈能作鏡。如靈丹一粒。點鐵成金。至理一言。轉凡成聖。六代破水中之影。觸目皆真。五宗競空裏之花。通身是膽。橫趨而出笑。木[木*突]以何堪。撩起便行。悟佛法無多子。覩水影不從他覓。處處逢渠。斷脚脛痛見已非頭頭是道。若論佛法。一切現成。諦審玄猷千燈互照。龍蛇分於棒下。凡聖

藉以喝通。機發于未兆之先。用施乎形聲之外。乃至一言
褒貶。一棒縱奪。以非為是。口似甜而意甚苦之。以是為
非。心實允而辭無洽矣。雖久參者宿。不敢以正眼覷。況
識情解路。能通之乎。所以道。狂機劣解。不可以大法
示。不可以宗乘聞。譬夫美食置諸穢器。祖不云乎。醍醐
上味。為世所珍。遇斯等人。翻成毒藥。惟大心眾生。始
能擔荷。入斯乘者。不可不自慎也。會五燈為一書者。宋
靈隱大川禪師。未蒙入藏。雖一二處刊行。安能廣布。自
性禪人。頓發大心。謀於觀察曹君。為之首倡。募諸同
信。工過半矣。余初上鼓山。聞其事歡喜樂成。復徵余為
序。因援毫以書其大槩。云爾。

重刻禪警語序

議法門。說箇成佛。猶賸語耳。況其他乎。

萬佛名經壇儀序

眾生淨覺。諸佛慧門。由熏變而成凡。隨淨緣而見佛。既隨緣染。緣實無生。聖凡迷悟。悉強名也。圓覺經云。知幻即離。不作方便。離幻即覺。亦無漸次。如此領略。不假漸修。非作故無。本性無故。良以。眾生情生智隔。想變體殊。趨暗背明。捨安投險。縱無明之嗔火。燎功德之稠林。沉業識之愛源。漲真常之覺海。戒乘路塞。人我山高。眾妄起而邪見生。諸器成而金體昧。隨情逐境。破四棄之清規。動念乖真。結八重之障罪。根本繫乎七眾。無論是俗是僧。結業失於一時。豈分在此在彼。受六交之苦報。雖千萬劫必償。造十習之惡因。縱億萬生不返。是以

羣靈競出。大聖垂休。駕苦海之慈航。開覺城之鎖鑰。說
難思之懺法。彰諸佛之洪名。設壇結界。獻供懸幡。燒種
種香。散種種華。興大悲念。發菩提心。禮佛一拜。借壯
士臂以折慢幢。念佛一聲。擲如意珠以澄濁水。空諸我
相。徹彼真源。如滌淨器以見純金。似揭晴空而清智眼。
貴在力行。毋容忽念。瑞凝相現。罪滅福生。若能諦信不
疑。定許超凡入聖。斯經自某朝翻譯。載於藏典。人所罕
聞。茲因某禪人化某居士。運大乘心。廣諸佛行。嚴涅槃
山。拔眾生苦。消黑業于當念。財法二施。投智慧於悲
田。賢愚一致。或云。我本宗門禪客。毋容瑣瑣事諸壇
儀。當知。彼即地獄罪人。莫呵饒舌。願賜流通。

維摩經折衷疏序

十乘明者。機一。究。穿。思。傷。欺。其。深。等。吾。
三未也。之。雖。參。昌。詰。亦。不。語。而。有。三。矣。
云。實。宗。乘。即。於。壽。摩。斷。斷。之。利。免。悉。雖。
尚。佛。也。最。之。深。向。維。珍。斷。師。美。未。四。誠。
和。成。宗。為。離。時。及。至。閱。皆。心。什。也。者。六。精。
頭。性。之。皆。年。及。至。觸。婆。引。也。者。六。精。
石。見。字。之。境。髻。徑。產。雖。師。而。多。深。門。教。四。義。
參。心。文。字。之。某。斯。恒。藏。百。祖。而。旨。其。四。義。
初。人。即。一。字。之。某。斯。恒。藏。百。祖。而。旨。其。四。義。
也。直。者。一。言。思。也。不。入。之。恒。藏。百。祖。而。旨。其。四。義。
虎。方。也。入。之。獨。吾。歷。千。肇。而。樓。之。如。
義。南。教。者。皆。壤。倒。教。如。及。始。含。望。疏。疊。
之。聞。旨。者。皆。壤。倒。教。如。及。始。含。望。疏。疊。
中。哉。其。葉。實。藤。藏。券。曇。來。也。猶。法。旨。
乘。知。如。即。一。草。悟。謂。一。看。老。譯。文。士。無。盡。義。
教。麤。何。也。一。草。悟。謂。一。看。老。譯。文。士。無。盡。義。
本。甲。果。也。一。草。悟。謂。一。看。老。譯。文。士。無。盡。義。
師。某。教。也。一。草。悟。謂。一。看。老。譯。文。士。無。盡。義。
儼。教。宗。之。者。迷。乘。回。觀。如。信。秦。文。之。時。繁。
山。分。文。字。其。較。涉。過。經。手。此。其。使。也。其。
藥。二。了。離。離。而。未。中。議。鋒。也。文。施。之。嘆。語。

兄古德法師。新出斯解義。乃折中。銜寶佩華。探奇抉
異。而實有深旨。如炎蒸絺綌。凍冷貂裘。寒暑適時。清
爽人意。大有補於教乘。使後之學者。就事事無礙之門。
入不思議之境。無邊剎海悉我室中。燈王之座毋勞遠借。
香積之飯豈假化人耶。若乃索須彌于芥子之孔。網魚龍於
毫髮之端者。龐居士有言。山海坦然平。敲冰來煑茶。此
話大行。予亦不諱。請留待別時。是為序。

地理統一全書序

夫真源未闢。至蹟渾然。朕兆纔分。爻象定位。金藏雲鋪
成世界聚沫。聳須彌之高。毗嵐風撼動虛空輪際。蒸滄海
之潤。風金摩而火光上起。水土適而草木抽肥。蓋以能造
因心。華藏于茲幻立。所緣成境。法界從此區分。七金山

尼寶出娑竭宮。五方頓現。樹偉績洩天機。造化以之參贊。闡微言崇正論。古今益以洞明。斯實仁人孝子之所用心。亦乃報本造福之所急務。妥先靈血骨安煖。抹翻棺水蟻無侵。可謂濟世之真詮。救貧之至寶。藏諸名山。以垂不朽云。

重刻醍醐集序

夫善知識者。如優曇鉢花。時一現耳。豈但難見。亦復難遇。所以釋迦不現長年。促為短壽。惟十二分教。開眾生眼目。色香美味。舐之則滿口生津。大小偏圓。荷之則通身汗出。如靈丹一粒。點鐵成金。至理一言。轉凡成聖。可謂救貧之至寶。奪命之靈符也。斗峯寺古音琴禪師者。棄世緣如脫敝屣。參知識如侍所親。歷盡支那。不憚百城

重鬻。揭開寶藏。直追古佛家風。大法既明。襟懷豁爾。
開言吐語。不涉思惟。短偈長篇。隨聲吐露。攪長河為一
味。揭重霧于千山。自覺覺他。無門門啟。深契釋迦拈花
之妙。無慙迦葉忍俊之時。致使一人傳虛。萬人傳實。集
之曰醍醐。開之如鎖鑰。履之過冰刃。服之若丹砂。結世
諦良緣。洞眾生機感。惜乎字傳焉馬。文雜自它。如不刪
定于斯時。安可繩墨於後世。是以懷中禪人發心。就予取
正。并乞序篇端。因略書大槩。以示諸同志焉。

無異禪師廣錄卷第三十一

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣
錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：

2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第三十二

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

序(二)

重刻圓覺經序

夫緣生無性。生佛之迹本虛。無性緣生。聖凡之形宛爾。隨業感而報分優劣。逐境浪而識變精粗。如來大光明藏。

是眾生淨覺之本源。眾生最清淨心。是諸佛本起之因地。是當知無明無體。皆是空花。實際非塵。妄念輪轉。究竟圓滿。體常寂以遍十方。平等道成。心恒通而含剎土。不妨以幻修幻。肯信居塵出塵。開總持之門。絕去來之相。登涅槃之岸。忘得失之心。虛空何更生花。真金不重為鑛。貪欲斷而生死斷。愛渴除而理障除。非植二乘。頓超五性。無取無證。眼不自是眼。非智非愚。心不自行。澄行證。眾德本。成就道源。悟圓覺以淨覺心。取靜行而澄行證。客塵永滅。妙體方週。聞在剎那。悟通曠劫。二十五種輪倒。二妄相依。了六情以契圓明。觀眾生而體。四相而減。仗知識懺悔斷結習之根。悉備上機。頓圓種智。期限成純淨之分。樂。清淨眼。使一切眾生。入文殊智海。普賢行門。茲因顧居士發

場。坐華嚴法界。激予序引。予不敢以宗乘中較其優劣。
大抵就斯經。旁通箇消息耳。

重刻蓮宗寶鑑序

優曇大師。徹證禪宗。專心淨土。自利早圓。悲臻未悟。
將念佛一門。集成十卷。顯諸佛轉未轉之機輪。闢眾生信
不信之障礙。其引據確。其總攝周。其設教融。其指歸
捷。可謂大有功于後學者也。慨末法我相自高。邊見分
執。貶淨土為小乘。指念佛為權行。甚者向人涎唾下。覓
尖新語句。蘊在八識田中。以為究竟極則。及乎到頭。一
毫無用。是之謂棄楚璧而寶燕石。反鑑而索照也。其亦不
辯甚矣。夫我釋迦文佛。不妄語者。不異語者。彌陀經
云。一心不亂。專持名號。乃至七日。即得往生。法華經

云。若人散亂心。入於壇廟中。一稱南無佛。皆共成佛。
道。此其披心瀝膽。徹底為人。此言不信。誰為可信。此
言可信。又何疑于淨土念佛之門乎。要而言之。七日不
亂。為何等心。入壇廟稱南無佛之時。又何等心。能者得
之。禪道如是而已。若是真師子兒。哮吼一聲。百獸腦
裂。說淨土亦得。說禪亦得。說淨土即禪。禪即淨土亦
得。雙是亦得。雙非亦得。終日念未嘗念。終日生未嘗
生。終日無念不妨說念。終日無生不妨說生。圓陀如摩尼
珠。求其住足處。了不可得。何禪何淨土。而乃二之。然
雖如是。更有一句彌陀。未曾道著。欲盡情吐露。柰舌根
短也。噫。掣電之機。留待哲者。

建州弘釋錄序

顯化。彰[示*曷]應也。三曰崇德。錄眾行也。四曰輔教。備金湯也。合之命名曰弘釋。崇法化也。其識正。其論確。其採訪博。其分界嚴。非良史也耶。昔者道宣。作僧史於唐。弗長於文。且不知有別傳之事。齊達磨一宗。於史枯寂之輩。識何闇也。贊寧作僧史於宋。學富而才疎。且列黃蘗於感通。列嵩頭於遺身。列永明於興福。至於雲門。僧中傑也。反舍之而弗列。則其謬為尤甚。覺範繼贊而有述。高華秀朗。登作者之壇。然止傳禪宗諸彥。可以稱全史乎。今師所志。雖僅僅一州。而宣寧讓其雅當。覺範推其完備。迥然獨出。前無作者。即此可以窺師之一矣。矧千載之上。藉師而傳之。千載之下。藉師而知之。是師之功。固在千載之上也。建州稱弘釋者。非師而誰歟。余故樂厥成。不辭而為之序。抑又聞師撰述甚富。盡當殺青以傳。若然。則天下後世。有大造焉。非獨一建州也。余請。拭目以俟之。

送老父還鄉序

佛以一音說法。眾生隨類得解。眾生以隨類說法。亦以隨類得解。不肖憶出家時。順流抵石城。聞瓦官寺有法華講席。心甚慕之。逢一親知。逼令歸去。時以權語得脫。三月後。更逢一人。遽相謂曰。汝父有變。拱木將成。不肖追念罔極。撫躡大慟。幾至殞絕。復省前法華云。八子皆師妙光。又見淨藏淨眼。化父出家。此出世之孝。非世孝可比。因矢志出家。如箭離絃。無返迴勢矣。迄今三十餘載。未通鄉信。天啟四年五月。永豐少尹汪君。知不肖同里來訪。不肖自出家時。諱其姓氏。慮恐牽動世情。茂才楊淳之。汪君同行友也。詢叩不已。不肖偈示之曰。欲知家住處。陋巷世情幽。過水知吾姓。尋城識故丘。旋身依

社稷。開眼見春秋。舊日閒遊慣。金雞墩上頭。初憶叔父
或在。冀尚一見發彼勝心。淳之持偈歸問。則先叔已殂於
不肖出家之次年。而老父反康善無恙。前之親友。徒以謾
語相詒耳。老父一聞不肖住博山。不遠千里。操舟而來。
時一見面。恍如夢中。悲喜交集。意謂再生也。不肖王父
以上。皆未能望五。老父今七十有三。尚矍鑠善飯。以脩
短較之。豈非再生乎。何意垂老得奉慈顏。屬有天幸。非
思所及。因思彼親友。善說法要。即不肖導引師也。茲因
老父思歸。計不能終養。睽離之罪。擢髮莫數。敬述生
緣。以誌始末。云爾。

八關戒序

眾生受佛戒。即入諸佛位。位同大覺已。真是諸佛子。此

菩薩戒。非八關戒也。然戒有大小。體非異同。戒有廣略。理無分析。戒有斷續。性絕開遮。自非利生大士。不無犯于塵勞。有力行人。何難行于頃刻。躋緣生之道岸。一日之齋。通累劫之津梁。一日之戒。謾言瑣細。具得全功。不論短長。頓同全戒。譬如飲海一滴。味同全海。又如一滴投海。同海全波。須知。戒淺功深。因微果徹。興聖人之方便。悲開詣實之權。標大士之指歸。喜見從權之實。清山主撮其簡要。吳太史覈其攸同。收圓行于一時。植殊因于永劫。不揀貴賤。勿論智愚。但辦堅實心腸。定入華嚴藏海。

生生社戒殺放生序

語云。護生須是殺。殺盡始安居。此勇猛丈夫。決定志

自至親。四大。劣。然。于雲。而。慧。不知。且。大。然。于雲。而。慧。不。從。而。四。陋。不。蛇。鼠。他。養。性。大。逐。一。生。棲。此。諸。功。之。殺。交。怨。根。是。中。見。眾。雲。業。乃。其。名。解。鼠。大。罪。炤。林。悲。無。相。殺。實。故。筆。祇。二。家。肉。窮。返。蓋。大。化。興。命。體。身。攻。大。噉。造。若。五。體。慈。而。生。同。得。爛。蛇。謂。生。身。受。賊。于。同。緣。悲。繇。救。以。不。養。四。可。眾。身。受。魔。起。以。無。興。社。但。故。吾。窟。害。財。一。因。誰。斬。恕。以。上。座。生。豈。以。為。明。戕。法。殺。壤。至。剛。劍。之。慈。相。湛。導。放。也。以。無。賊。吾。之。壤。至。剛。劍。之。慈。相。湛。導。放。也。以。恣。六。劫。之。報。金。身。彼。也。且。命。以。生。盛。命。而。盡。三。途。仗。法。無。相。互。而。慧。所。以。魔。慧。從。來。返。固。地。上。子。深。善。殺。眾。德。良。五。殺。之。氣。不。堅。固。地。上。子。深。善。殺。眾。德。也。殺。劫。之。一。迷。當。無。生。棲。桐。斷。命。功。

報恩品序

聞夫。苦海無邊。慈恩匪一。情想局于限量。識性迷于無知。限量則灼有親疎。無知則妄分彼我。輪迴于生死。三途之業報何窮。旅泊于人天。九有之昇沉不息。改頭換面。多生父母結盜賊之冤。戴角披毛。歷劫宗親償兒女之債。大師興慈悲念。說四難報之法施。長者現衰邁年。誨一惡性之逆子。胸前而寢。膝上而遊。真情普矣。男為慈父。女為悲母。親愛彌乎。以世界為殿堂。以人民為根本。國主之深恩莫報。以神通為利樂。以度行為修因。諸佛之慈德無休。捨幻化財。植人天福。身命頓超。棄有漏軀。絕堅固想。傳心為最。解法義。而流通法義。還他三界智人。知深恩而報答深恩。須是九濤居士。不辭饒舌。願入斯乘。

壽趙湛虛居士七袞序

曩予讀淨名經云。塵勞之儔。為如來種。又云。高原陸地不生蓮花。卑濕污泥。乃生此花。則知佛法非專談真如。獨說無生。以醉人於忘情泯識之鄉。使跛驢心智。自困於灰稿也。蓋佛示出家。以明真諦非有為。破凡夫著家。使出三界二十五有之籠罩也。淨明示現居家。以明世諦非無為。破二乘越俗。使不淪於斷空寂滅之坑塹也。既曰示現。各有儀則。豈彼釋迦無能逃位皇宮。淨名好事嗜痂毗耶耶。觀彼曼殊叩室。競談不二之時。而維摩僅置一空牀。除諸他有。則此老雖示有家。而風味澹然。宛爾一禿居士耳。佛則示居華藏。法軌森嚴。不壞世間。而熾談實相。正顯真俗非殊。淨穢何異。誰謂世法分疆裂界。徒與

喜人物。斯若如佛院。指爾詩。歛合於中。也。
法。人。篤。冀。氣。為。然。巖。千。若。以。樹。性。蘄。水。點。也。
為。流。公。訓。衷。塵。勞。董。也。刑。玉。天。更。劫。抹。點。也。
公。第。一。故。庭。和。即。家。護。為。砌。公。能。世。界。劫。塵。
虛。谿。飯。為。貌。能。已。贍。弘。友。遶。吾。亦。心。塵。
湛。建。茶。佩。道。且。急。周。公。孝。友。枝。吾。亦。心。塵。
趙。為。作。世。也。布。如。方。皆。以。瑠。廊。物。觀。身。心。塵。
與。德。乘。世。也。布。如。方。皆。以。瑠。廊。物。觀。身。心。塵。
即。德。宗。且。苑。遐。席。多。數。矣。如。廟。造。之。相。壽。
時。才。好。海。德。巖。調。理。之。可。森。珍。流。意。也。
巖。高。廬。之。法。董。心。蒼。亦。森。珍。流。意。也。
董。士。為。昌。遊。若。眎。悉。為。家。芳。以。厚。吾。場。
至。士。為。昌。遊。若。眎。悉。為。家。芳。以。厚。吾。場。
初。居。嚴。有。行。其。不。目。有。傳。翼。而。哉。戲。劇。
余。齋。楞。具。駕。善。牀。人。示。令。天。冕。多。為。一。
也。豫。以。亦。並。禪。者。人。示。令。天。冕。多。為。一。
也。號。法。二。方。物。作。典。翔。來。故。展。雲。軒。自。屬。
爪。翁。佛。此。咸。釀。欲。有。缺。鳳。再。服。雖。以。何。家。
痕。之。佛。此。咸。釀。欲。有。缺。鳳。再。服。雖。以。何。家。
畫。公。通。於。咸。釀。欲。有。缺。鳳。再。服。雖。以。何。家。
空。深。於。咸。釀。欲。有。缺。鳳。再。服。雖。以。何。家。
虛。交。且。道。孫。春。事。務。麟。即。禮。風。道。哲。花。也。

其襟度曠邈。心量高明。且欲搏掬大千。不啻倒擲烏履。
令撲地作笑弄聲耳。今春秋揆度正欲不踰矩之辰。余忝方
外道誼。不能獻度索之桃。斟椒花之醞。聊裁短偈。以當
優曇一枝。為公期頤之祝。偈曰。有美人兮履道素。慧光
燦然渾不露。饑餐渴飲更奚為。語必追隨嘿同處。拄杖撩
天那復高。滄溟倒跨石為橋。丈六金身作莖草。大千頰視
掌中桃。世波盡道蕩人性。魚龍返以水為命。逆洄順遡得
其情。業流灣環風送艇。芥城劫石許多秋。歷覽須臾一瞬
周。有問只今遐算事。眉毛剔起笑夷猶。

壽黃心鏡居士五袞序

夫脩行者。於相不住壽者相。百年等空華。如理得常住。
若執於百年壽命。祇得百年。悉被明暗二境遷變。非得常

住法也。傳大士云。有物先天地。無形本寂寥。能為萬象
主。不逐四時凋。云萬象主者。即常住法。金藏雲起而非
成。毗嵐風吹而非壞。劫火洞然。我土樂隱。纔達此理。
悟不由師。稱此理而曰壽。非劫運也。稱此理而曰命。非
生滅也。稱此理而曰常。非斷續也。稱此理而曰住。非去
來也。其劫運生滅斷續去來。悉鏡中花相。於實際理地。
求其纖毫實迹。了不可得。於不可以此壽居士曰。無量壽。
曰命。曰常。曰住。皆賸語也。余磨塵點墨。不足以較其優劣
無上壽。無等壽。無等壽。磨塵點墨。不足以較其優劣
也。偈曰。識得金剛不壞身。眼中童子面前人。謾言桃實
三千載。賸有靈枝劫外春。

題顧醒翁居士園菴齋亭引

昔維摩居士。居毗耶城。播揚大教。今醒老居士。居石頭
城。護持大法。古之世界。今之世界。古之天地。今之天
地。古之日月。今之日月。古之人物。今之人物。維摩即
醒老。醒老即維摩。闡揚正法。光顯末運。無二無別。故
以醒老之菴。扁之曰金粟。善財童子五十三參。百城重
囿。而醒老不離跬步。默究斯道。故以閣曰南詢。以娑婆
窺淨土十萬億刹。悉以蓮為標的。居士現前寶池沸湧。菡
萏開敷。故以亭曰樂邦。居士世族名家。望隆朝野。英賢
疊出。科第蟬綿。故以館曰甲秀。居士焚香晏坐。注意禪
那。履列祖芳塵。啟今人慧鑑。故以堂曰鏡心。居士襟懷
豁達。塵境不侵。故以齋曰澹然。居士百務紛紜。心空澄
湛。故以齋曰純一。林泉掩映。竹樹交清。故以亭曰挹
翠。斯園也。銷塵坌之萬緣。融古今之一致。入金粟菴。

談不二語。登南詢閣。悟菩提心。憩樂邦亭。注西方境。
讀甲秀館。生夢筆華。坐鏡心堂。翻竺乾案。範模純一。
心地澹然。挹翠色于深林。噉竹香于嘉樹。居士幽致之
樂。禪悅之趣。迥出尋常萬萬。揮筆及此。爽神怡神。不
啻置身園中。想居士時覽斯語。貧衲雖隔千里。未必不朝
夕左右也。

跋

正觀禪人刺血書華嚴諸經跋

夫大法難逢。真乘罕遇。千燈供佛。酌半偈以何辭。四句
潤心。捨全身而不慊。況破塵至寶。法界全經。大士因
門。如來果海。塞滿龍宮之藏。具在一塵。播揚鷲嶺之
奇。縱橫萬象。自非曠劫植菩提之因地。安能手捧目觀。

偶此勝緣哉。正觀禪人。夙熏種智。修假多方。出娑竭之湧泉。繡貫花之妙品。加利刃不見當機之痛。流鮮血無慚捐體之施。書報恩金剛華嚴。共計一百有餘卷。以弘寶筏。庶渡迷津。蔓衍不二之雄文。舌根流出。騰躍難思之義海。筆底翻來。反觀法帙得成。肌膚無損。勝妙廣博。幻質何乖。得浮世之便宜。履法門之徑路。妙緣斯在。道岸非遙。

記

惟德禪人血書經記

教中云。施者有四。謂財法身命。較之則財法尚易。而身命為難。身尚易而命猶難。故我釋迦大師。諦觀大地。無微塵許不是捨身命處。今之人。身外之財尚堅守。無纖毫

解脫。況身命乎。吾徒道容者。刺血寫五大部。送博山。
與藏經同處。使展閱者。知有不惜身命而重大法。人各效
之。解脫法門。不待重宣其意。而功德美行。可與輪藏并
峙而無盡。不亦善乎。仍發心寫華嚴三品。日為課誦。作
如意寶。返魂藥。渡海囊。余因焚香述偈以記之。云爾。

稽首無上法。甚深脩多羅。受持疾成佛。故不惜身命。剝
皮可為紙。析骨當為筆。刺血以為墨。何況於舌根。譬如
破弊囊。而盛無價寶。祇欲貴寶故。何惜囊破壞。又如淤
泥中。而生妙蓮花。見者皆愛樂。終不惜泥土此身等土
囊。能生無上法。昔人捨全身。為求四句偈。惟損一根
故。成此若干卷。是大得便宜。是名真解脫。是破此慳
囊。是成諸佛智。願法界眾生。同遊華藏海。廣行眾善
行。皆共成佛道。

文

念佛文為棲霞一門禪人說

夫淨土者。乃一切眾生。究竟安身立命處也。念佛者。乃一切眾生。第一背塵合覺門也。寂光真淨。惟是佛居。從此垂作實報淨。方便淨。及同居淨。以接引彼菩薩人。二乘人。及凡夫人。既從實以施權。則無權而非實。既隨義以立名。應顧名而得義。惟淨土之致不明。故念佛之理亦昧。但謂自性即是彌陀。而不知彌陀不外自性。但謂無念乃為真念。而不知淨念即是無念。是以究極於一心不亂。則諸佛心內眾生。時時成道。托修於執持名號。則眾生心內諸佛。念念證真。念惟是佛。如百川朝宗大海。佛全在念。如琉璃內含寶月。不惟感應道交。亦且自他不二。但令諦信不疑。決定無諸岐曲也。余幼慕禪宗。得入壽昌之

室。謬承記莚。三十餘年。寥寥海內有唱莫和。刁刀魚
魯。轉見參差。方知祖師西來事出非常。有大利者。必有
大害。功高易進。無如淨土一門。念佛得度今正是時之
語。非欺我也。一門禪友。結蓮社於棲霞禪室。攝念佛
人。同歸淨土。可謂。末世津梁。人天標榜。乞余一言。
以作警策。余嘗謂。一切行者。須信自心有成佛種子。信
如來有接引大願。信有淨土可生。信有彌陀可見。將一句
佛號。驀直念去。念到一念不生。則凡心即是佛心。更何
生死不了。真可謂。直捷穩當者矣。勢至圓通。文殊三
昧。誰有智者。而肯捨置弗修習哉。

放生文為報恩自觀以之二禪人說

五濁惡世。缺陷眾生。舉足動步。無不是業。招因帶果。
無不是苦。而殺生一事。則猶業中之業。苦中之苦也。止

十。戒。士。而。也。九。同。意。六。者。乃。苦。形。之。之。
五。大。戒。佛。涵。良。於。閱。者。故。致。必。報。奈。初。
故。中。地。共。以。普。者。機。備。生。斯。造。則。替。
生。因。果。定。來。德。之。生。場。悟。自。未。仍。石。弗。
放。聖。人。初。花。之。視。之。生。之。為。若。在。我。投。海。
於。聖。人。初。花。之。視。之。生。之。為。若。在。我。投。海。
善。位。務。變。也。好。生。易。基。生。物。萬。也。果。如。山。
莫。果。首。刀。成。好。人。為。非。了。會。然。之。藥。移。
慈。為。而。慈。也。世。識。無。方。能。自。償。良。口。砥。
為。初。以。定。土。無。礙。而。識。無。方。能。自。償。良。口。砥。
毒。為。不。入。淨。悲。果。生。理。界。者。悲。然。有。苦。之。
轉。此。莫。聞。為。佛。為。觀。無。同。期。既。苦。流。
殺。不。薩。聲。塗。覺。於。性。遍。達。運。不。在。無。際。中。
戒。莫。菩。也。現。成。直。蓋。情。氣。慈。於。敵。循。環。勿。
於。假。戒。力。同。也。六。之。緣。現。成。敵。循。環。勿。
急。聚。出。共。在。生。之。明。故。於。生。無。心。我。訓。狂。瀾。
莫。三。賢。道。在。生。之。明。故。於。生。無。心。我。訓。狂。瀾。
善。具。上。寸。以。眾。生。不。緣。妄。以。於。物。相。濤。狂。瀾。
行。真。四。薩。大。地。放。之。理。生。咸。稟。根。於。物。相。濤。狂。瀾。
惡。戒。履。離。菩。觀。界。體。地。道。能。與。跡。因。何。

誠。難行能行。亦在當人之自奮耳。苟能斷殺業。除殺法。離滅殺因。忘殺機於根塵識界。盡生理於依正自他。則菩提涅槃。便可向放生一事中薦取。豈世間功德所能彷彿哉。自觀以之二禪者。率諸善友。創此社於報恩大刹。予為申明其義。以告同仁。俾能放所放咸契無生緣生之理。庶地獄可以頓空。佛性可以頓了。謂放生社。即寂滅場可也。

無異禪師廣錄卷第三十二

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依

卅新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第三十三

住博山法孫 弘漸 彙編

首座法孫 弘裕 同集

文(二)

奠壽昌和尚(二)

某年月日。得法弟子某。謹以瓣香素饑。致奠于壽昌先師
大和尚法座前。而言曰。於戲先師。身獨立于宇宙。神周
遊于寰海。遊戲大火聚裏。鮫珠帶水欲生寒。出沒生死浪

門者幾人。覩影知形。捏轉鼻頭者孰是。顧不肖謬當其
印。是就無用中而求有用。及師遊少林登五臺。不肖始離
叢席。三經寒燠。逮師居寶方。復命首座寮秉拂。其知遇
之隆。出乎常格之外。舊春二月。覲師于壽昌為師壽。甫燈
闋朞歲。而以生滅去來。嗚呼吾師者。不啻門外漢。詎足與
愈朗。其以尚饗。

慈容粹美。十年若隔宿之期。古寺輝煌。群木動遐思之
色。法音宛爾。杖履蕭然。銷俗諦餘塵。豈斷懸河之辯。
入常光三昧。毋辭織錦之勞。深悲脚下兒孫。誰為克肖。
刮去眼中膜翳。灼有師承。點鐵成金。煅凡育聖。雪盛銀
盃。露濕禪裾。銘先師格外宏慈。棒下吐驚人之句。愧不
肖冶中鈍器。當陽洩正位之機。方開一線之長。遂醒千秋
之夢。縱肝膽塗地。而莫報洪恩。藉山海煙雲。而敬伸薄

奠。

奠鷺湖和尚

某年月日。弟子某。謹以素饘香燭之儀。致奠于鷺湖堂上。
示寂先大師養菴和尚之靈龕。而言曰。於戲先師。靈心湛
寂。道性貞醇。幻化八十春秋。渾無起滅。成熟千生善
聚。示有去來。梅花枝上。笑拈不夜之春。茶銚爐邊。賸
得活人之句。見野燹而知起處。境量消融。封鎖鑰以驗方
來。真機獨露。不起日旋三昧。大施無礙鉗鎚。悲花法雨
灑人寰。慈意戒雷轟碧漢。不謂化儀告畢。緣應已週。金
棺掩耀。俄驚白樹以興哀。鷺水藏珠。不覩玉毫之散彩。
白雲慘乎無色。瀑布淒以斷流。頽法門之華棟。四眾何
依。竭覺海之靈波。群生失潤。某等夙承洪鑄。仰戴玄難
猷。瞻模範以步趨。風高莫及。藉聲光而提命。恩大難

訓。叨餐法乳之深。徒戀雙趺之跡。溪毛澗水。聊為最後之純陀。海月山雲。永作吾師之供養。至痛無文。真炤靡隔。

祭文

嗚呼哀哉。言念父兮。廓落坦夷。儼行仙之高躅。質直樸實。追懷葛之醇風。慕善道而嗜從。如漿脯之適口。馱世網而思脫。比澤雉之樊籠。視塵勞而為夢幻兮。轉成智度。借恩愛而作道緣兮。實生兒躬。早遊方外。志慕空宗。奉戒律而為孝順兮。訓劬勞之罔極。弘道法以資恩有兮。冀樂利以無窮。顧不肖雖悖德於一時。菽水違養乎雲水。賴老父終歸心於三寶。蓮胎高步乎花宮。山川秀邈兮。疑復覩於再世。桑梓旋歸兮。俄捐館於西風。指忽嚙而心慟。音雖隔而夢通。登坵隴以瞻顧兮。澗藻陳其怵惕。攀

楸檟。以雪涕兮。風木感其哀衷。願來歆於法喜兮。山雲
海月聊申兒之供養。期早證於樂邦兮。水鳥林樹皆演佛之
圓通。惟靈不昧。鑒此哀悰。

祭萬融上座

仁者發心尋師。浙水吳山。往返年餘。遍參哲匠。無有可
其意者。己亥與余邂逅。鷲湖峯頂。一言相契。若針鋒投
于芥子。如飴如蜜。似蓮花開于夜分。愈湛愈鮮。相別二
載。仁者腰包抵閩。復會予于武夷虎嘯崖。同出嶺。住西
巖祖印及博山。三寒暑。始分居衢之招慶。應檀越廉憲詹
公請。嗚呼隙駒易流。倏忽間一十七載。余召仁者歸。仁
者無時不願歸。甲子二月十八日。聞仁者棄我而先仆。寧
不痛哉。嗚呼仁者。心何心耶。行可行耶。惜悲智有餘。
而世緣未了。而今而後。不復與仁者論玄言談世諦。略以

數語記其歲月。為再世緣。偈曰。浮生虛幻。縱壽百年。
電光石火。孰為後先。汝達斯理。棄余長往。一非云隻。
二不成兩。人見汝死。我知汝心。慧光渾全。不向外尋。
十有七年。宛如夢幻。行美機緣。可謂通貫。今日實際。
山濤海雲。松聲鳥韻。觸目皆真。建窳堵波。藏諸所有。
天覆地載。傳之不朽。我以法供。密示汝前。汝其領會。
密在汝邊。

祭趙湛虛居士

靈木潛輝。樹變兢河之色。真光掩曜。僧含閩嶺之悲。設
素供攄竭己躬。雖輸誠辭難盡意。勘破人間大夢。帶來劫
外靈明。伏枕多金粟不二之談。理圓辭妙。披緇效馮公再
生之願。事實果彰。諄諄戒酒囑嗣君。念念脩行策道友。
示病纔于七日。快活何止千言。開頤含笑。而無墮容。燠

頂聖生。且有明驗。心莫守而頓超諸有。言不盡而畢理眾
心。幻化七十三年。齋戒三十九載。拂衣善逝。拍掌歸
家。別眾若赴請之期。肅容如再生之日。片言隻字。難盡
鄙懷。澗水山花。聊伸薄薦。

疏

廣福菴化藏經疏

箇中不立元字脚。一大藏教向甚麼處得來。隨方建立總持
門。七百函經從自心中流出。覩明星而悟道。瞿曇之鼻孔
頓開。拈莖草以投機。帝釋之面門劈破。一片白雲瀰漫。
幾多歸鳥迷蹤。山河大地作琴聲。到處花飛蝶舞。水鳥樹
林談實相。何須鳥跡蟲文。得魚兔方捨於筌[(口@(企-止))/
弟]。盈倉儲始忘乎田地。剜千燈而供養。信知大法難逢。

捨四大以訓心。祇為恩歸有在。周廉溪發弘誓以相資。眾
居士乞片言而為引。續佛慧命。而壽命無疆。勞已色身。
而法身始顯。佛緣克就。世道遐昌。

覺慧寺化藏經疏

法幢高豎。人天之白業熏成。寶藏遙頒。緇素之玄風始
著。捨金輪而談真諦。拴回帶雨泥牛。剜赤肉以博真詮。
倒跨嘶風木馬。普眼雲興二百問。人人衣縫綻開。普賢瓶
瀉二千訓。箇箇鉢囊盛滿。扶驪龍之至寶。須探覺慧奇
蹤。踵伏龍之芳塵。要入普聞玄徑。天垂寶蓋。千餘年之
靈運重來。地界金繩。四大海之真源復湧。打開瞿曇寶
藏。大家乞我一文。豎起慈氏層樓。普願同拈片瓦。緣生
之實相有據。誰申較量之功。性地之靈苗再生。好下有情
之種。

峯頂和尚壽塏疏

淨白無依。平地湧七層之塏。妙巖非相。靈光通一線之
天。破大夢於紅芍藥邊。一文二文三文憑渠料揀。顯圓機
於碧梧桐裏。千座萬座億座散滿閣浮。本無一切之身。法
輪轉於塵界。竟分一切之塏。眷屬等於河沙。是以隨緣即
應。應本無生。非思量分別之所能及也。我大和尚。托質
斯時。全該大法。順機動善。慶無不宜。誰云有去來。拍
破木人之掌。渠本非國土。展開石女之眉。釋迦文揭露於
當時。倒跨泥牛迎曉霧。阿育王覆藏於此際。賸搖鐵鐸振
春雲。紅光爍破地皮。白浪點開巨眼。雖則規模畫一。料
理在我兒孫。笑看窳堵千層。蓋載還他宇宙。稽首昆季。
同樹厥功。

護生社募緣疏

真心彌巨。寧有六道之殊形。妄念隨緣。遂感多生之異
質。如來大光明藏。是眾生淨覺之本源。有情最癡暗根。
含諸佛妙明之因地。雖報緣聰聰蠢蠢。然覺性完完全全。
蛛結網。機械可知。鵲營巢。靈心愈巧。鱗解鑽泥而隱。
虱惟趨暗而奔。觀蠕動咸自貪生。雖傷殘而猶戀質。甜兒
之塵。涕泣而腸斷幻囊。護子之蟲。命壞而身環舊穴。瘳
乳捨將烹之鱉。投珠醫未死之蛇。何忍剝皮剔骨。活潑潑
以入鑊湯。劈腹剜心。魂飄飄而驚爐炭。淚未乾而皮毛脫
落。肉尚動而厨竈喧嘩。可憐頃刻下咽喉。誰識神號鬼
泣。肯信無端被燒炙。須知果欠因訓。三途之業報無休。
萬劫之羈縻不息。豈可恣情悖理。烹鮮擇肥。惻隱忘大聖
之真慈。食噉導凡愚之惡習。無纖毫好生之念。藉口曰萬
物養人。興殘慘造業之心。又豈知三途在我。不爽絲髮。

如影隨形。普告達觀長者。大發慈心。効解網之仁。啟放生之會。杖頭之青蚨不惜。囊中之故鈔何慳。脫籠檻如出囹圄。好看理羽毛而愉快。免砧几如離屠肆。灼然全幻體之靈知。鼓翅空中。現黃衣而拜主。昂頭水面。旋印紐以訓恩。果報無差。循環不息。莫呵饒舌。願賜登名。

阿育王寺募脩舍利殿疏

靈光飛彩。閻浮分無量之身。空谷傳聲。海岸湧五層之塼。毫相瞻於七眾。隨定業以現殊形。功德佈於多生。遂塵緣而興異報。允矣法門之驗。自金棺掩曜之時。奇哉覺樹之春。巨青帝熙和之景。真身雨八斛四斗。翻塵勞業網可知。悲願造八萬四千。盡天上人間俱有。光彌覺海。秀結慈林。窳堵波終古不遷。世莊嚴緣生有壞。雲門老欲眾生之機感。就眉毛睫上樹大法幢。諸善人發自性之靈知。

向香水海邊爭先佛種。喜聞地理。淨破慳囊。願賜抽毫。
同圓聖智。

天心寺募飯僧田疏

蘭若發真乘。闡闡宛嚴佛國。涅槃無異路。市廛賸有僧
園。豁心境于一如。融古今于當念。婬房酒肆。彌勒之布
袋橫拖。獵隊樵羣。能祖之風幡直指。破格非關乎淺識。
絲毫爽猶過蠱毒之鄉。超拔要在乎智人。道諦成似飲醍醐
之味。從凡心而入聖。先嚴潔淨之壇場。擯魔眾以清修。
必假資財而助發。乞檀那之雨露涓滴。幸灌于天心。種自
性之菩提根株。必榮于佛地。僧田有賴。報果無差。慨賜
真慈。弘恢聖域。

壽言

上壽昌和尚七十

壽昌一片閒田地。荊棘鋤翻行樹植。玉葉金莖遍世間。祥
雲五色如綺織。靄靄毫光亘十方。白乳香糜意味長。沾著
唇吻生白醜。鐵額銅頭頗廝當。五十年前親蘊造。翠靄山
中窮大好。自言遑著赤珊瑚。元是峨峯地上草。我曾忙向
箇中親。撮摩如錦復如雲。匡柴不是閒相識。始信寒巖別
有春。龍象蹴蹋環麟鳳。俊鷄天駒非釋種。後園獨羨老驢
鳴。嚙草攢蹄不受控。一聲犍椎法門開。衲子如雲輻輳
來。玉鎖金匙挑不出。大海須彌祇一埃。今年七十懸弧足
度。通衢獨踞白牛輅。招手揚聲換不回。伏藏家珍胡足
數。觸處開山非聚糧。峻嶺平原盡寶方。叢林賸有金銀
氣。法界惟聞優鉢香。

上峯頂和尚七十

鷲湖山高雲皑奕。如蓋如幢金蓋色。照世明燈坐道場。一
道靈光燭天北。獨步寰中意自殊。南方知識迥良模。推開
辯老門前白。奪得蘭公肘後符。梅花枝上露消息。倒跨燕
都神駿逸。金鈎海底釣鯨飛。天目峯頭銀浪激。歸來占斷
白雲春。飯糗羹藜絕四鄰。德比黃梅躬餉母。詩同慈覺勸
尊親。天生純孝既如此。等視眾生猶一子。開堂法乳潤枯
松。說戒金鱗躍芳渚。英標衲子競瞻光。三尺黑虬鞭四
方。未過黃龍關可否。先知伯樂馬驪黃。今年七十從心
度。半倍趙州花甲數。使得時辰珠走盤。吞乾日月壺縣
樹。眉毛似雪畫難傳。萬仞須彌聳巨川。擬同嵩少追芳
躅。笑與支那較大千。

壽懷白禪人

襟懷清白佛家風。器界情深境界同。一帶晴嵐無限樂。彩
雲斜罩妙高峯。劈破妙高峯頂色。靈源倒吸黃河竭。明暗
交參互換機。分明兩口一無舌。春來都放一般花。遍界渾
敷智慧芽。莫道出關行路險。嶺頭足破有玄沙。佛緣自古
閩中有。明月光含獅子吼。要識靈山老比丘。也須格外翻
筋斗。禪者忻逢不惑年。鼻頭懶拭俗人前。生平祇解居山
好。佛法應知在鑊邊。鋤頭豎起知輕重。鋤聲驚破居山
夢。醒來不似舊時人。纔方舉起眉毛痛。我將此語祝長
生。東土西天路坦平。佛祖場中戈不展。傳燈永載丈夫
名。

壽清溪居士

瓶盂幾入樵陽城。入境早聞居士名。居士慧風拂人面。邂

迨始舒眉上衡。我曾說與修行要。玄源不向別人討。根境
門頭著眼看。衣中奪出傳家寶。慣放瀉山大白牛。溪南溪
北恣優遊。家常田地都耕遍。賸有煙雲一帶秋。去年七十
懸弧度。海上仙來誇步武。愧我不曾預法筵。為君重說雲
門普。鑿開混沌露空青。兩手慇勤握曜靈。真珠收向皮囊
裏。誰道山河礙眼睛。他人賀十我賀一。我賀八十人賀
七。待君百歲作長篇。再把真詮通祕密。

壽東湖居士

水兮流聚閭浮東。湖光蕩漾吞蒼穹。終朝雲氣騰霄漢。瑞
日祥風啟太蒙。居士曩餐仙掌露。愛向禪門聽法語。皓然
鬚鬢尚乾乾。夢幻身心方栩栩。一聲佛號震如雷。識境根
塵當下隳。不問娑婆及淨土。何妨城市與山隈。今年八十
復有一。拄杖橫挑消白日。逢人多說聚沙緣。貝葉曇花俱

備悉。我為居士祝長生。雪嶺雲山路坦平。頂門突出金剛
眼。萬仞巖頭撒手行。脚跟不蹋無明草。旋身始覺虛空
小。無邊剎海一毫端。水底珊瑚和月皎。

壽舒城芝泉孔君

芝翁是我隣家伯。三十餘年彈指隔。鄉國天涯自古愁。清
歡那記身為客。偶得鄉人音信通。逢人先問老年翁。曲指
纔方一二過。忽然如對芝翁容。翁年八十懸弧度。德澤如
春滋雨露。我本隈山旁水僧。勞書千里來相顧。讀翁書罷
瑞雲開。雲裏仙人度索來。合掌殷勤乞我語。不辭鄙句為
翁裁。願翁愈壽愈矍鑠。如崗如陵復如嶽。挑雲拄杖一身
閒。鶴髮童顏誰可學。我卜歸期限十年。壽翁九十我居
先。倘逢他事相違約。定是還翁百歲篇。

壽廬山印心法師

江浙從來稱法窟。象龍生具黃金骨。爛翻貝葉亂天花。閃爍毫光無自忽。凌霄巖畔古今傳。養就金毛勢力全。倒跨匡廬成底事。千尋瀑布注靈源。緣生耳順逢初度。一周甲子從頭數。微塵量盡不思議。豁爾山河無寸土。幻影漚花視此身。圓明根境不沾塵。越山吳水呈清供。永慶長生不老人。

壽余文台居士

三台之上紫雲旋。瑞氣祥光徹大千。露滴化城肥忍草。風生火宅綻青蓮。牛車倒跨通衢坐。塵緣眼底浮雲過。信步經行適野情。隨時粥飯稱功課。今年六十懸弧度。日用堂堂大覺路。徹骨清風透膽寒。如意明珠全體露。世念寥寥

冷若灰。森羅萬象競趨陪。擡頭喜看三峯月。陰樹幽禽接翅回。美髯朱顏多笑語。煙雲斂向眉端許。不拘真俗話無生。二諦何妨顛倒舉。謾將年臘記長庚。數盡塵沙道愈明。今日與君親說破。來時古路坦然平。

壽方時生居士

我昔親遊桐子國。靄靄祥光多碩德。簪纓綿亘萬千秋。陰隲文章相紹克。蹤跡曾登月上菴。傳聞仍得君為檀。勇力深緣三昧樂。何妨廢寢與忘餐。今年不惑懸弧度。撥塵喜見龍眠路。龍眠路上草芊芊。寂住峯頭不記年。眼底青山多峭壁。脚跟流水盡潺湲。潺湲流水君常奏。長齡應會體中玄。

壽余夫人

洪疇五福先稱壽。真人無位須親究。根塵界裏見分明。彌滿乾坤非滲漏。一道靈光萬境間。夢回端不是人間。霜清月冷鑪煙馥。賸有芙蓉帶露寒。今年五十逢初度。巖淨毗尼乘戒住。不須仙母慶長齡。家庭變作明珠庫。明珠寶藏用無窮。機感臨時觸處通。壽量誰能分甲子。扶桑原在海門東。

壽熊母

洪疇五福先稱壽。遐齡萬善皆成就。不須瑤島祝長生。一句彌陀清白晝。彌陀一句樂邦成。水鳥風柯吐妙聲。彈指笑看花上品。方知大道坦然平。初度優曇符耳順。更誇土淨惟心淨。百務紛紜事似麻。須知永處那伽定。自是兒孫增上緣。不求天道不求仙。玻璃地面黃金色。賸有丹沙注

大年。

贈天頤居士造塏壽母

諸供養中。法供養最。撮土聚沙。成羣作隊。我大居士。
欲展孝思。豎刹竿幢。為壽尊慈。令母怡然。惟彩衣子。
世出世異。不可方比。實非莊嚴。而成莊嚴。飾此片地。
億萬斯年。聞古尊宿。禮塏報母。朱冠緋衣。空中與語。
從地湧出。自當證知。快說法華。今正是時。

壽芝泉翁

記昔隣居。音容宛然。棋聲入夢。衣帶香煙。時聞庭訓。
顏歡心服。塵世譏呵。了無一物。我來學道。三十餘載。
翁之德業。光明愈大。翁今八十。懸弧大誕。芳躅雲仍。

金丹燦爛。令我遐想。莫侍壽筵。曾入之門。未兆之先。
翁鑒我語。我為翁壽。龍性久馴。鮐齒益厚。析塵點墨。
喻如恒沙。較翁之壽。何啻天涯。翁壽如嶽。非峙可比。
翁壽如海。非波可擬。勁挺澄湛。世莫能知。往今來古。
今正是時。此偈誰作。誰為賀者。吾由昔人。非昔人也。

壽李元谷居士

竭世樞機世罕知。娘生六十未移時。逢場竿木彌三際。落
草曇花吐一枝。不問真空談至理。喜將俗諦話離微。山僧
欲賀無他物。罄幅惟書景福詩。

壽知非元座六袞(三首)

從余三十載。瀟灑不隨流。策杖防苔滑。經行喜樹稠。堂

中三下板。雲外一聲鳩。今日逢初度。俄驚半白頭。

從余三十載。寒暑不憚行。忍草和雲秀。曇花匝地生。戒光恒皎潔。清課倍修明。道及塵緣事。鴻毛一樣輕。

從余三十載。清範可規僧。懶弄閒家具。寧牽爛葛藤。法幢摧意淨。華藏等身恒。秉拂言親薦。輪機似不曾。

壽閔然法弟

多年瓶錫侍吾師。今日春秋正是時。謾道姓寒訓節序。笑看嘉運綻瓊枝。

壽玄鏡成宗(二首)

自古禪門無歲月。浪言五十是誰傳。要知劫外真消息。日照澄江錦一團。

日月星辰談實相。山河大地演圓音。紅爐燄裏重添火。烜赫烹蒸古佛心。

壽萬融上座

相逢爾我方新臘。轉眼韶光已二毛。夢裏不知霜月老。乘杯好弄浙江潮。

壽黃心鏡居士

百歲光陰已半過。晦明遷變柰渠何。維摩昔日曾聞歎。塵劫都來一剎那。

壽智諳禪人

幻化人間五十年。放憨山谷種山田。白雲明月都耕遍。頭角依稀猶未全。

鋤頭柄上是生涯。秋煞冬枯春放花。歲月盡來渠變易。休教雲霧濕袈裟。

趙州八十尚勤勞。勘驗諸方氣象驕。要識古人真實處。莫隨溫飽便逍遙。

法華壽量析微塵。析盡微塵礙眼睛。只教須彌翻白浪。佛生塵界不關情。

無異禪師廣錄卷第三十三

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第三十四

住博山法孫 弘瀚 彙編

首座法孫 弘裕 同集

輓辭

禮壽昌先和尚塏(四首)

舊年今日禮師顏。今日重來塏已關。謾道藏身無覓處。淡雲疎雨滿人寰。

百尺凌霄一夜霜。爪瓶猶挂爛藤牀。來時古道應無口。篆
縷曹源一線長。

分身南邁步西歸。五色毫光徹夜輝。舍利好藏無縫罅。莫
教雙鶴戾天飛。

九拜龕前淚落頻。慈容何得再相親。白雲流水依然在。不
見靈山演法人。

吊憨大師(四首)

象王跡應瑞蓮開。五乳峯頭吼若雷。今日樹煙何靨黷。紫
雲旋入白雲堆。

僧中法寶人中豪。玉露金莖價倍高。靜夜鐘聲藏不住。又

隨雲水過新韶。

南華勝地塢全身。脚底猶披五乳雲。拄杖攪渾清世界。不知得法幾多人。

多年法雨遍寰區。幻化何方是住居。今古鄱陽湖上月。清光皎皎照匡廬。

輓劉和鶴孝廉(四首)

澄江風細浪花開。曾得金鱗上釣來。抹嗒不隨煙雨散。暮雲幾度夜招回。

訃捷榮哀繫世情。恢恢天道豈無平。如今不解藏身也。遍界都知船子名。

芝蘭氣味不尋常。幽谷無人他自芳。莫謂嚴霜摧國榦。清風千載振冠裳。

歲寒心有幾人知。六月梧凋不近時。却憶講經臺上約。而今已寫輓君詩。

輓齊羣玉郡伯(六首)

輿滿浮山道。徘徊不見君。心隨流水駛。望隔故鄉雲。

雪風浸骨冷。送我過南舒。繾綣臨岐意。憑誰入畫圖。

旋錫生生社。翻憐見面稀。稍安強櫛沐。拖病話離微。

自後罕相晤。猶呈藥病吟。媿予羈問候。有負淨名心。
倏忽秋風勁。金梧已早凋。響音和訃至。撫几痛無聊。
有意描君像。無能輟遠思。援毫和淚點。寫出輓君詩。

詩

登喝水巖有感(五言古)

雲磴如鱗砌。扶筇縱步行。水從龍口出。松倚石痕生。古
樹藏嘉羽。層山疊翠屏。禪那千古寄。名利一身輕。豁爾
非遊境。翛然樂道情。更窮西祖意。天朗遠川明。

送老父歸(七言律四首)

三十餘年今復逢。鄉音仍舊異顏容。恩情宛似纏身索。榮辱還如過耳風。菽水彩衣憑客笑。曇花毳衲與誰同。謾言世事多顛倒。撫掌俱投片夢中。

寄錫山林意自清。塵中雞犬杳無聲。春秋門外臨溪月。楊柳堤頭挂樹箏。舊日浮華皆夢想。現前鬚髮博虛名。鄉親若問修行事。原是當年蹭蹬生。

日食三餐飽便休。飯餘無事喜登樓。面前山色隨遷變。眼底雲霞任去留。以法為親疎世相。視身如寄等浮漚。塵寰多少黃梁夢。輸與深山枕石頭。

不挂從前汗染衣。剃除鬚髮著伽黎。精神驚破浮生暗。素志還期佛道齊。骨肉那堪多劫累。機緣知是幾生迷。而今

贏得閒些子。放意扶筇步柳堤。

偶成(七首)

山居深羨虎溪蹤。有客多從笑裏逢。拄杖挑殘紅日影。芒鞋蹋破紫雲封。烹茶敲筇訓彌勒。顛酒狂歌罵誌公。稍覺清風來谷口。梳翻松檜若飛龍。

衣穿囊破從他笑。不問纖塵作麼疑。欲水投崖聲太急。愛雲出岫勢還遲。明明妙體恒如是。湛湛忘言理若斯。吞盡十方諸國土。看來成佛更由誰。

死生空色兩重關。好把楞嚴辯八還。眼底瞥清雲漢淨。胸中礙脫境緣閒。松陰百尺疑芳沼。筧水三灣過竹山。困就綠楊枝下臥。幾多花雨落人間。

是非冷暖無拘及。蓬華多年縛翠嶂。檻外花紅疑野火。巖前苔綠鎖寒冰。三竿竹影岐山鳳。萬里風搏莊海鵬。幾度晚雲歸去後。一輪明月上梅稜。

識破磨甑造化機。大雄山下日初暉。嘶風木馬乘雲去。飲海泥牛帶霧歸。句裏有鋒穿膽入。眼前無物逐塵飛。忻然擊碎秦時鏡。不挂如來授受衣。

寶鑑澄明法界清。箇中須辯普賢名。涅槃有覺還非覺。般若無生是利生。剖破悟迷毋用力。揭開真妄不關情。而今偶識中峯老。大地山河一掌平。

誰識山中境象培。山居助我樂心齋。笋芽初出和雲取。荳莢高時帶雨栽。枕石忘緣眠古榻。杖藜乘便步新苔。經行

懶折塘邊柳。留與黃鶯飛去來。

畚山(二首)

畚山唱罷紫芝歌。幾片煙雲挂綠蘿。竹徑有婆偷笋去。橫溪無水看猿過。松花帶蕊烹新茗。荷葉連絲補破蓑。自是道人知見別。萬年一念任消磨。

畚山斷斷嶺頭雲。歲月都忘總不分。忽捲忽舒龍現影。相親相近鳥呼羣。祇知珠價三千界。管甚毫光萬八旬。透徹禪關無限量。從教滄海自沉淪。

和程邑令韻(二首)

攜手相將引鹿駟。森然景物自怡情。鈴鳴殿閣招歸鶴。錫

挂雲根遶囀鶯。松徑有聲堪聽法。石門無縫若為程。清風不減攢眉客。今日重添蓮社名。

高登磐石駐雲輶。塵尾輕揮稱野情。曾向松風聽宿鳥。重來柳影拂啼鶯。旋身華藏猶尋跡。信步歸家罷問程。要識箇中真意趣。蕭然那許佛生名。

與詹定齋廉憲遊白龍洞

三城重繭屆西峯。既到西峯喜白龍。洞裏有泉千澗綠。樹頭無染一山紅。時分今古心何異。報逐升沉境自同。寄與往來諸上士。莫教水底覓魚蹤。

答鄭松門太史(二首)

入門寧問路透迤。卉木叢林色色披。舊筆肯完梁上字。談
經已約嶺東枝。有緣自合非衣識。無句堪題沒字碑。此事
住山人未委。德雲相見別峯遲。

大千無處不禪堂。觸目空兮慧劍霜。鴉過有聲流碧落。客
來無力下繩牀。三拳臨濟機如洗。一掬曹溪水更香。果在
杖頭開正眼。東臯舒嘯又何妨。

答粵東李山人

年來瓶錫樂幽林。禪寂何嘗事苦吟。掬水引魚時上下。穿
雲採藥幾晴陰。鍋兒撲破何須洗。樹子無根懶去尋。纔聽
溪邊人有語。又隨麋鹿入山深。

和曹能始大參韻

聖僧古跡賴君隆。梵剎都歸掌握中。諸寺倏焉添社色。羣生無不仰高風。靈源洞吸江濤迥。甘露松旋石壁葱。謾作晏師來去想。鼓山嘉運興何窮。

和陳□□居士韻

何緣策杖鼓山中。喝水眠雲卜歲豐。有去有來天上日。無形無影杖頭風。拈香述贊欣新得。揮麈隨聲愧未工。欲識祖師端的旨。扶桑元在海門東。

和安□□居士韻

騰空木馬夜嘶風。知有高人得句工。棹入清波沙岸遠。詩聯白雪素心同。閒雲片片浮天北。流水潺潺望海東。自是

不容分去住。輕輕收入藕絲中。

和林□□居士韻

聖箭凌霄那一通。毋分南北與西東。石門未跨知迷悟。拄杖纔拈驗色空。海上書來招客去。江邊杯起入雲東。而今不論神僧跡。花雨繽紛兩岸紅。

和李□□居士韻

清光萬里畫圖中。觸目歸雲鳥道通。夾岸青榕遮棹影。冲霄白鶴唳秋風。禪那竟許塵緣入。解脫還將奧義窮。赤肉團中休放過。分明認取自家公。

和熊無用居士韻

公案而今幾萬千。不知誰會祖師禪。庭前栢子清風遍。嶺上松枝皓月懸。萬古碧潭澄影瘦。一溪活水浪聲玄。時人更問西來旨。譬效毋勞肋下拳。

和□□□居士韻。

茫茫世念冷如水。電掣晴空紹祖燈。歷劫了知心是佛。幾回寤覺夢為僧。漚花謾道藏蹤跡。幻影何緣有愛憎。待客迎賓閒指注。三餐飽後更無能。

和吳本如司馬韻(五言律)

湘潭煙水濶。携手便歸家。徑入天王屋。寧知長者車。有心皆夢境。無眚不空花。最喜龐居士。敲冰來煮茶。

和謝中隱居士韻

瓢笠驚風雨。腰包獨往還。聽緣嫌作客。隨處喜居山。水
濶雲光迥。松深鶴夢閒。幸分居士韻。裂破祖師關。

釣魚臺度歲

臘盡聞親訃。孤舟趁夜回。平沙無鳥跡。深樹有猿哀。江
岸何時到。家庭少客來。長思兩行淚。先落釣魚臺。

雪夜哭父

親墳在咫尺。何事苦羈留。夜雪飄無歇。寒雞叫不休。非
思驚坐寢。血淚染溪流。天問緇衣孝。青山盡白頭。

到舒城

迢遙千里外。彷彿少年時。駐步尋原徑。捫心動所思。沙堤新樹密。城市故人稀。嗟此無常境。阿誰願出離。

渡河

河下白如練。煙雲照淺流。近城鳥解語。抵舍客生愁。骨肉無青眼。兒童半白頭。荒郊高壘壘。盡是故人丘。

碧潭禪友

從余歸梓里。深雪不知春。帶水收寒涕。牽衣動曉雲。冰層憐路馬。樹倒見樵人。誤作多年客。家鄉語更親。

訪東源晦臺上人

策杖東山上。窮源訪故知。怪松遮道處。細雨濕衣時。石
磴淨如洗。柴門曲轉遲。相逢兩不厭。啜茗詠新詩。

別黃惺源居士

記得來山日。仍思送別時。往還千里外。倏忽半年期。法
語無他囑。衣珠須自怡。尋常親著眼。不必問相知。

別林衡庭居士

荷擔弘願力。徹見道人心。寶劍應須礪。衣珠不用尋。塵
緣渾是夢。佛法豈為箴。記得山中約。相彈挂壁琴。

別林優德居士

範圍天地外。不見路頭賒。彩鷁分流水。寒鷗亂聚沙。白
毫揮客塵。清影吸仙槎。最喜江邊景。枝圓樹上花。

別盧□□居士

樹德誰為比。疎財我羨君。交孚知有道。擅美詎傳聞。拄
杖敲空月。芒鞋破嶺雲。一雙清白眼。毫髮自區分。

次曹能始大參韻示諸同行者

登山須及頂。縱步莫移時。路險惟憑杖。岐分必問師。雲
深行趁蚤。暉落悔來遲。力盡機忘處。堂堂更是誰。

初入鼓山見梅花偶成

崎嶇千里道。不惜老來身。脚下渾無力。眼前惟有雲。多
逢投宿鳥。罕見問津人。莫恠梅花笑。蹉跎又一春。

次韻答阮圓海同卿(七言絕有序)

馬大師一口吸盡獅子蟲。何地藏身。九帶公案。從來不犯
纖毫。五味粥湯。迄今香甜猶在。向栢子頭邊突出。無縫
塔頂經行。要知花果同時。不問再來消息。石老向威音
前。縱行一步。然後入博山社。火裏另作商量。不妨布袋
盛渠。須信聲多哮吼狗子。即今在甚麼處。復云看脚下。

江月山雲映碧天。蘊中底奧不稱玄。東君也解知人意。特

藉梅花驗別傳。

巖花黃葉從人辯。黃葉巖花道眼開。幻化肯隨朱紫態。須知劫外帶春來。

次韻答劉胤真居士(有序)

見相非相。即見如來。此破相入理之談。自非行起解絕。不能親到。居士正在解中。若以解為悟。豈但見諦不真。將恐奴郎不辯。所以祖師門下。貴在真參實究。一口氣不來。既不知去處。從前見處。不實可知。又安得不疑。果真疑頓發。到大安樂地。回觀解路。何啻隔[革*(華-(十* | *十)+(人* | *人))]抓癢。次韻三首。非以文字說心。為不辜來意耳。

七箇蒲團破見天。未掀簾處已深玄。梅花無意枝頭放。爛
熯枝頭驗的傳。

春花秋葉尋常事。春葉秋花亦有開。却笑靈山親付囑。剎
竿頭上應聲來。

雲天空處謾追尋。空處雲天萬古心。草色雨聲親瞥地。龐
家兒女是知音。

次韻答齊員債居士

從來瓶錫喜居山。策杖先防動步艱。今日何緣談雪話。清
歡流布縉紳班。

鄱湖鞋山(二首)

魚躍鳶飛白浪間。脚頭流水道人閒。韶陽不逐風帆意。雲
自南山雨北山。

蹋盡鄱湖一帶春。細看鞋樣灼然新。少林不合驚塵世。隻
履歸西可恠人。

與吳公良居士

寒霏撲面話從容。道念殷勤孰與同。緬想祖庭深雪裏。而
今觸處振家風。

與蔣一个居士

驅馳百里更何心。寶網香雲不外尋。識得吾家貧徹骨。拈

來沙土盡黃金。

與吳石生居士

會晤須臾與道交。泥途百里不辭勞。將何人事誚君去。獨有歸家路一條。

與劉雁先居士

深泥飛雪竟何依。清水寒冰滿面皮。倏爾春空舒化日。願教先奪嶺南枝。

寓邵武西墘早粥

粥熱牙疼知老至。風寒骨冷識支離。流光不遂攀緣意。說

與諸方長者知。

過紫霞關

何緣策杖紫霞關。石磴踟躕老懼寒。不假仙人牀上寐。幾回清夢入浮山。

白牯菴四景

洗耳泉

山間不管人間事。飯後仍添茶竈煙。惡聽松風兼鳥語。也將兩耳掬清泉。

聽經石

大地山河經一卷。無文無字最分明。有時說向松邊石。箕踞崆峒側耳聽。

鳥道門

逶迤一線透層峯。步入層峯樹幾重。自是無岐誰辯的。謾將不二話真蹤。

醉墨蕉

揮毫曾用斯為紙。自後無人復用君。分付賸栽三兩樹。蟲書鳥篆自成文。

松下行(六言絕)

旋身石磴參差。轉眼樹頭紅綠。一箇無依道人。自笑非真非俗。

竹下飲

幾盞清茶解困。策杖毋勞用力。幸有千竿萬竿。不是蹲踞彌勒。

放生池

金鯽樹頭落影。翠翎水底含嚙。顛倒輪迴路上。不知誰是真人。

野吟(六首)

飄葉霜風剽挺。澄沙寒水冰清。獨坐公堂隱几。惺然喜聽雷聲。

迥迥長安車馬。行行吳越江湄。看盡千紅萬紫。逢人暫話離微。

棲鳳淡雲幾片。浴龍細浪千層。客過不妨攜手。臨池倒影看僧。

颯颯涼風西起。皎皎明月東昇。堪笑禪門深旨。破驢脊上來蠅。

疎密萍浮綠水。高低桂吐奇葩。策杖峯頭遠眺。前村煙雨人家。

砌下苔錢疊疊。山頭霞幔重重。齋後閒遊池岸。採來九瓣芙蓉。

過水松方丈(五言絕)

雲勢穿山谷。松聲落澗泉。凭欄問雨候。正值杏花天。

舟次梅溪

水濶覺舟小。雲深見樹低。掀篷問渡子。說是小梅溪。

屏石上人舟中水觀

慈舟棹水面。寂爾意偏長。遍界琉璃地。毋勞問月光。

歌

如意菴歌贈智公

山路崎嶇逶迤間。石根紫氣彌林泉。青松翠竹含雲煙。境
色如心意灑然。溪流漩洑遍三千。中隱高人不記年。特來
問道向我前。智度為門慧亦全。英姿秀發眉宇淵。激余法
偈染新篇。隨書數語結斯緣。無量法門首曰禪。譬如師子
翻峯巔。又如水發成漪漣。哮吼波瀾事事便。君不見唐宋
源流今復啟。還如杲日照晴川。

無異禪師廣錄卷第三十四

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣

錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依
卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

無異禪師廣錄卷第三十五

博山和尚傳

弟子 智達劉日杲 撰

博山和尚者。舒城人也。諱大艤。字無異。人咸稱為無異禪師云。族姓沙。其父太公取姚氏。生和尚也。輒不得食酒肉乳和尚。否則不為食。越七月而母死。使它人婦有子者乳之。易數人皆不肯食。太公日糜榛栗食和尚。和尚得不死。蓋神異焉。少長能飲食。更不飲酒及肉食也。嘗與鄰兒嬉戲。為一兒所撲仆折齒。太公性故嚴毅。和尚懼其詬。鄰兒也遂喫血。歸而詳告它故。太公得不怒。慈惠蓋

昌曰。今日當有人為女說法。令女疾悟。遂行。途次論君
臣五位之旨。和尚語刺刺不休。壽昌皆然之。既而謂和尚
曰。佛印蠹尋腥蠅逐臭語。為君位事。和尚曰。臣
邊事。壽昌呵之曰。大人笑女在。至玉山和尚。跌坐石
上。忽聞神像仆地。中心豁然。急作頌呈壽昌。(頌曰。玉
山誘一言。心灰語路絕。幾多玄解會。如沸湯澆雪。沒巴
鼻金針。好因緣時節。梅蕊綻枯枝。桃花開九月。觸目如
休辨。別急水灘頭。拋探篙溺殺。無數英雄客)壽昌曰。子
一到多門又到門。和尚益自厲。歸坐一小樓。朝夕不寐。
復居歲餘。一日如廁。見人緣木。遂悟至道。疾走見壽昌
和尚。所居去寶方寺數十里。須臾而至。幾不知足之蹈之
也。入門。壽昌方當戶而坐。見和尚至狀異平日。因迎問
曰。子近日如何。和尚曰。有條活路。不許人知。壽昌
曰。因甚不許人知。和尚曰。和尚曰。不知不知。壽昌曰。婆子云
何燒菴逐僧。和尚曰。黃金增色耳。昌壽因舉龍吟虎嘯

語。命和尚頌。和尚援筆疾書以呈。(頌曰。殺活爭雄各有
奇。模糊肉眼曷能知。吐光不遂時流意。依舊春風逐馬蹄)
壽昌笑曰。子今日始信吾不女欺也。和尚曰。向後還有事
也無。壽昌曰。老僧祇知二時粥飯。不復知有向後事。又
問。壽昌曰。女後得坐披衣。幸無籌策足矣。遂命秉拂。
贈之以偈。(偈曰。本然清淨更如然。契證多生值有緣。觸
目渾融皆至妙。通身作用總虛玄。五宗極則機齊貫。三藏
精微理共圓。不礙古今凡聖事。如來禪合祖師禪)時和尚方
二十七歲。聞鷲湖心大師。以雲棲宏大師神足。授律鷲
湖。往受菩薩毗尼。鷲湖興者十年。弟子三百餘人。初不
置首座也。和尚至。即留為首座。作偈贈之。(偈曰。鷲湖
十載虛元位。一旦緣何立少年。兩個眉毛八個鬚。須知佛
祖不容前)厥後三禮雲棲。雲棲遇和尚殊優至。因書演暢真
乘數字贈之。居鷲湖者六月。即還入閩。圓上座與從父廣
文君崇慶。因于鷲湖。見和尚也。輒心折之。因謀所以致

和尚者。圓上座遂重繭入閩。請和尚。和尚乃與照監院正
和首座等八人。至信州。初遊西巖。居四十餘日。嘗無所
得。食則采野蕨為羹。怡然甚樂。既而居祖印院者七月。
乃遷博山。博山故韶國師道場。荒廢日久。寺僧皆肉食者
流。廣文君倡諸縉紳。偕寺僧請和尚。和尚至。則誅茅為
屋。僅足容[邱-丘+黍]。而禪律並行。蹶然興起。鷲湖聞
和尚居博山。即以授戒儀軌[田/升]之。是時沈大參蒸趙司
李士禎。俱從事佛乘。交重和尚也。而和尚道日隆。旋入
邵武。葺廣福。而自歸博山。闢草建剎。漸成精藍。居亡
何。壽昌以應董巖請。不暇往。遂以書趣和尚。為升座說
法。和尚乃往。大闡宗風。辯才無礙。趙文學光孚歎曰。
此真壽昌兒也。繼登仰山。再轉法輪。還博山。而弟子益
進。朔既燕都。南盡交趾。望風而至者。歲以千計。和尚
垂四問。以驗四方。禪那多如杵鑿。又閭首座至。和尚見

其機穎不凡。遂令閉關。時加警策。居六年。以偈呈和尚。和尚曰。是將師子吼者。乃令出關。以偈贈之。(偈曰。始行大事六年雪。頓入圓明一片冰。今日幸親無縫塔。掣開關鎖萬千層)置為首座。(偈曰。匡扶大法賴吾儕。正眼從茲觸處開。肯信座元一具地。一花端有一如來)嗣是登壇說法時。參揚拈。如見微笑之風。和尚嘗教從父廣文君。參船子藏身語。忽病中有得。拈唐人詩為頌。和尚笑頷之。(頌曰。雨前初見花間蕊。雨後全無葉底花。蜂蝶紛紛過牆去。却疑春色在鄰家)太末詹觀察在泮。聞和尚名。請和尚。居惠安寺。和尚曰。予與劉君。為布衣交。奈何舍就公乎。觀察知不可彊。乃請圓上座居之。和尚既出家。與太公不相聞。及和尚名大著。太公始知和尚尚在。因至博山相見。悲喜交集。曰詎意。公至是者和尚因孝養備至。且宛為勸諭太公。得斷肉食。歲餘而歸。時郡侯故和尚弟子。為具舟送之。至累月而太公卒。和尚因歸

展墓。道懷寧人人。焚香導迎。瞻禮恐後。劉太史若宰。時方為諸生。偕其兄弟。禮和尚為師求度。和尚曰。公神氣凝靜。當得上第。為法苑干城。出家須異日爾。因為授菩薩戒。太史著十問。論宗教異同之旨。和尚憑几裁答。慧辯雲興。語具書中。明年太史舉進士第。一一如和尚語。其它學士大夫文學布衣。禮足求戒者。動至數萬。過桐城。幢蓋迎者倍。懷寧道路。駢闐至有不得見者。吳庶子應賓。夙參雲棲。自負知識。來參和尚請益。和尚曰。覩公所著頌。深入禪理。第解耳語。于悟猶未也。庶子曰。云何。和尚曰。燒菴頌云爾。(頌曰。寒巖枯木太僧生。說道無情却有情。煙滅。灰飛成露地。閒花野草任縱橫)得無不肯是僧邪。庶子曰。然。和尚曰。吾故謂公乃解也。庶子始心服。願廁弟子列。受菩薩毗尼焉。鞭影頻加。絕塵而犇矣。是時縉紳先生。雲集景附。方太史拱乾數十輩。皆皈蓮座。深[(歹*又)/食]法喜。因請登浮山說法

也。至舒城謁太公墓。吳庶子及其同輩。具蔬果。為太公
設祭。諸文學多從。和尚至舒城者。舒城人且競奔。墓次
瞻禮和尚。墓前僅餘席地。和尚得成禮而已。一時蹂踐。
墓為不封。和尚歸道。桐城懷寧。其導迎益倍。昔時蓋苾
藜白衣。皈心受戒者。無慮千萬人。天啟丁卯冬。余同卿
大成。來博山參和尚。同卿固夙窺禪理。輒維摩自居。初
見猶不肯下。迨與語信宿。同卿如醉醞醑。始求為弟子。
繾綣倍至。及去和尚曰。此真具隻眼人也。先時閩中曹大
參學佺數十人。請和尚至鼓山。和尚謝不行。是歲固請。
乃[遄-而+王]過劔州道路。爭為參禮。不殊往舒城時。去
鼓山三十里許。有洲。常嘆涸船為不通。必海潮至。船始
得過。和尚乃以冬月行。又非潮期。水遽漲溢。和尚船既
度。仍涸如故。既至。揮塵據席。音如潮吼。來集者。數
千餘人歸。而博山名。益著于天下。故壽昌弟子黃司李端
伯。久習禪要。壽昌入滅。即皈禮和尚也。別數年。走博

山謁和尚。與之語。幾超乘焉。余同卿既歸。知正法有在。介
欲得和尚。與之語。幾超乘焉。余同卿既歸。知正法有在。介
陳文。至金陵。相趾。寺為初天素。歸。此禮。一。出。世。太。早。
城。是。時。一。飯。皆。見。監。喪。和。尚。和。尚。十。董。尚。須。于。茲。矣。
是。疏。人。姑。以。軍。忍。滅。再。法。三。十。年。
蘇。台。教。自。和。尚。十。董。尚。須。于。茲。矣。
姑。以。軍。忍。滅。再。法。三。十。年。
以。軍。忍。滅。再。法。三。十。年。
軍。忍。滅。再。法。三。十。年。
忍。滅。再。法。三。十。年。
滅。再。法。三。十。年。
再。法。三。十。年。
法。三。十。年。
三。十。年。
十。年。
年。
。

長笑而別。還山則與彭博士份楊太守聞中謀建浮屠。為身後計。結夏著宗教通說一卷。盡抒玄蘊。九月初書成。遂示疾。至十七日。有星大如盤。貫方丈鷗吻間。中夜和尚召閭首座。至榻前。反覆宗乘奧義。因相與大笑。次首座問疾語已。(和尚示疾次首座問。和尚四大安樂否。和尚曰。儘著些受用。問。和尚病誰是不病底。曰熱大作麼。又問。末後一段光明如何垂示。曰。問者事作麼)進問和尚。去來自在云何。和尚索筆大書曰。歷歷分明。擲筆跌坐而逝。世壽五十有六。法臘四十有一。嵩上座集其語。為牘錄若干卷。行于世。大弟子智閭。既餐法乳。堪稱入室。成正德業。夙著鈞足。為後來模範。大忠道柔海納道舟等。皆洪冶之利器。法廐之良駒。道恒道嵩弘恩。辭榮入道。精修禪寂。幾幾乎截流之香象焉。同居者七百餘人。蓋人盡旃檀云。

贊曰。余小子日杲。得從諸從兄械棻樾槻。及友人鄭大球
大瑗徐植之潘巘楊鳳翥鵬舉之屬。師事和尚也。見其貌甚
偉異。如世所圖慈氏少林像。豈其後身與。明興二百餘
年。宗乘寥寥。得和尚而丕振。猗與盛哉。禪律不相謀。
宗教不相為也。而和尚法嗣壽昌。律傳鷺湖。殆兼之矣。
宜其徧坐名剎。為世仰止聲。且與大鑒爭烈也。

博山和尚傳。

中興信州博山能仁禪寺無異大師塏銘并序

大法垂東。而般若祖翁。有卜世之讖。少之嫩桂林曰。二
株去之。千有餘祀。而我博山無異大師。以壽昌鑷頭禪。
入于洞山寶鏡三昧。漆園有言。萬世而下。知其解者。且

光非諱。一漿。而雪。為不相至。指南。別出。蹤馳。能。一。酒。恐。于。別。如。暖。初。指。顏。子。沒。也。復。記。大。艦。血。無。法。聲。和。湛。法。想。經。破。而。以。難。者。林。大。子。聞。通。土。應。高。心。破。而。以。樹。少。諱。隣。解。菴。身。相。妙。著。光。有。龍。法。[廿/暈]。翁。陵。能。靜。空。雲。著。光。有。稟。耶。法。子。包。于。厥。所。臺。坐。嘉。德。峯。待。宗。乘。未。祖。法。氏。重。包。于。遊。之。五。露。永。作。雲。直。志。猶。馬。子。沙。衣。齒。十。分。遂。觀。年。老。之。書。鼓。見。船。舒。白。墮。量。矣。處。是。壽。光。澤。報。禮。門。親。非。龍。而。匿。若。思。矣。落。如。為。止。峨。香。為。妨。定。師。生。時。悠。非。之。落。如。為。止。峨。香。為。不。生。也。尚。忍。若。是。天。牖。尼。如。使。得。炷。端。者。口。謂。和。忍。若。是。天。陀。酒。勸。入。得。炷。端。槃。昌。之。異。慈。圍。曰。傳。旋。者。自。爾。不。量。友。黃。壽。人。無。熏。舍。嘆。別。者。膚。力。翁。涯。過。法。嗣。謂。其。稱。夙。子。然。外。智。為。師。箠。笠。兩。為。宗。也。誰。謂。學。者。孤。喟。有。兒。之。而。覩。幾。始。從。之。宗。之。謂。口。氏。下。何。兒。之。而。覩。幾。始。從。遇。台。地。來。入。為。座。何。兒。之。而。覩。幾。始。從。暮。啟。其。元。不。蚤。浪。心。出。知。現。峨。洋。相。跡。

山兀兀。形印邊。汝矣。呈偈。澆九客。別居。趣。藥。兀兀。重。月。得。臭。非。矣。湯。開。英雄。斷。底。也。活。路。在。如。釋。時。偏。有。人。一。切。非。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。船。子。迷。如。再。閱。宗。青。蠅。大。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。念。七。聖。緣。居。洞。青。蠅。大。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。更。發。佛。一。頷。揚。挖。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。而。頓。無。佛。揚。挖。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。句。疑。情。佛。無。佛。揚。挖。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。之。地。有。佛。揚。挖。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。明。趙。州。曾。不。得。其。一。揚。挖。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。孤。於。簡。曾。不。得。其。一。揚。挖。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。月。得。而。於。簡。曾。不。得。其。一。揚。挖。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。見。始。而。於。簡。曾。不。得。其。一。揚。挖。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。始。年。半。多。乎。呈。矣。從。赴。玉。山。腥。處。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。頭。二。十。有。半。多。乎。呈。矣。從。赴。玉。山。腥。處。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。低。以。二。十。有。半。多。乎。呈。矣。從。赴。玉。山。腥。處。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。有。以。二。十。有。半。多。乎。呈。矣。從。赴。玉。山。腥。處。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。陀。何。以。二。十。有。半。多。乎。呈。矣。從。赴。玉。山。腥。處。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。伽。門。何。以。二。十。有。半。多。乎。呈。矣。從。赴。玉。山。腥。處。走。曰。昌。云。一。非。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。贈。之。騰。騰。壽。昌。問。佛。印。師。云。前。何。以。是。食。頃。聞。護。法。神。倒。地。不。覺。心。開。如。沸。花。英。未。源。底。也。有。個。活。路。

舉又援遂欺。師不汝飯。有齊師無徧妙。知爾。光不喫足值機祖訓。入正墮。知色之。吐吾衣。策多極禪持。畏非人。不知增頌。始知穿。證宗來。行印。無之。不知金命。能日。只無契。五如法。字大相。師曰。案曷。今日。幸契。五如法。字大相。師曰。師曰。公。眼。子。老。披。如。虛。聖。用。離。得。六。仁。人。手。虎。嘯。模。笑。云。坐。巨。總。凡。正。是。總。十。博。許。生。起。奇。昌。得。淨。用。今。續。自。聞。為。州。甚。作。吟。各。馬。事。云。本。通。不。礙。而。端。五。于。因。子。龍。雄。逐。有。昌。言。妙。圓。以。正。沒。得。說。云。婆。爭。風。還。昌。言。妙。圓。以。正。沒。得。說。云。問。師。活。春。後。便。以。皆。理。曰。有。緣。湧。不。嘗。知。話。則。依。問。豈。拂。目。藏。囑。利。剎。雙。禪。人。趨。問。就。意。師。問。豈。拂。目。藏。囑。利。剎。雙。禪。不。燒。舉。筆。時。也。師。因。緣。貫。禪。之。海。挾。宋。

慶等壽師。雲人落。公以之。以鋒不
崇正。樂座。下事。百打之。洪。亟。乘。又。歸
廉成。禮代。擅至。稱師。忘極。載。暢。其。委。銷
劉弟子。以遂。至。而。兼。華。十。演。而。參
邑八。三。屬。麋。子。而。超。者。書。棲。一。參
豐偕。然。三。宗。六。王。者。持。犯。於。元。特。雲。源。交
受。請。居。者。山。故。燈。通。淨。故。虛。目。繫。者。禪
八。輩。儀。書。博。以。踞。宗。皆。矣。驚。其。派。師。光
有。圓。威。遣。而。以。而。為。矣。驚。其。派。師。光
十。融。巖。珍。等。菁。不。遮。隙。而。得。之。出。香
二。萬。律。嚴。珍。等。菁。不。遮。隙。而。得。之。出。香
年。足。禪。董。家。與。葱。又。足。見。其。禮。翁。五。故。茂
師。上。乎。陽。似。無。林。木。具。得。尚。祖。徙。嗣。而
寅。芳。昧。建。舉。真。園。提。第。不。和。棲。衍。龐
壬。駕。雖。辦。眾。一。月。煌。波。羅。次。神。用。雲。故。昌。龐
曆。別。焉。而。為。一。惟。熒。謂。磨。鬼。皆。覲。師。壽。惇
萬。楊。處。事。勉。間。金。或。羯。爾。公。以。戒。兼。眼
刑。維。等。己。楚。之。矣。身。以。菴。師。師。緣。之
典。推。融。于。已。吳。久。識。孔。然。窺。養。而。因。開
有。節。等。度。得。越。久。識。孔。然。窺。養。而。因。開
剎。鄭。玠。昌。不。閩。興。善。鼻。卒。鷺。屬。膀。得。穎

子。念無。服宰。山內而小。慧
赤。攝。進。至。觀。拳。邑。邁。輩。鼓。宇。面。而。小。子。於
畜。施。信。乃。分。拳。郡。克。薦。之。北。者。弟。皇
不。緣。博。印。中。可。遮。始。邦。閩。魯。咨。事。菩。薩。皇
然。對。寬。符。用。師。自。請。邑。令。則。鄒。咨。事。菩。薩。而
沸。頭。於。度。日。師。塹。三。謝。沒。濱。而。大。山。博。父。
然。峯。之。節。於。滅。坑。勤。禎。北。海。面。一。博。父。
愀。二。茸。奉。竊。生。滅。坑。勤。禎。北。海。面。一。博。父。
趨。第。蒙。如。亦。心。室。殷。士。湧。半。西。于。稱。之。
夜。忘。高。山。朝。君。亦。縱。丈。義。推。南。強。符。師。塞。身。
負。都。高。父。朝。君。亦。縱。丈。義。推。南。強。符。師。塞。身。
力。見。於。就。小。尚。季。思。似。政。矣。煙。包。銅。右。婆。充。
者。愛。之。於。余。尚。懈。蒸。君。無。雨。泊。其。從。蓋。
寐。運。谷。至。他。人。匪。察。使。無。雨。泊。其。從。蓋。
視。普。則。也。傷。祖。勤。觀。蕭。門。博。弁。述。珠。茲。
腸。心。則。也。活。正。沈。而。之。博。圭。述。衣。在。
熱。悲。提。有。一。起。佛。正。沈。而。之。博。圭。述。衣。在。
片。一。闡。曾。際。譬。殺。來。往。提。先。頻。屛。彈。繫。不。
一。井。一。未。那。昌。染。而。於。椎。鞭。載。至。得。滿。
而。入。至。得。剎。壽。薤。來。禮。白。鞭。載。至。得。滿。
將。不。得。剎。壽。薤。來。禮。白。鞭。載。至。得。滿。
二。之。苟。熏。有。著。膺。官。遇。嚴。諸。名。禮。子。淪。山。孝。

身之母。寶方一悟。自以子職無愆。更二十餘年。從故鄉
人。得生父耗亟致之伊蒲之餐。以脩法喜。而孕珠九品之
臺。所需雖鉢鑽之自出。必請於眾。明年天啟丁卯。尋訃有
而。至。取道桐鄉。慈社法檀厥名。錫類盍簪盈缶實蕃。有
徒小子。妄引其端。攀附有心。步趨無足。而浮山密邇。
桑梓賴師。右掌遙擎。永言孝思。緣熏增上。寂光與力。
庶幾究竟莊嚴。崇禎己巳。金陵之遊。則余開府大成。聞
所聞而來。見所見而慕。惠徽

二祖徧啟羣蒙。天界法幢。所謂無大無小。從公于邁狂奔
[目*匿]就。號為四輩弟子者。指以億萬計。而師圓音曲
唱。乘言會宗。不落思惟。法爾回互。真不啻觀影。闍黎
從涅槃起。一時干鳴瓜印之。徒往往竊臨濟後架禪。作日
下孤燈伎倆。劍揮巢破。露布全彰。而歸正一編。足使法
門五衰頓還。魯陽三舍。功成名遂。意在斯乎。師慈容淨
滿。道骨堅凝。眉采燁然。春秋在類。法筵清眾不肅而

嚴。刈麥負薪。無不人。人委蛇。詳敘。若。有。深。湛。之。思。者。師。
云。一。餐。功。令。雲。栖。而。未。之。遠。耳。初。發。悟。時。常。坐。一。小。樓。日。
宵。睏。其。手。釋。卷。闔。而。投。五。席。者。累。月。偶。嬰。定。戒。與。之。俱。
無。作。悉。檀。不。住。於。相。酬。機。應。供。自。閩。嶠。出。淡。觀。物。也。壽。昌。並。畊。
水。同。餐。四。旬。于。雲。棲。之。目。而。無。師。以。一。息。不。來。句。歸。何。處。
邊。飽。注。于。雲。水。遊。休。動。以。示。者。益。嚴。大。袋。事。成。請。
別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。
三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。
壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。
大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。
袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。
事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。
成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。
請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。別。三。壽。大。袋。事。成。請。

顧四身。援代座。越檀然。言開為土重時。師具
却更全身。無初陽廓。所實語淨影。今些心印。
也。復全之最。建性錫。禪丹光。壞者光。
日。一。奉。民。而。為。真。真。之。機。神。不。者。光。
八。有。日。喪。天。嘗。師。身。得。通。喪。換。料。談。只。齒。
有。十。一。喪。天。師。身。得。通。喪。換。料。談。只。齒。
十。四。有。將。顛。師。身。得。通。喪。換。料。談。只。齒。
之。臘。廿。地。凋。身。多。邈。山。童。當。明。均。則。子。
秋。僧。冬。天。愴。後。一。上。起。而。天。可。永。教。百。弟。
季。孟。天。愴。後。一。上。起。而。天。可。永。教。百。弟。
午。日。未。也。邇。未。獲。入。載。肇。古。與。一。被。旦。師。
庚。九。辛。筮。遐。未。獲。入。載。肇。古。與。一。被。旦。師。
禎。有。年。所。白。木。網。於。錄。拈。時。陀。普。震。是。
崇。廿。踰。師。緇。之。方。已。源。座。滑。頭。根。年。閻。
然。冬。周。陽。沒。早。矣。子。回。下。錐。發。謂。三。年。智。
脩。仲。始。之。滅。矣。老子。耶。加。再。所。十。矣。
脫。亥。甲。嶺。日。命。言。山。九。則。痛。四。響。乾。三。
坐。乙。之。鳳。慧。三。如。仰。為。則。痛。四。響。乾。三。
夜。曆。壽。棲。於。晏。仰。為。則。痛。四。響。乾。三。
子。萬。世。西。摧。迫。於。晏。仰。為。則。痛。四。響。乾。三。
當。時。而。寺。崩。迫。於。晏。仰。為。則。痛。四。響。乾。三。
漏。來。稔。塏。法。董。趙。不。說。雙。發。偈。重。全。可。

營則纏與因者以初春色以興聞論在
山安蓋心了門被雨疑對金以史無醜
博寶棄肯多及熟之却希望峙玄楊瀾莠
缺曰勇辦甚之頌去所雄錫文如為
無福因果。但數士僅頌去所雄錫文如為
正廣。因。意。其。居。緣。語。過。詰。心。劉。監。彭。廣。至。稼。
庭。曰。明。祖。高。足。者。機。韻。紛紛。身。涅。槃。劉。監。彭。廣。至。稼。
門。藍。洞。明。祖。高。足。者。機。韻。紛紛。身。涅。槃。劉。監。彭。廣。至。稼。
輔。二。嵩。欲。還。觀。識。尼。借。昔。人。現。究。擘。曹。源。也。於
夾。武。道。淨。妙。久。提。安。蜂。蝶。現。究。擘。曹。源。也。於
事。邵。州。眼。二。叶。準。輕。花。感。願。為。引。所。治。為
于。別。台。肉。山。而。念。發。底。臨。披。基。落。尤。師。於
及。魁。揚。王。故。是。興。初。忽。葉。無。善。也。弘。機。篤。篇
次。為。身。嚴。故。是。興。初。忽。葉。無。善。也。弘。機。篤。篇
院。為。身。嚴。故。是。興。初。忽。葉。無。善。也。弘。機。篤。篇
監。照。分。楞。旋。與。莫。寘。雨。擊。而。成。勞。參。錫
諸。成。師。首。周。有。為。鈍。師。擊。而。成。勞。參。錫
微。字。為。到。鞭。弭。必。最。案。藥。師。擊。而。成。勞。參。錫
而。區。正。公。孝。廉。公。間。家。度。生。府。大。任。銛。即
體。勳。成。苦。閭。時。劉。船。見。在。成。必。台。中。天

勒。舊。耆。先。率。公。閻。劫。祇。在。付。訓。難。大。恩。夫。餓。作。竟。握。
東。廟。壇。出。躍。杖。拄。山。博。耳。側。當。誰。音。妙。指。拙。辭。徵。狀。
銘。曰。在。分。有。出。髓。教。打。句。由。百。過。頭。

別躬劫神印彰密開見君字
無爾塵同祖全密天所朝文
見在那世明明位綿面山位脫
與曰刹異明五綿池博退解

之心中緣磨下參破聞父空
知傳得間新山交雲所歸書
而面可無鏡好黑白頭昌身墨
聞覲不等古大黑樹壽全海

百宗得今性昌跡來線行智
五無可來如壽亦不一別
年祖不去真于跡方通道差
歷一了非況集無寶聊鳥流

統藏傳那爾宗藏住知橫慈
之眼與剎猶洞即非人縱等
聖文心劫識以彰峯許活平
儒迦將塵諸所即峩不殺從

和寡彌頭
到處垂綸
星隕告符
不涉虛玄
師所住處
迷中倍人
師無身度

惜得眉毛
逢場栽竹
仰此頽山
重談至妙
即名少林
咄哉廣瀾
何塢何銘

盡法行持
長者馳求
日面月面
起坐啜茗
桂子飄香
湛然十虛
威音那畔

令嚴寂寥
醫王付囑
前三後三
莞爾而笑
其聚如雲
徒勞執捉
石女彈琴

崇禎四年歲次辛未十月。

賜進士出身奉直大夫左春坊左諭德兼翰林院侍讀

覃恩進階奉政大夫菩薩十戒弟子皖舒廣瀾吳應賓謹撰

無異禪師廣錄壙銘卷之三十五(終)

No. 1435-F 募刻祖翁異和尚廣錄序

洞水溯曹溪。源深流遠。龍峯連鳳嶺。山好風高。障迴末法狂瀾。直指祖師玄奧。驚人活句。韵出清霄。炤世明燈。光騰碧漢。此

祖翁。揭開寶鏡。掉盡老婆舌頭者也。不謂。丙丁奪燄。致螢耀以彌空。溪壑亂流。赴海門而失所。礪本師每將舊譜。示我弟兄。欲展弘慈。阻於阿堵。或以初機蓋障。遂使方冊缺文。(漸)用是不揣因緣。惟觀時節。冀先聲之不墜。令後學之有從。遠乞諸檀徧聯法屬捐貲彙梓。非但慧炬重明。附藏流通。且令昏迷頓起。益世多矣。厥功偉歟。住博山法孫(弘漸)稽首百拜謹題。

【經文資訊】卍新續藏第 72 冊 No. 1435 無異元來禪師廣錄

【版本記錄】CBETA 電子佛典 2014.04，完成日期：
2014/04/26

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依卍新續藏所編輯

【原始資料】CBETA 人工輸入，CBETA 掃瞄辨識

【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱

【[中華電子佛典協會資料庫版權宣告](#)】

[CBETA 贊助資訊 \(http://www.cbeta.org/donation/index.php\)](http://www.cbeta.org/donation/index.php)

自 2001 年 2 月 1 日起，CBETA 帳務由「財團法人西蓮教育基金會」承辦，並成立「財團法人西蓮教育基金會」— CBETA 專戶，所有捐款至 CBETA 專戶皆為專款專用，歡迎各界捐款贊助。

您的捐款本協會皆會開立收據，此收據可在年度中申報個人或企業的綜合所得稅減免。感恩諸位大德的善心善行，以及您為佛典電子化所做的一切貢獻。

信用卡線上捐款

本線上捐款與聯合信用卡中心合作，資料傳送採用 SSL

(Secure Socket Layer) 傳輸加密，讓您能夠安全安心地進行線上捐款動作。

[前往捐款](#)

信用卡 (單次 / 定期定額) 捐款

本授權書可提供單次捐款或定期定額捐款之用途。

請於下載並填妥捐款授權書後，請傳真至 02-2383-0649，並請來電 02-2383-2182 確認。

或掛號寄至 10044 台灣台北市中正區延平南路 77 號 8 樓 R812 財團法人西蓮教育基金會收。

請在此下載 [授權書](#) (MS Word 格式)

劃撥捐款

郵政劃撥帳號：1 9 5 3 8 8 1 1

戶名：財團法人西蓮教育基金會

欲指定特殊用途者，請特別註明，我們會專款專用。

線上信用卡 / PayPal 捐款

PayPal 是一個跨國線上付款機制的公司，CBETA 引用其服務，提供網友能在線上使用信用卡或 PayPal 帳戶贊助 CBETA 。

PayPal is an online system of a global payment solution. CBETA uses its service to provide the uses to donate by using the credit

cards or PayPal account to support the CBETA project.

相關收據開立事宜，由於付款幣別為美元，我們除了會依您所贊助之美元金額開立收據外，另我們會依捐款當日公告匯率開立台幣收據，此收據為國內正式合法報稅憑證。

Since the donation made is in US currency, hence all the receipts will be issued in the US dollars consequently. However for the domestic donators, a Chinese official receipt will also be made according to the foreign exchange rate for the purpose of tax deduction.

[線上信用卡 / PayPal 贊助](#)

支票捐款

支票抬頭請填寫「財團法人西蓮教育基金會」。

CBETA is part of Seeland Educational projects, any donation (ex-cheques, remittance, etc.,) please entitle to "The Seeland Education Foundation".
